

平成 26 年度

江戸川区民世論調査

< 第 31 回 >

江戸川区

～ 目 次 ～

I	調査の概要	3
II	結果のあらまし	15
III	結果と分析	25
1.	居住年数・永住意向について	25
(1)	居住年数	25
(2)	永住意向	28
2.	江戸川区の現況について	34
(1)	各項目の満足度	34
(2)	区の現況への満足度	54
3.	健康診断について	59
(1)	生活習慣病の健診等の受診状況	59
(1-1)	健診等を受診した機会	61
(1-2)	健診等を受診していない理由	62
4.	みどりについて	65
(1)	みどりのまちづくりのために行うべき取り組み	65
(2)	みどりのまちづくりのために協力したいと思うこと	68
5.	駐輪場・レンタサイクルについて	71
(1)	駐輪場の利用状況	71
(1-1)	駐輪場を使いやすくする工夫	73
(1-2)	駐輪場を利用していない理由	74
(2)	レンタサイクルの認知度	76
(3)	レンタサイクルを利用しやすくする工夫	78
6.	環境に配慮した行動について	79
(1)	省エネ・省資源を意識した行動	79
7.	災害対策について	96
(1)	地震発生時のための備え	96
(2)	災害時のための備蓄	115
(3)	用意している災害時の持ち出し品	116
8.	消費者センターについて	117
(1)	問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘などの経験	117
(1-1)	対処方法	118
(2)	消費者センターの事業の認知度	119

9. 選挙について	122
(1) 平成26年2月9日の東京都知事選挙の投票状況	122
(1-1) 投票しなかった理由	125
(2) 投票率向上のために有効だと思う方法	129
10. 広報と情報化について	133
(1) 区の情報入手手段	133
(2) インターネットの利用状況	137
(2-1) インターネットで利用しているサービス	141
11. 江戸川区職員の接遇について	145
(1) 江戸川区職員の接遇に対する満足度	145
12. 景気・消費税について	146
(1) 景気の回復感	146
(2) 消費税率を10%に上げることについて	148
(2-1) 消費税増税を「必要である、または、やむを得ない」と思う理由	150
(2-2) 消費税率を「上げるべきではない」と思う理由	152
(3) 消費税増税後の消費行動	154
13. 東京オリンピック・パラリンピックについて	155
(1) 東京オリンピック・パラリンピックへのボランティア参加希望度	155
(1-1) 参加したいと思うボランティア活動	157
14. 区政への要望について	158
(1) 今後推進してほしい施策	158
15. 自由記述	163
(1) 江戸川区ならではの良さ、改善してほしいこと	163
IV 調査票	183

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 目的

区政に対する区民の意識・評価・要望などを把握し、その結果を区政へ反映させることにより、区民参加による区政運営を推進していくため実施。

2. 対象

満18歳以上の区民2,000人

対象者は、住民基本台帳より無作為に抽出

3. 期間

平成26年5月20日（火）～6月8日（日）＜20日間＞

4. 内容

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| (1) 居住年数・永住意向について | (8) 消費者センターについて |
| (2) 江戸川区の現況について | (9) 選挙について |
| (3) 健康診断について | (10) 広報と情報化について |
| (4) みどりについて | (11) 江戸川区職員の接遇について |
| (5) 駐輪場・レンタサイクルについて | (12) 景気・消費税について |
| (6) 環境に配慮した行動について | (13) 東京オリンピック・パラリンピックについて |
| (7) 災害対策について | (14) 区政への要望について |

5. 調査方法

調査票を対象者に郵送し、本人記入方式。

回収は、訪問回収と郵送回収の併用。

【回収結果】

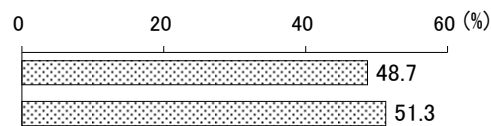
- ・ 標本数 2,000件
- ・ 有効回収数 1,512件 ○有効回収率 75.6%
- ・ 地区別回収数 (人口は、平成26年5月1日現在)

地区	人口(人)	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
小松川	56,607	169	128	75.7
中央	136,402	404	326	80.7
葛西	245,756	722	527	73.0
小岩	95,725	273	189	69.2
東部	90,056	265	205	77.4
鹿骨	53,911	167	136	81.4
無回答	—	—	1	—
計	678,457	2,000	1,512	75.6

6. 回答者の属性

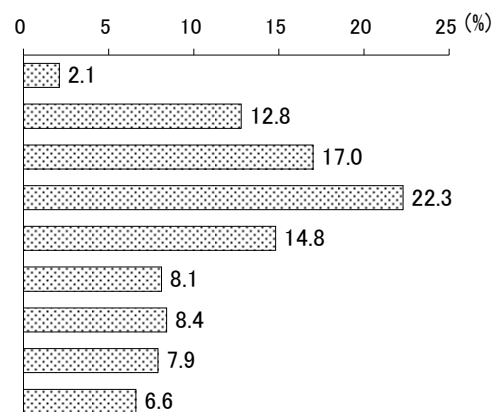
(1) F1 性別

	基数	構成比
1 男性	737	48.7%
2 女性	775	51.3
全 体	1,512	100.0



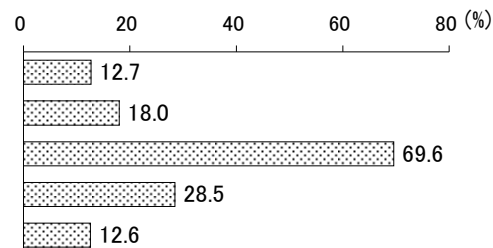
(2) F2 年齢

	基数	構成比
1 18・19歳	31	2.1%
2 20～29歳	194	12.8
3 30～39歳	257	17.0
4 40～49歳	337	22.3
5 50～59歳	224	14.8
6 60～64歳	123	8.1
7 65～69歳	127	8.4
8 70～74歳	119	7.9
9 75歳以上	100	6.6
全 体	1,512	100.0



(3) F3 同居者

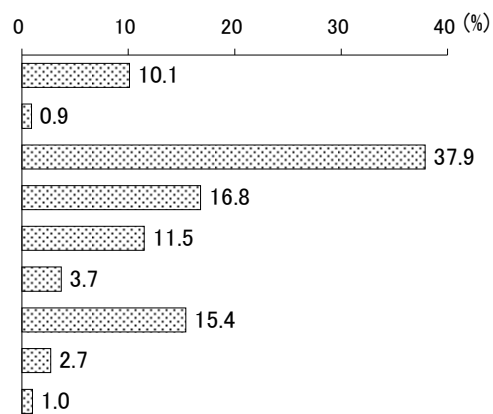
	基数	構成比
1 小学校入学前のお子さん	192	12.7%
2 小・中学生	272	18.0
3 16～64歳の方	1,052	69.6
4 65歳以上の方	431	28.5
(無回答)	191	12.6
全 体	1,512	100.0



※複数回答の設問であるため、基数・構成比ともに選択項目の合計が全体数を上回る。

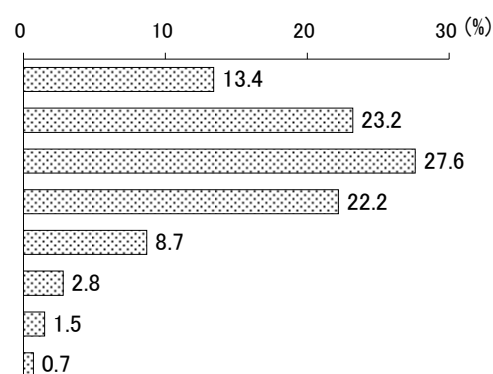
(4) F4 職業

	基数	構成比
1 自営業者	153	10.1%
2 家族従業 (家事手伝い)	13	0.9
3 勤め (フルタイム)	573	37.9
4 勤め (パートタイム)	254	16.8
5 家事専業	174	11.5
6 学生	56	3.7
7 無職	233	15.4
8 その他	41	2.7
(無回答)	15	1.0
全 体	1,512	100.0



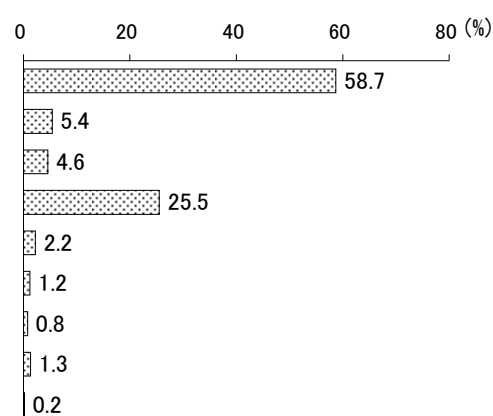
(5) F5 同居家族数

	基数	構成比
1 1人	202	13.4%
2 2人	351	23.2
3 3人	417	27.6
4 4人	335	22.2
5 5人	132	8.7
6 6人	42	2.8
7 7人以上	22	1.5
(無回答)	11	0.7
全 体	1,512	100.0



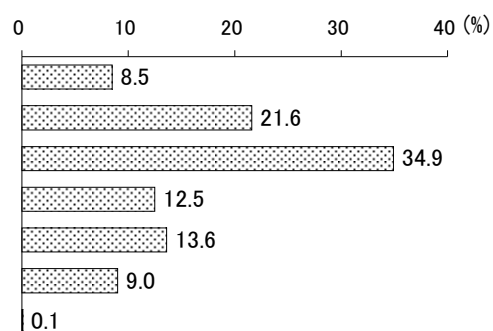
(6) F6 住居形態

	基数	構成比
1 持ち家	887	58.7%
2 都営・区営の賃貸住宅	82	5.4
3 都市再生機構・公社の賃貸住宅	70	4.6
4 民間の賃貸住宅	386	25.5
5 給与住宅(社宅・公務員住宅など)	34	2.2
6 住宅に間借り	18	1.2
7 会社等の独身寮・寄宿舍	12	0.8
8 その他	20	1.3
(無回答)	3	0.2
全 体	1,512	100.0



(7) F7 居住地区

	基数	構成比
1 小松川地区	128	8.5%
2 中央地区	326	21.6
3 葛西地区	527	34.9
4 小岩地区	189	12.5
5 東部地区	205	13.6
6 鹿骨地区	136	9.0
(無回答)	1	0.1
全 体	1,512	100.0



7. 報告書の見方

この報告書における表・グラフの見方

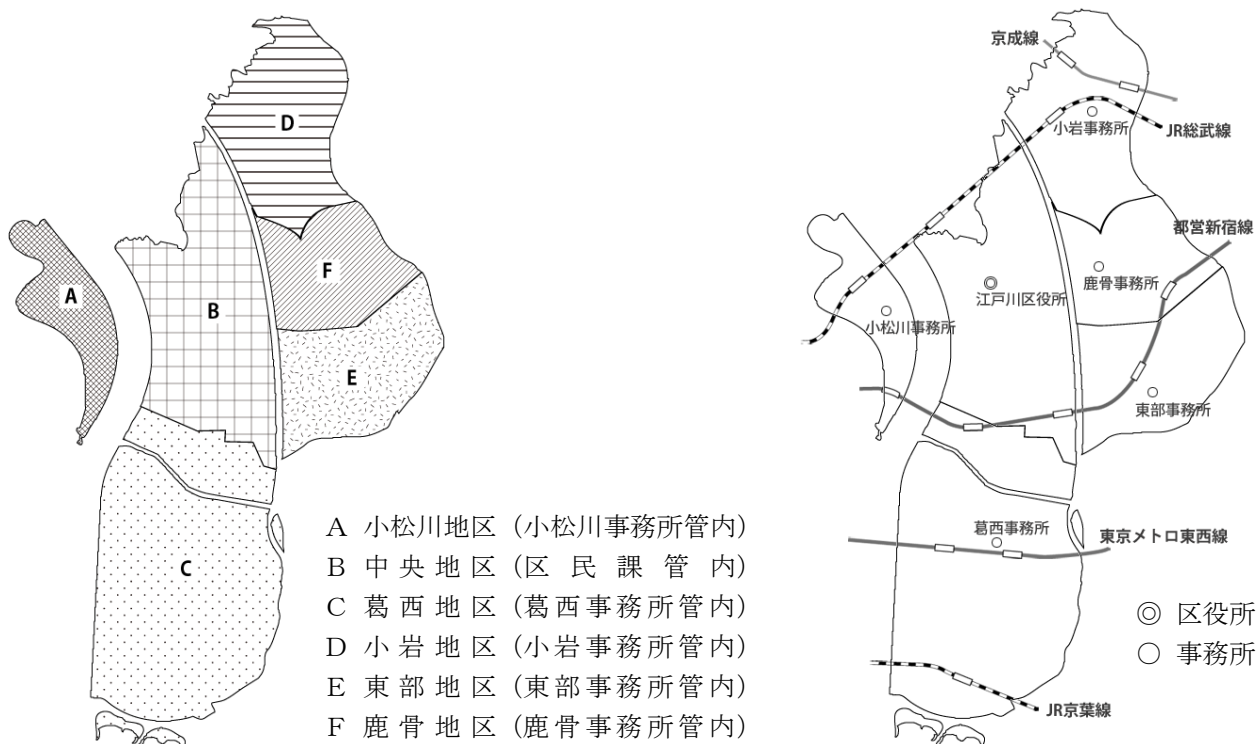
- 図表の中のnとは回答者総数（または該当質問の該当者数）を表している。
- 比率はnを100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入した。そのために、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがある。
- 1人の回答者が複数回答で行なう設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- 図表中0は四捨五入の結果を示し、－は回答者が皆無であることを示す。
- 本文や図表中の選択肢表記では、場合によっては語句を短縮・省略化している。
- 分析軸では、その特徴をより明確に出せるように「その他」「無回答」は掲載していない。そのため、分析軸のそれぞれの（n）の合計が全体と一致しない場合がある。
- nが小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、nが30未満の場合は注意を要する。したがって、nが30を下回る場合、原則的に数値をあげた具体的なコメントは行わない。
- 地区は、管轄ごとに以下のように分類した。

[管轄別区域表]

管 轄 名	管 轄 内 町 丁 名
小松川事務所 (小松川地区)	小松川1～4丁目、平井1～7丁目
区 民 課 (中央地区)	中央1～4丁目、松島1～4丁目、松江1～7丁目、東小松川1～4丁目、西小松川町、大杉1～5丁目、西一之江1～4丁目、春江町4丁目、上一色1～3丁目、本一色1～3丁目、一之江1～8丁目、西瑞江4丁目1～2・10～27、江戸川4丁目15～25、松本1・2丁目、興宮町
葛西事務所 (葛西地区)	春江町5丁目、西瑞江5丁目、江戸川5・6丁目、一之江町、二之江町、船堀1～7丁目、宇喜田町、東葛西1～9丁目、西葛西1～8丁目、中葛西1～8丁目、南葛西1～7丁目、北葛西1～5丁目、清新町1・2丁目、臨海町1～6丁目、堀江町
小岩事務所 (小岩地区)	東小岩1～6丁目、西小岩1～5丁目、南小岩1～8丁目、北小岩1～8丁目
東部事務所 (東部地区)	春江町2・3丁目、東瑞江1・2丁目、西瑞江2・3丁目・4丁目5～9、江戸川1～3丁目・4丁目1～14、谷河内2丁目、下篠崎町、篠崎町3～6丁目、南篠崎町1～5丁目、東篠崎町、東篠崎1・2丁目、瑞江1～3丁目
鹿骨事務所 (鹿骨地区)	新堀1・2丁目、春江町1丁目、谷河内1丁目、鹿骨町、鹿骨1～6丁目、上篠崎1～4丁目、篠崎町1・2・7・8丁目、西篠崎1・2丁目、北篠崎1・2丁目、東松本1・2丁目

※調査票では番地まで聞いていないため、西瑞江4丁目、江戸川4丁目は便宜上中央地区としている。

〔地区別区分図〕



- A 小松川地区 (小松川事務所管内)
 B 中央地区 (区民課管内)
 C 葛西地区 (葛西事務所管内)
 D 小岩地区 (小岩事務所管内)
 E 東部地区 (東部事務所管内)
 F 鹿骨地区 (鹿骨事務所管内)

○ 標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数 (n)、②回答の比率 (P) によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{P(1-P) / n}$$

P = 回答比率 (%)

n = 回答者数

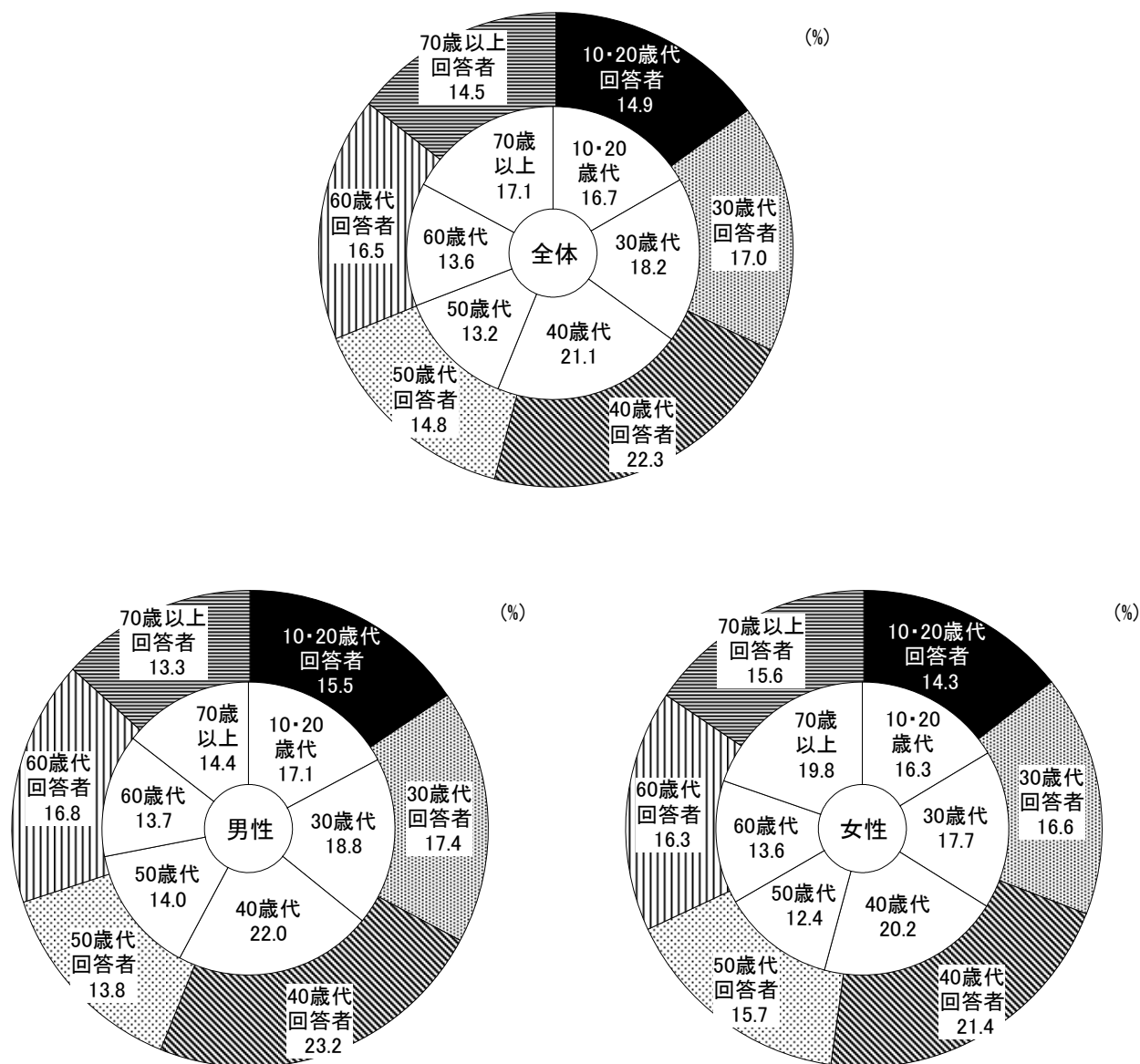
今回の調査結果の標本誤差は下記のようになる。

回答率(p) 回答者数 (n)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,512	±1.54	±2.06	±2.36	±2.52	±2.57
1,000	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.16
500	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
300	±3.46	±4.62	±5.29	±5.66	±5.77
100	±6.00	±8.00	±9.17	±9.80	±10.00

<注/この表の見方>

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答数が1,512であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.52%以内（57.48～62.52%）である」とみることができる。

8. 性・年齢別回収結果（母集団との比較）



※内円は母集団18歳以上の人口（N=563,599）の構成比、外円は調査回答者（n=1,512）の構成比を示している。

9. 過去の世論調査の概要（主要項目）

回数 (時期)	第1回 (S51.1)	第2回 (S52.1)	第3回 (S53.1)	第4回 (S54.1)	第5回 (S55.1)	第6回 (S56.1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,587 79.4%	1,610 80.5%	1,543 77.2%	1,541 77.1%	1,451 72.6%	1,741 87.1%	
主な調査内容	永住意向	55.2%	—	56.5%	66.3%	71.5%	72.1%
	転出意向	25.2%	—	25.4%	21.9%	15.7%	14.5%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	病院	公園・遊び場	下水道	病院・診療所	病院	下水道
		下水道	病院	病院	公園・遊び場	下水道	都市ガス
		公園・遊び場	下水道	公園・遊び場	下水道	鉄道の駅	鉄道の駅
	施策への 要望 (上位3つ)	保健・衛生・医療	—	—	—	—	—
		災害対策	—	—	—	—	—
		公害対策	—	—	—	—	—
	区政への 信頼度	76.7%	—	76.2%	76.2%	78.8%	77.9%
	区政への 関心度	77.8%	83.7%	80.8%	76.4%	83.2%	83.1%
その他の 調査項目	区政に対する 満足度	区政に対する 満足度	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	区独自事業の 周知度	
	住環境意識	地域活動の実態	住環境意識	近隣関係の 満足度	災害に対する 備え	区民の文化・ スポーツ活動	

回数 (時期)	第7回 (S57.1)	第8回 (S58.1)	第9回 (S59.1)	第10回 (S60.1)	第11回 (S61.1)	第12回 (S62.1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,677 83.9%	1,717 85.9%	1,763 88.2%	1,738 86.9%	1,754 87.7%	1,748 87.4%	
主な調査内容	永住意向	69.8%	86.4%	86.5%	82.1%	82.8%	78.6%
	転出意向	17.1%	8.2%	8.1%	9.8%	10.5%	13.2%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	下水道	下水道	病院	病院	病院	病院
		公園・遊び場	鉄道の駅	下水道	下水道	鉄道の駅	大型店
		鉄道の駅	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	保健・衛生・医療	—	—
		—	—	—	災害	—	—
		—	—	—	高齢者	—	—
	区政への 信頼度	79.0%	80.0%	78.7%	81.5%	82.5%	79.8%
	区政への 関心度	81.0%	80.6%	81.9%	83.6%	82.6%	79.6%
その他の 調査項目	地域活動への 参加意向	区民の健康状態	ボランティア活動 の参加意向	文化事業	生活環境への 満足度	区民の健康状態	
	街の美観 について	区民の悩み事 の実態	区内のバス交通	地域情報の媒体	広報紙の印象	区の紋章等の 周知度	

(※) 第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

I 調査の概要

回数 (時期)	第13回 (S63. 2)	第14回 (H元. 1)	第15回 (H2. 1)	第16回 (H3. 1)	第17回 (H4. 1)	第18回 (H5. 1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,677 83.9%	1,711 85.6%	1,670 83.5%	1,680 84.0%	1,672 83.6%	1,614 80.7%	
主な調査内容	永住意向	80.2%	80.7%	81.1%	79.1%	77.5%	78.5%
	転出意向	11.9%	12.9%	12.6%	13.6%	14.9%	14.8%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	大型店	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場
		駐車場	病院	病院	大型店	病院	病院
		病院	大型店	大型店	病院	大型店	大型店
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
	区政への 信頼度	82.9%	84.0%	87.4%	80.6%	79.3%	80.9%
	区政への 関心度	83.8%	84.3%	87.9%	82.7%	81.5%	82.1%
その他の 調査項目	街の魅力	余暇の考え方	広報紙の印象	区民の健康状態	区民のいきがい	保健所の 利用状況	
	友好都市との 交流	ボランティア活動 の考え方	国際交流の 参加意向	住みよさの評価	地元商店街の 印象	広報紙閲読状況	

回数 (時期)	第19回 (H6. 1)	第20回 (H7. 1)	第21回 (H8. 1)	第22回 (H8. 10)	第23回 (H10. 10)	第24回 (H12. 7)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,643 82.2%	1,642 82.1%	1,684 84.2%	1,658 82.9%	1,672 83.6%	1,574 78.7%	
主な調査内容	永住意向	80.0%	80.1%	80.1%	80.7%	78.0%	82.5%
	転出意向	11.8%	11.2%	11.9%	11.0%	9.9%	6.6%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	病院	病院	病院	病院	病院	医療機関
		大型店	大型店	大型店	大型店	駐車場・駐輪場	スポーツ
		駐車場	駐車場	駐車場	駐車場	大型店 (スーパー)	高齢者
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	—	高齢者	高齢者
		—	—	—	—	環境・公害	子育て
		—	—	—	—	交通網	環境・公害
	区政への 信頼度	77.8%	77.6%	76.7%	74.4%	—	—
	区政への 関心度	79.8%	80.2%	78.7%	77.9%	—	—
その他の 調査項目	区のイメージ	江戸川区の魅力	災害時への備え	地域活動への 参加意向	江戸川区の魅力	江戸川区の 将来像	
	区民まつり 満足度	健康診査の 受診状況	住まいの満足度	生活環境満足度	産業振興施策	介護保険に ついて	

(※) 第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

回数 (時期)	第25回 (H14. 4)	第26回 (H16. 6)	第27回 (H18. 6)	第28回 (H20. 5)	第29回 (H22. 5)	第30回 (H24. 5)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,524 76.2%	1,490 74.5%	1,356 67.8%	1,408 70.4%	1,405 70.3%	1,314 65.7%	
主な調査内容	永住意向	77.6%	74.7%	74.1%	76.6%	78.8%	76.9%
	転出意向	7.6%	6.9%	8.3%	5.1%	5.8%	5.6%
	施設への 要望 (上位3つ)	スポーツ	スポーツ	児童・保育	スポーツ	児童・保育	児童・保育
		高齢者	教育・文化	教育・文化	児童・保育	スポーツ	スポーツ
		教育・文化	公園・広場	スポーツ	医療機関	教育・文化	教育・文化
	施策への 要望(※) (上位3つ)	高齢者	防犯	防犯	防犯	防犯	震災
		保健・健康	高齢者	高齢者	災害	高齢者	防犯
		景気・物価	学校教育	災害	高齢者	子育て	高齢者
	区政への 信頼度	—	—	—	—	—	—
	区政への 関心度	—	—	—	—	64.5%	63.4%
	その他の 調査項目	区のイメージ	まちづくりの状況	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度
		区民のかかり つけ医の状況	資源とごみの 分別状況	省エネを 意識した行動	区の景観	運動・健(検)診	喫煙について

(※)第29回以降は、「災害対策」を「震災対策」と「水害対策」に分割。

回数 (時期)	第31回 (H26. 5)	
標本数	2,000	
回収数 (回収率)	1,512 75.6%	
主な調査内容	永住意向	74.4%
	転出意向	4.6%
	施設への 要望 (上位3つ)	—
		—
		—
	施策への 要望(※) (上位3つ)	震災
		防犯
		水害
区政への 信頼度	—	
区政への 関心度	—	
その他の 調査項目	区の現況への 満足度	
	駐輪場・レンタサ イクルについて	

II 結果のあらまし

II 結果のあらまし

【居住年数・永住意向について】(25～33ページ)

- 江戸川区での居住年数は、「21年～30年」(18.4%)と「31年以上」(38.0%)を合わせた<長期の居住者>が56.4%となっている。次いで「6年～10年」(10.7%)と「11年～20年」(19.0%)を合わせた<中期の居住者>が29.7%、「1年未満」(3.2%)と「1年～5年」(10.4%)を合わせた<短期の居住者>が13.6%となっている。(25ページ/問1)
- 今後も江戸川区に住み続けたいか尋ねたところ、「住み続けたい」が51.6%と最も高く、これに「できれば住み続けたい」(22.8%)を合わせた<永住意向>は74.4%となっている。
平成25年に実施された「都民生活に関する世論調査」の地域永住意向の調査結果と比較すると、「永住意向」で“江戸川区”(74.4%)は“東京都全体”(75.5%)や“区部”(76.0%)との間に大きな違いはみられない。一方、「転出意向」については、“江戸川区”(4.6%)は“東京都全体”(11.3%)、“区部”(11.3%)よりも6.7ポイント低くなっている。(28ページ/問2)

【江戸川区の現況について】(34～58ページ)

- 江戸川区の18項目の現況の満足度について聞いたところ、「満足」と「やや満足」を合わせた<満足(計)>は、【公園・水辺の整備】(61.4%)で6割を超えて最も高く、次いで【緑化の推進】(58.0%)で約6割、【買い物の便】(54.5%)で5割台半ばとなっている。
一方、「不満」と「やや不満」を合わせた<不満(計)>は、【地域の治安・安全性】(27.9%)と【街のバリアフリー】(26.0%)で2割台半ばと高く、【災害への備え】(21.6%)で2割強となっており、これらの項目は<不満(計)>が<満足(計)>よりも高くなっている。
(34ページ/問3)
- 区の現況を総合的にみた場合の満足度は、「満足」(13.4%)と「やや満足」(37.9%)を合わせた<満足(計)>(51.3%)は5割強となっている。また、「ふつう」(36.0%)は3割台半ば、「不満」(1.1%)と「やや不満」(10.3%)を合わせた<不満(計)>(11.4%)は1割強である。(54ページ/問4)

【健康診断について】(59～64ページ)

- 過去1年間に生活習慣病の健診等を受けたか尋ねたところ、「受けた」(56.9%)が5割台半ば、「受けていない」(42.7%)は4割強となっている。(59ページ/問5)
- 健診を受けた人に、その機会について尋ねたところ、「勤務している会社や職場の健診」(50.5%)が約5割で最も高く、続いて「国保健診(国民健康保険加入者を対象とした区の健診)」(26.5%)が2割台半ばとなっている。(61ページ/問5-1)
- 健診を受けていない人に、その理由を尋ねたところ、「忙しいから」(33.1%)が3割台半ばで最も高く、続いて「何かあればいつでも医療機関で受診できるから」(24.8%)、「健診のことを知らなかったから」(17.8%)、「手続きが面倒だから」(14.4%)などとなっている。
(62ページ/問5-2)

【みどりにについて】(65～70ページ)

- みどりのまちづくりのために行うべき取り組みについて尋ねたところ、「公園や街路樹の樹木に樹名板を設置するなど、みどりの知識を身近に学べるようにする」(41.1%)が4割を超えて最も高く、続いて「親水公園や水辺などに生息している、鳥や昆虫、魚などの名前を表示するなど、自然について学べる環境を整える」(35.8%)が3割台半ばとなっている。(65ページ/問6)
- みどりのまちづくりのために協力したいと思うことについて尋ねたところ、「家の窓辺や軒下に花や鉢植えを飾る」(43.6%)が4割台半ばで最も高く、続いて「公園や道路、河川敷でゴミ拾いや落ち葉清掃などを行う」(26.3%)、「道路沿いを生垣や花壇などで緑化する」(26.2%)が2割台半ばとなっている。一方、「特になし」(22.6%)は2割を超えている。(68ページ/問7)

【駐輪場・レンタサイクルについて】(71~78ページ)

- 駐輪場の利用状況について尋ねたところ、「利用したことがない」(54.9%)が5割台半ばで最も高く、続いて「現在利用している」(24.9%)が2割台半ば、「以前は利用していたが、現在は利用していない」(19.4%)が約2割となっている。(71ページ/問8)
- 駐輪場を現在利用している人に、駐輪場を使いやすくする工夫について尋ねたところ、「駅から遠い駐輪場は料金を安くするなど、駅からの距離で料金を設定する」(38.7%)が約4割、続いて「1日利用だけではなく、時間貸し利用の料金設定を設ける」(31.8%)が3割を超え、「半年定期・1年定期など定期利用の種類を増やす(現在は1か月・3か月)」(24.4%)が2割台半ばとなっている。(73ページ/問8-1)
- 駐輪場を現在利用していない人に、その理由を尋ねたところ、「自宅が駅に近いから」(36.6%)が3割台半ばで最も高く、続いて「自転車に乗らないから」(32.1%)となっている。
(74ページ/問8-2)
- レンタサイクルの認知度は、「知らなかった」(56.1%)が5割台半ばと最も高く、「知っているが、利用したことはない」(40.4%)が約4割となっている。(76ページ/問9)
- レンタサイクルを利用しやすくする工夫について尋ねたところ、「貸し出し場所や返却の場所を増やす」(50.6%)が約5割で最も高く、続いて「子ども乗せタイプやサイクリングタイプなど、自転車の種類・大きさが選べる」(20.4%)、「半日単位、2時間単位など、利用時間によって料金を変更する(現在は1日210円)」(14.6%)などとなっている。一方、「利用したいと思わない」(19.0%)は約2割となっている。(78ページ/問10)

【環境に配慮した行動について】(79~95ページ)

- 省エネ・省資源を意識した行動をしているかを尋ねたところ、「はい」は【部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている】(86.5%)で8割台半ばと最も高く、続いて【生ごみの水切りを行っている】(84.4%)でも8割台半ば、【家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入するようにしている】(80.5%)で約8割などとなっている。
(79ページ/問11)

【災害対策について】(96～116ページ)

- 地震発生時のための備えについて尋ねたところ、「はい」は、家庭での備えでは【家具を固定したり、配置に工夫をしている】(50.5%)が約5割と最も高くなっている。
地域の中での備えでは【近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある】(34.4%)が3割台半ばとなっている。
自分自身の備えでは【消火器の使い方を知っている】(72.9%)が7割を超えている。
(96ページ/問12)
- 災害時のための備えとして<3日分以上>備蓄している割合は、【水の備蓄】(39.9%)、【食料の備蓄】(38.9%)でともに約4割となっている。(115ページ/問13)
- 災害時にいつでも持ち出せるよう用意している物を尋ねたところ、「懐中電灯」(69.4%)が約7割で最も高く、続いて「飲料水・缶詰」(51.3%)、「携帯ラジオ」(50.7%)、「保険証」(43.1%)などとなっている。(116ページ/問14)

【消費者センターについて】(117～121ページ)

- 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘などの経験について尋ねたところ、「電話、ダイレクトメールでの勧誘」(16.2%)が1割台半ばとなっている。一方、「勧誘されたことはない」(72.6%)は7割を超えている。(117ページ/問15)
- 勧誘され困ったことや、いやな経験をしたことがある人に、その際の対処方法を尋ねたところ、「家族、友人・知人に相談した」(18.3%)が約2割となっている。一方、「特に対応はしなかった」(54.5%)は5割台半ばとなっている。(118ページ/問15-1)
- 消費者センターの事業についての認知度は、「電話や窓口での消費者相談」(35.4%)が3割台半ば、「消費者センターホームページ」(11.0%)が1割を超えている。一方、「知らない」(55.6%)は5割台半ばとなっている。(119ページ/問16)

【選挙について】（122～132ページ）

- 平成26年2月9日の東京都知事選挙で投票したか尋ねたところ、「投票した」（55.4%）が5割台半ば、「投票しなかった」（39.9%）が約4割となっている。（122ページ／問17）
- 投票しなかった人に、その理由を尋ねたところ、「適当な候補者がいなかったから」（30.5%）が約3割で最も高く、続いて「投票しても都政がよくなると思わないから」（24.9%）、「候補者の人柄や政策がよくわからなかったから」（22.7%）、「仕事が忙しかったから」（22.2%）などとなっている。（125ページ／問17-1）
- 投票率向上のために有効だと思う方法を尋ねたところ、「期日前投票所の増設」（30.8%）が約3割で最も高く、「当日投票所の増設」（20.4%）が約2割、「ツイッター、フェイスブックの活用」（14.7%）、「町会・自治会を通しての呼びかけ」（13.4%）、「駅頭やイベント会場での啓発」（13.0%）が1割台半ばとなっている。（129ページ／問18）

【広報と情報化について】（133～144ページ）

- 区の情報の入手手段を聞いたところ、「区の広報紙（広報えどがわ）」（60.4%）が約6割と最も高く、続いて「町内・自治会回覧などの資料」（29.9%）、「くらしの便利帳」（27.8%）などとなっている。（133ページ／問19）
- インターネットの利用状況は、「利用している」（69.0%）が約7割を占め、「現在は利用していないが、今後は利用したい」（7.3%）が約1割となっている。一方、「現在利用しておらず、今後も利用するつもりはない」（20.6%）は2割を超えている。（137ページ／問20）
- インターネットを利用している人に、利用しているサービスを尋ねたところ、「ホームページでの情報収集」（81.0%）が8割を超え最も高く、続いて「電子メール」（66.9%）が6割台半ば、「オンラインショッピング」（59.3%）、「施設予約」（37.5%）、「音楽、映像、書籍の配信サービス」（35.7%）、「ソーシャルメディア（ツイッター、フェイスブック等）」（35.3%）などとなっている。（141ページ／問20-1）

【江戸川区職員の接遇について】（145ページ）

- 江戸川区職員の接遇に対する満足度は、「満足」（10.1%）と「やや満足」（12.2%）を合わせた＜満足（計）＞（22.3%）は2割を超えている。一方、「不満」（3.9%）と「やや不満」（7.3%）を合わせた＜不満（計）＞（11.2%）は1割を超えている。（145ページ／問21）

【景気・消費税について】（146～154ページ）

- 景気の回復感について尋ねたところ、「変わらない」（53.2%）が5割台半ばで最も高く、続いて「悪くなったと感じている」（26.1%）が2割台半ばとなっている。（146ページ／問22）
- 消費税率を10%に上げることにについて尋ねたところ、「上げるべきではない」（50.9%）が約5割、「必要である、または、やむを得ない」（36.0%）が3割台半ばとなっている。
(148ページ／問23)
- 消費税増税を「必要である、または、やむを得ない」と答えた方に、その理由を尋ねたところ、「社会保障制度の充実のためには必要だから」（64.4%）、「これ以上、将来の世代に国の借金の負担を先送りできないから」（63.3%）が6割台半ばとなっている。（150ページ／問23-1）
- 消費税率を「上げるべきではない」と答えた方に、その理由を尋ねたところ、「低所得層にとって負担が大きいから」（64.9%）が6割台半ばで最も高く、続いて「景気回復したといわれているが、実際には自分の所得（賃金）が上昇しないから」（62.5%）が6割を超えている。
(152ページ／問23-2)
- 消費税増税後の消費行動について尋ねたところ、「日常の食費を節約している」（38.4%）が約4割で最も高く、「洋服や日常生活用品費を節約している」（37.5%）、「外食の回数を減らしている」（35.0%）などとなっている。一方、「これまでと変わらない」（36.8%）は3割台半ばとなっている。（154ページ／問24）

【東京オリンピック・パラリンピックについて】（155～157ページ）

- 東京オリンピック・パラリンピックへのボランティア参加希望度について尋ねたところ、「参加したい」（20.1%）が約2割、「参加したくない」（39.2%）、「わからない」（39.6%）が約4割となっている。（155ページ／問25）
- ボランティアに参加したいと答えた方に、どのような活動に参加したいか尋ねたところ、「会場受付・案内」（48.7%）が約5割で最も高く、続いて「式典や競技の運営補助」（45.7%）が4割台半ばなどとなっている。（157ページ／問25-1）

【区政への要望について】（158～162ページ）

- 今後推進してほしい施策については、「震災対策」（39.1%）が約4割と最も高く、続いて「防犯対策（安全・安心まちづくり）」（33.4%）、「水害対策」（25.0%）、「子育て支援」（21.2%）、「熟年者施策」（19.9%）などとなっている。（158ページ／問26）

【自由記述】（163～179ページ）

- 江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じることを聞いたところ、江戸川区の「良さ」と「改善してほしいこと」の合計では、「子育て支援」（16.3%）、「環境保全・リサイクル」（16.2%）が1割台半ばと多く、次いで「都市基盤整備（道路など）」（11.1%）が1割を超えている。

江戸川区の「良さ」に限ってみると、「環境保全・リサイクル」（13.1%）と「子育て支援」（12.7%）が1割を超えて多くなっている。

「改善してほしいこと」に限ってみると、「都市基盤整備（道路など）」（6.8%）が最も多く、「交通網整備」（6.4%）、「防犯対策（安全・安心まちづくり）」（6.1%）などと続いている。

（163ページ／問27）

Ⅲ 結果と分析

Ⅲ 結果と分析

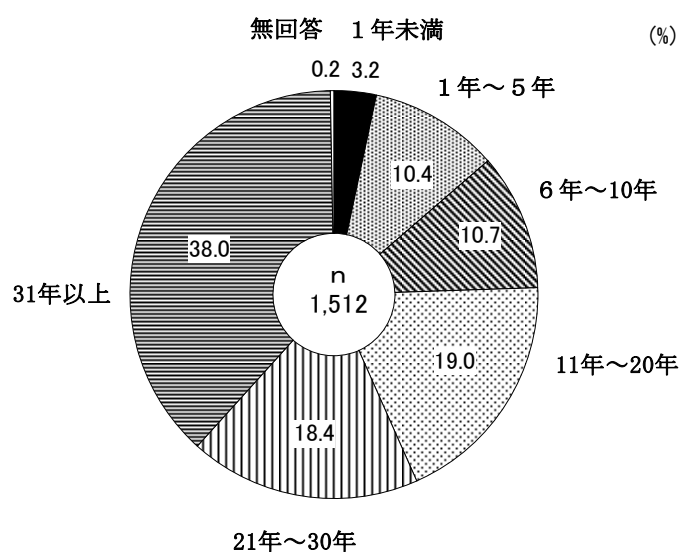
1. 居住年数・永住意向について

(1) 居住年数

◇ <長期の居住者>が5割台半ば

問1 あなたは、江戸川区に住んで何年になりますか。(○は1つだけ)

<図表1-1> 居住年数



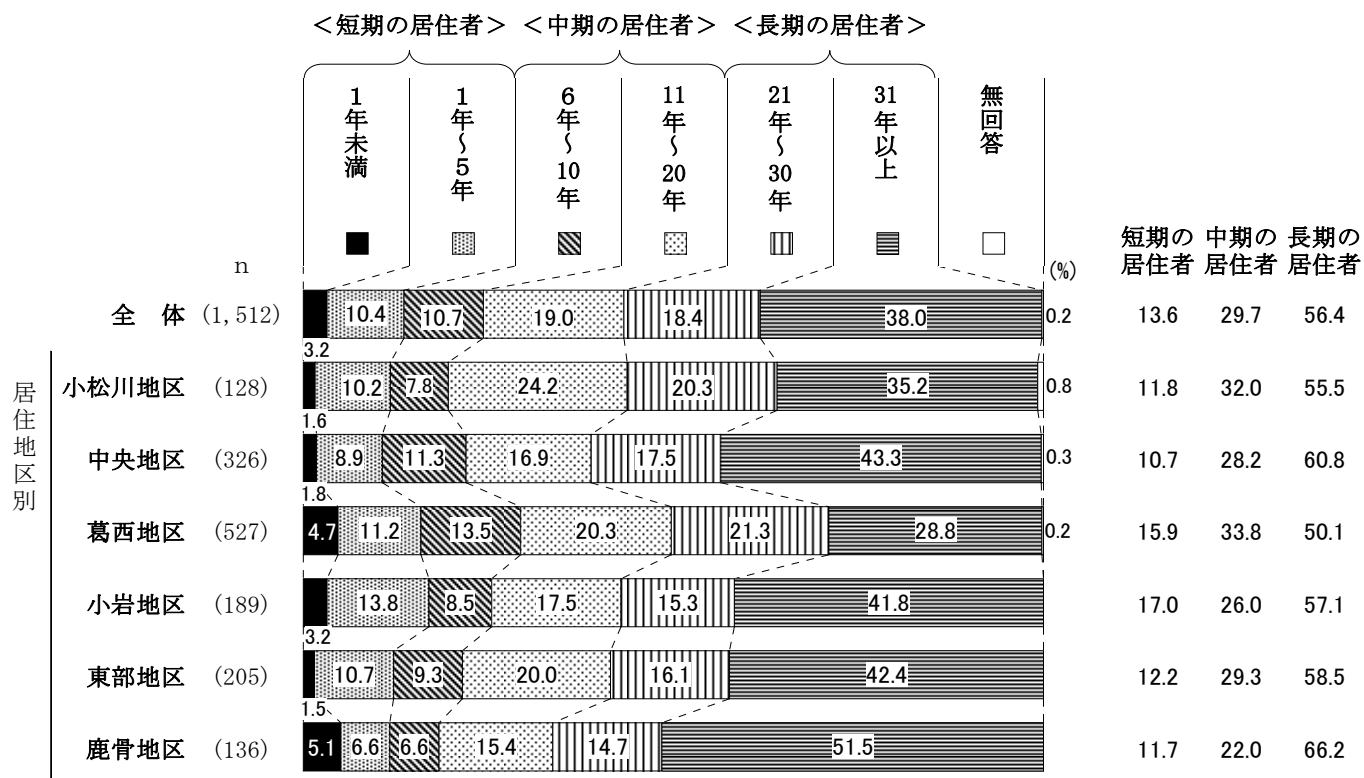
(注) <短期の居住者> = 「1年未満」 + 「1年～5年」・・・13.6%
 <中期の居住者> = 「6年～10年」 + 「11年～20年」・・・29.7%
 <長期の居住者> = 「21年～30年」 + 「31年以上」・・・56.4%

江戸川区での居住年数は、「21年～30年」(18.4%)と「31年以上」(38.0%)を合わせた<長期の居住者>が56.4%となっている。次いで「6年～10年」(10.7%)と「11年～20年」(19.0%)を合わせた<中期の居住者>が29.7%、「1年未満」(3.2%)と「1年～5年」(10.4%)を合わせた<短期の居住者>が13.6%となっている。(図表1-1)

【居住地区別】

居住地区別でみると、＜長期の居住者＞は“鹿骨地区”（66.2%）で6割台半ばと最も高くなっている。＜中期の居住者＞は“葛西地区”（33.8%）で3割台半ばと高く、＜短期の居住者＞は“小岩地区”（17.0%）で1割台後半と高くなっている。（図表1－2）

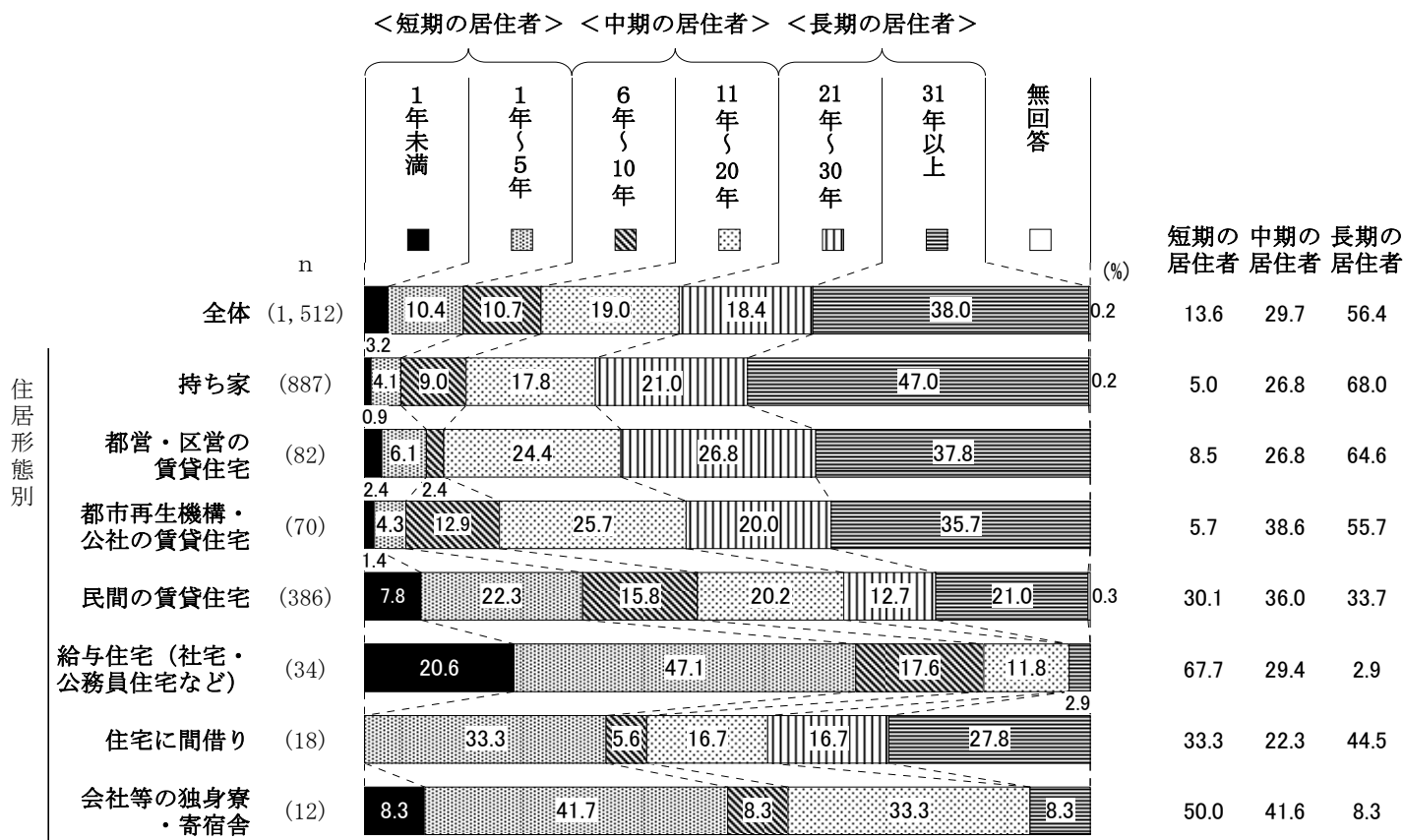
＜図表1－2＞ 居住年数／居住地区別



【住居形態別】

住居形態別で見ると、＜長期の居住者＞は“持ち家”（68.0%）で約7割、“都営・区営の賃貸住宅”（64.6%）で6割台半ばと高くなっている。一方、＜短期の居住者＞は“給与住宅（社宅・公務員住宅など）”（67.7%）で約7割と高くなっている。（図表1－3）

＜図表1－3＞ 居住年数／住居形態別



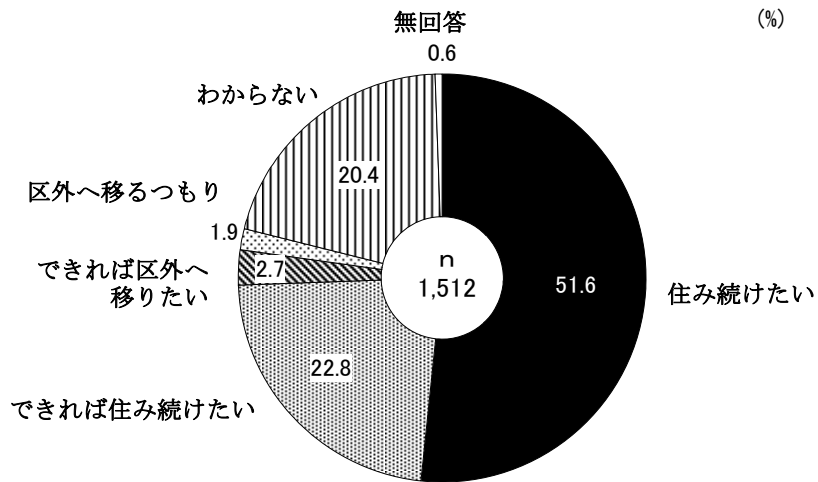
※ “住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(2) 永住意向

◇ <永住意向>が7割台半ば

問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

<図表1-4> 永住意向



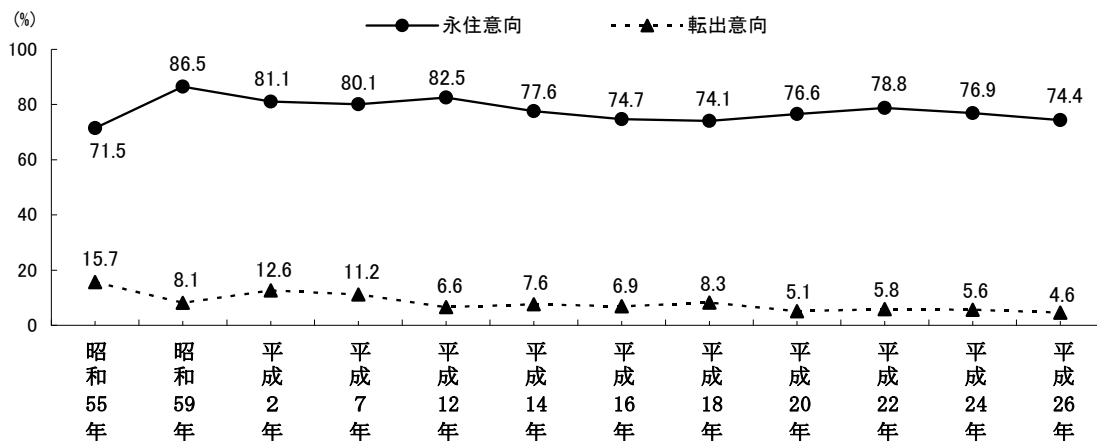
(注) <永住意向> = 「住み続けたい」 + 「できれば住み続けたい」・・・74.4%
 <転出意向> = 「区外へ移るつもり」 + 「できれば区外へ移りたい」・・・4.6%

今後も江戸川区に住み続けたいか尋ねたところ、「住み続けたい」が51.6%と最も高く、これに「できれば住み続けたい」(22.8%)を合わせた<永住意向>は74.4%となっている。(図表1-4)

【時系列比較】

昭和55年からの調査結果を時系列で見ると、<永住意向>は前回の平成24年よりもわずかに減少している。一方、<転出意向>は前回より1ポイント減少し、過去最低水準となっている。(図表1-5)

<図表1-5> 永住意向/時系列比較



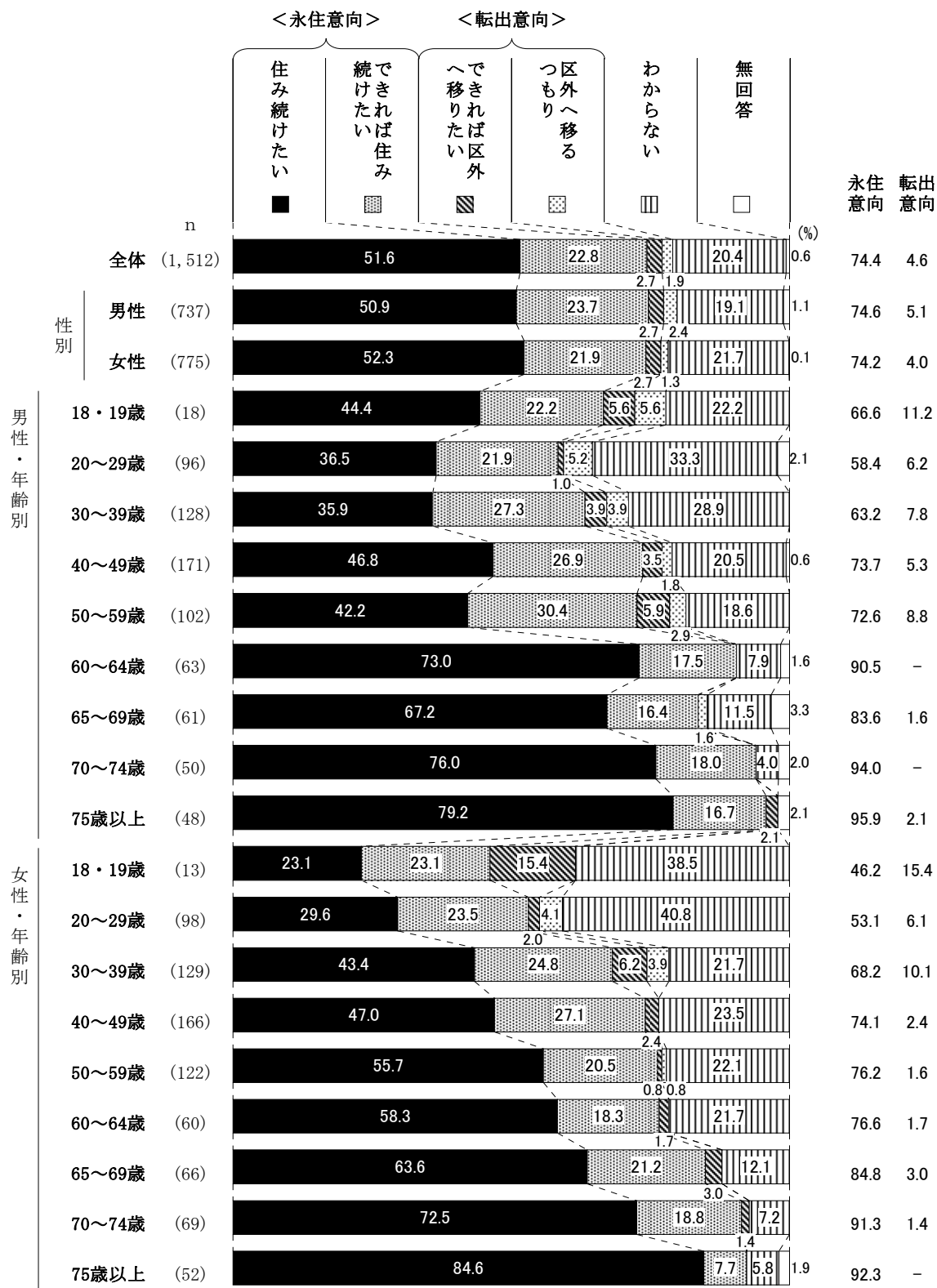
【性・年齢別】

性別では、＜永住意向＞は男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、＜永住意向＞は男性75歳以上（95.9%）で9割台半ばと最も高くなっている。

（図表1-6）

＜図表1-6＞ 永住意向／性・年齢別



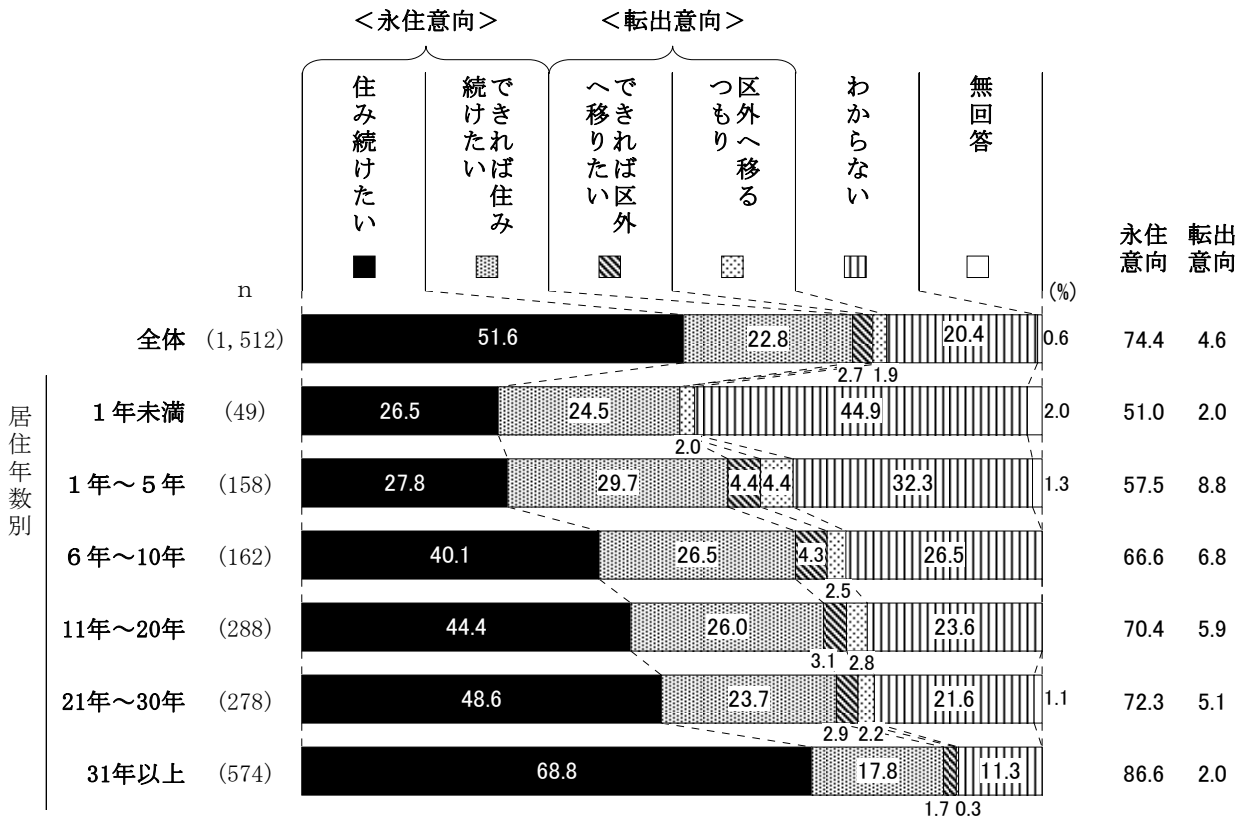
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【居住年数別】

居住年数別でみると、＜永住意向＞は“31年以上”（86.6%）で約8割台半ばと特に高くなっている。

（図表1-7）

＜図表1-7＞ 永住意向／居住年数別

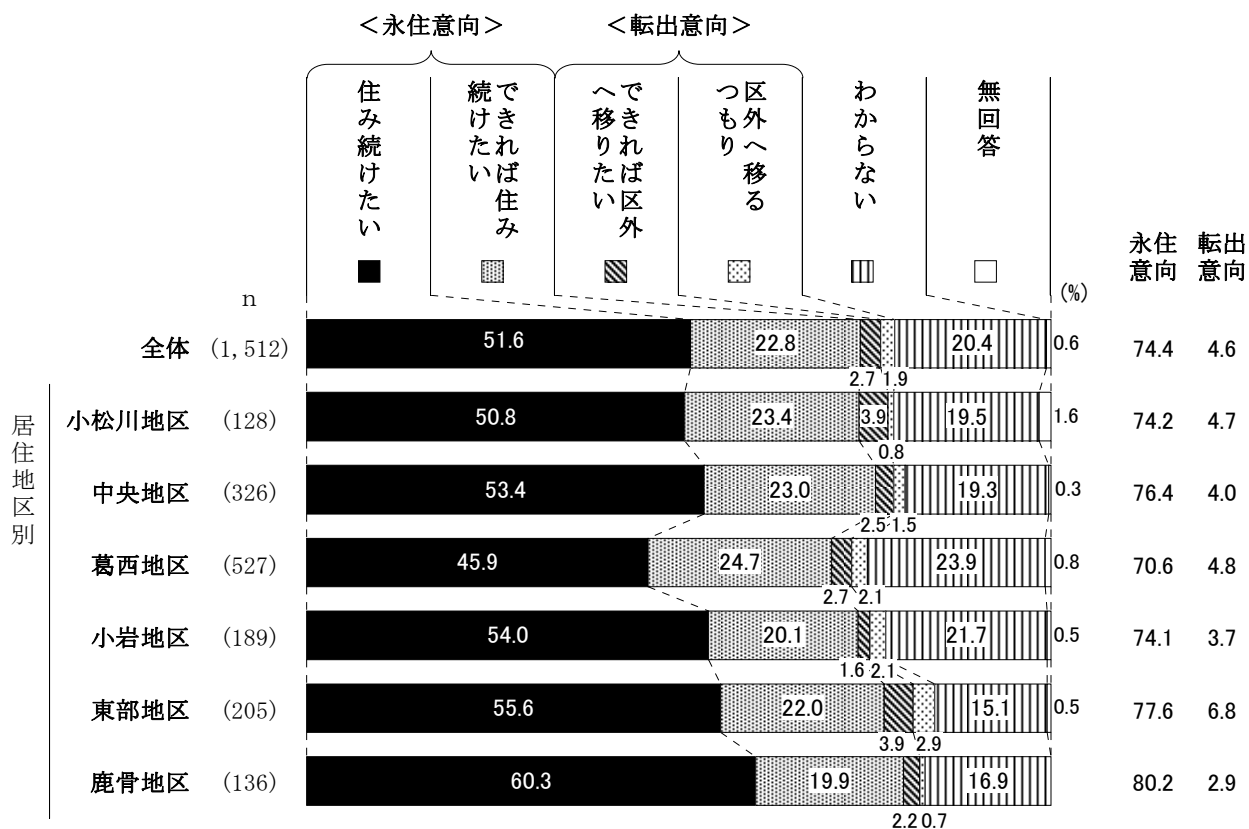


【居住地区別】

居住地区別でみると、＜永住意向＞は“鹿骨地区”（80.2%）で約8割と高くなっている。

（図表1－8）

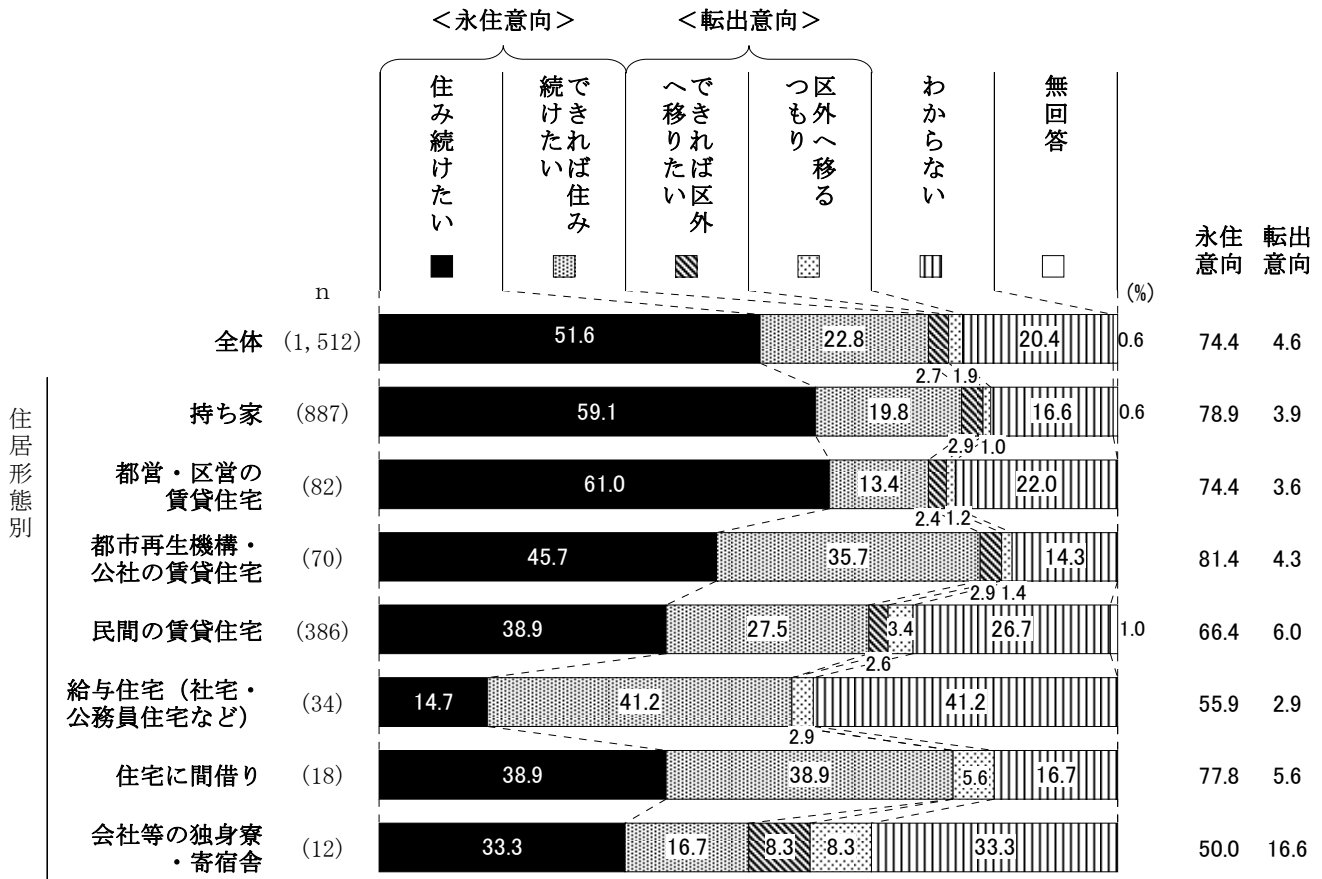
＜図表1－8＞ 永住意向／居住地区別



【住居形態別】

住居形態別でみると、＜永住意向＞は、“都市再生機構・公社の賃貸住宅”（81.4％）と “持ち家”（78.9％）で8割前後と高くなっている。（図表1－9）

＜図表1－9＞ 永住意向／住居形態別

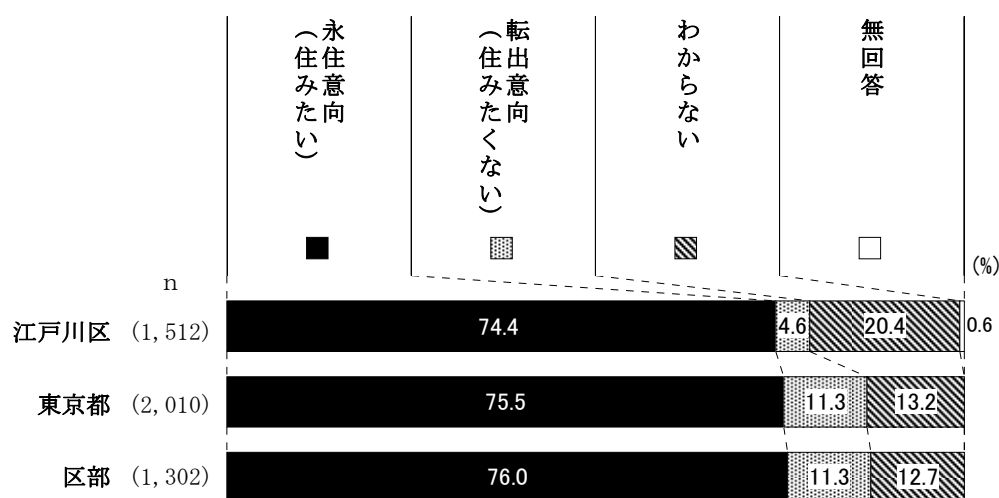


※ “住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【東京都・区部との比較（平成25年調査）】

平成25年に実施された「都民生活に関する世論調査」の地域永住意向の調査結果と比較すると、「永住意向」で“江戸川区”（74.4%）は“東京都全体”（75.5%）や“区部”（76.0%）との間に大きな違いはみられない。一方、「転出意向」については、“江戸川区”（4.6%）は“東京都全体”（11.3%）、“区部”（11.3%）よりも6.7ポイント低くなっている。（図表1-10）

＜図表1-10＞ 永住意向／東京都・区部との比較（平成25年調査）



（注1）東京都と区部は地域定住意向の調査結果

（注2）表頭の（ ）内は「都民生活に関する世論調査」の選択肢項目

資料出所：東京都生活文化局「都民生活に関する世論調査」（平成25年）

2. 江戸川区の現況について

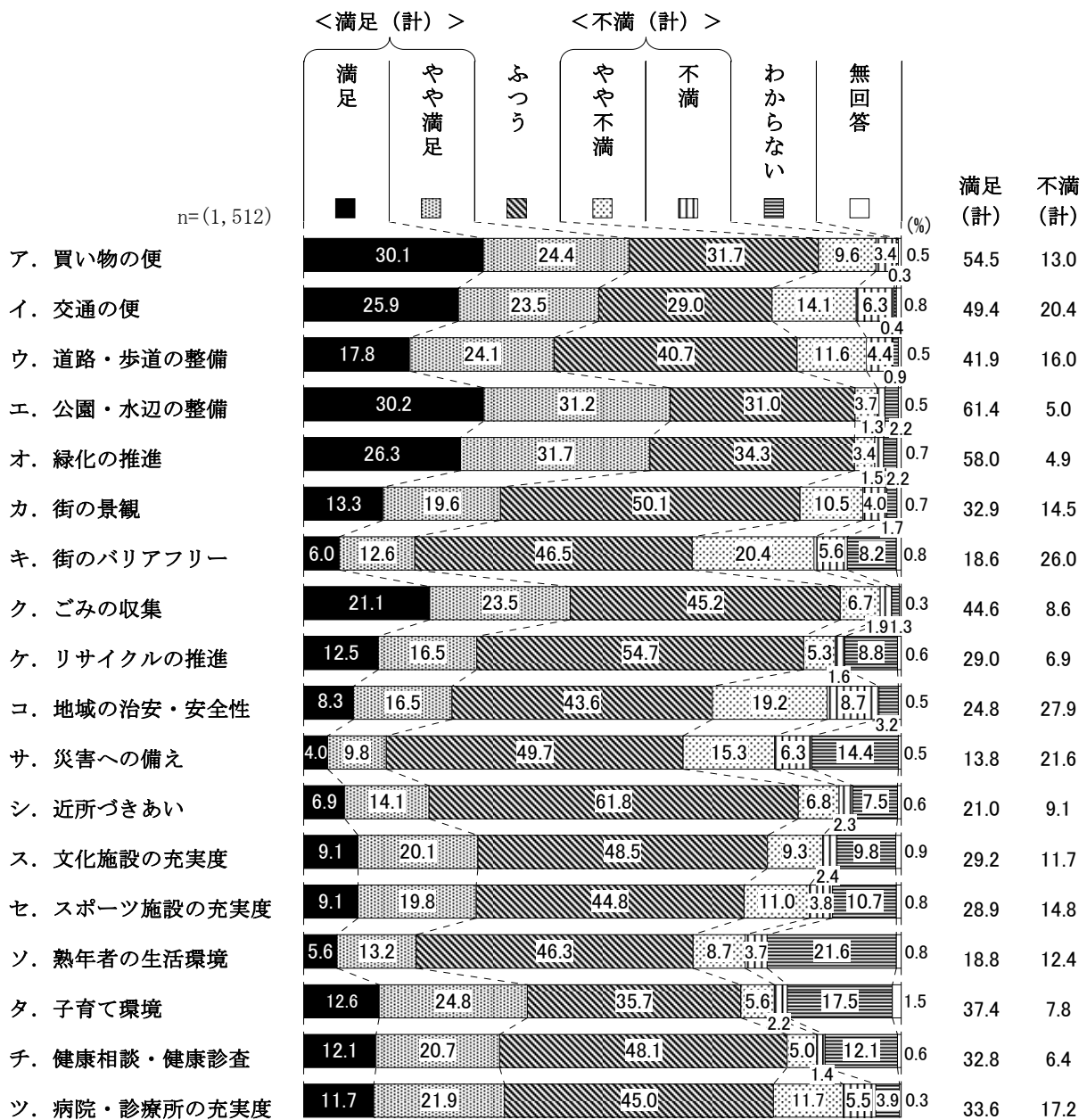
(1) 各項目の満足度

◇【公園・水辺の整備】の〈満足（計）〉が6割を超える

問3 あなたは、ア～ツの各項目の現況について、どの程度満足しているかお答えください。

(それぞれ〇は1つずつ)

<図表2-1> 各項目の満足度



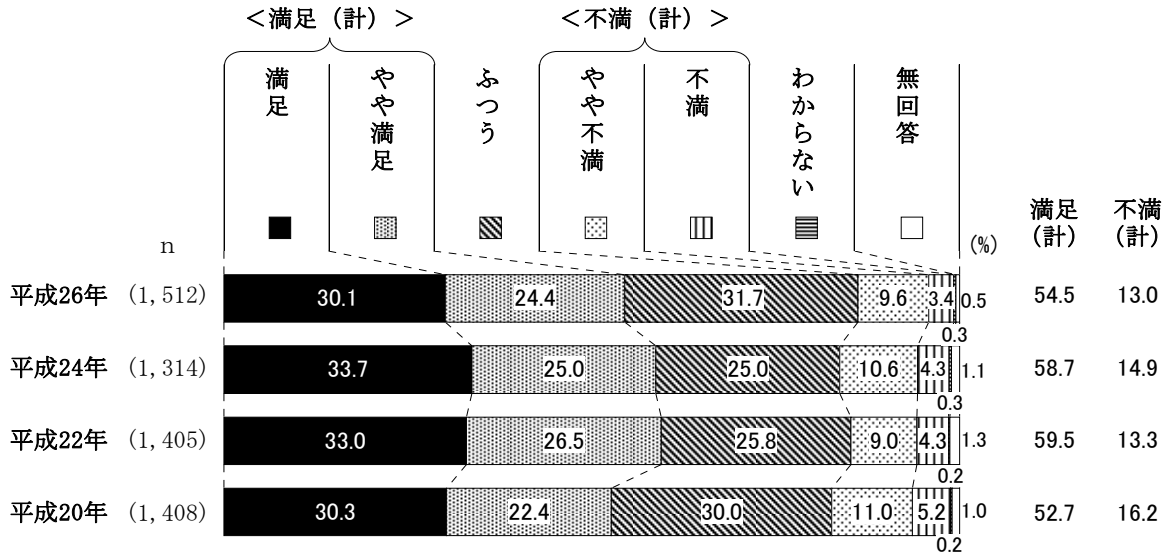
江戸川区の18項目の現況の満足度について聞いたところ、「満足」と「やや満足」を合わせた＜満足（計）＞は、【公園・水辺の整備】（61.4％）で6割を超えて最も高く、次いで【緑化の推進】（58.0％）で約6割、【買い物の便】（54.5％）で5割台半ばとなっている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた＜不満（計）＞は、【地域の治安・安全性】（27.9％）と【街のバリアフリー】（26.0％）で2割台半ばと高く、【災害への備え】（21.6％）で2割強となっており、これらの項目は＜不満（計）＞が＜満足（計）＞よりも高くなっている。（図表2-1）

【ア. 買い物の便／時系列比較】

平成20年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成24年（58.7%）から4.2ポイント減少している。（図表2-2）

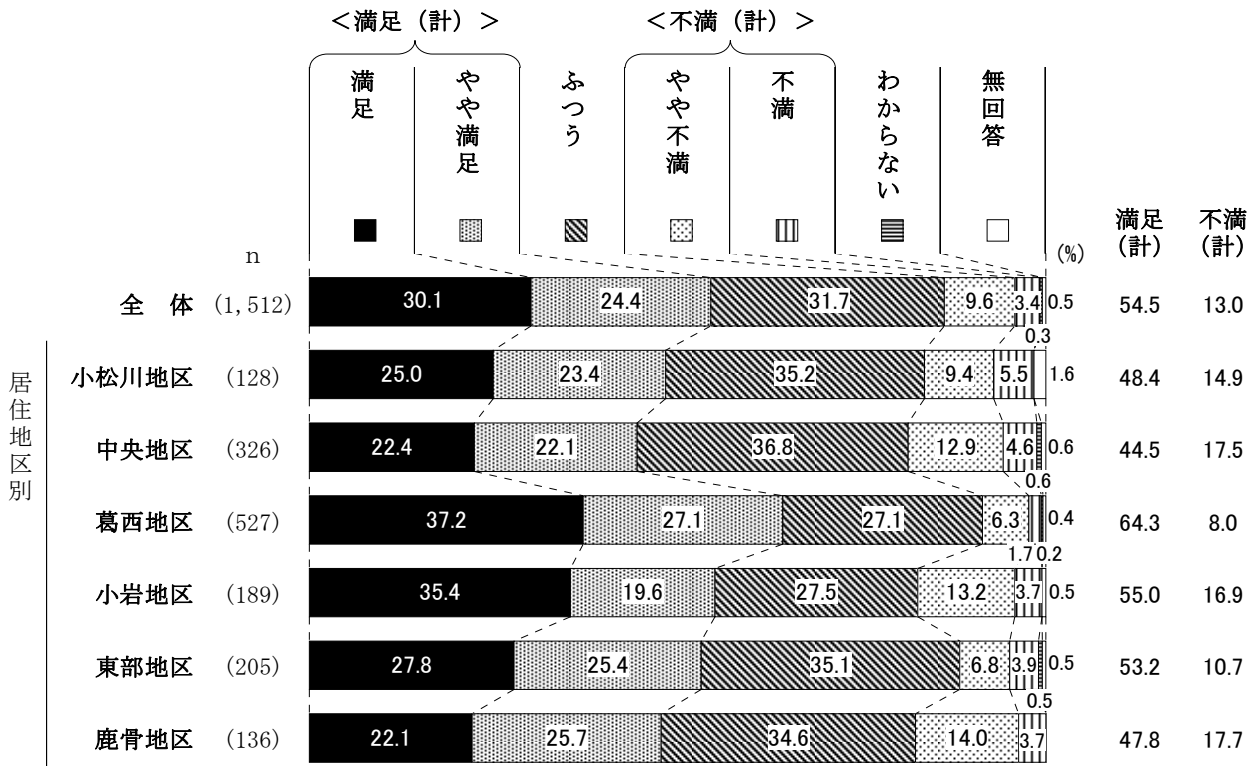
＜図表2-2＞ ア. 買い物の便／時系列比較



【ア. 買い物の便／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（64.3%）で唯一6割を超えて高くなっている。一方、“中央地区”（44.5%）で最も低くなっている。（図表2-3）

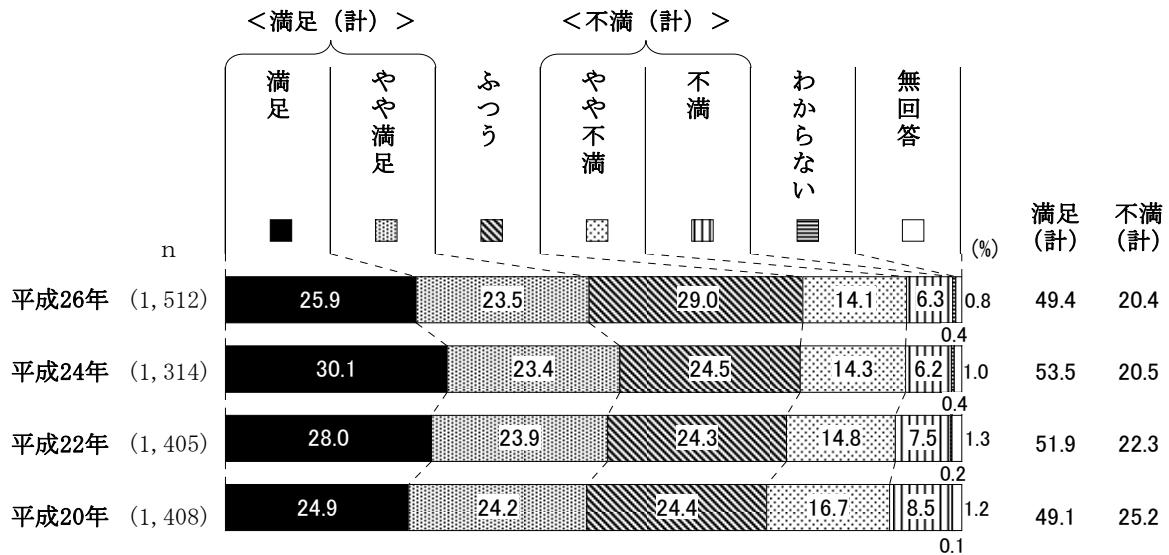
＜図表2-3＞ ア. 買い物の便／居住地区別



【イ. 交通の便／時系列比較】

平成20年からの調査結果を時系列でみると、＜満足（計）＞は前回の平成24年（53.5％）から4.1ポイント減少している。（図表2-4）

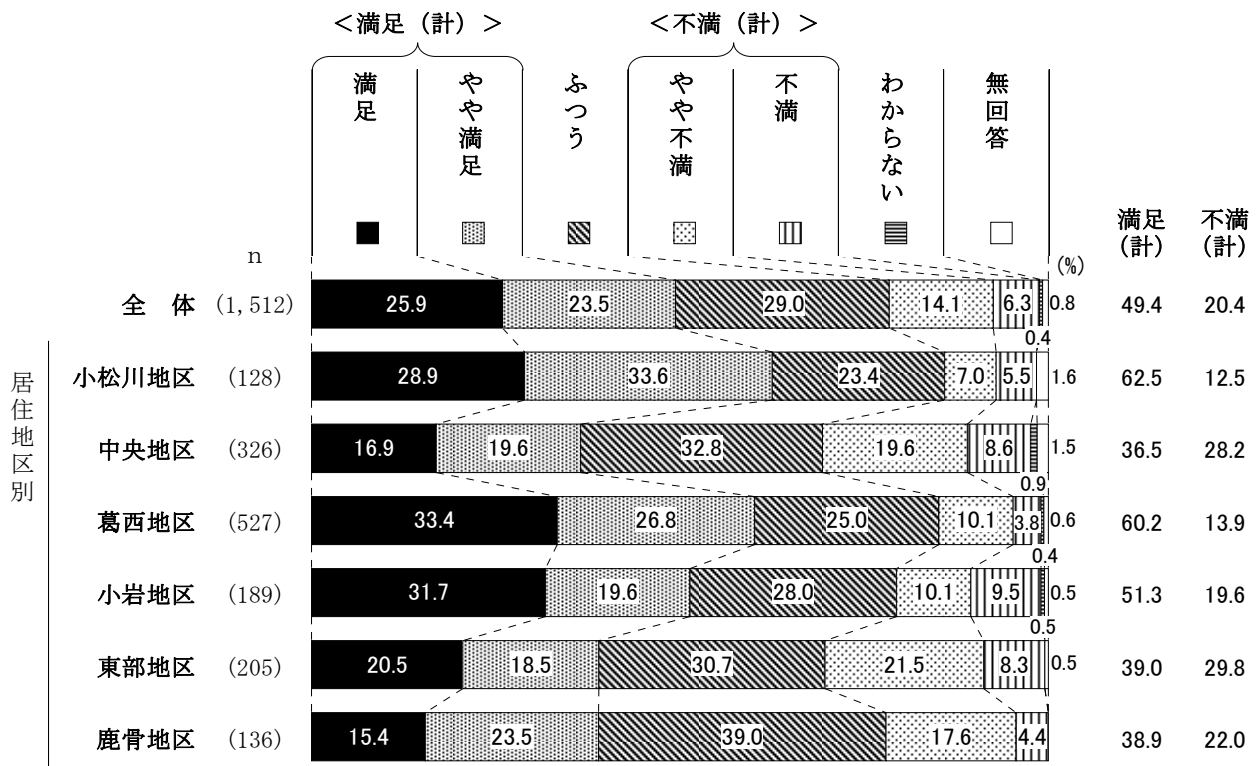
＜図表2-4＞ イ. 交通の便／時系列比較



【イ. 交通の便／居住地区別】

居住地区別にみると、交通の便は＜満足（計）＞は、“小松川地区”（62.5％）と“葛西地区”（60.2％）で6割を超えて高くなっている。一方、“中央地区”（36.5％）で最も低くなっている。（図表2-5）

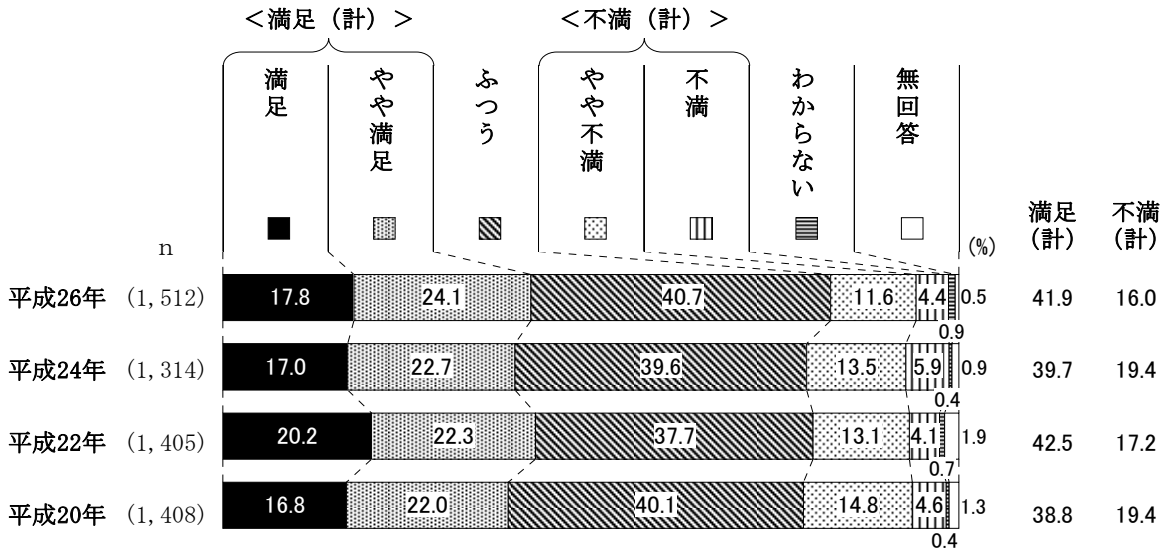
＜図表2-5＞ イ. 交通の便／居住地区別



【ウ. 道路・歩道の整備／時系列比較】

平成20年からの調査結果を時系列で見ると、＜不満（計）＞は前回の平成24年（19.4％）から3.4ポイント減少している。（図表2－6）

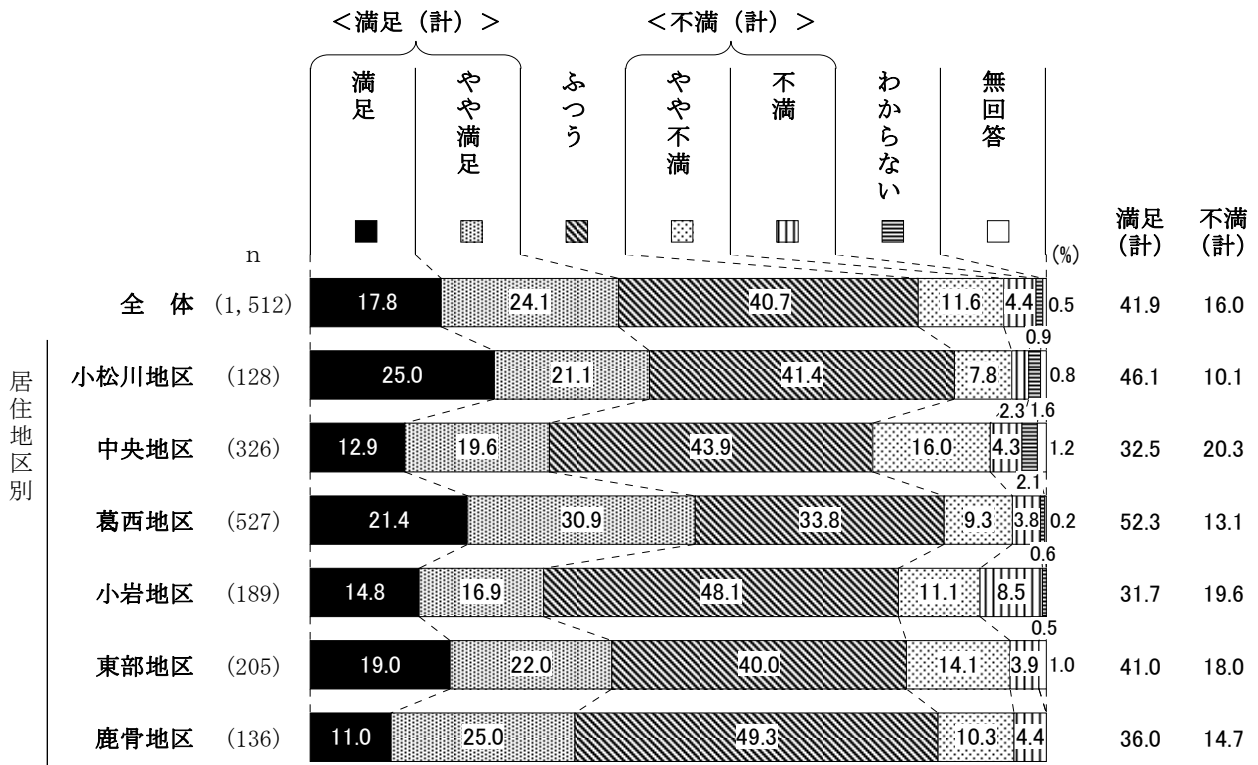
＜図表2－6＞ ウ. 道路・歩道の整備／時系列比較



【ウ. 道路・歩道の整備／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（52.3％）で5割を超えて高くなっている。一方、“小岩地区”（31.7％）と“中央地区”（32.5％）では低くなっている。（図表2－7）

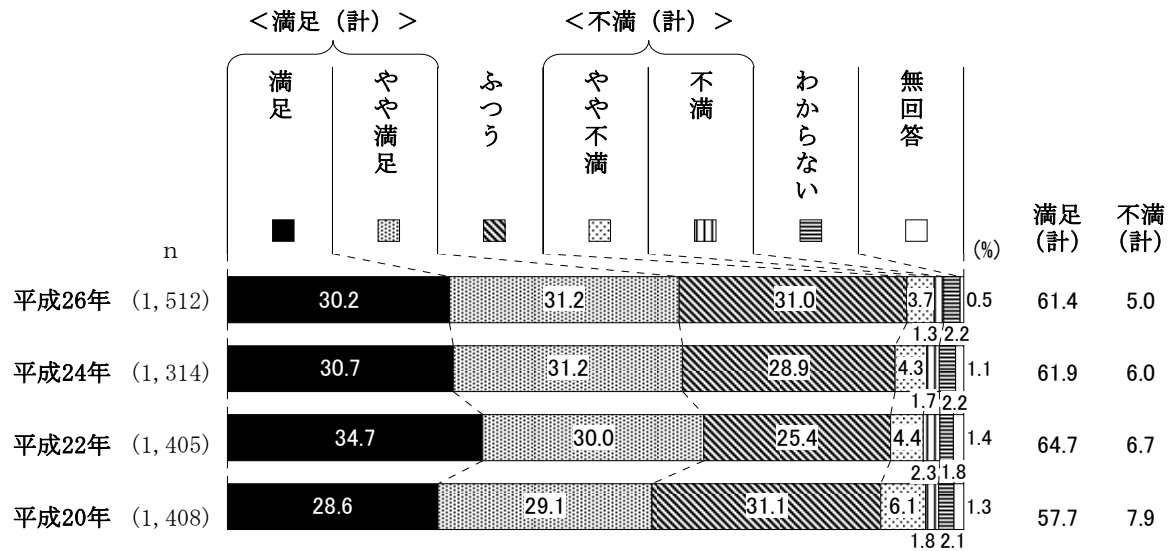
＜図表2－7＞ ウ. 道路・歩道の整備／居住地区別



【エ. 公園・水辺の整備／時系列比較】

平成20年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は平成20年（57.7%）から平成22年（64.7%）は増加したものの、平成24年（61.9%）、平成26年（61.4%）と減少している。（図表2-8）

＜図表2-8＞ エ. 公園・水辺の整備／時系列比較

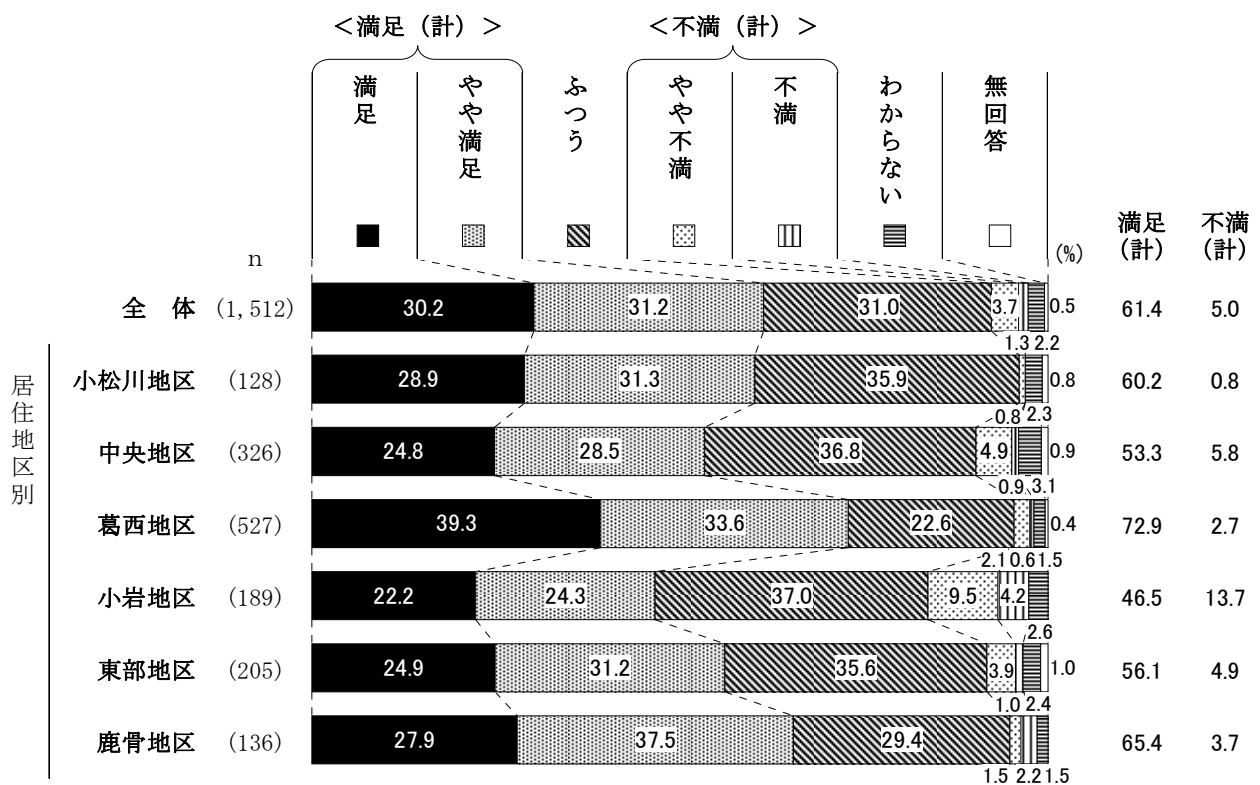


【エ. 公園・水辺の整備／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（72.9%）で7割を超えて最も高く、次いで“鹿骨地区”（65.4%）で6割台半ばとなっている。一方、“小岩地区”（46.5%）で最も低くなっている。

（図表2-9）

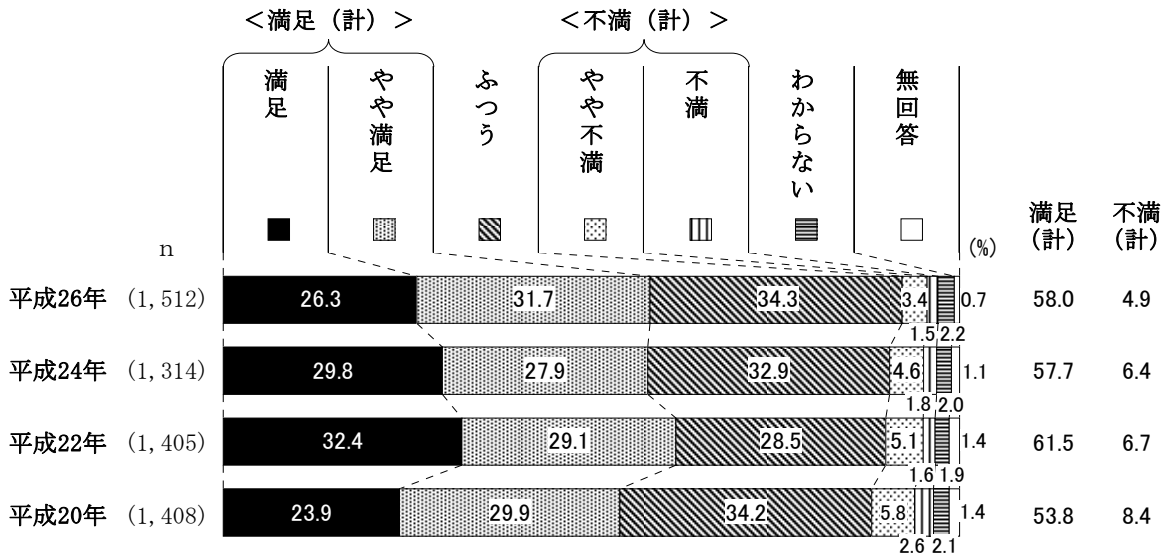
＜図表2-9＞ エ. 公園・水辺の整備／居住地区別



【オ. 緑化の推進／時系列比較】

平成20年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は平成20年（53.8%）から平成22年（61.5%）は増加したものの、平成24年（57.7%）に減少し、平成24年と平成26年（58.0%）はほぼ変化していない。（図表2-10）

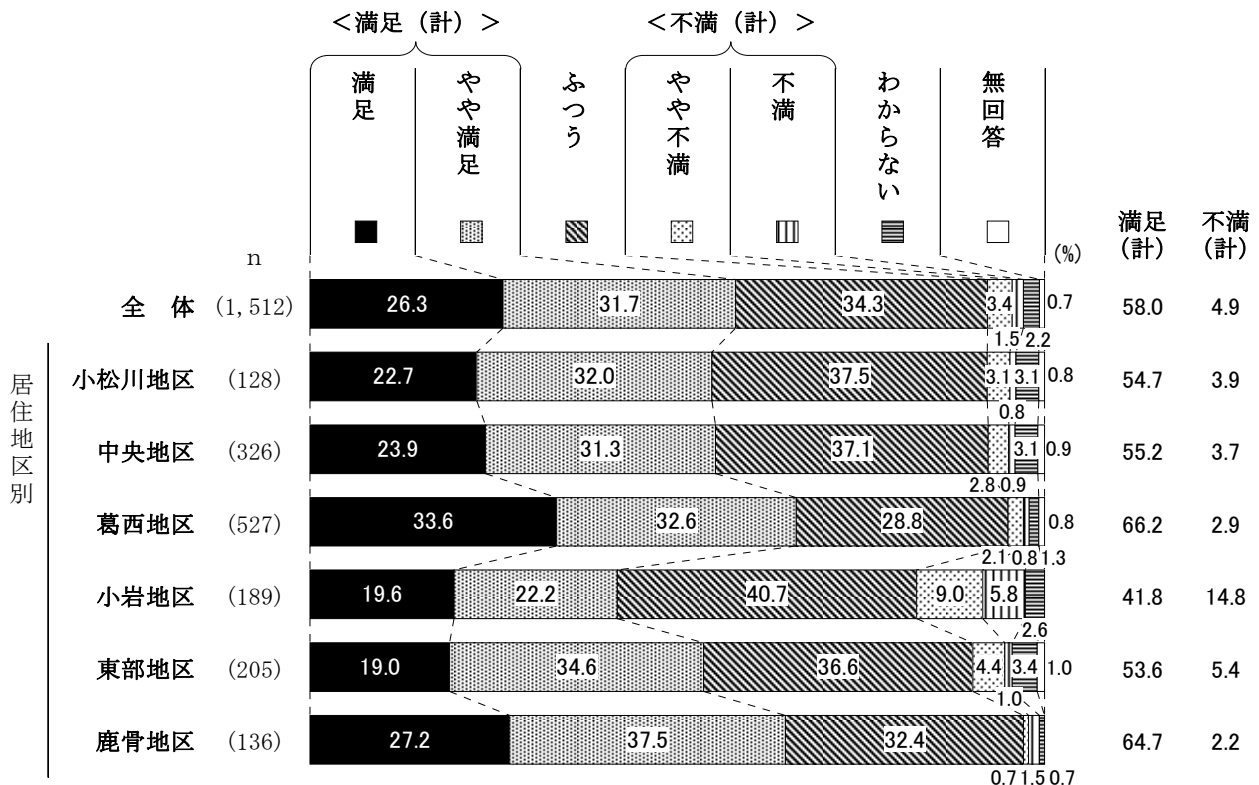
＜図表2-10＞ オ. 緑化の推進／時系列比較



【オ. 緑化の推進／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（66.2%）で6割台半ばと最も高くなっている。一方、“小岩地区”（41.8%）で最も低くなっている。（図表2-11）

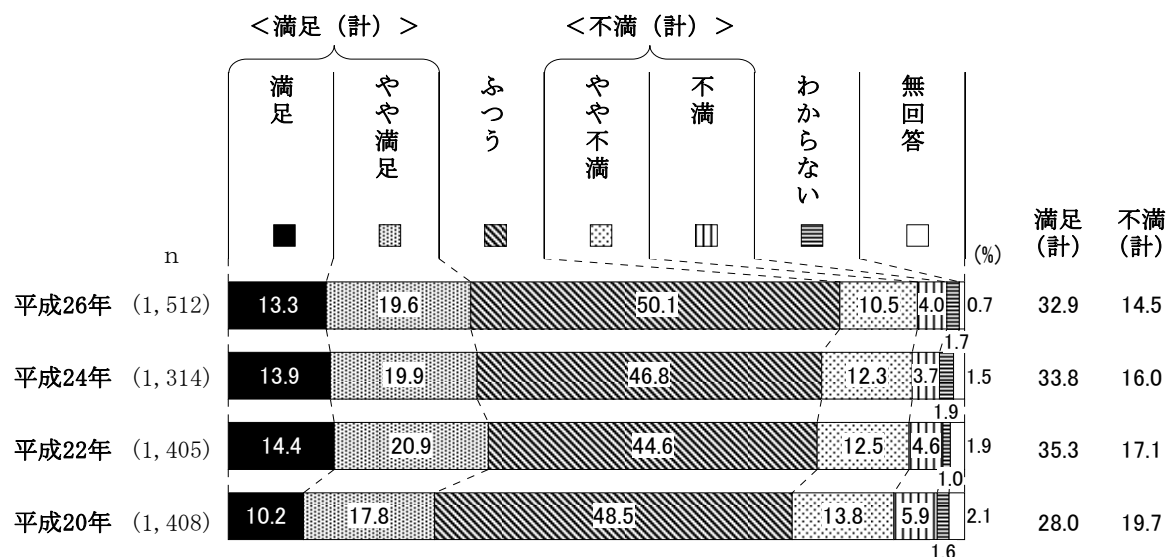
＜図表2-11＞ オ. 緑化の推進／居住地区別



【カ. 街の景観／時系列比較】

平成20年からの調査結果を時系列でみると、＜満足（計）＞は平成20年（28.0％）から平成22年（35.3％）は増加したものの、平成24年（33.8％）、平成26年（32.9％）と減少している。（図表2-12）

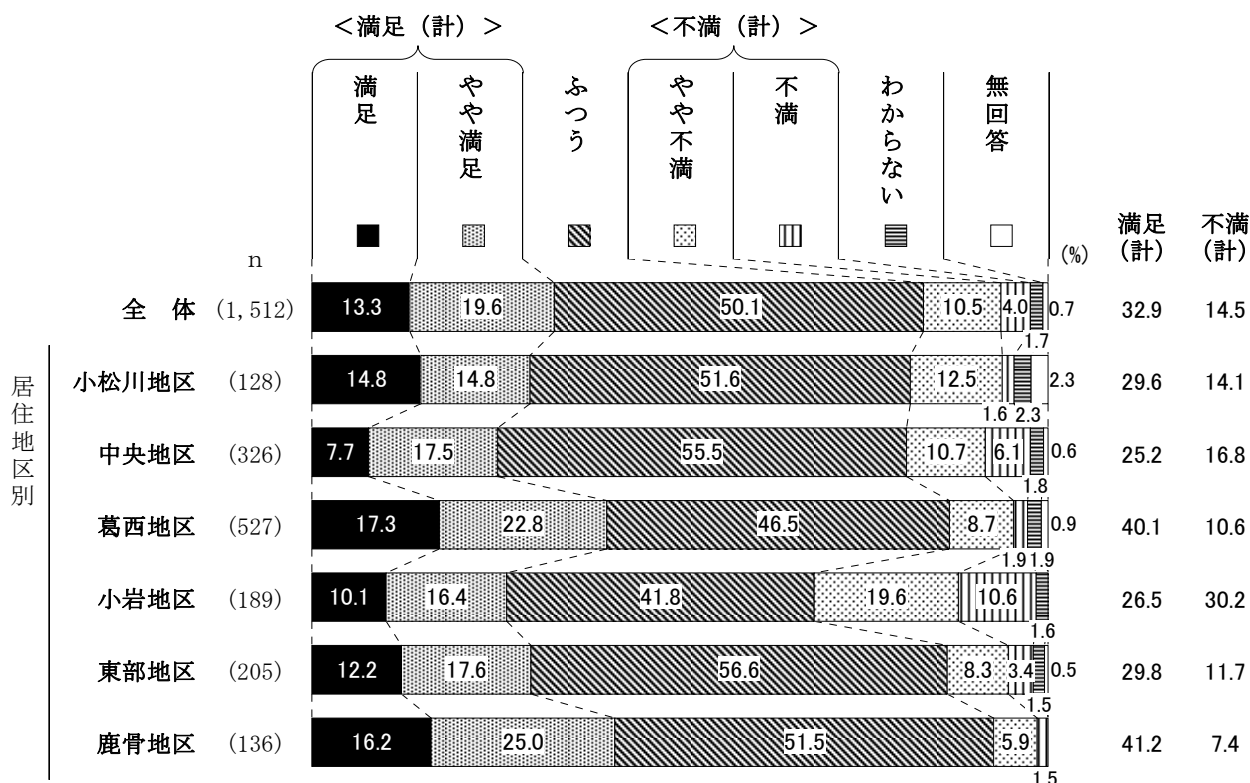
＜図表2-12＞ カ. 街の景観／時系列比較



【カ. 街の景観／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“鹿骨地区”（41.2％）で4割を超えて最も高くなっている。一方、“中央地区”（25.2％）で最も低くなっている。（図表2-13）

＜図表2-13＞ カ. 街の景観／居住地区別

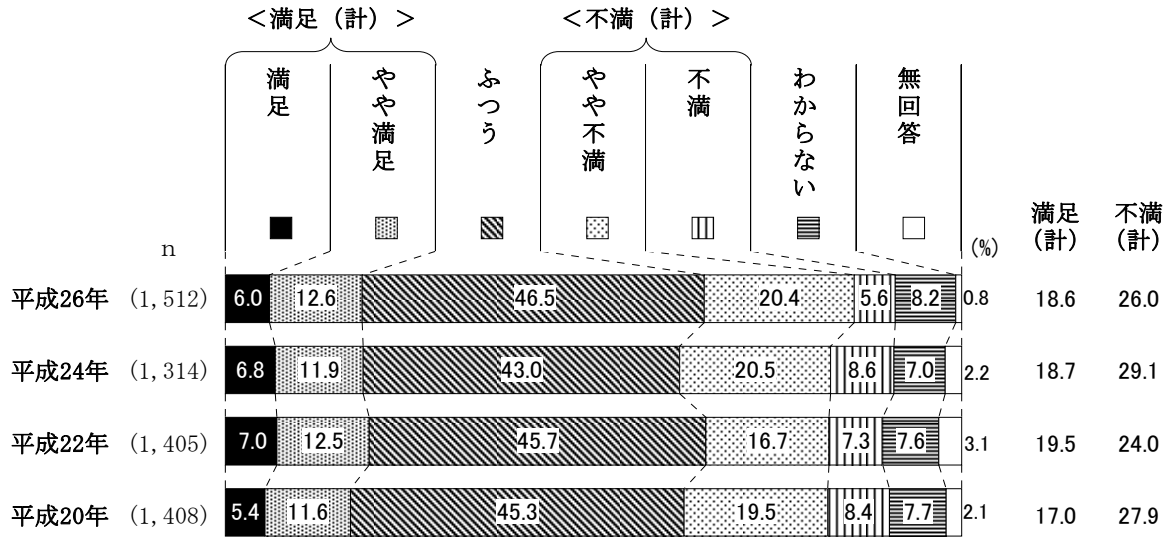


【キ. 街のバリアフリー／時系列比較】

平成20年からの調査結果を時系列でみると、＜満足（計）＞は大きな変化はみられない。

（図表 2-14）

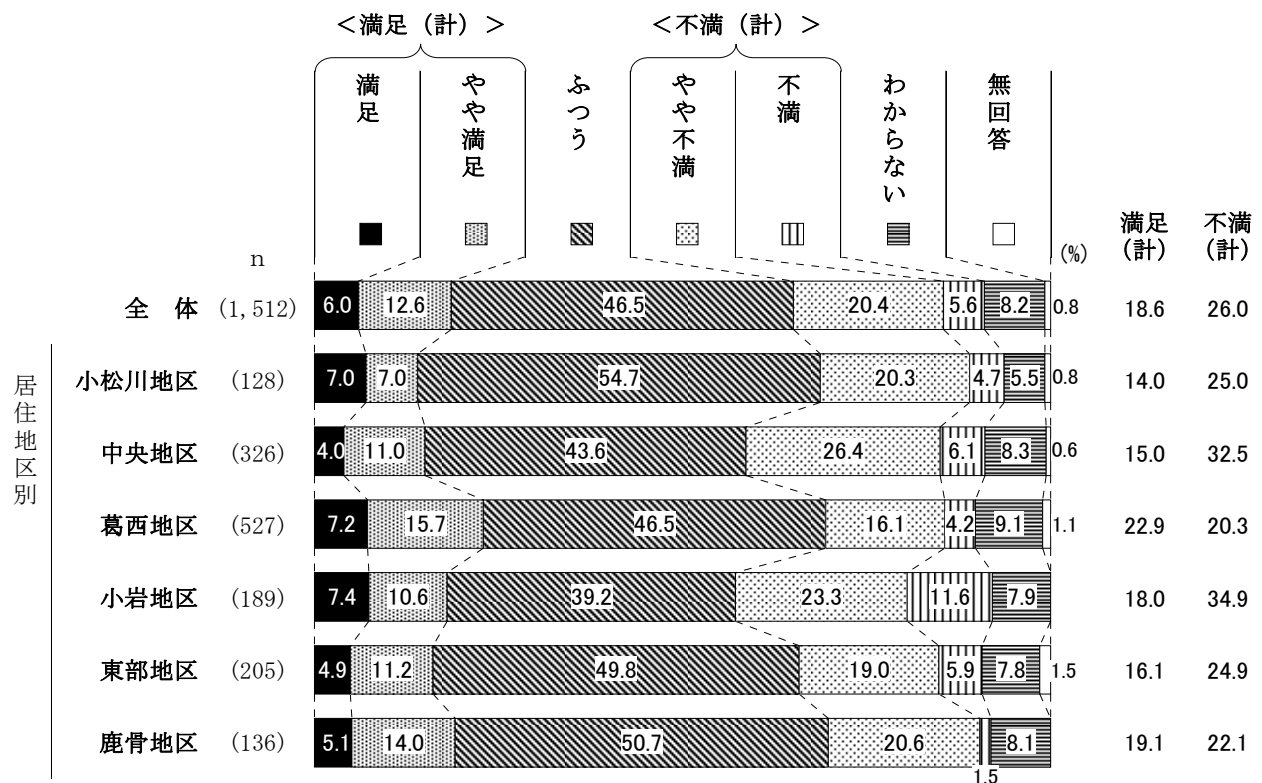
＜図表 2-14＞ キ. 街のバリアフリー／時系列比較



【キ. 街のバリアフリー／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（22.9%）で2割を超えて高くなっている。一方、“小松川地区”（14.0%）で最も低くなっている。（図表 2-15）

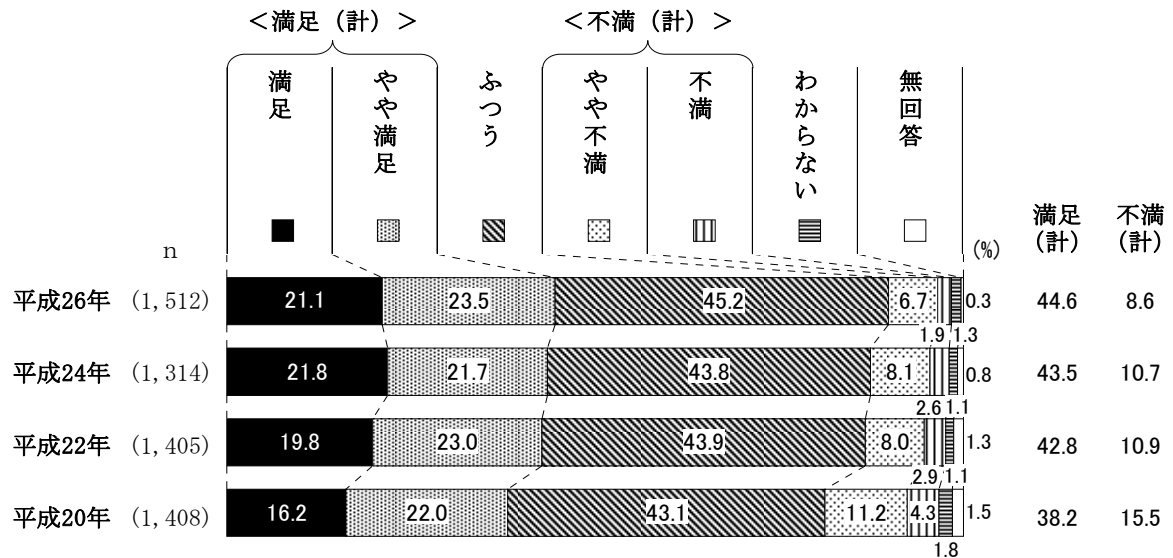
＜図表 2-15＞ キ. 街のバリアフリー／居住地区別



【ク. ごみの収集／時系列比較】

平成20年からの調査結果を時系列でみると、＜満足（計）＞は微増傾向にある。（図表2-16）

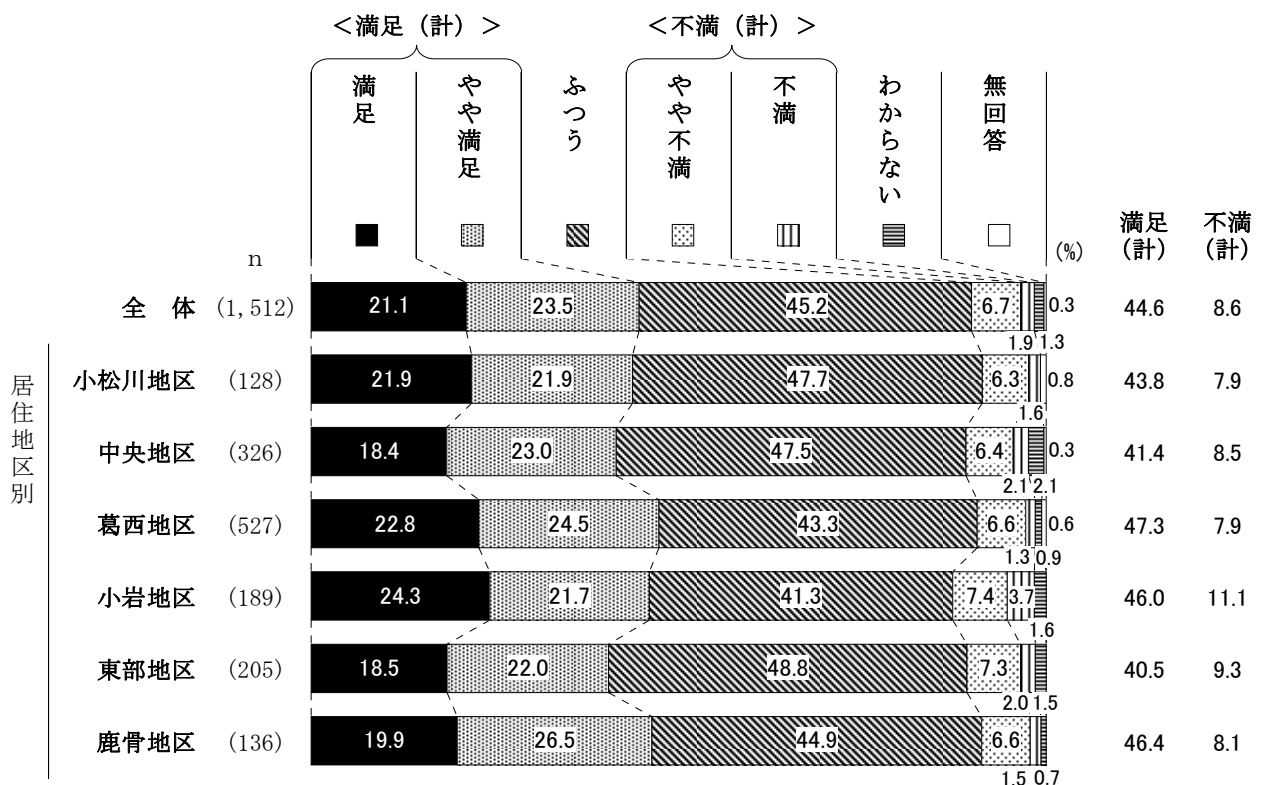
＜図表2-16＞ ク. ごみの収集／時系列比較



【ク. ごみの収集／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（47.3%）で4割台半ばを超えて最も高く、次いで“鹿骨地区”（46.4%）と“小岩地区”（46.0%）でも4割台半ばとなっている。一方、“東部地区”（40.5%）で最も低くなっている。（図表2-17）

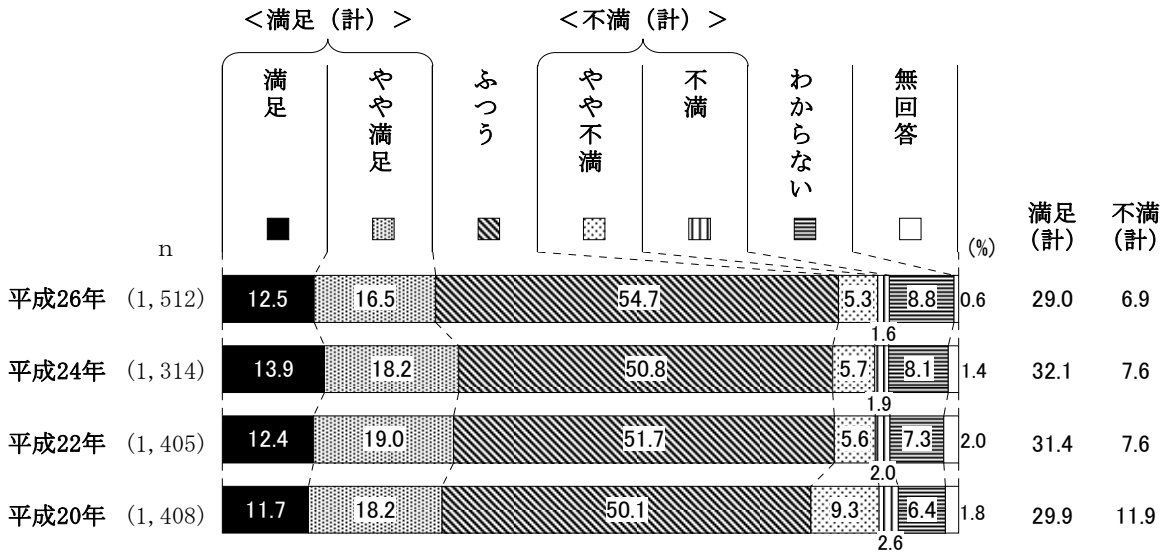
＜図表2-17＞ ク. ごみの収集／居住地区別



【ケ. リサイクルの推進／時系列比較】

平成20年からの調査結果を時系列で見ると、〈満足（計）〉は前回の平成24年（32.1%）よりやや減少している。（図表2-18）

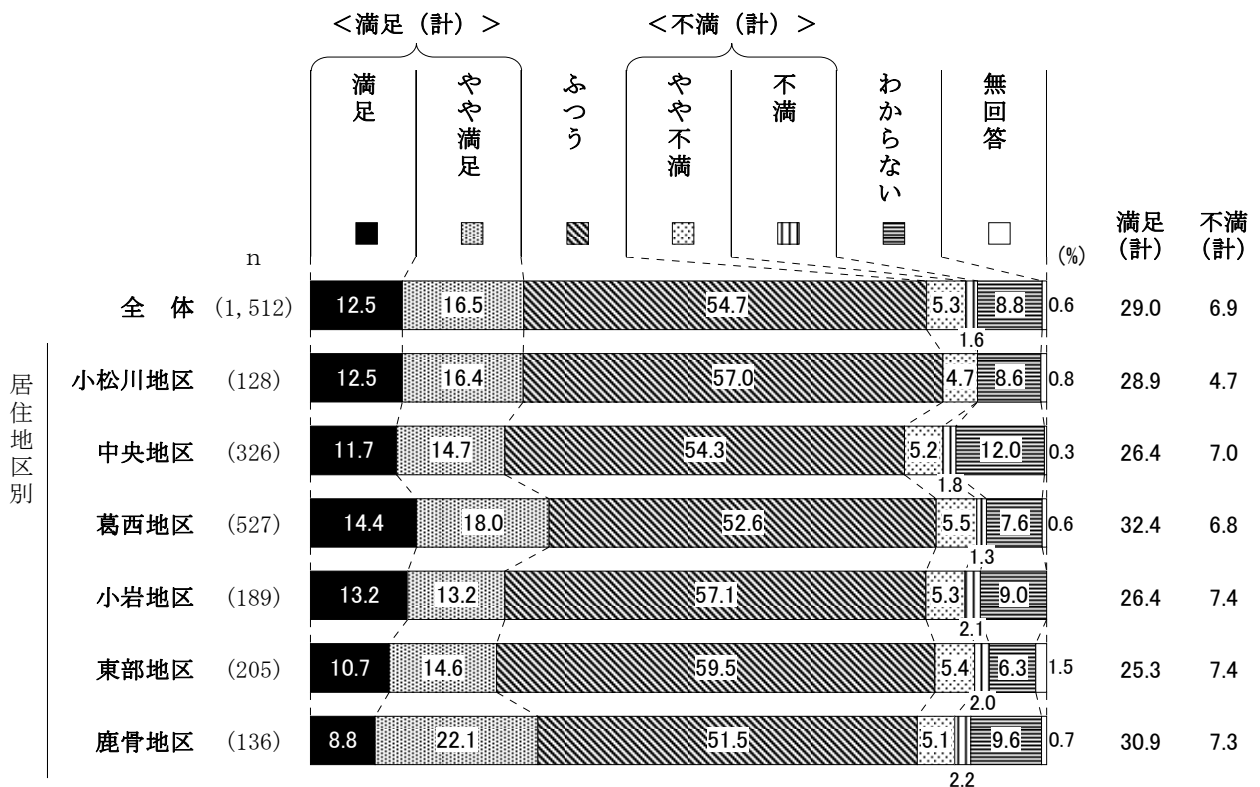
＜図表2-18＞ ケ. リサイクルの推進／時系列比較



【ケ. リサイクルの推進／居住地区別】

居住地区別にみると、〈満足（計）〉は、“葛西地区”（32.4%）で3割を超えて最も高くなっている。一方、“東部地区”（25.3%）で最も低くなっている。（図表2-19）

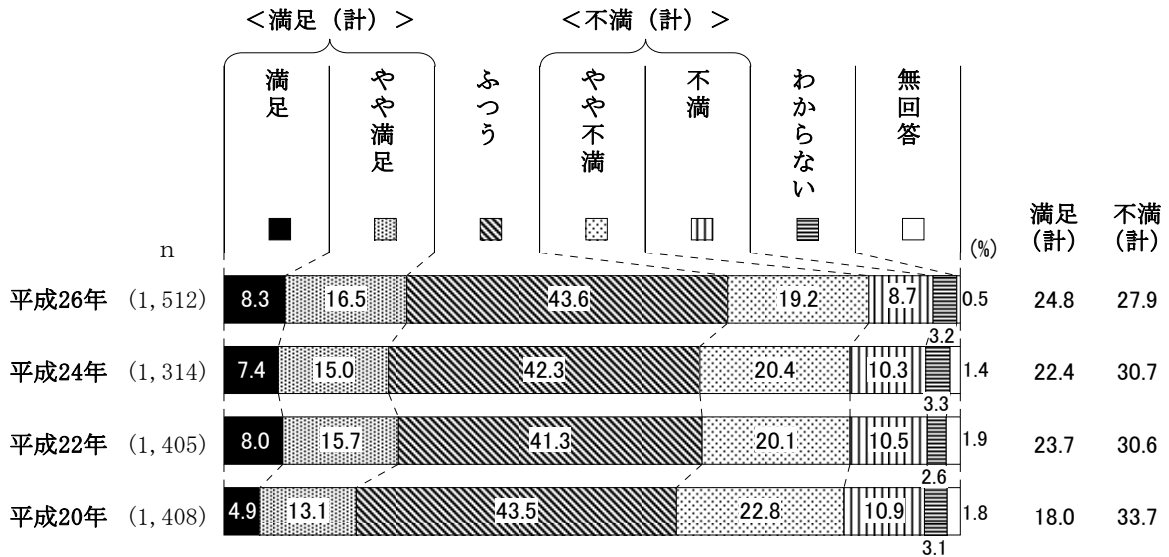
＜図表2-19＞ ケ. リサイクルの推進／居住地区別



【コ. 地域の治安・安全性／時系列比較】

平成20年からの調査結果を時系列でみると、＜満足（計）＞は前回の平成24年（22.4％）からやや増加している。（図表2-20）

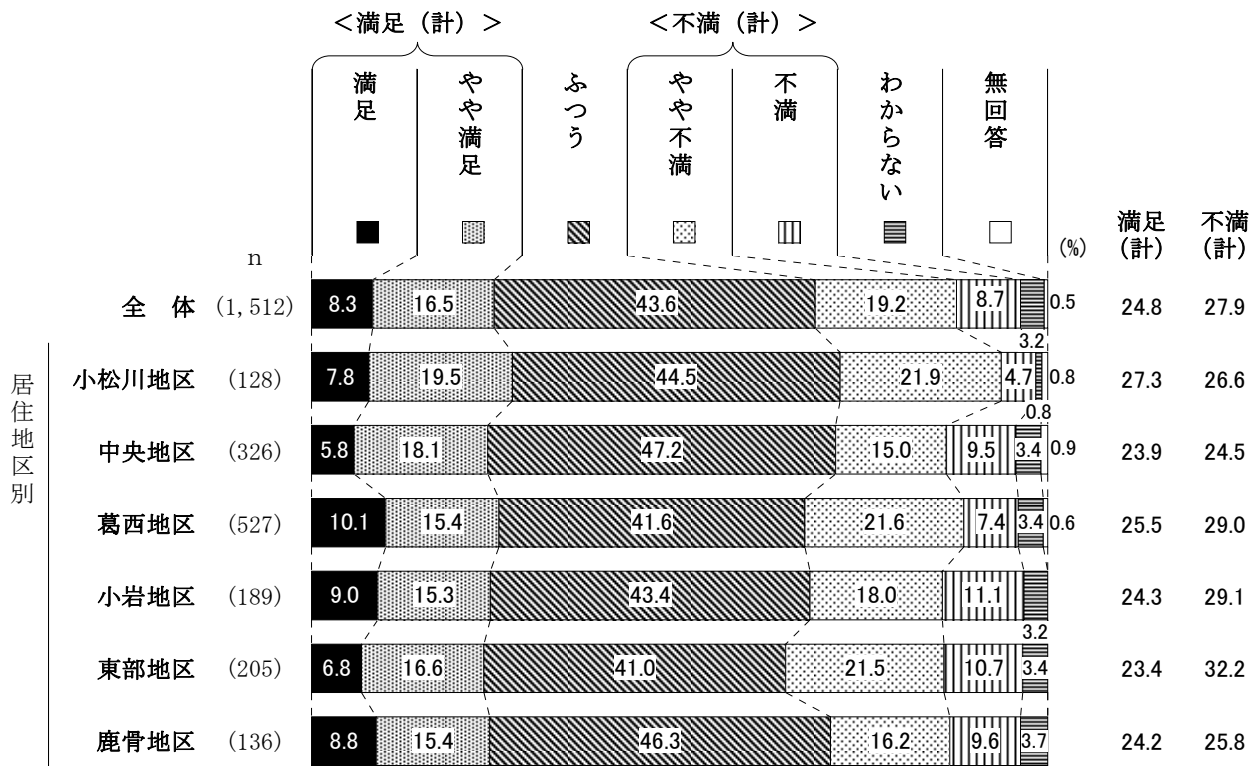
＜図表2-20＞ コ. 地域の治安・安全性／時系列比較



【コ. 地域の治安・安全性／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“小松川地区”（27.3％）で2割台半ばを超えて高くなっている。一方、“東部地区”（23.4％）で最も低くなっている。（図表2-21）

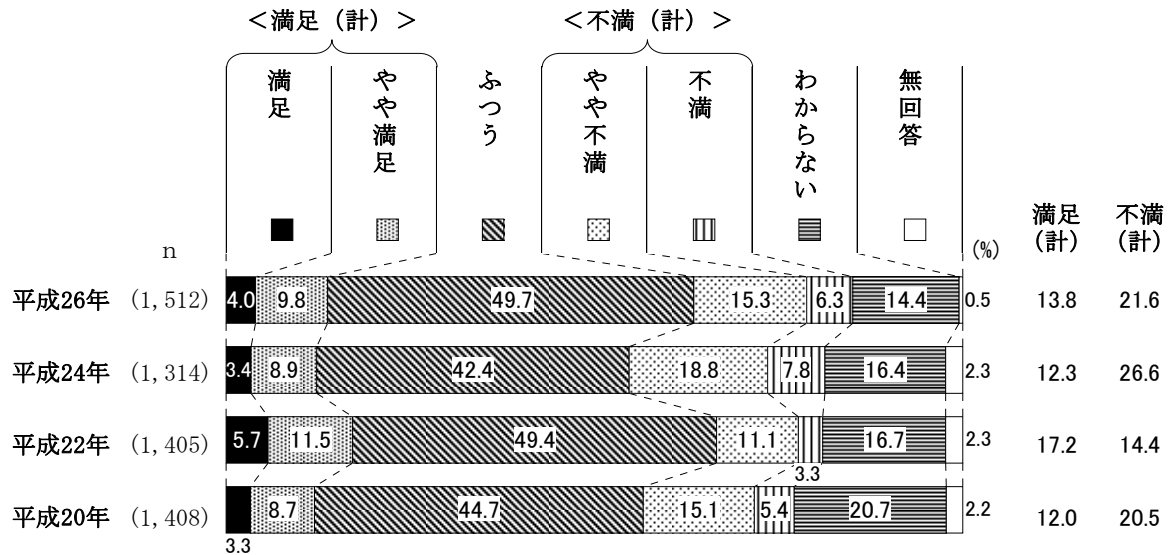
＜図表2-21＞ コ. 地域の治安・安全性／居住地区別



【サ. 災害への備え／時系列比較】

平成20年からの調査結果を時系列でみると、＜満足（計）＞は平成22年（17.2％）で高くなっているが、それ以外の年にあまり変化はみられない。（図表2-22）

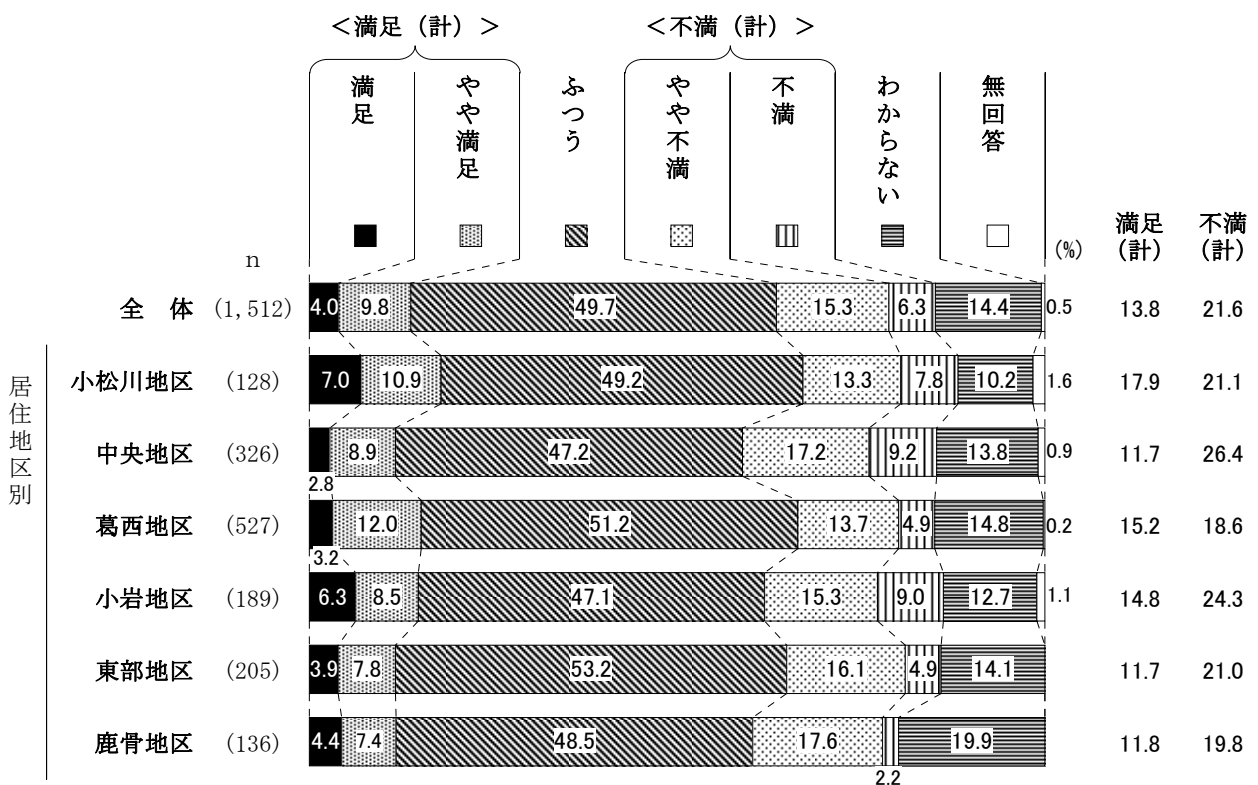
＜図表2-22＞ サ. 災害への備え／時系列比較



【サ. 災害への備え／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“小松川地区”（17.9％）で1割台半ばを超えて最も高いが、いずれの地区も＜不満（計）＞を下回っている。（図表2-23）

＜図表2-23＞ サ. 災害への備え／居住地区別

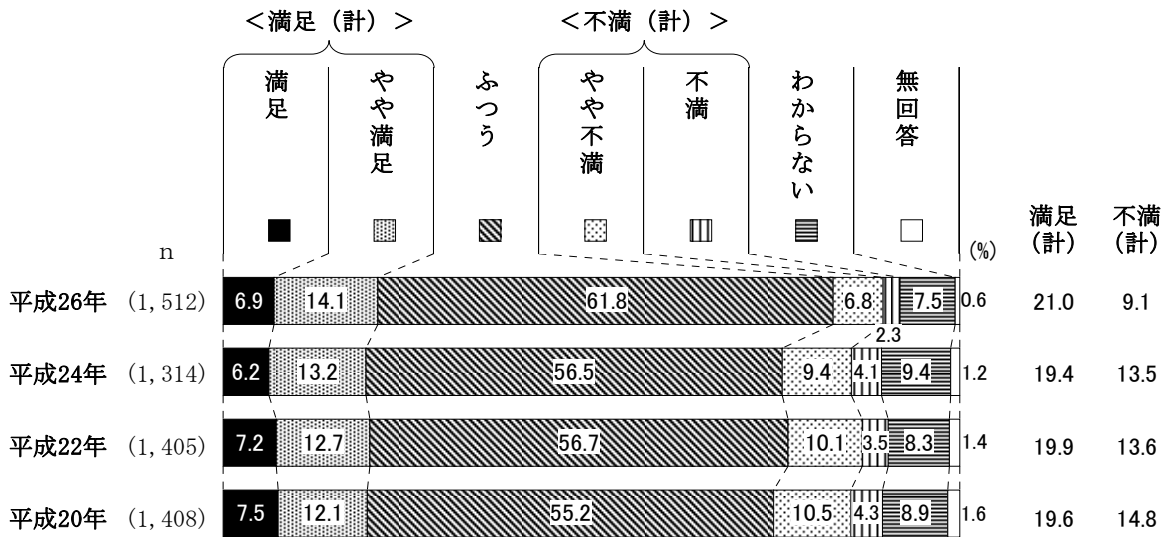


【シ. 近所づきあい／時系列比較】

平成20年からの調査結果を時系列でみると、＜満足（計）＞は大きな変化はみられない。

（図表 2-24）

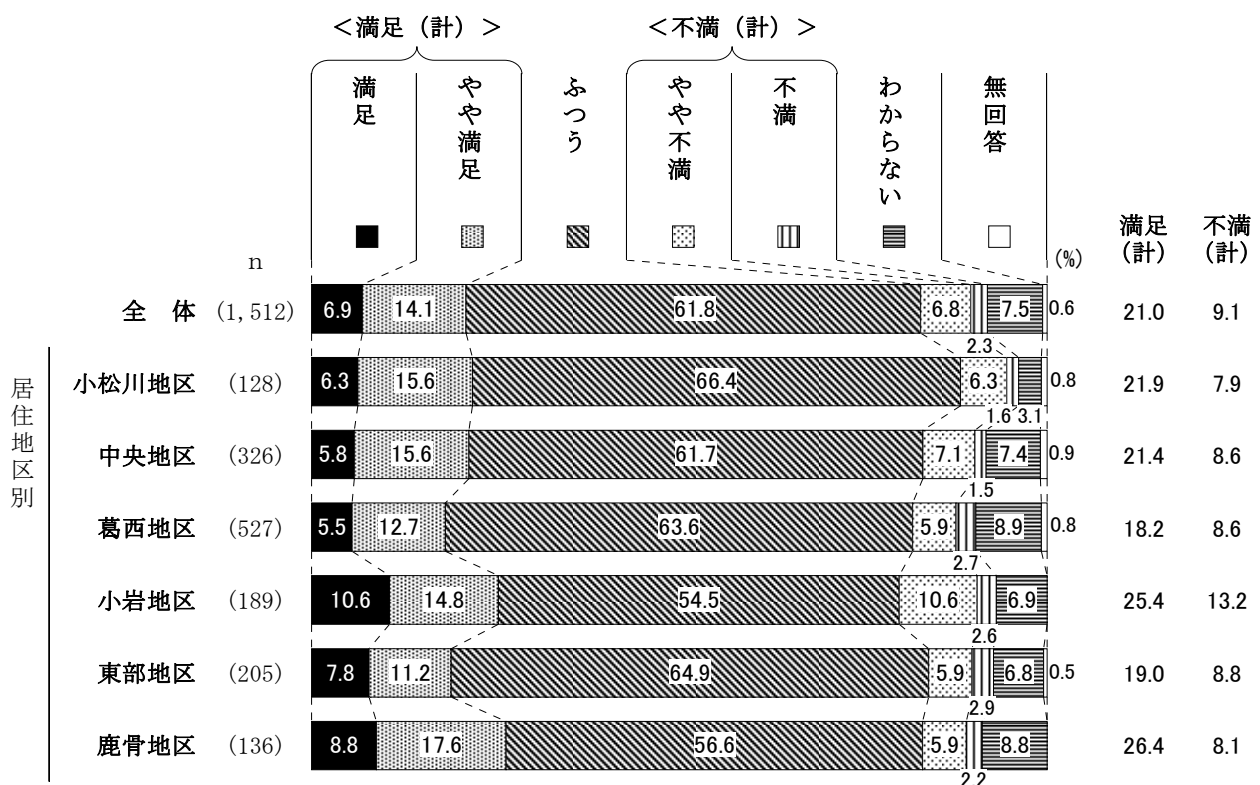
＜図表 2-24＞ シ. 近所づきあい・助けあい／時系列比較



【シ. 近所づきあい／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“鹿骨地区”（26.4%）で2割台半ばと最も高くなっている。一方、“葛西地区”（18.2%）で最も低くなっている。（図表 2-25）

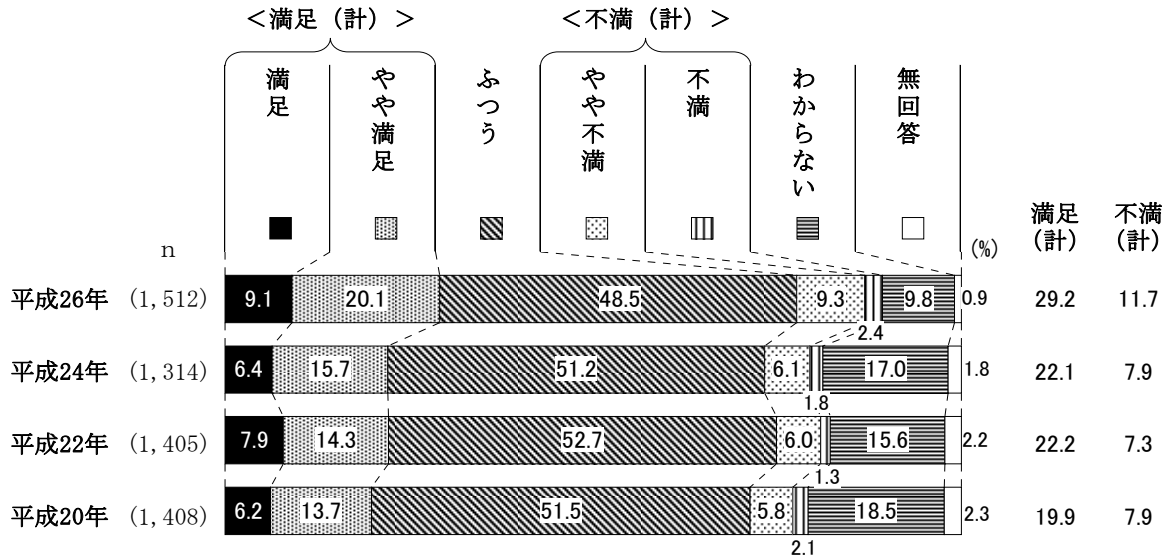
＜図表 2-25＞ シ. 近所づきあい／居住地区別



【ス. 文化施設の充実度／時系列比較】※平成24年以前の項目名は“文化活動の充実度”

平成20年からの調査結果を時系列でみると、＜満足（計）＞は平成24年（22.1%）より7.1ポイント増加している。（図表2-26）

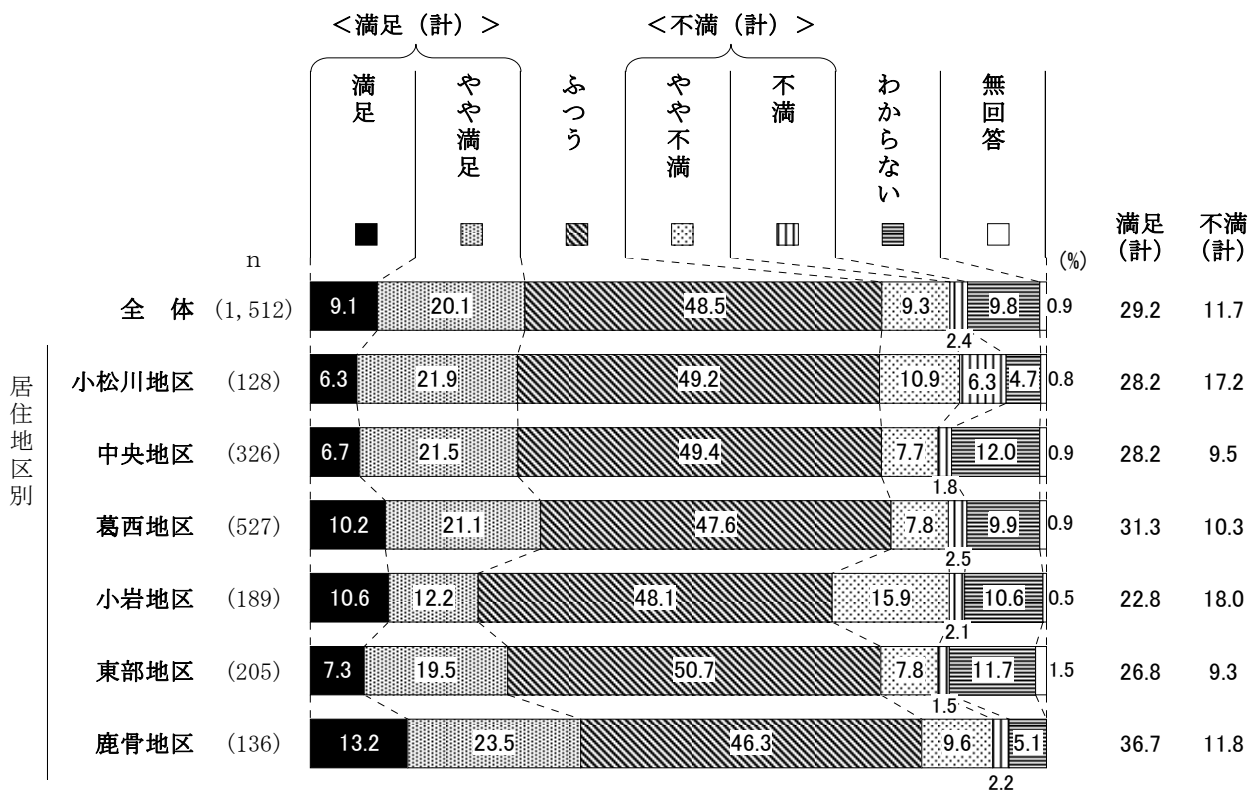
＜図表2-26＞ ス. 文化施設の充実度／時系列比較



【ス. 文化施設の充実度／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“鹿骨地区”（36.7%）で3割台半ばと最も高くなっている。一方、“小岩地区”（22.8%）で最も低くなっている。（図表2-27）

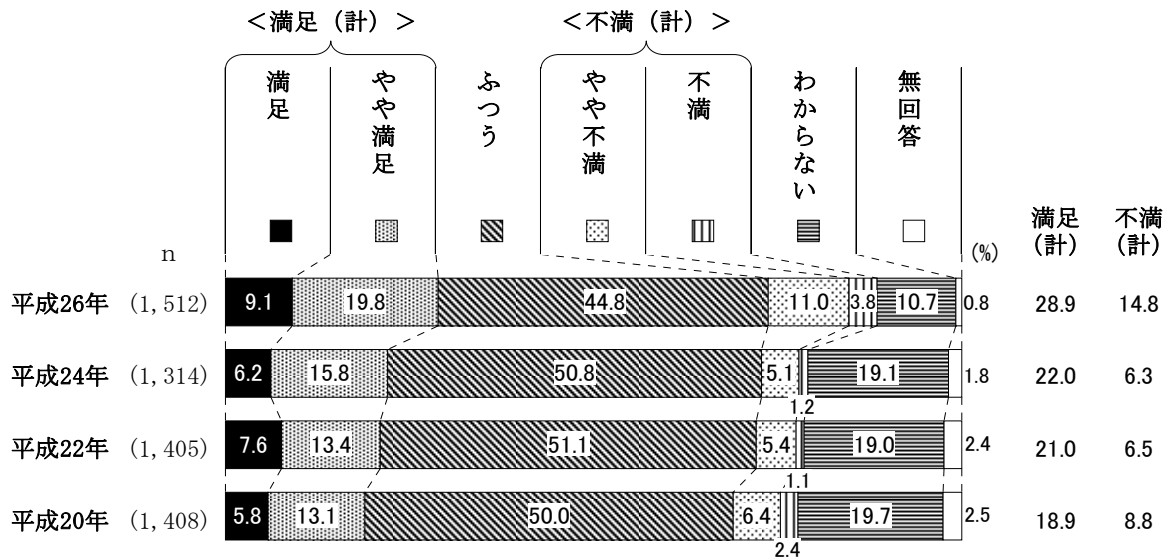
＜図表2-27＞ ス. 文化施設の充実度／居住地区別



【セ. スポーツ施設の充実度／時系列比較】※平成24年以前の項目名は“スポーツ活動の充実度”

平成20年からの調査結果を時系列でみると、＜満足（計）＞は平成24年（22.0％）より6.9ポイント増加している。（図表2-28）

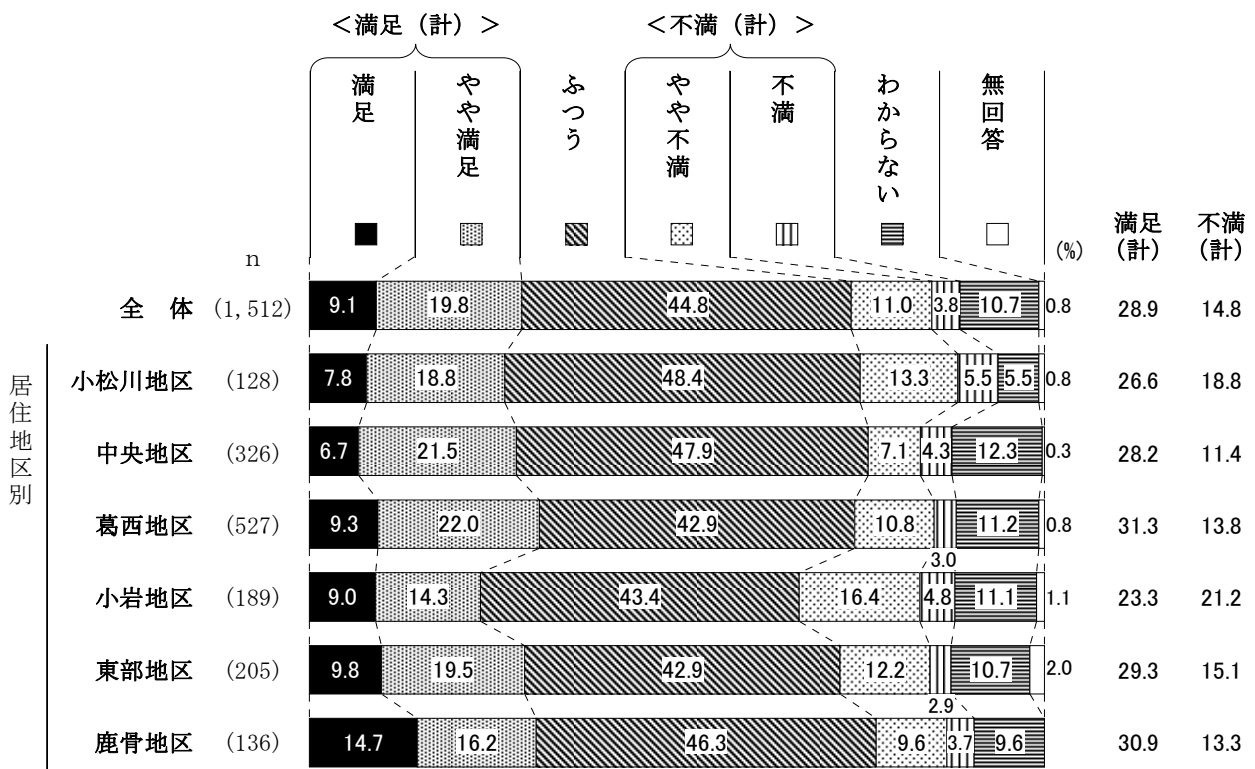
＜図表2-28＞ セ. スポーツ施設の充実度／時系列比較



【セ. スポーツ施設の充実度／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（31.3％）が3割を超えて最も高くなっている。一方、“小岩地区”（23.3％）で最も低くなっている。（図表2-29）

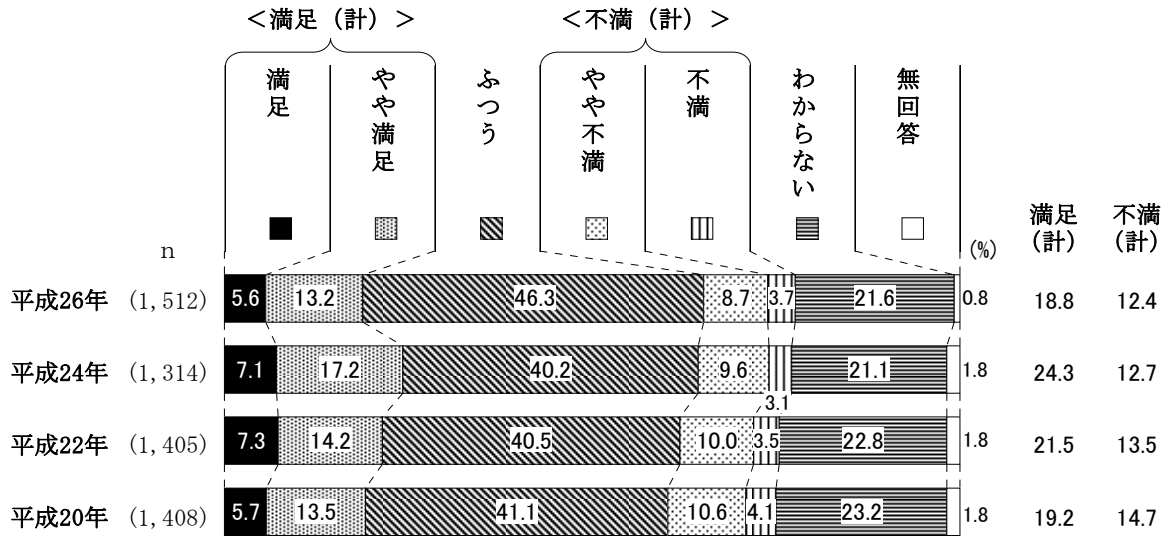
＜図表2-29＞ セ. スポーツ施設の充実度／居住地区別



【ソ. 熟年者の生活環境／時系列比較】

平成20年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は平成24年まで増加傾向にあったが、平成26年（18.8%）は平成24年（24.3%）より5.5ポイント減少している。（図表2-30）

＜図表2-30＞ ソ. 熟年者の生活環境／時系列比較

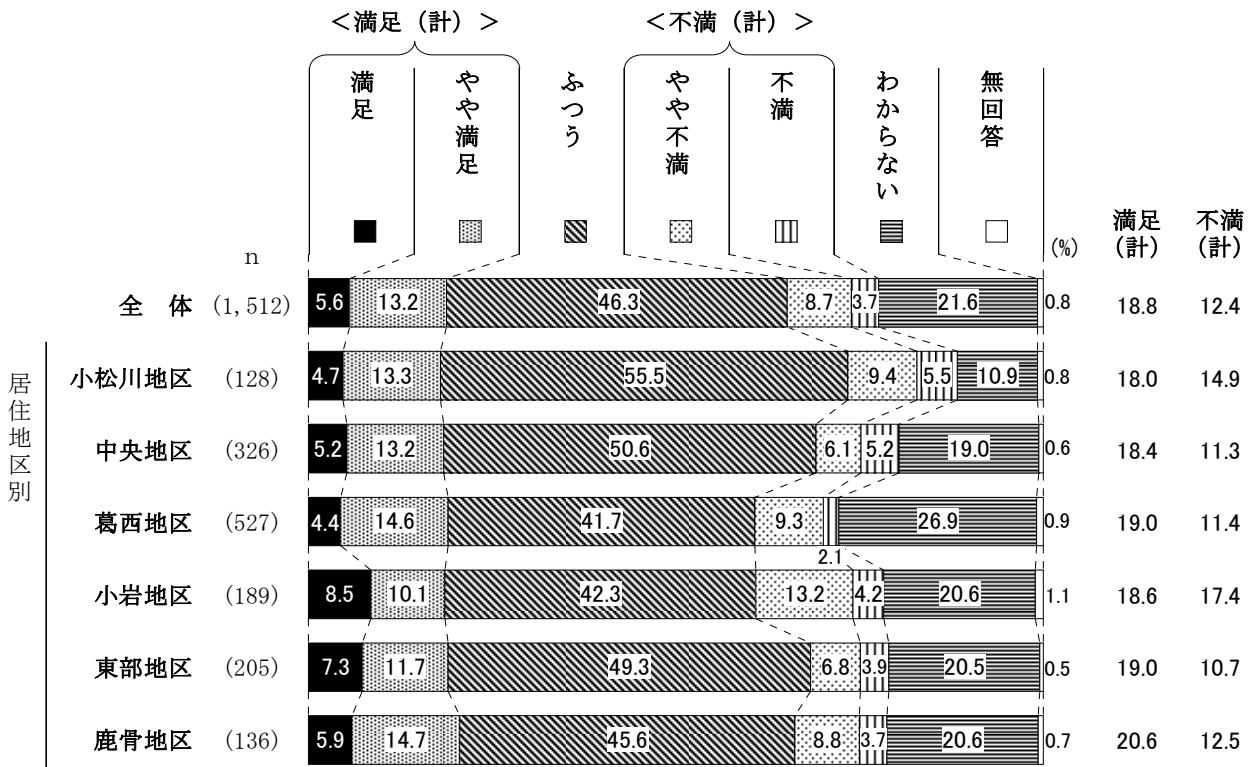


【ソ. 熟年者の生活環境／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、いずれの地区も2割前後で大きな違いはみられない。

（図表2-31）

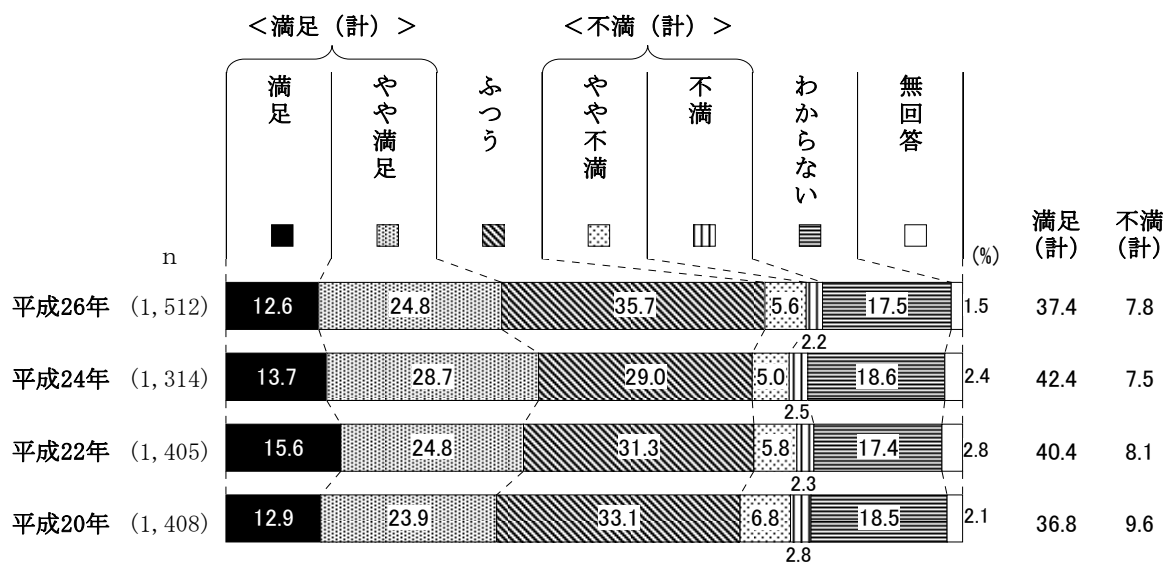
＜図表2-31＞ ソ. 熟年者の生活環境／居住地区別



【タ. 子育て環境／時系列比較】

平成20年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は平成24年まで増加傾向にあったが、平成26年（37.4％）は平成24年（42.4％）より5.0ポイント減少している。（図表2-32）

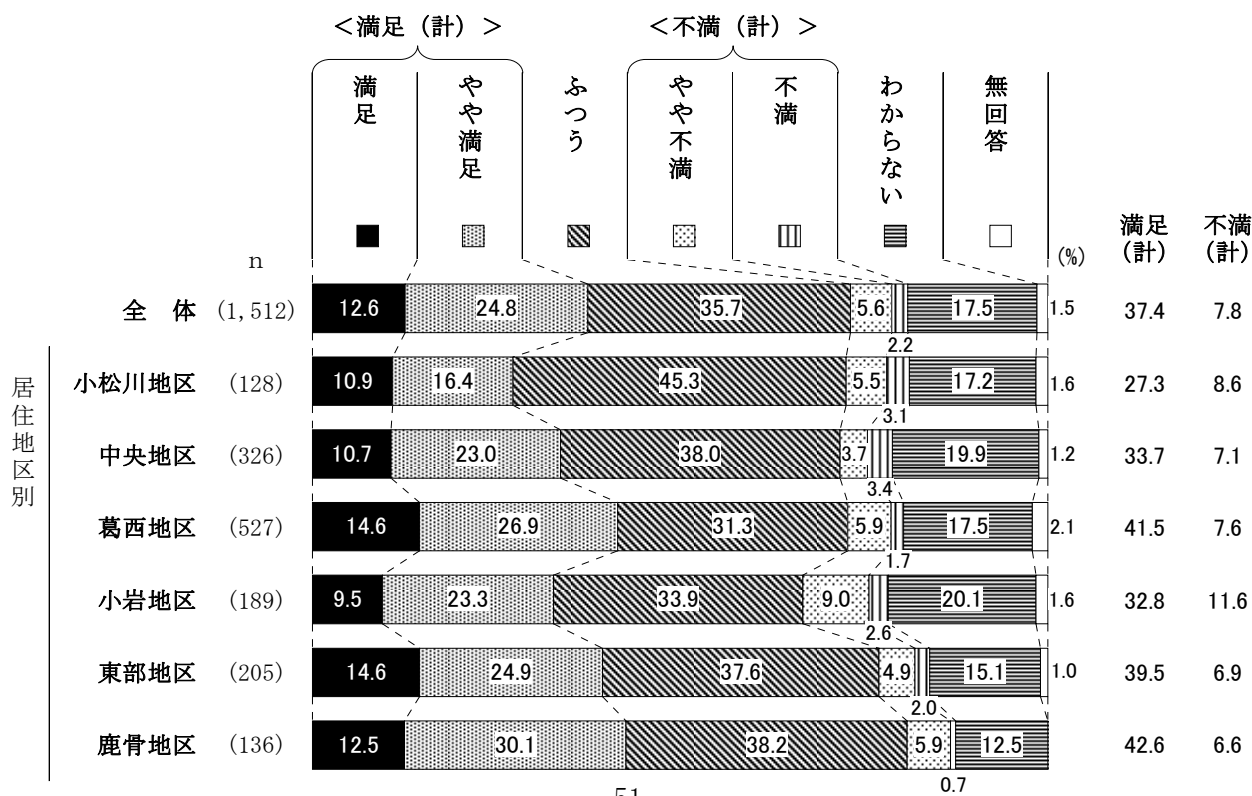
＜図表2-32＞ タ. 子育て環境／時系列比較



【タ. 子育て環境／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“鹿骨地区”（42.6％）と“葛西地区”（41.5％）で4割を超えて高くなっている。一方、“小松川地区”（27.3％）で最も低くなっている。（図表2-33）

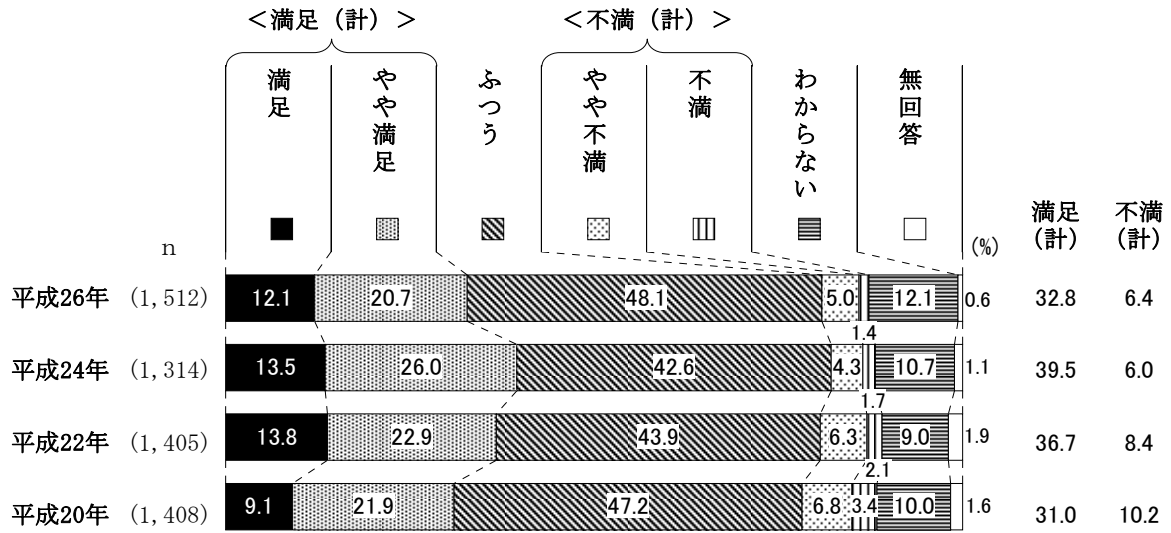
＜図表2-33＞ タ. 子育て環境／居住地区別



【チ. 健康相談・健康診査／時系列比較】

平成20年からの調査結果を時系列でみると、＜満足（計）＞は平成24年まで増加傾向にあったが、平成26年（32.8％）は平成24年（39.5％）より6.7ポイント減少している。（図表2-34）

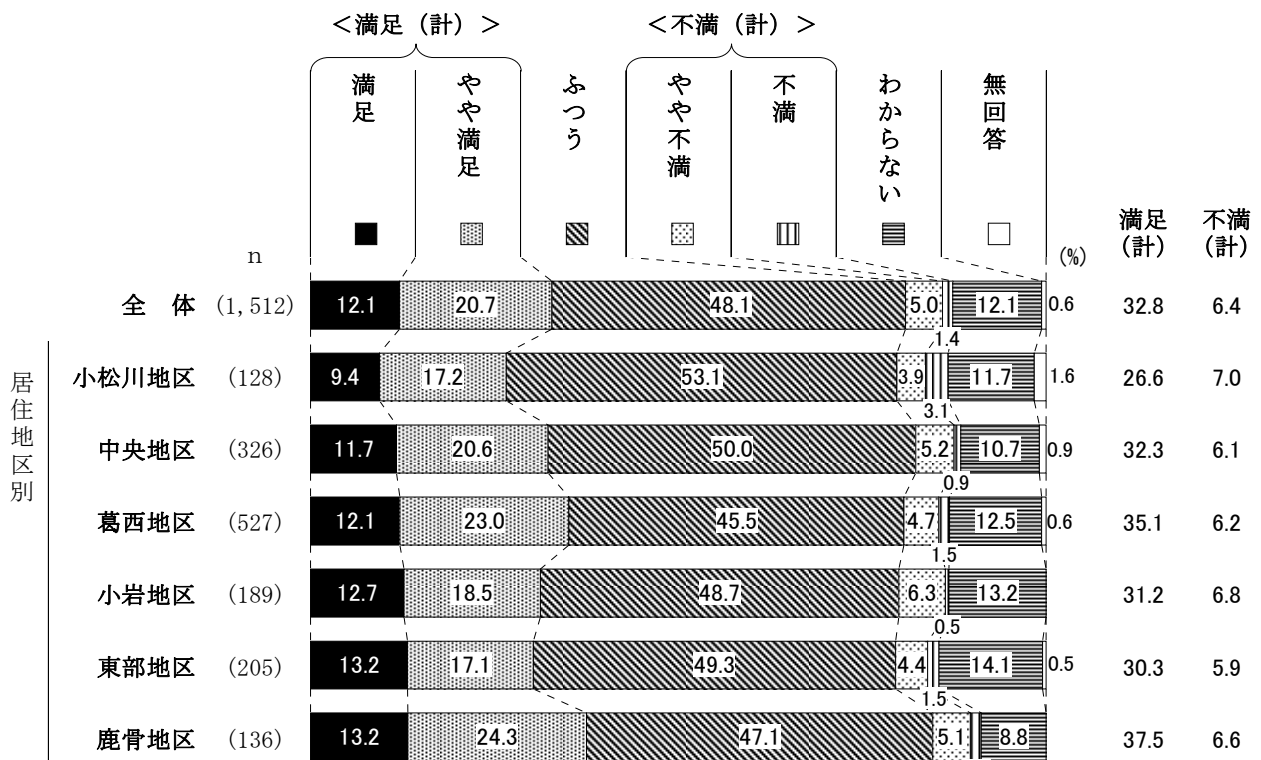
＜図表2-34＞ チ. 健康相談・健康診査／時系列比較



【チ. 健康相談・健康診査／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“鹿骨地区”（37.5％）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。一方、“小松川地区”（26.6％）で最も低くなっている。（図表2-35）

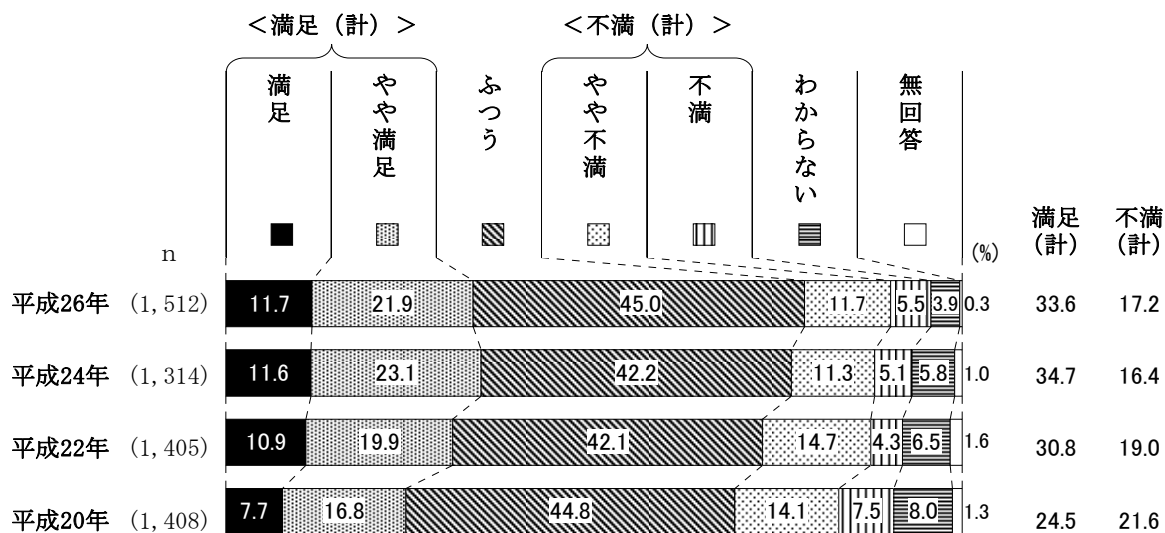
＜図表2-35＞ チ. 健康相談・健康診査／居住地区別



【ツ. 病院・診療所の充実度／時系列比較】※平成24年以前の項目名は“医療機関・医療体制”

平成20年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は平成24年まで増加傾向にあったが、平成26年（33.6％）は平成24年（34.7％）より1.1ポイント減少している。（図表2-36）

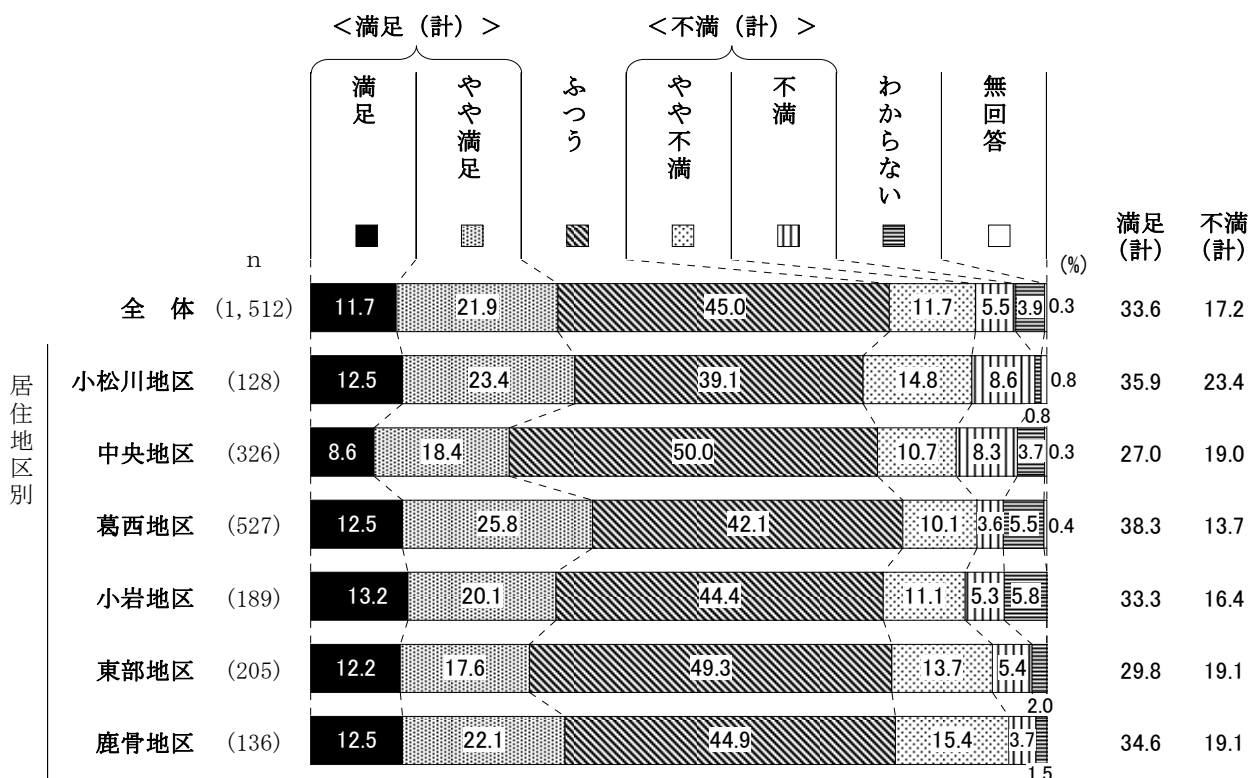
＜図表2-36＞ ツ. 病院・診療所の充実度／時系列比較



【ツ. 病院・診療所の充実度／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（38.3％）で約4割と最も高くなっている。一方、“中央地区”（27.0％）で最も低くなっている。（図表2-37）

＜図表2-37＞ ツ. 病院・診療所の充実度／居住地区別

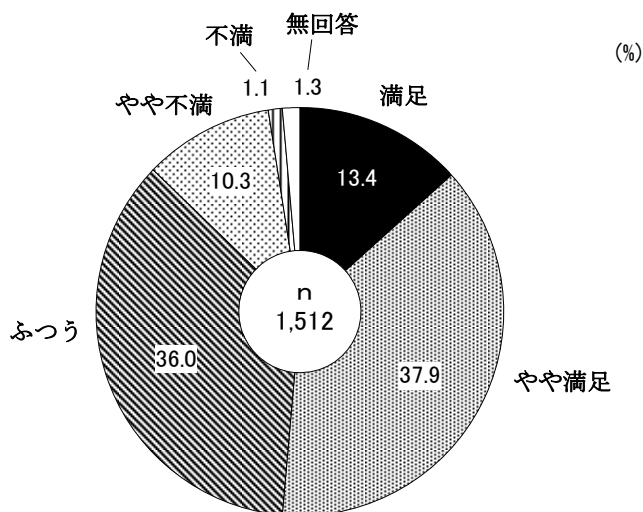


(2) 区の現況への満足度

◇ <満足(計)>が5割強

問4 あなたは、区の現況を総合的にみた場合、どの程度満足していますか。(○は1つだけ)

<図表2-38> 区の現況への満足度



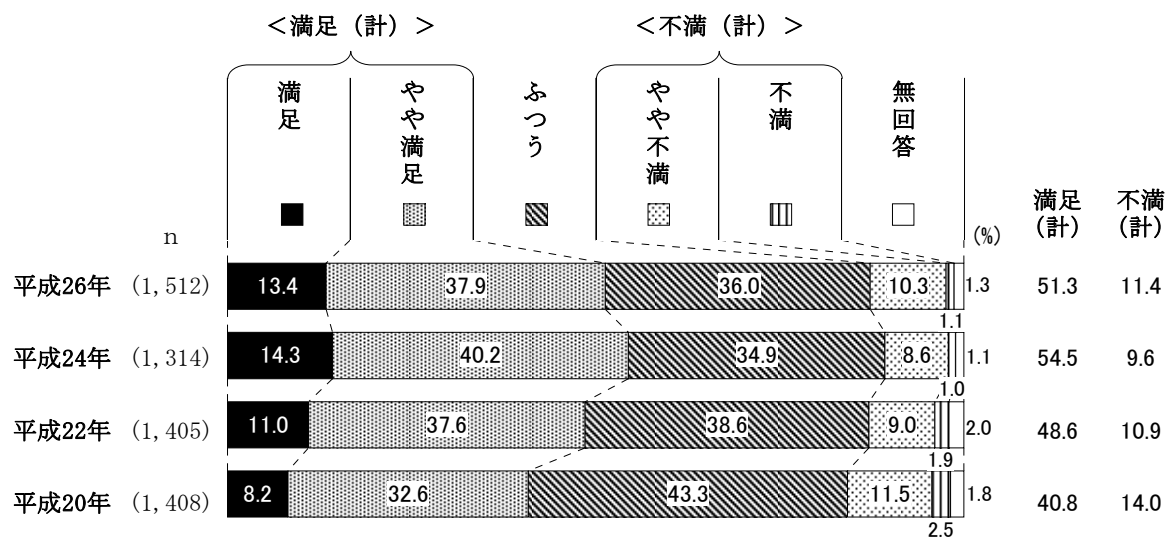
(注) <満足(計)> = 「満足」 + 「やや満足」・・・51.3%
 <不満(計)> = 「不満」 + 「やや不満」・・・11.4%

区の現況を総合的にみた場合の満足度は、「満足」(13.4%)と「やや満足」(37.9%)を合わせた<満足(計)>(51.3%)は5割強となっている。また、「ふつう」(36.0%)は3割台半ば、「不満」(1.1%)と「やや不満」(10.3%)を合わせた<不満(計)>(11.4%)は1割強である。(図表2-38)

【時系列比較】

平成20年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は平成24年まで増加傾向にあったが、平成26年（51.3%）は平成24年（54.5%）より3.2ポイント減少している。（図表2-39）

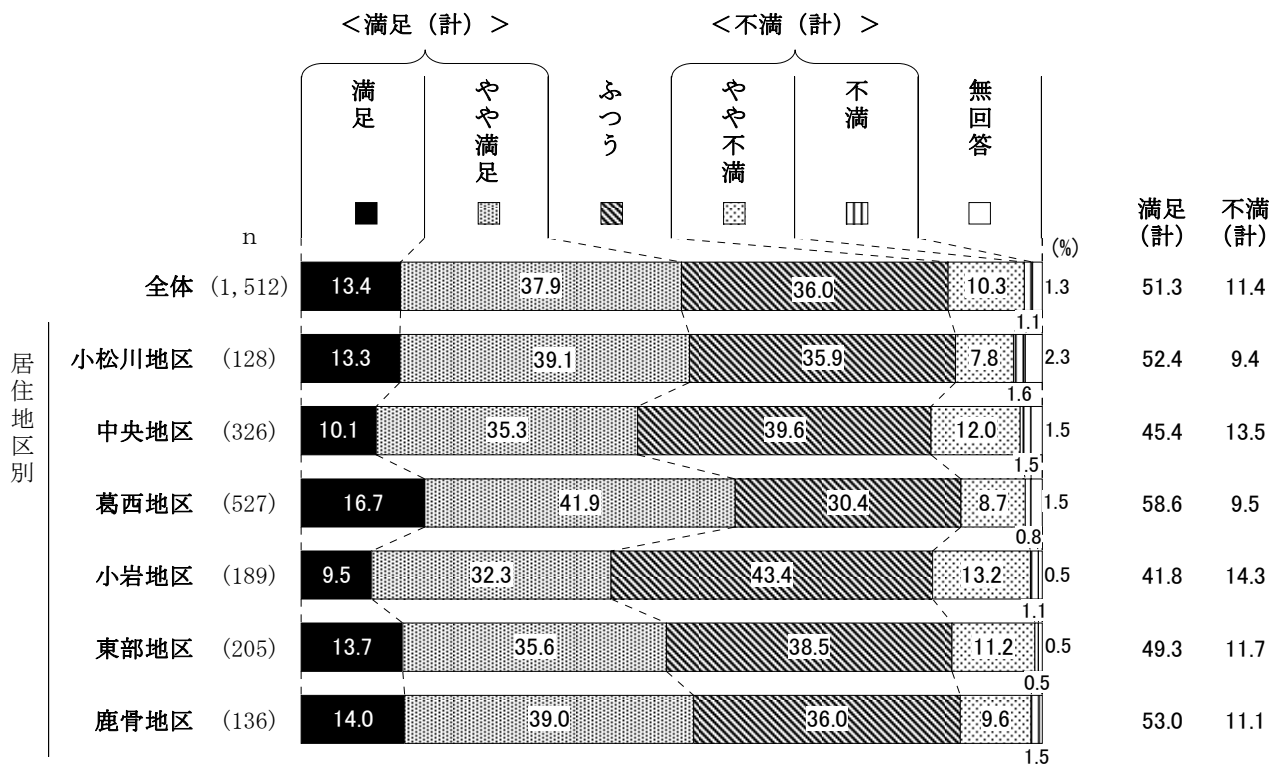
＜図表2-39＞ 区の現況への満足度／時系列比較



【居住地区別】

居住地区別で見ると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（58.6%）で約6割と最も高く、続いて“鹿骨地区”（53.0%）、“小松川地区”（52.4%）となっている。（図表2-40）

＜図表2-40＞ 区の現況への満足度／居住地区別

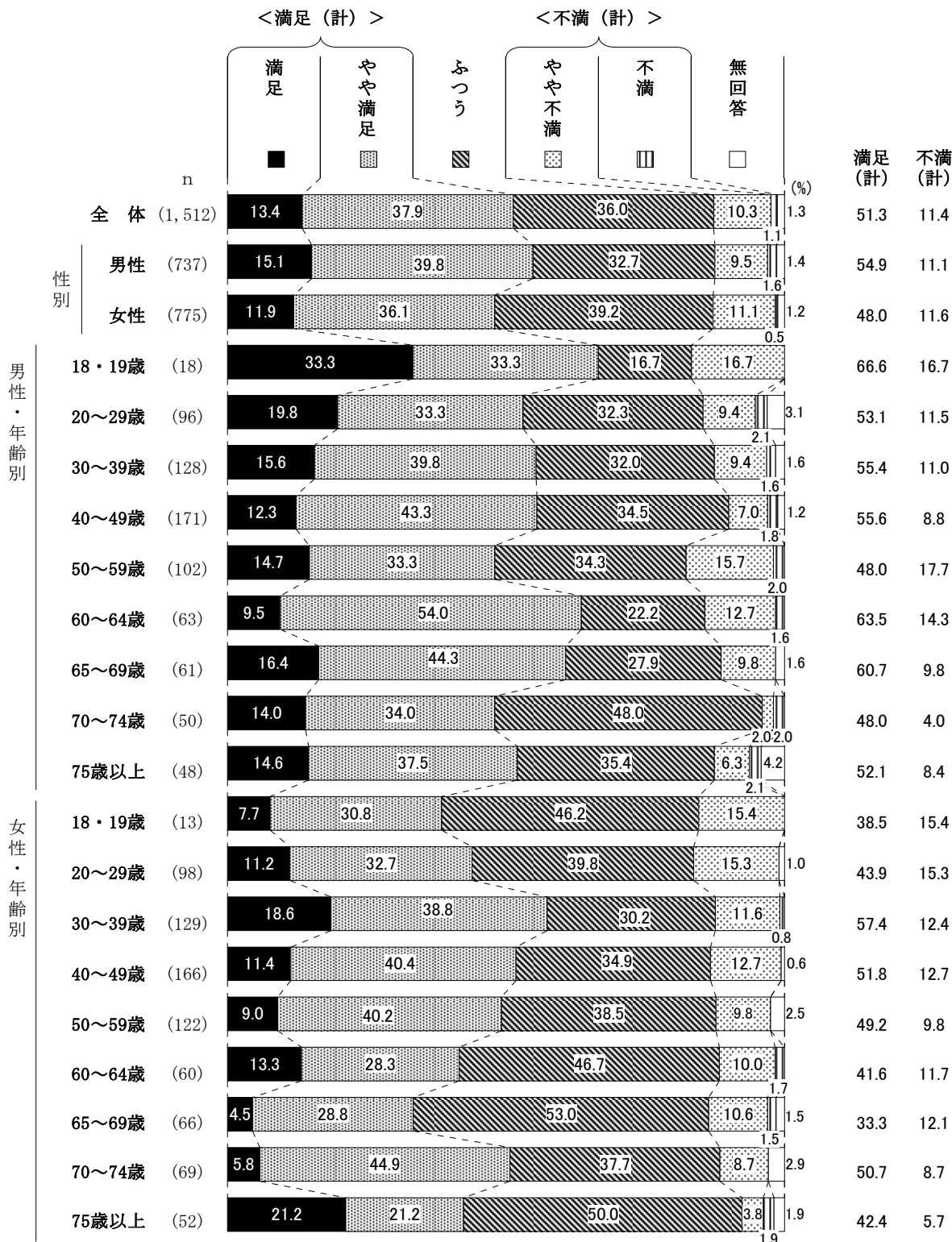


【性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は男性（54.9％）が女性（48.0％）よりも6.9ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、＜満足（計）＞は男性60～64歳（63.5％）で6割を超えて高くなっている。一方、女性65～69歳（33.3％）では低くなっている。（図表2-41）

＜図表2-41＞ 区の現況への満足度／性・年齢別

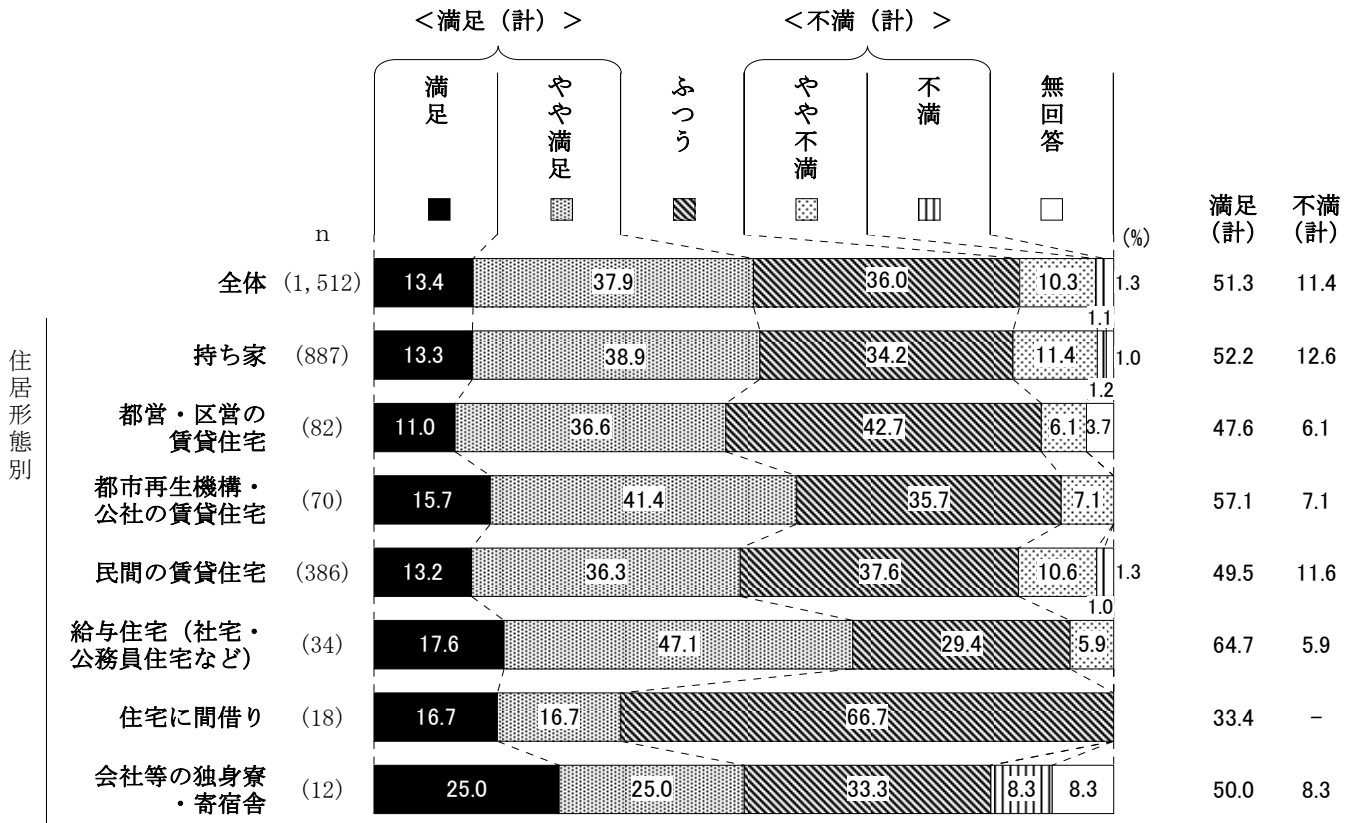


※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【住居形態別】

住居形態別でみると、＜満足（計）＞は給与住宅（社宅・公務員住宅など）（64.7%）で6割台半ばと高くなっている。（図表2-42）

＜図表2-42＞ 区の現況への満足度／住居形態別



※ “住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

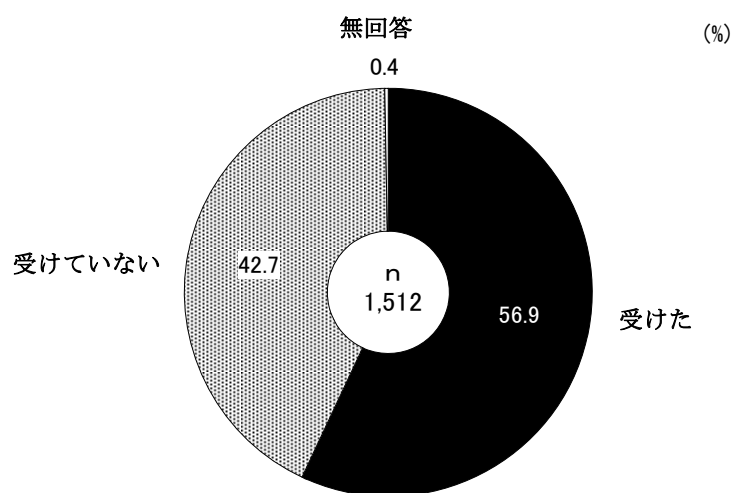
3. 健康診断について

(1) 生活習慣病の健診等の受診状況

◇生活習慣病の健診等の受診率は5割台半ば

問5 あなたは、過去1年間に生活習慣病の健診（健康診断、健康診査、人間ドックなど）を受けましたか。ただし、がん検診、妊産婦健診、歯の健康診査、病院や診療所で行う診療としての検査は除きます。（○は1つだけ）

<図表3-1> 生活習慣病の健診等の受診状況



過去1年間に生活習慣病の健診等を受けたか尋ねたところ、「受けた」（56.9%）が5割台半ば、「受けていない」（42.7%）は4割強となっている。（図表3-1）

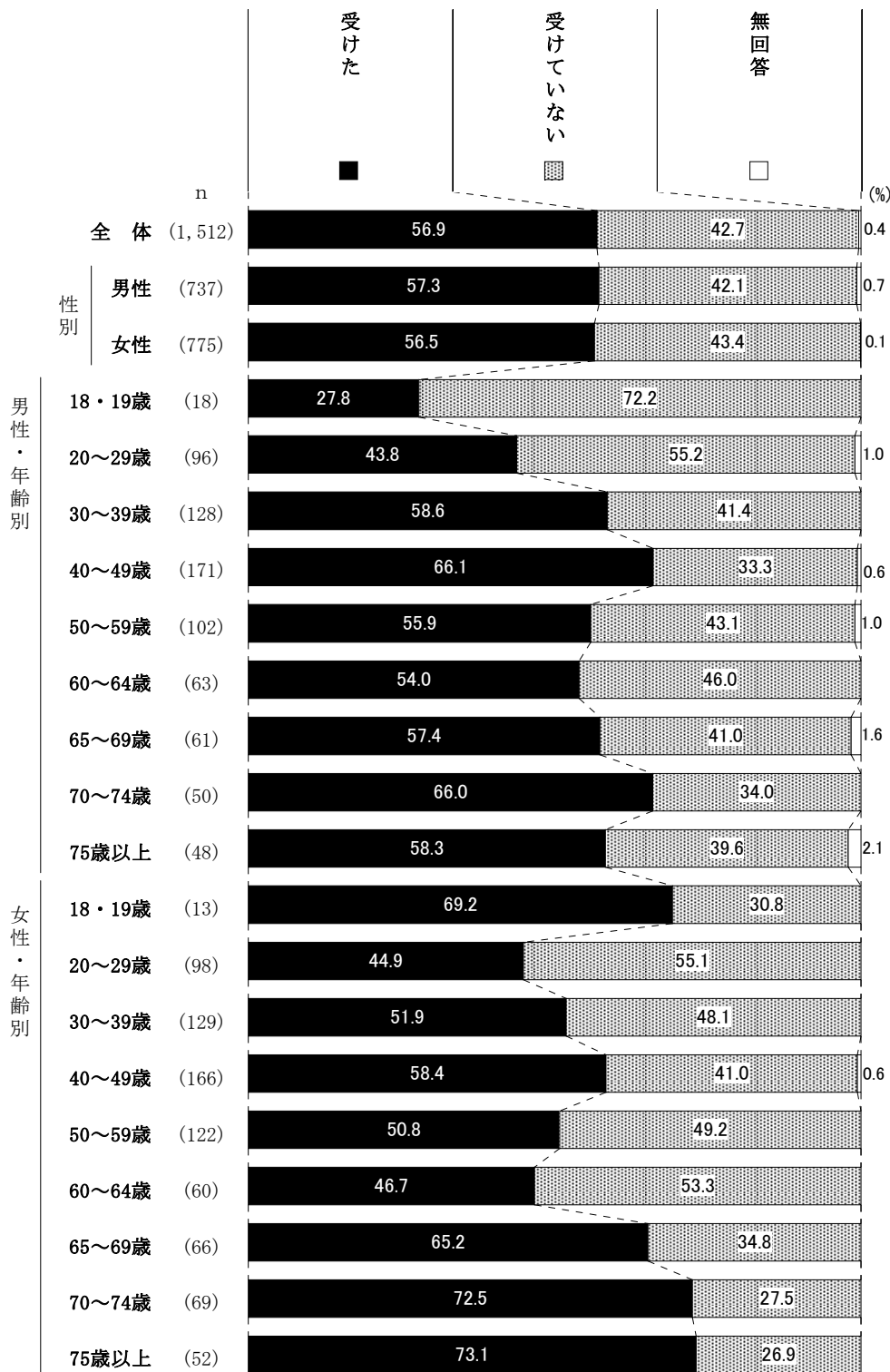
【性・年齢別】

性別では、あまり大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「受けた」は女性75歳以上（73.1%）、女性70～74歳（72.5%）で7割を超えて高くなっている。一方、男性20～29歳（43.8%）、女性20～29歳（44.9%）では低くなっている。

（図表3-2）

＜図表3-2＞ 生活習慣病の健診等の受診状況／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

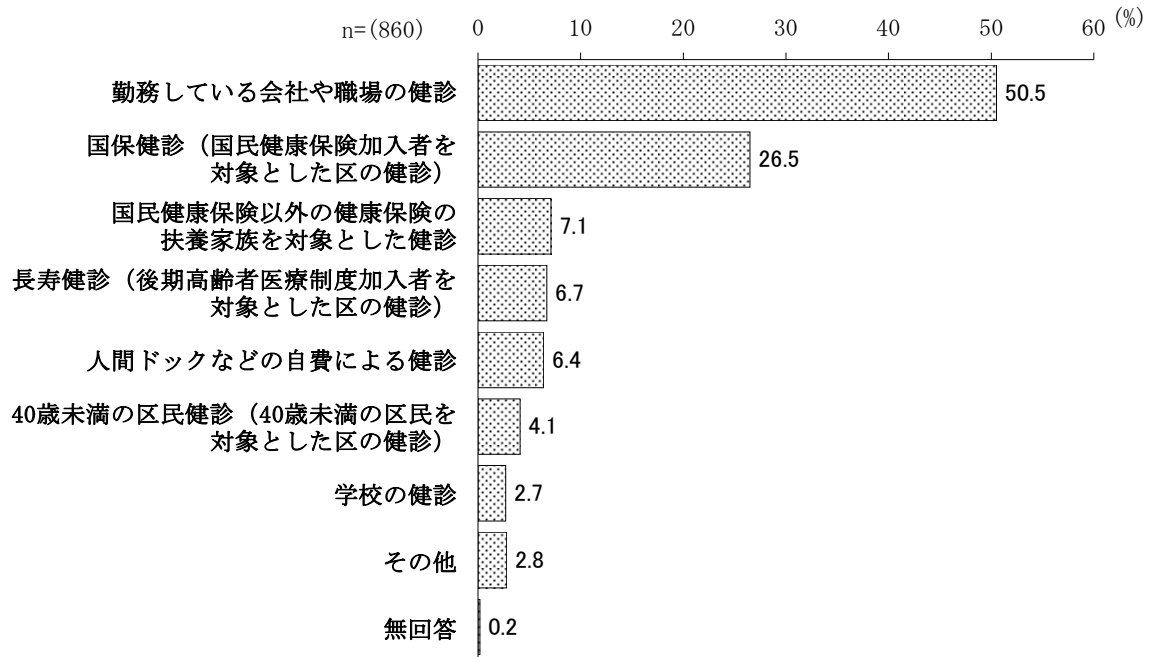
(1-1) 健診等を受診した機会

◇「勤務している会社や職場の健診」が約5割

＜問5で「1 受けた」とお答えの方に＞

問5-1 どのような機会に健診等を受けましたか。(あてはまる番号すべてに○)

＜図表3-3＞ 健診等を受診した機会（複数回答）



健診を受けた人に、その機会について尋ねたところ、「勤務している会社や職場の健診」（50.5%）が約5割で最も高く、続いて「国保健診（国民健康保険加入者を対象とした区の健診）」（26.5%）が2割台半ばとなっている。（図表3-3）

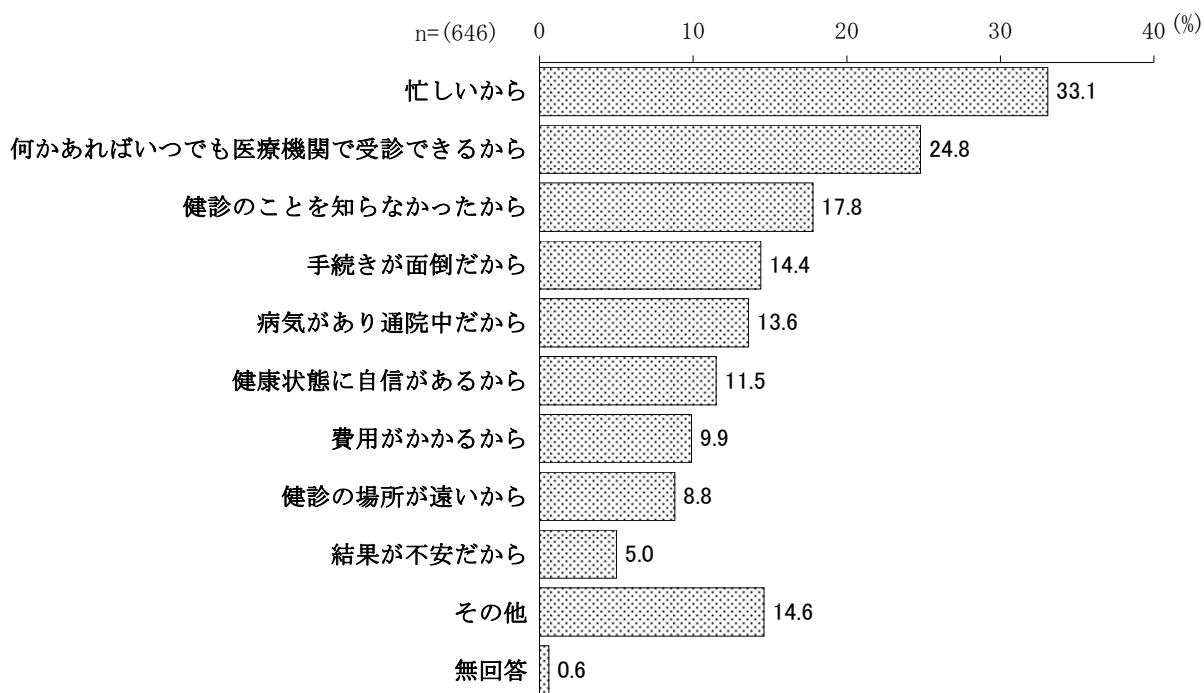
(1-2) 健診等を受診していない理由

◇「忙しいから」が3割台半ば

＜問5で「2 受けていない」とお答えの方に＞

問5-2 受診しなかった理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

＜図表3-4＞ 健診等を受診していない理由（複数回答）



健診を受けていない人に、その理由を尋ねたところ、「忙しいから」（33.1%）が3割台半ばで最も高く、続いて「何かあればいつでも医療機関で受診できるから」（24.8%）、「健診のことを知らなかったから」（17.8%）、「手続きが面倒だから」（14.4%）などとなっている。（図表3-4）

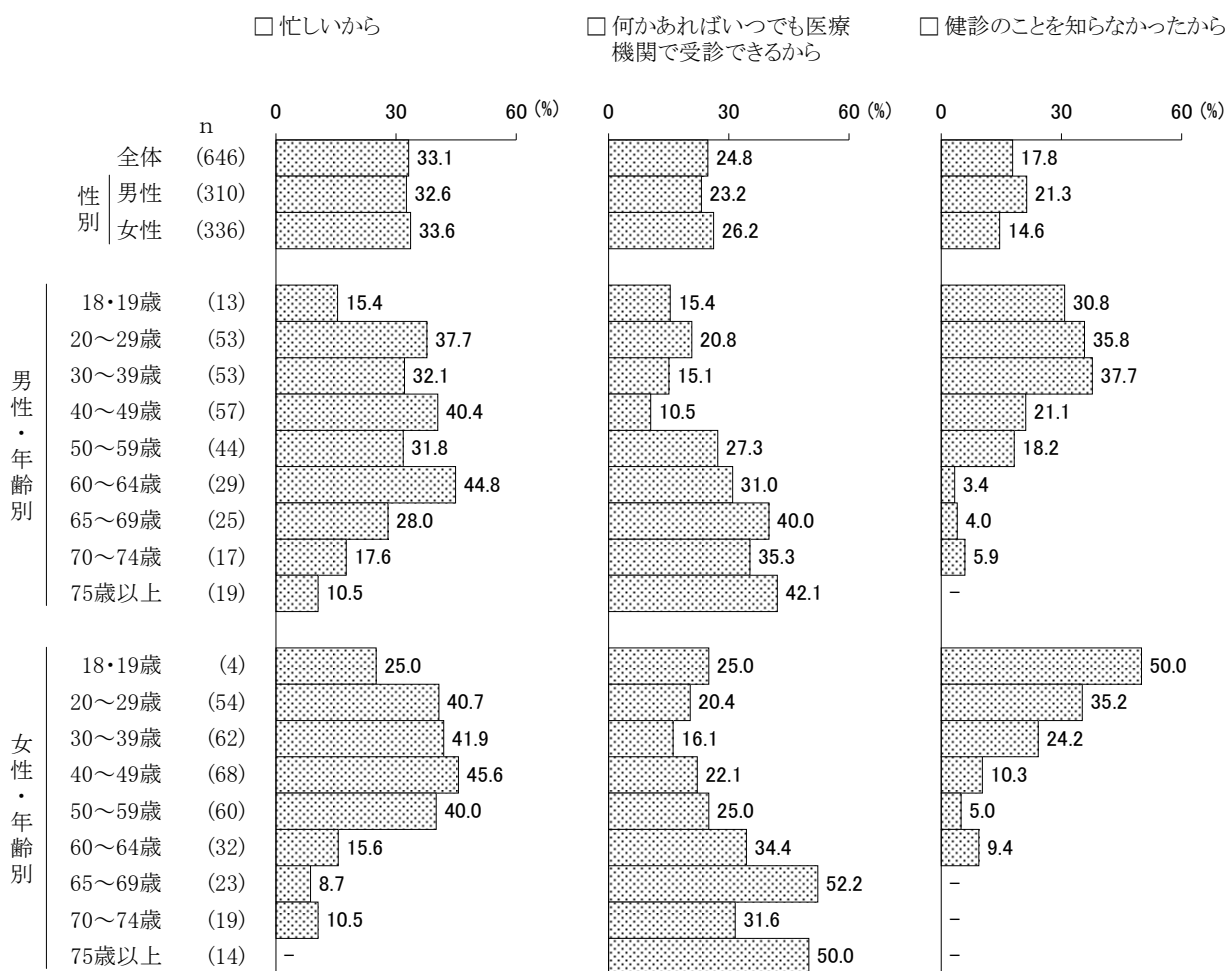
【性・年齢別】

性別では、「健診のことを知らなかったから」は男性（21.3%）が女性（14.6%）より6.7ポイント高くなっている。

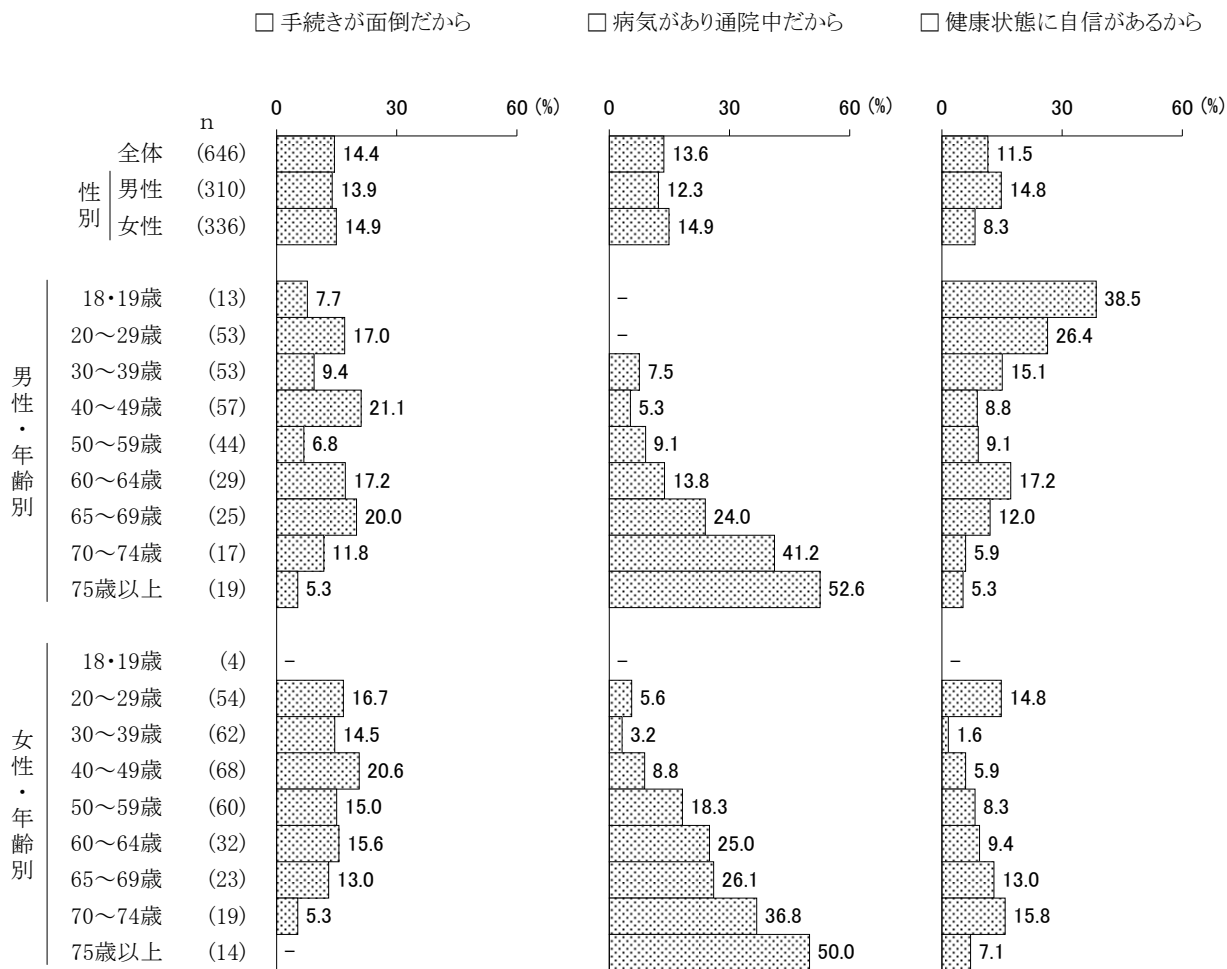
性・年齢別でみると、「健診のことを知らなかったから」は男女ともに年齢が低いほど割合が高くなる傾向にあり、「病気があり通院中だから」は年齢が高いほど割合が高くなる傾向にある。

（図表3-5）

＜図表3-5＞ 健診等を受診していない理由／性・年齢別（上位6項目）



Ⅲ 結果と分析 3. 健康診断について



※男性の60～64歳、男性及び女性の“18・19歳”、“65～69歳”、“70～74歳”、“75歳以上”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

4. みどりについて

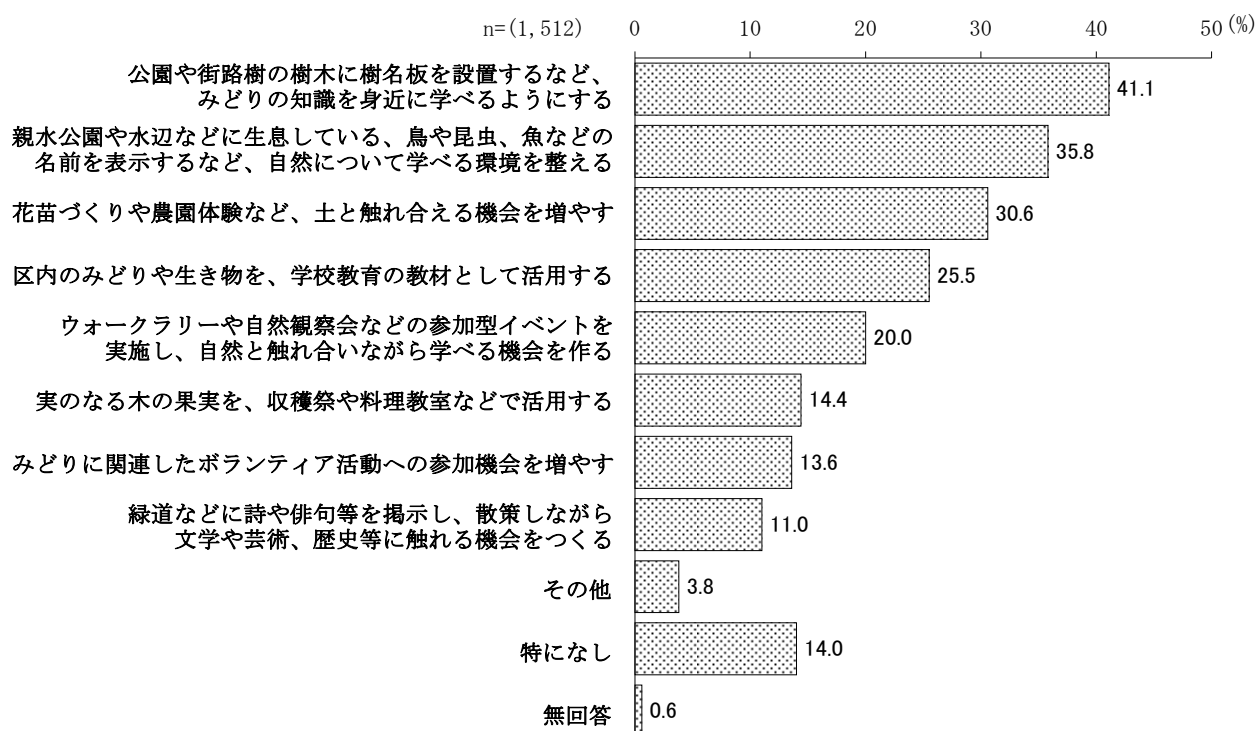
(1) みどりのまちづくりのために行うべき取り組み

- ◇ 「公園や街路樹の樹木に樹名板を設置するなど、みどりの知識を身近に学べるようにする」は4割を超える

江戸川区は、長年にわたり、みどり豊かなまちづくりを進めてきました。また、昨年4月には「江戸川区みどりの基本計画」を策定し、「みどりを守り、育て、創る」施策を区民の皆さんと共にすすめています。

問6 豊かなまちのみどりを、より身近で親しみやすくしていくためには、どのようなことに取り組んでいったらよいと思いますか。(〇は3つまで)

<図表4-1> みどりのまちづくりのために行うべき取り組み(複数回答)



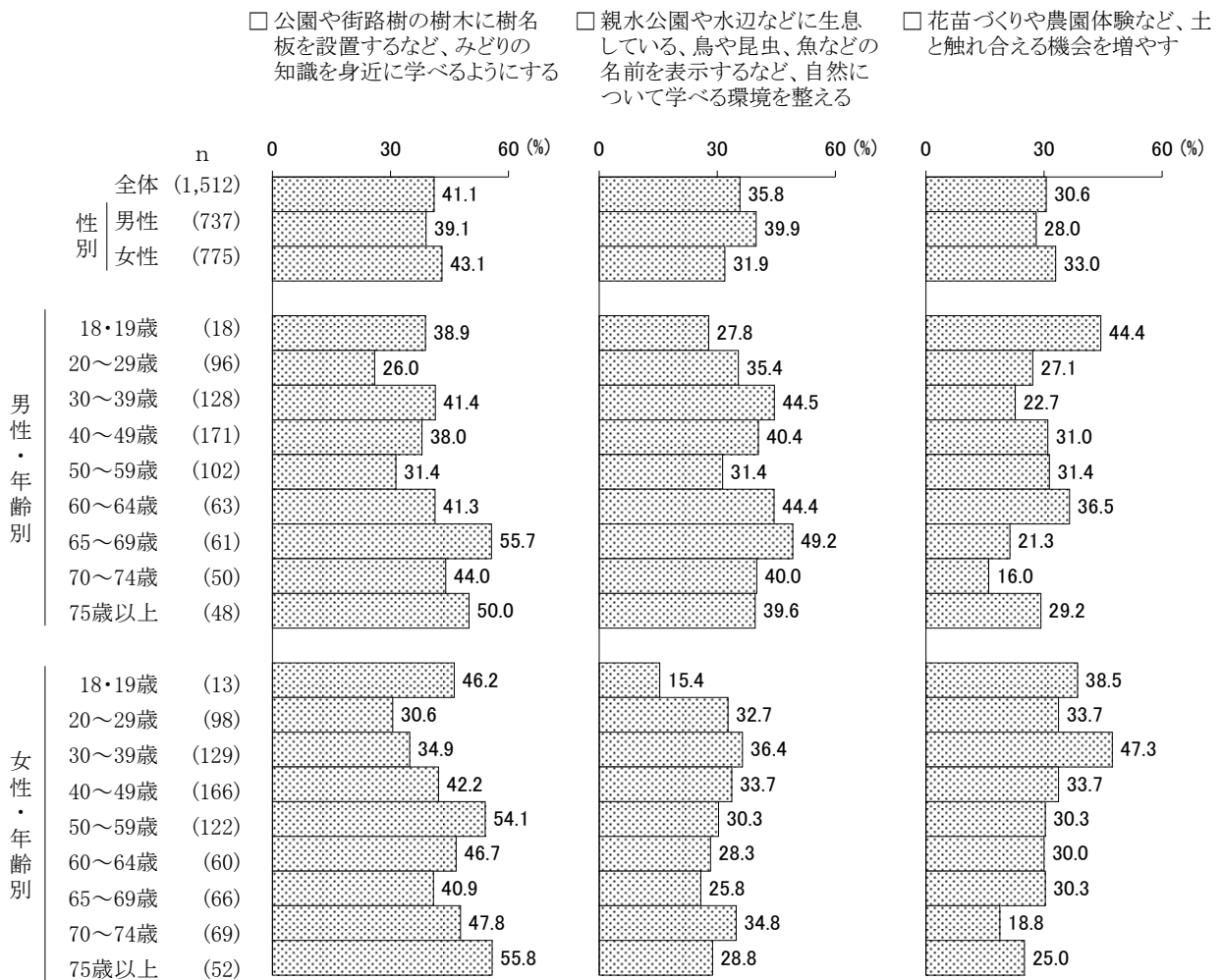
みどりのまちづくりのために行うべき取り組みについて尋ねたところ、「公園や街路樹の樹木に樹名板を設置するなど、みどりの知識を身近に学べるようにする」(41.1%)が4割を超えて最も高く、続いて「親水公園や水辺などに生息している、鳥や昆虫、魚などの名前を表示するなど、自然について学べる環境を整える」(35.8%)が3割台半ばとなっている。(図表4-1)

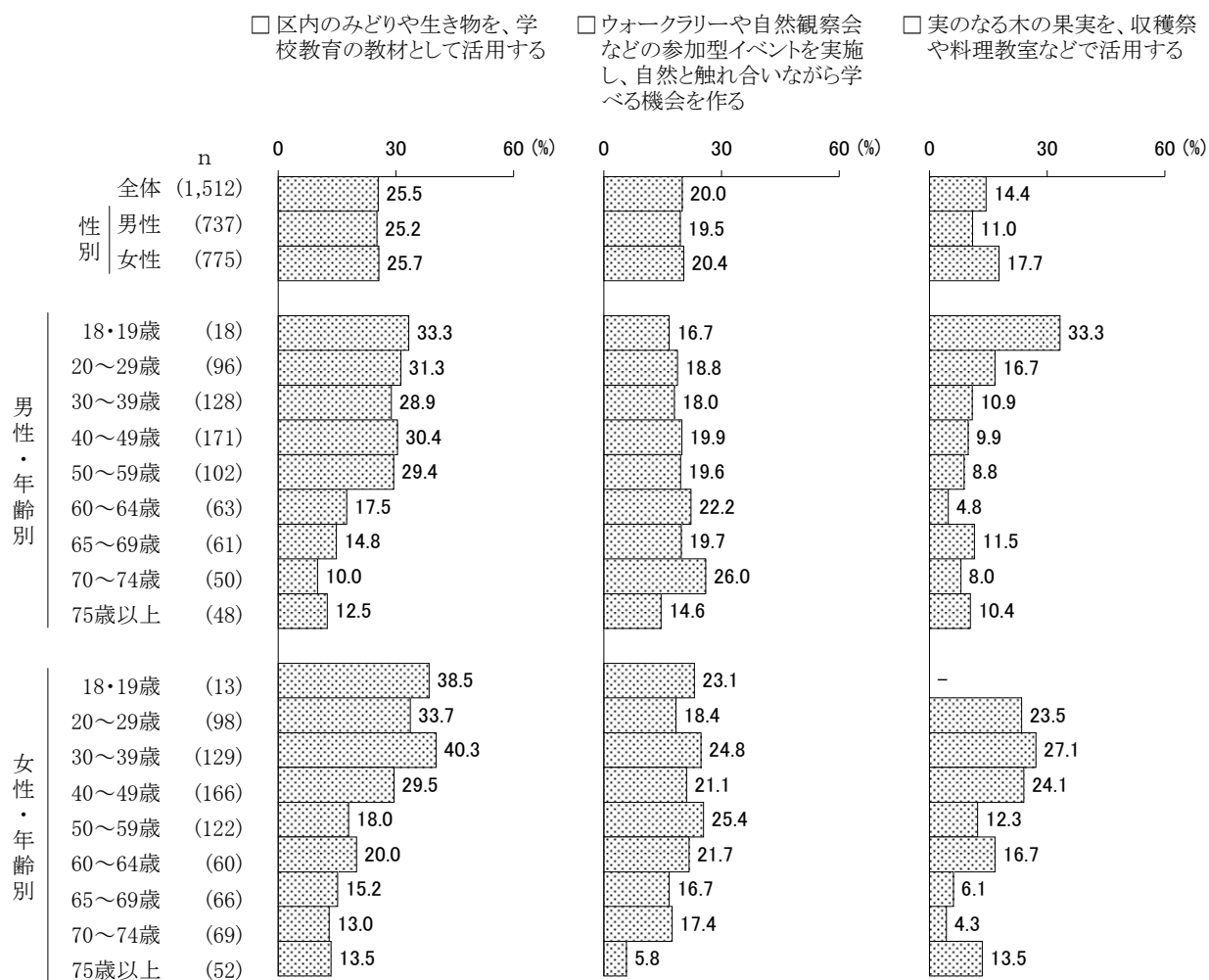
【性・年齢別】

性別では、「親水公園や水辺などに生息している、鳥や昆虫、魚などの名前を表示するなど、自然について学べる環境を整える」は男性（39.9%）が女性（31.9%）より8.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「公園や街路樹の樹木に樹名板を設置するなど、みどりの知識を身近に学べるようにする」は女性75歳以上（55.8%）、男性65～69歳（55.7%）、女性50～59歳（54.1%）で5割台半ばと高く、「親水公園や水辺などに生息している、鳥や昆虫、魚などの名前を表示するなど、自然について学べる環境を整える」は男性65～69歳（49.2%）で約5割と高くなっている。（図表4－2）

<図表4－2> みどりのまちづくりのために行うべき取り組み／性・年齢別（上位6項目）





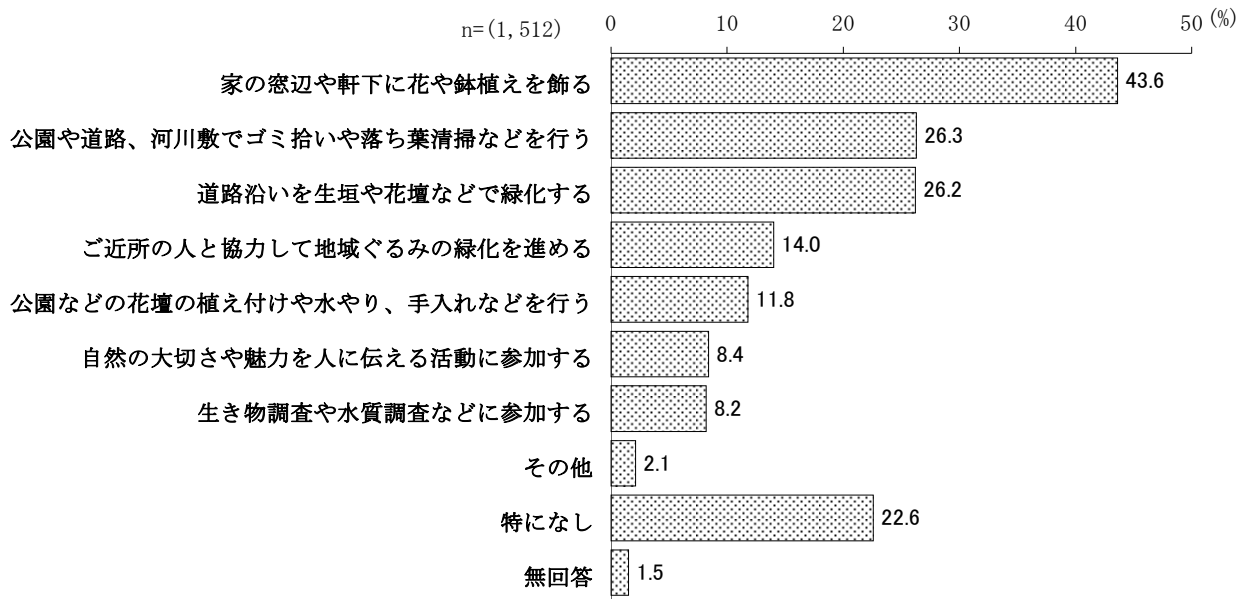
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(2) みどりのまちづくりのために協力したいと思うこと

◇「家の窓辺や軒下に花や鉢植えを飾る」が4割台半ば

問7 みどりのまちづくりを進めていくために、あなたが協力したいと思うことは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

<図表4-3> みどりのまちづくりのために協力したいと思うこと (複数回答)



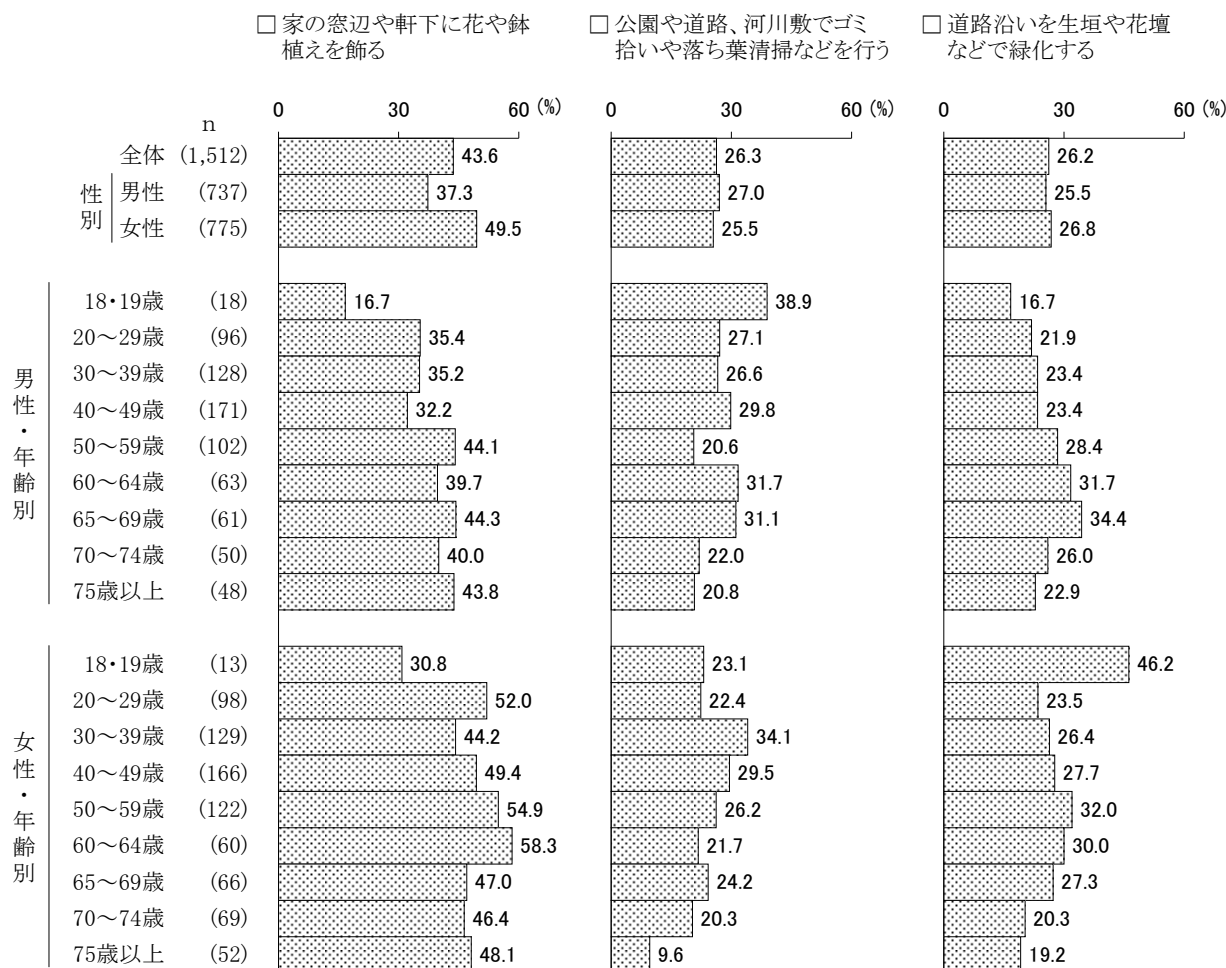
みどりのまちづくりのために協力したいと思うことについて尋ねたところ、「家の窓辺や軒下に花や鉢植えを飾る」(43.6%)が4割台半ばで最も高く、続いて「公園や道路、河川敷でゴミ拾いや落ち葉清掃などを行う」(26.3%)、「道路沿いを生垣や花壇などで緑化する」(26.2%)が2割台半ばとなっている。一方、「特になし」(22.6%)は2割を超えている。(図表4-3)

【性・年齢別】

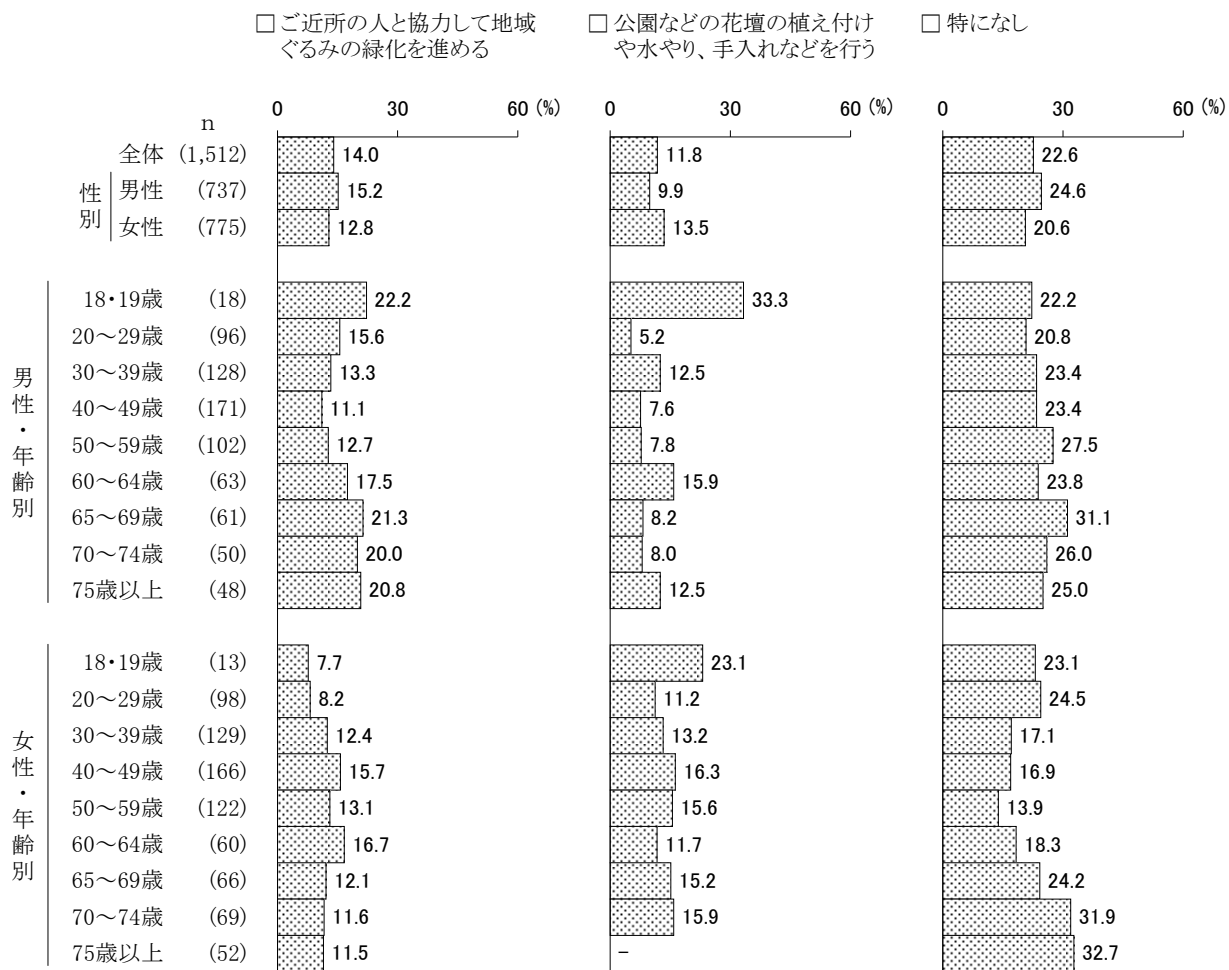
性別では、「家の窓辺や軒下に花や鉢植えを飾る」は女性（49.5%）が男性（37.3%）より12.2ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「家の窓辺や軒下に花や鉢植えを飾る」は女性60～64歳（58.3%）で5割台後半と最も高く、「公園や道路、河川敷でゴミ拾いや落ち葉清掃などを行う」は女性30～39歳（34.1%）で3割台半ばと最も高くなっている。（図表4-4）

＜図表4-4＞ みどりのまちづくりのために協力したいと思うこと／性・年齢別
（上位5項目+「特になし」）



Ⅲ 結果と分析 4. みどりについて



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

5. 駐輪場・レンタサイクルについて

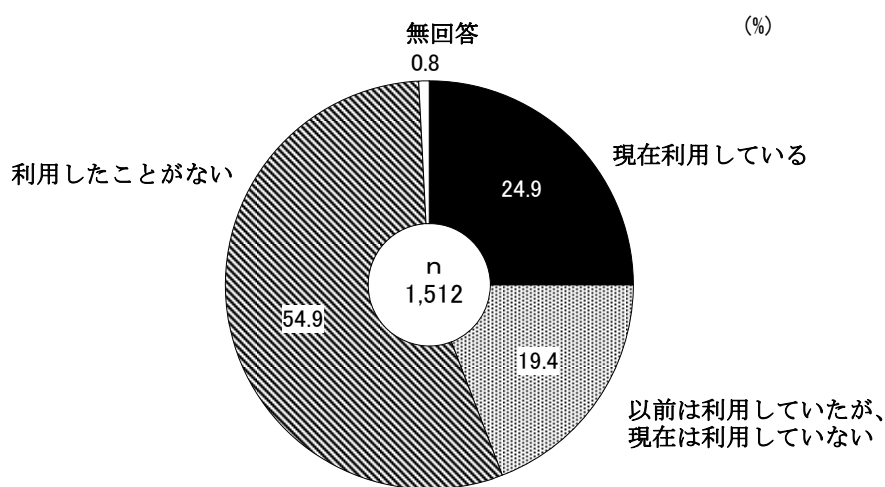
(1) 駐輪場の利用状況

◇「利用したことがない」が5割台半ば

江戸川区では、「放置自転車ゼロ」のまちの実現を目指し、総合自転車対策を進めるとともに、快適な走行環境の実現を図っています。

問8 あなたは駅周辺の駐輪場（江戸川区が設置している使用料制駐輪場）を利用していますか。
(○は1つだけ)

<図表5-1> 駐輪場の利用状況

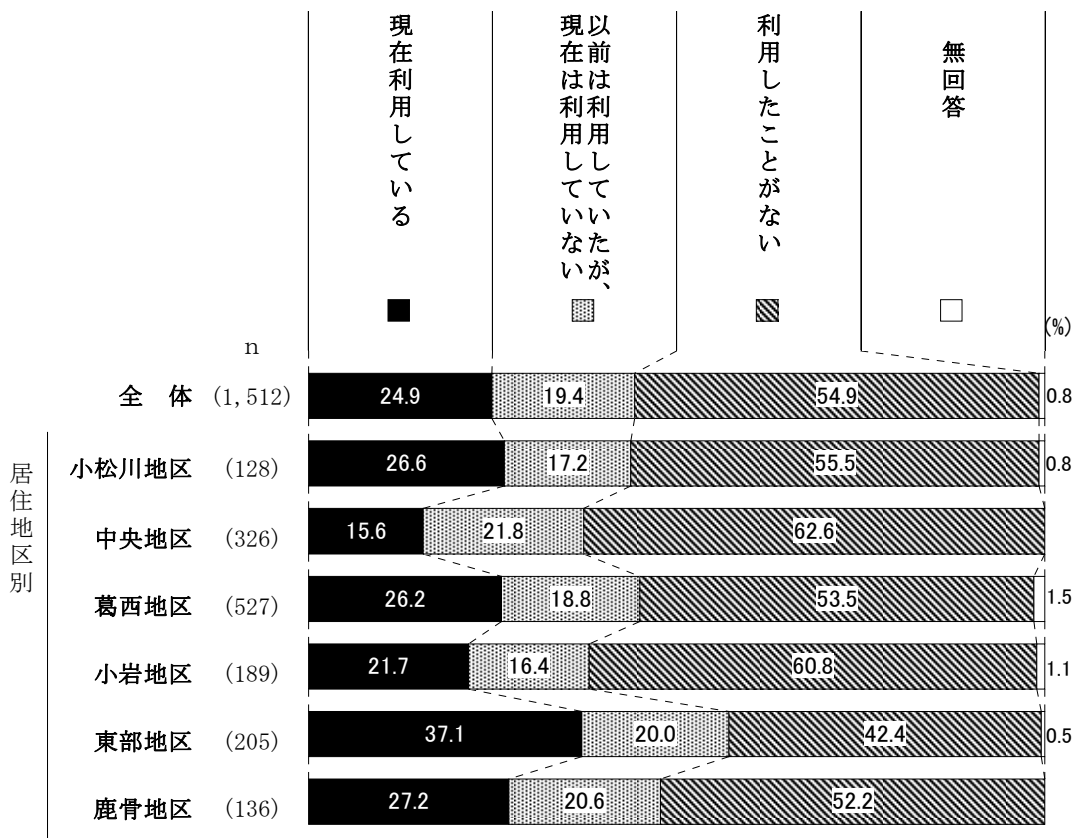


駐輪場の利用状況について尋ねたところ、「利用したことがない」(54.9%)が5割台半ばで最も高く、続いて「現在利用している」(24.9%)が2割台半ば、「以前は利用していたが、現在は利用していない」(19.4%)が約2割となっている。(図表5-1)

【居住地区別】

居住地区別にみると、「現在利用している」は、“東部地区”（37.1%）で3割台後半と最も高くなっている。一方、“中央地区”（15.6%）で最も低くなっている。（図表5－2）

＜図表5－2＞ 駐輪場の利用状況／居住地区別



(1-1) 駐輪場を使いやすくする工夫

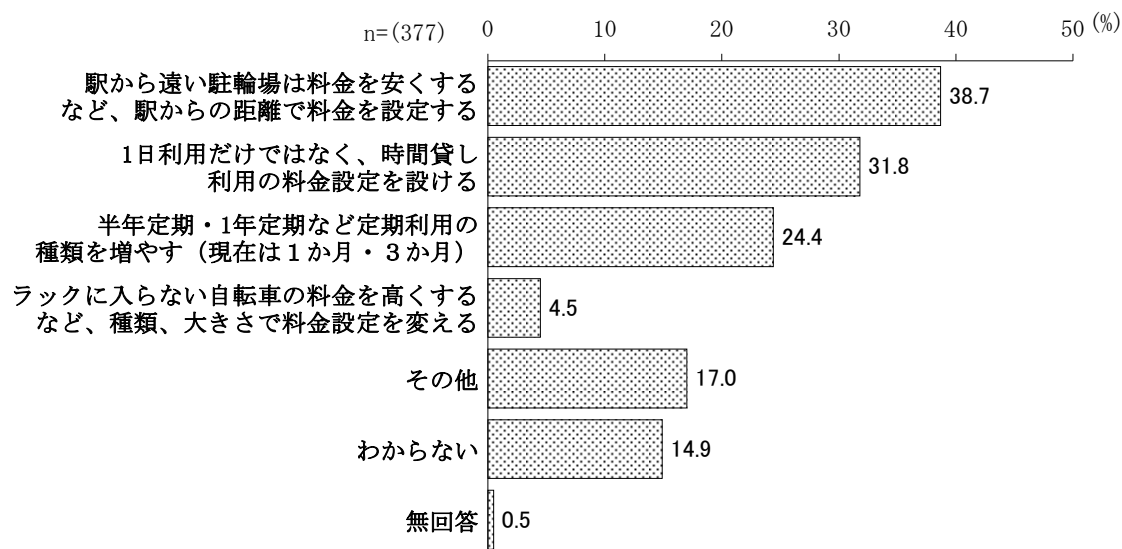
◇ 「駅から遠い駐輪場は料金を安くするなど、駅からの距離で料金を設定する」が約4割

<問8で「1 現在利用している」とお答えの方に>

問8-1 今後どのような工夫をすれば更に使いやすい駐輪場になると思いますか。

(○は2つまで)

<図表5-3> 駐輪場を使いやすくする工夫 (複数回答)



駐輪場を現在利用している人に、駐輪場を使いやすくする工夫について尋ねたところ、「駅から遠い駐輪場は料金を安くするなど、駅からの距離で料金を設定する」(38.7%)が約4割、続いて「1日利用だけではなく、時間貸し利用の料金設定を設ける」(31.8%)が3割を超え、「半年定期・1年定期など定期利用の種類を増やす (現在は1か月・3か月)」(24.4%)が2割台半ばとなっている。

(図表5-3)

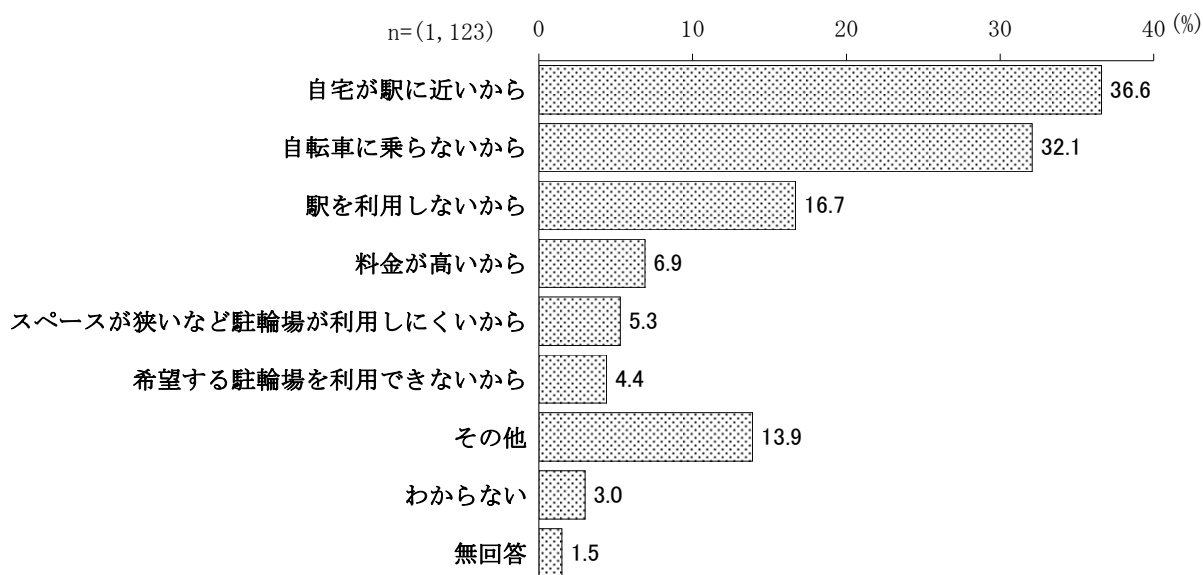
(1-2) 駐輪場を利用していない理由

◇ 「自宅が駅に近いから」が3割台半ば

＜問8で「2 以前は利用していたが、現在は利用していない」「3 利用したことがない」とお答えの方に＞

問8-2 現在利用していない理由はなんですか。または、利用したことがない理由はなんですか。(○は2つまで)

＜図表5-4＞ 駐輪場を利用していない理由（複数回答）

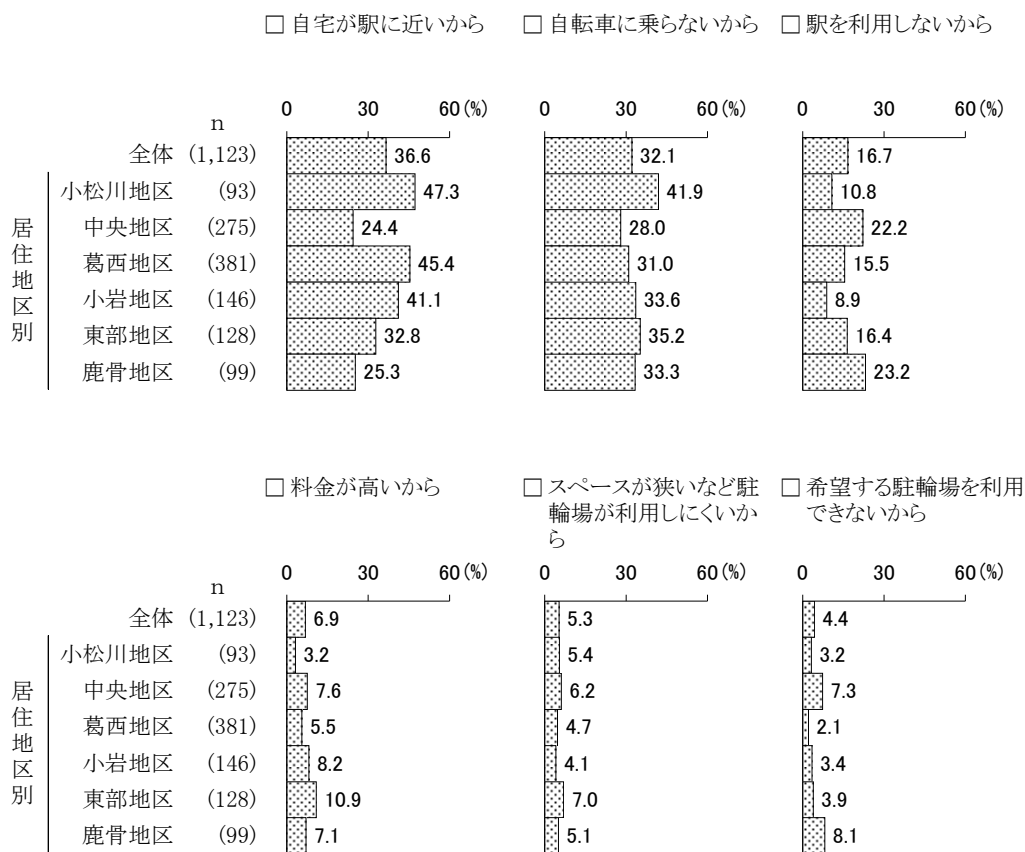


駐輪場を現在利用していない人に、その理由を尋ねたところ、「自宅が駅に近いから」(36.6%)が3割台半ばで最も高く、続いて「自転車に乗らないから」(32.1%)となっている。(図表5-4)

【居住地区別】

居住地区別にみると、「自宅が駅に近いから」と「自転車に乗らないから」は、“小松川地区”で4割台と最も高くなっている。(図表5-5)

＜図表5-5＞ 駐輪場を利用していない理由／居住地区別



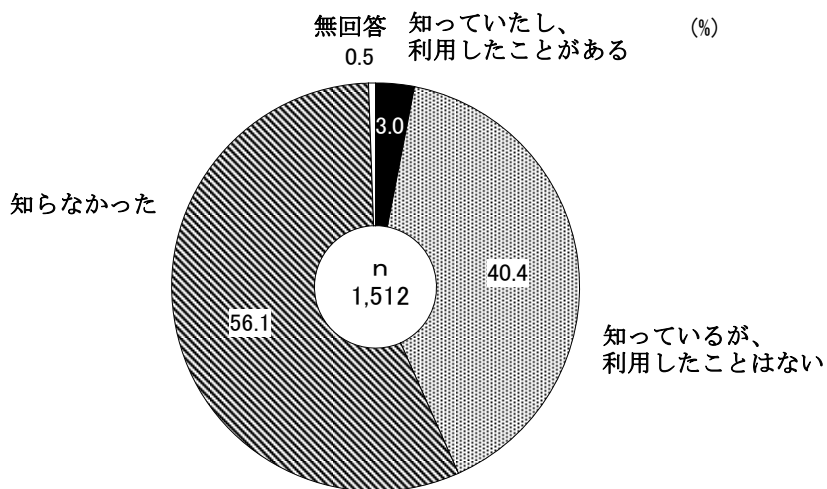
(2) レンタサイクルの認知度

◇ 「知らなかった」が5割台半ば

江戸川区では、誰にでも気軽に便利に自転車をご利用いただけるよう、区内11駅でレンタサイクル事業を実施しています。

問9 あなたはレンタサイクルがあることをご存知でしたか。(○は1つだけ)

<図表5-6> レンタサイクルの認知度

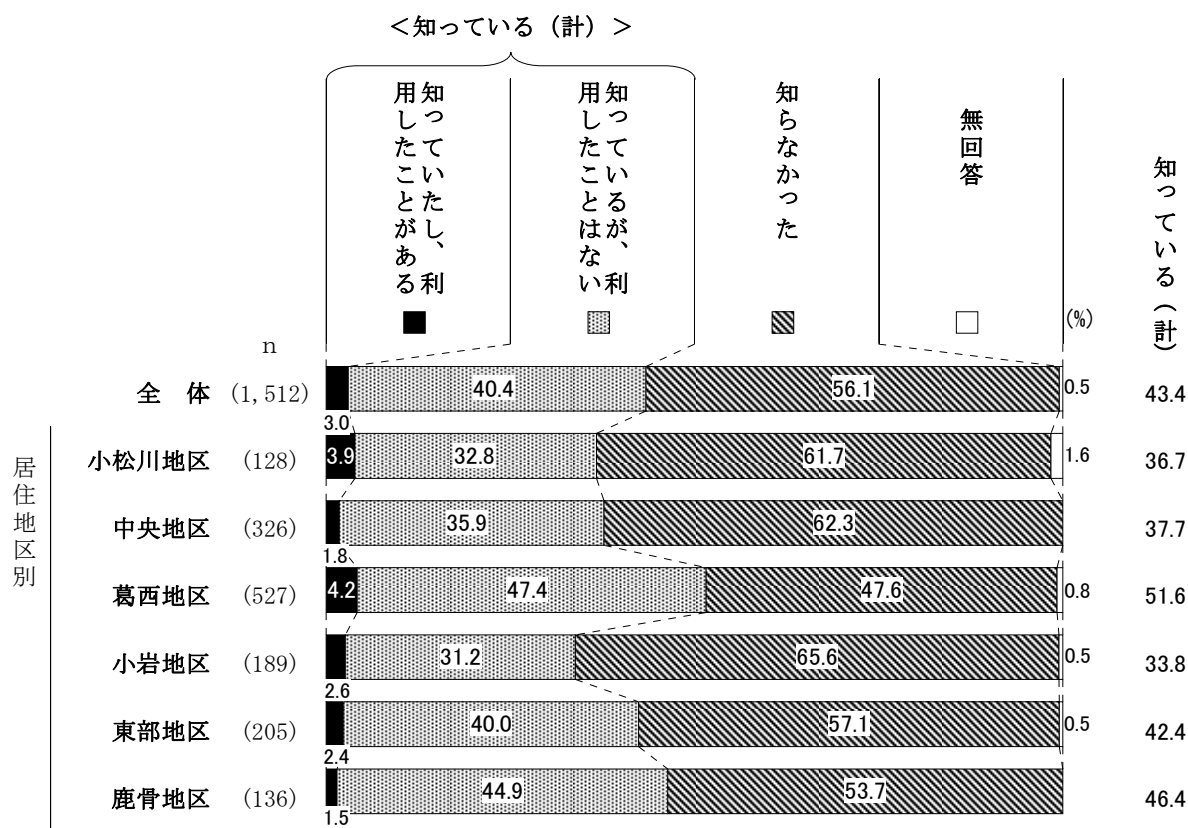


レンタサイクルの認知度は、「知らなかった」(56.1%)が5割台半ばと最も高く、「知っているが、利用したことはない」(40.4%)が約4割となっている。(図表5-6)

【居住地区別】

居住地区別にみると、＜知っている（計）＞は、“葛西地区”（51.6％）で5割を超えて最も高くなっている。一方、“小岩地区”（33.8％）で最も低くなっている。（図表5－7）

＜図表5－7＞ レンタサイクルの認知度／居住地区別

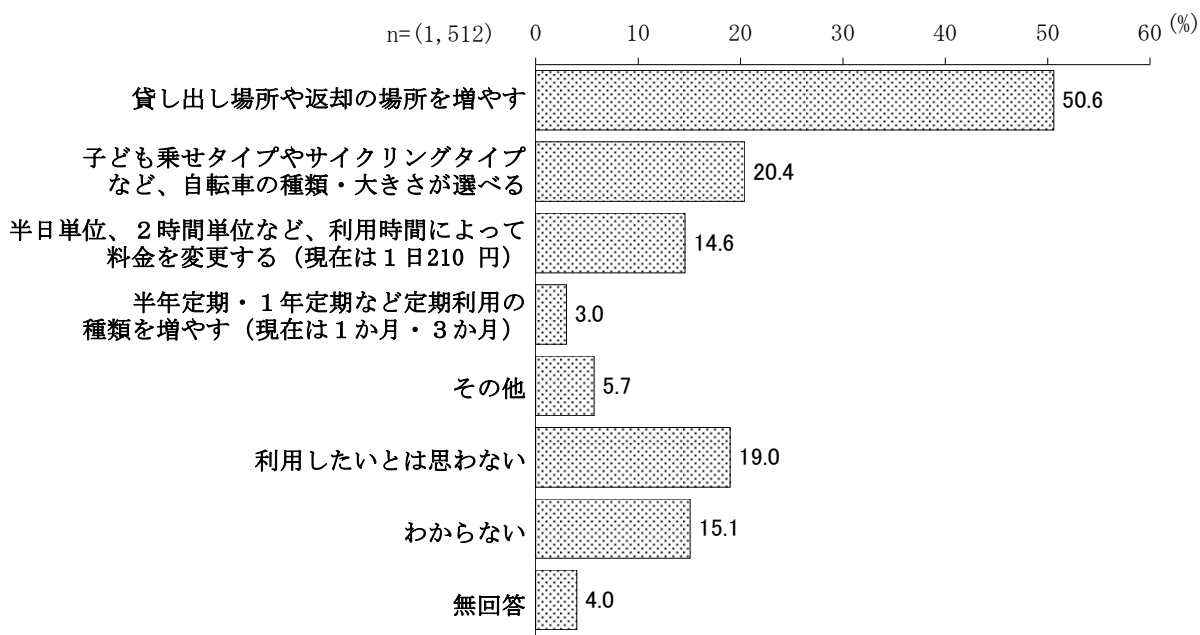


(3) レンタサイクルを利用しやすくする工夫

◇「貸し出し場所や返却の場所を増やす」が約5割

問10 利用したことがある方にもない方にも伺います。今後、どのような工夫をすれば更に利用しやすいレンタサイクルになると思いますか。(〇は2つまで)

<図表5-8> レンタサイクルを利用しやすくする工夫(複数回答)



レンタサイクルを利用しやすくする工夫について尋ねたところ、「貸し出し場所や返却の場所を増やす」(50.6%)が約5割で最も高く、続いて「子ども乗せタイプやサイクリングタイプなど、自転車の種類・大きさが選べる」(20.4%)、「半日単位、2時間単位など、利用時間によって料金を変更する(現在は1日210円)」(14.6%)などとなっている。一方、「利用したいとは思わない」(19.0%)は約2割となっている。(図表5-8)

6. 環境に配慮した行動について

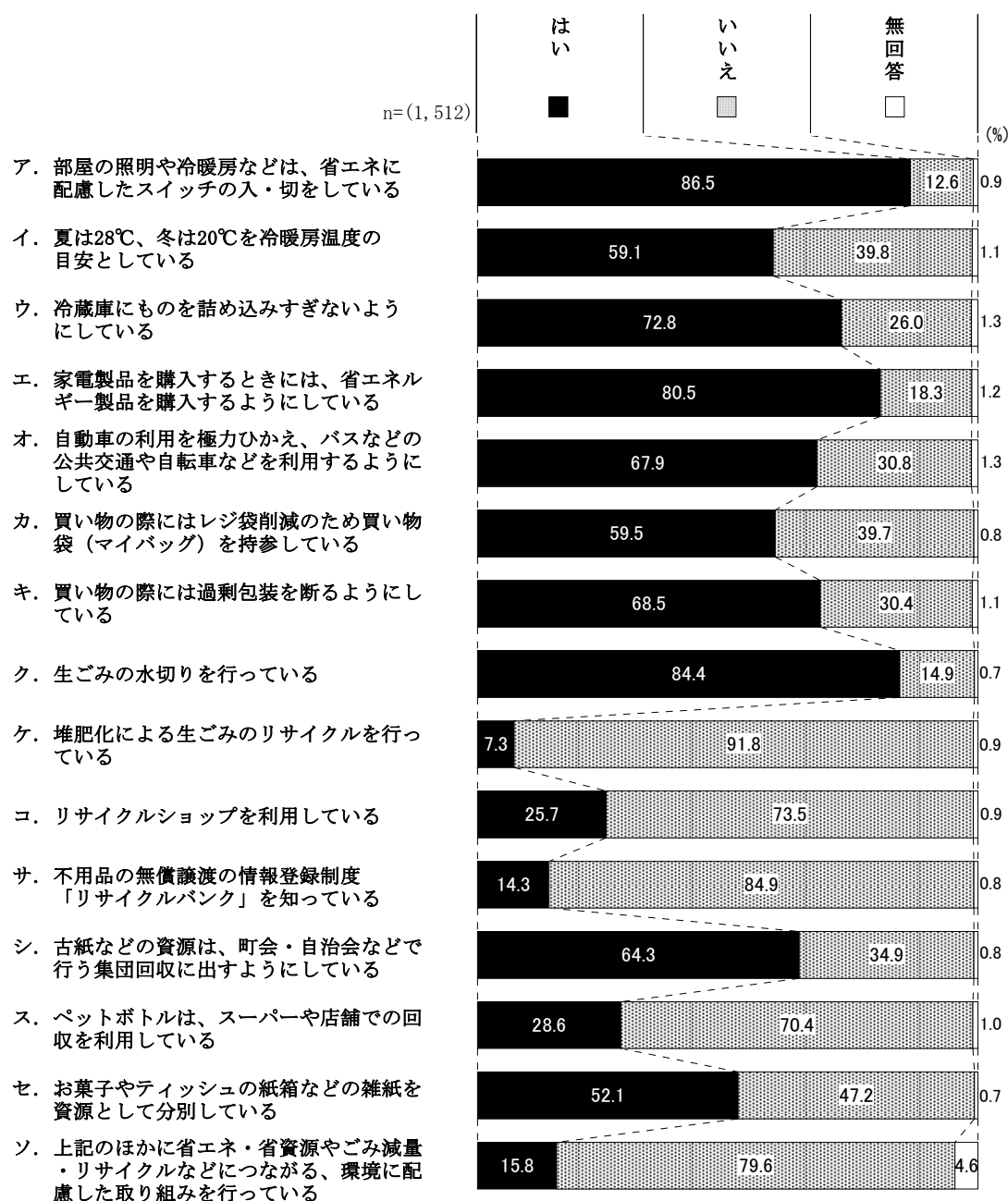
(1) 省エネ・省資源を意識した行動

◇【部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている】が8割台半ば

平成20年2月に「エコタウンえどがわ推進計画」が策定されました。この計画では、江戸川区とえどがわエコセンターが協力して省エネルギーの取り組みである「もったいない運動」を推進しています。この「もったいない運動」では、地球温暖化防止のため、省エネ・省資源を意識した行動やごみ減量・リサイクルなどを呼びかけています。

問11 あなたは次のア～ソの行動をしていますか。(それぞれ○は1つつ)

<図表6-1> 省エネ・省資源を意識した行動



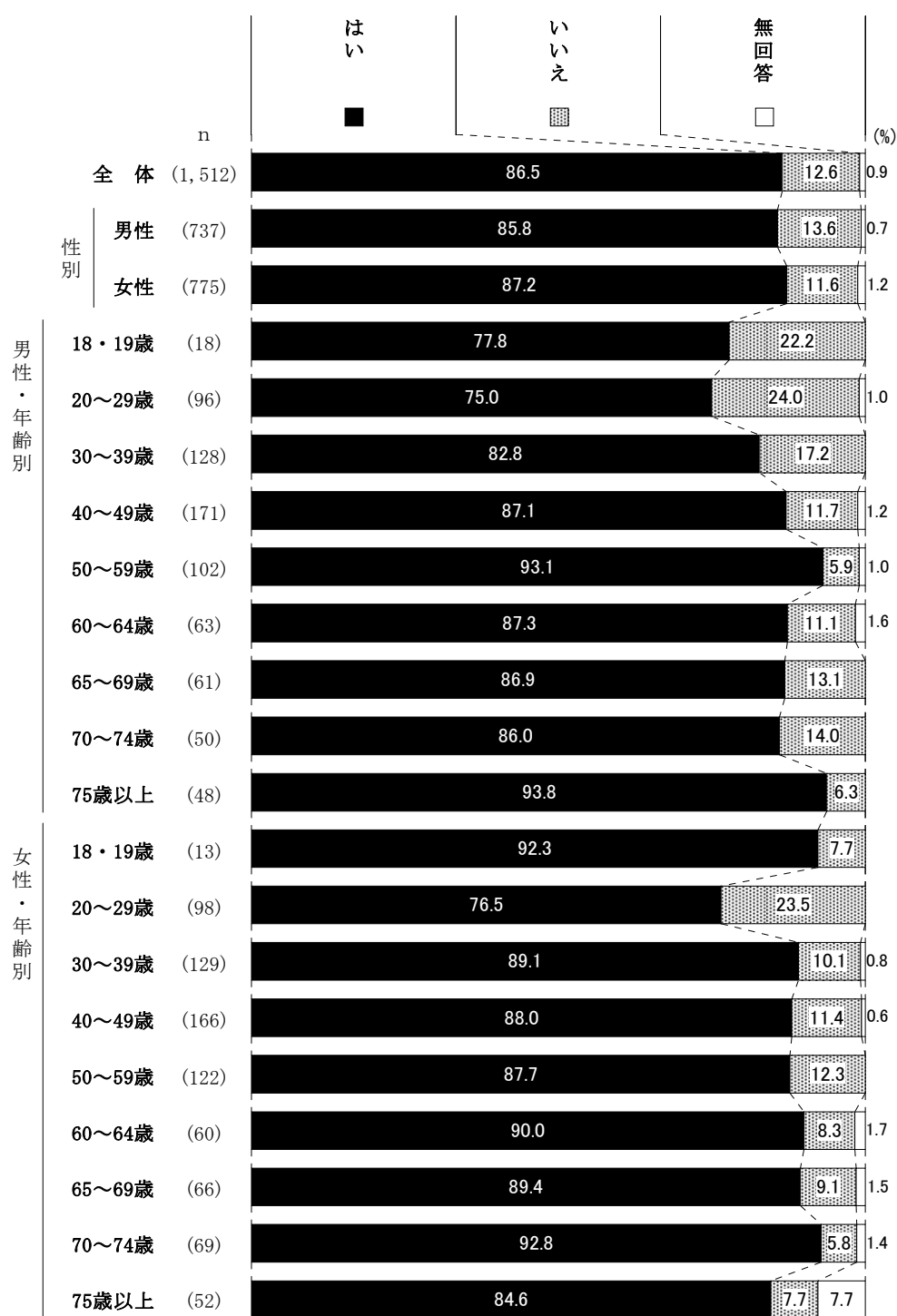
省エネ・省資源を意識した行動をしているかを尋ねたところ、「はい」は【部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている】(86.5%)で8割台半ばと最も高く、続いて【生ごみの水切りを行っている】(84.4%)でも8割台半ば、【家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入するようにしている】(80.5%)で約8割などとなっている。(図表6-1)

【ア. 部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「はい」は男性75歳以上（93.8%）で最も高くなっている。（図表6-2）

＜図表6-2＞ ア. 部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

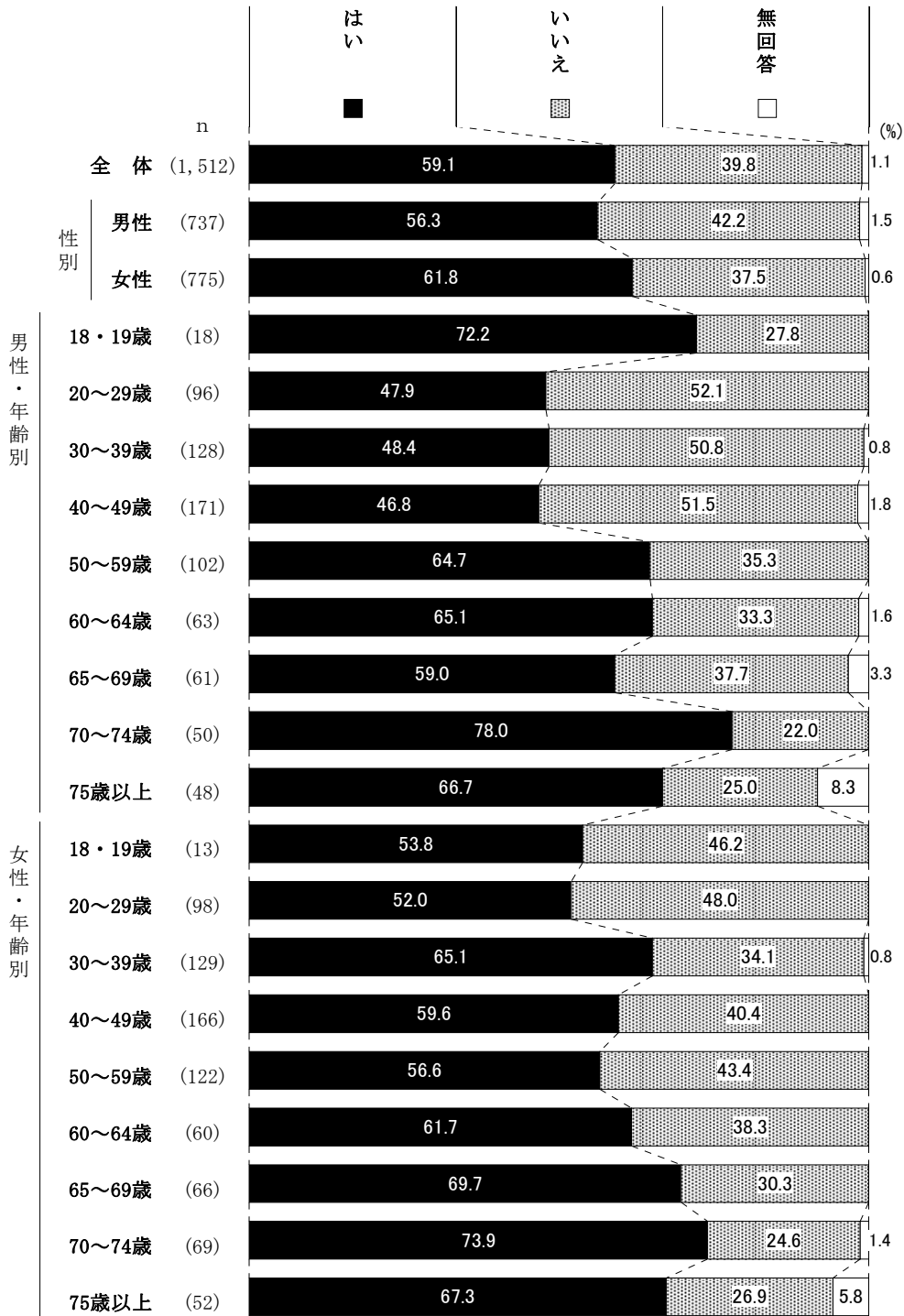
【イ. 夏は28℃、冬は20℃を冷暖房温度の目安としている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（61.8%）が男性（56.3%）よりも5.5ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性70～74歳（78.0%）で約8割と特に高くなっている。

（図表6-3）

＜図表6-3＞ イ. 夏は28℃、冬は20℃を冷暖房温度の目安としている／性・年齢別



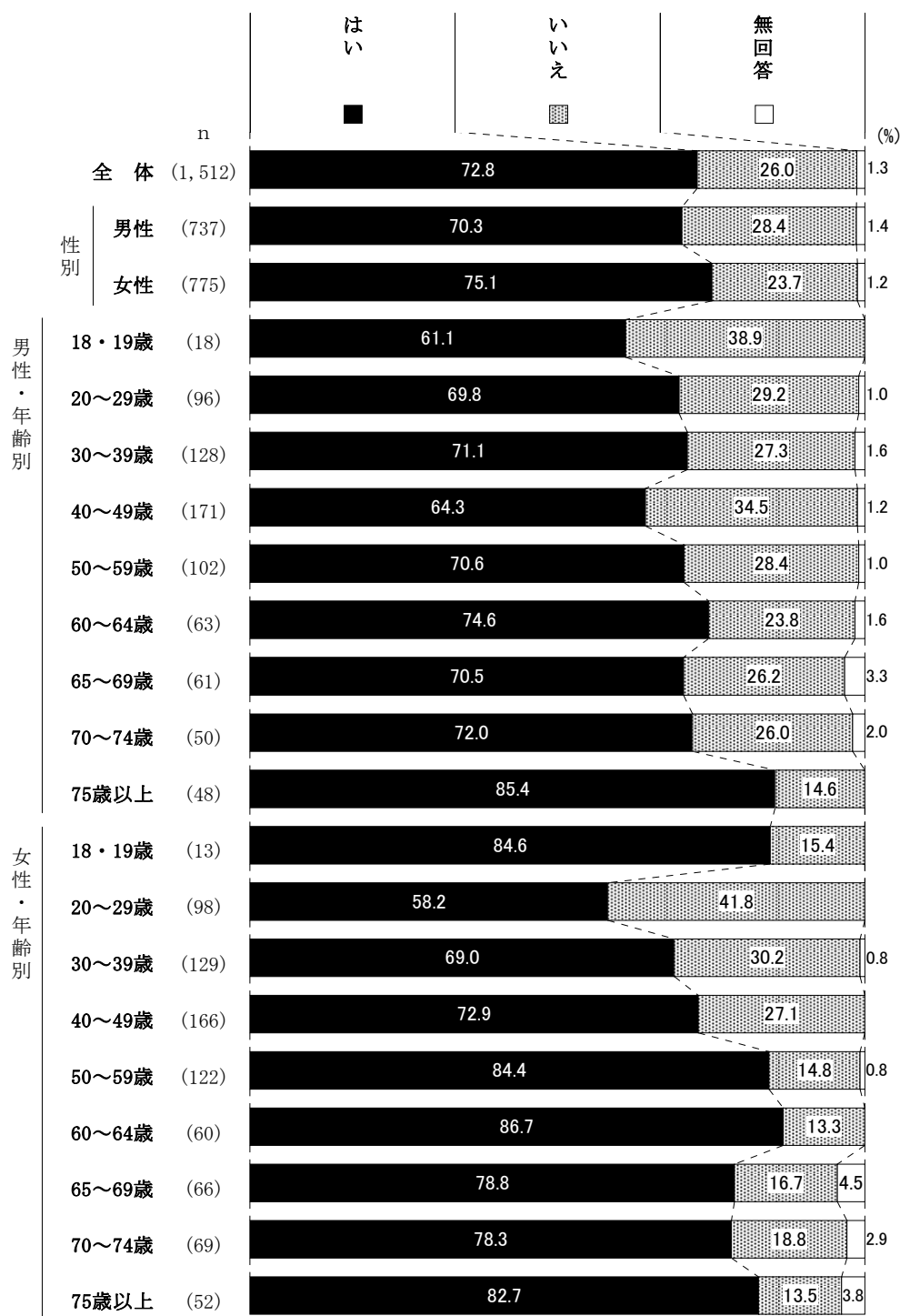
※男性及び女性の「18・19歳」については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【ウ. 冷蔵庫にものを詰め込みすぎないようにしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（75.1%）が男性（70.3%）よりも4.8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性60～64歳（86.7%）で最も高くなっている。（図表6－4）

＜図表6－4＞ ウ. 冷蔵庫にものを詰め込みすぎないようにしている／性・年齢別



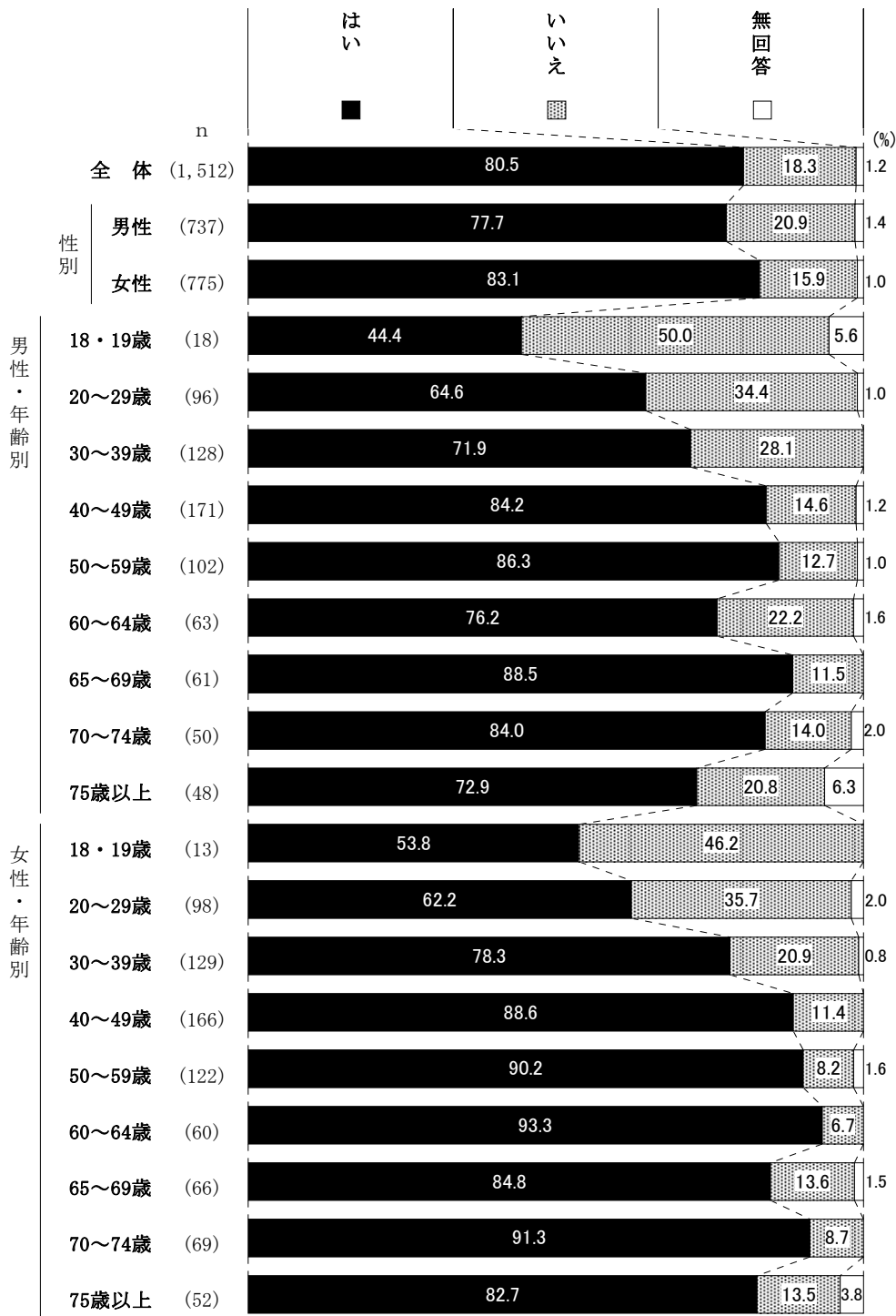
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【エ. 家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入するようにしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（83.1%）が男性（77.7%）よりも5.4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性60～64歳（93.3%）、女性70～74歳（91.3%）、女性50～59歳（90.2%）で9割台と高くなっている。（図表6－5）

＜図表6－5＞ エ. 家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入するようにしている／性・年齢別



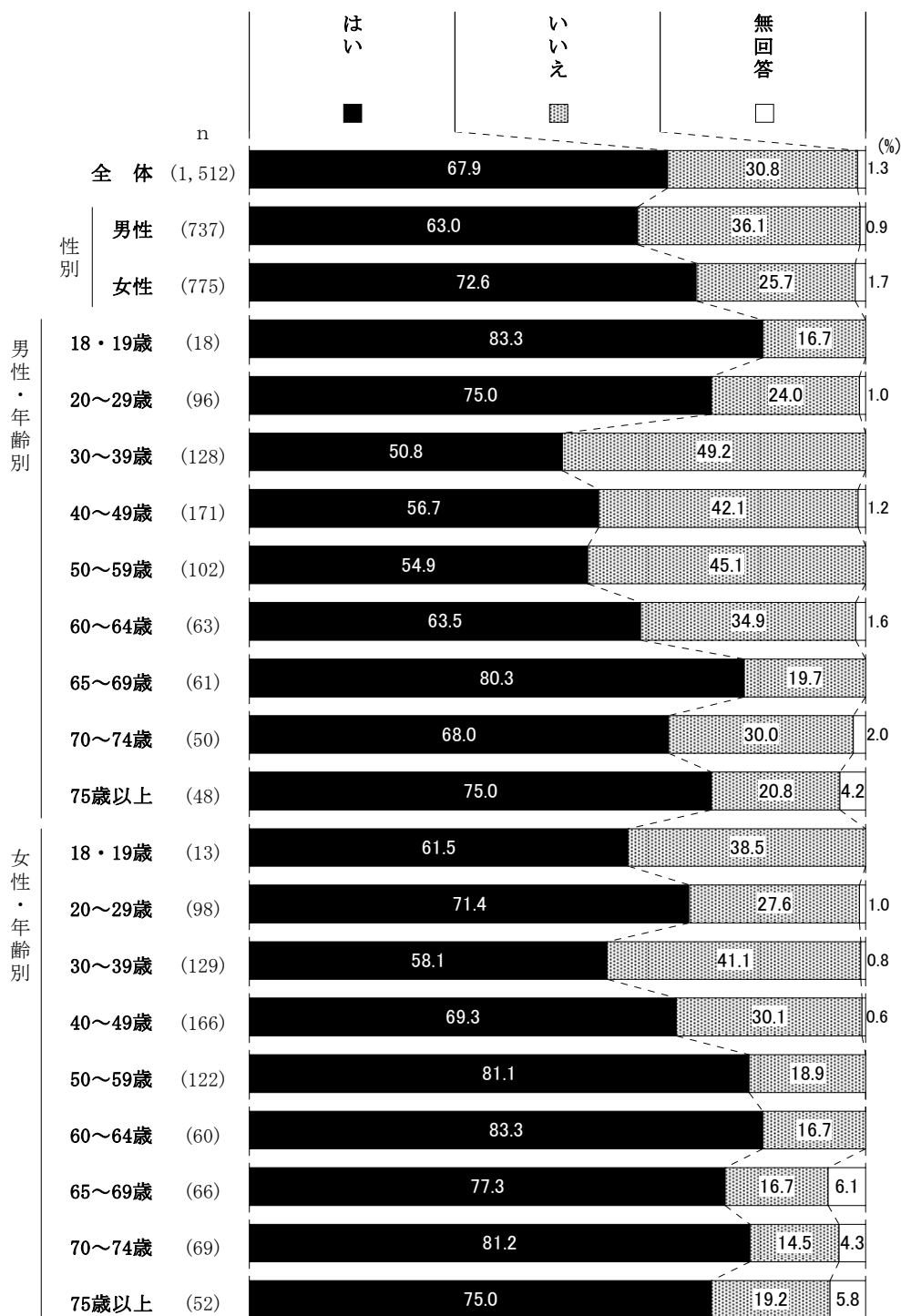
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【オ. 自動車の利用を極力ひかえ、バスなどの公共交通や自転車などを利用するようにしている
／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（72.6%）が男性（63.0%）よりも9.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性60～64歳（83.3%）で最も高くなっている。（図表6－6）

＜図表6－6＞ オ. 自動車の利用を極力ひかえ、バスなどの公共交通や自転車などを利用するよう
にしている／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

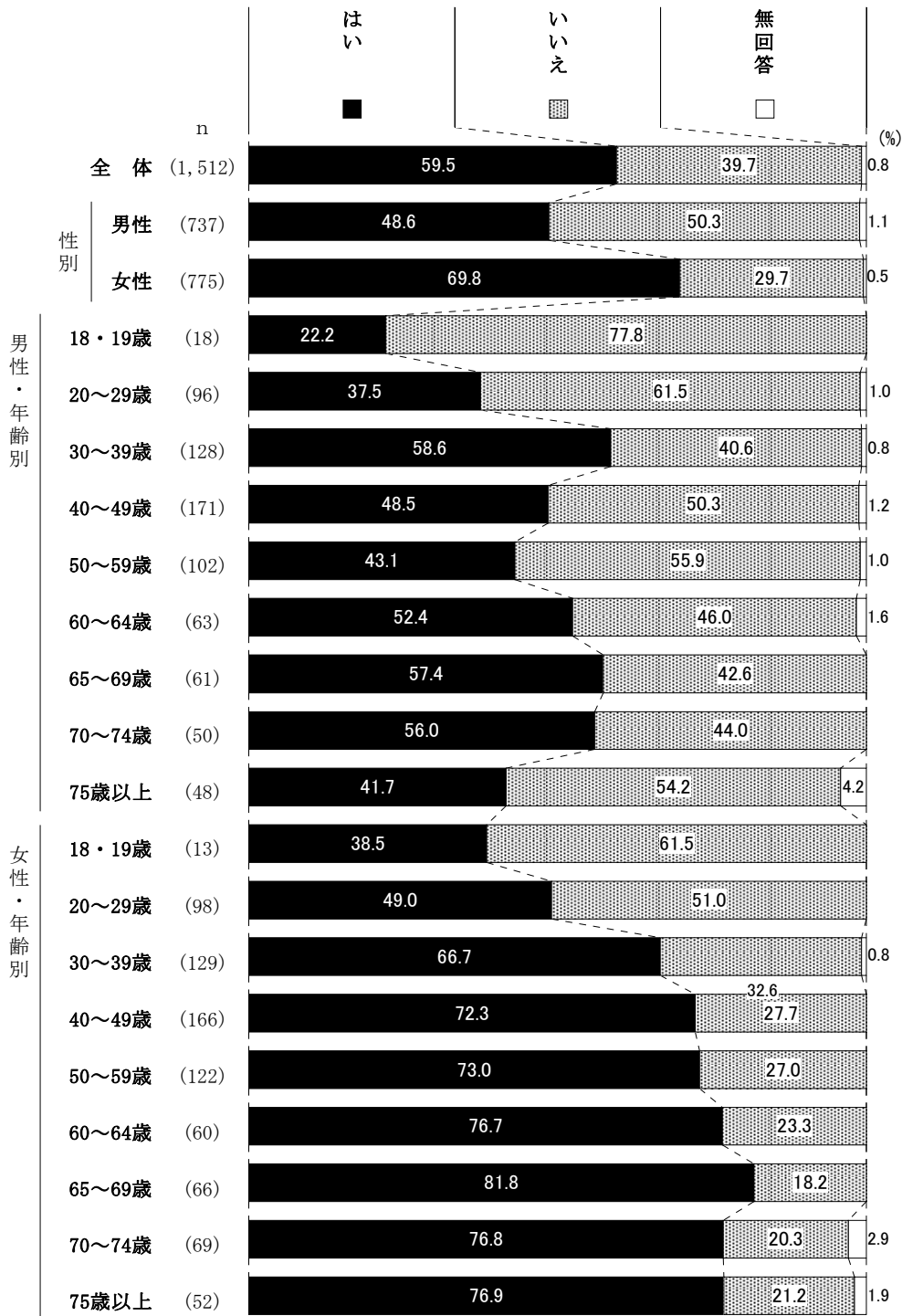
【カ. 買い物の際にはレジ袋削減のため買い物袋（マイバッグ）を持参している／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（69.8％）が男性（48.6％）よりも21.2ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性65～69歳（81.8％）で8割を超えて最も高くなっている。

（図表6－7）

＜図表6－7＞ カ. 買い物の際にはレジ袋削減のため買い物袋（マイバッグ）を持参している／性・年齢別



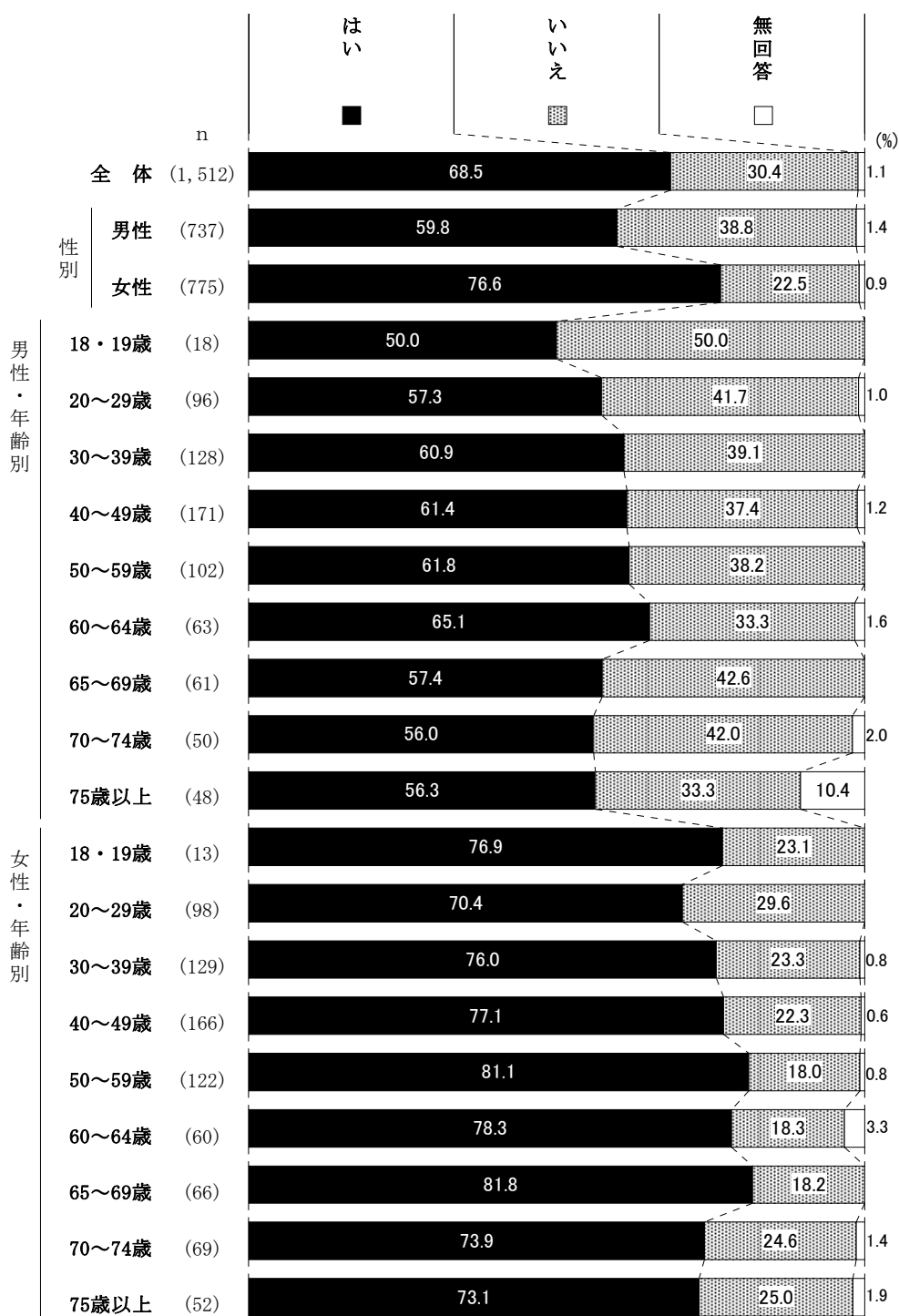
※男性及び女性の「18・19歳」については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【キ. 買い物の際には過剰包装を断るようにしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（76.6%）が男性（59.8%）よりも16.8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性の65～69歳（81.8%）と50～59歳（81.1%）で8割を超えて高くなっている。（図表6－8）

＜図表6－8＞ キ. 買い物の際には過剰包装を断るようにしている／性・年齢別



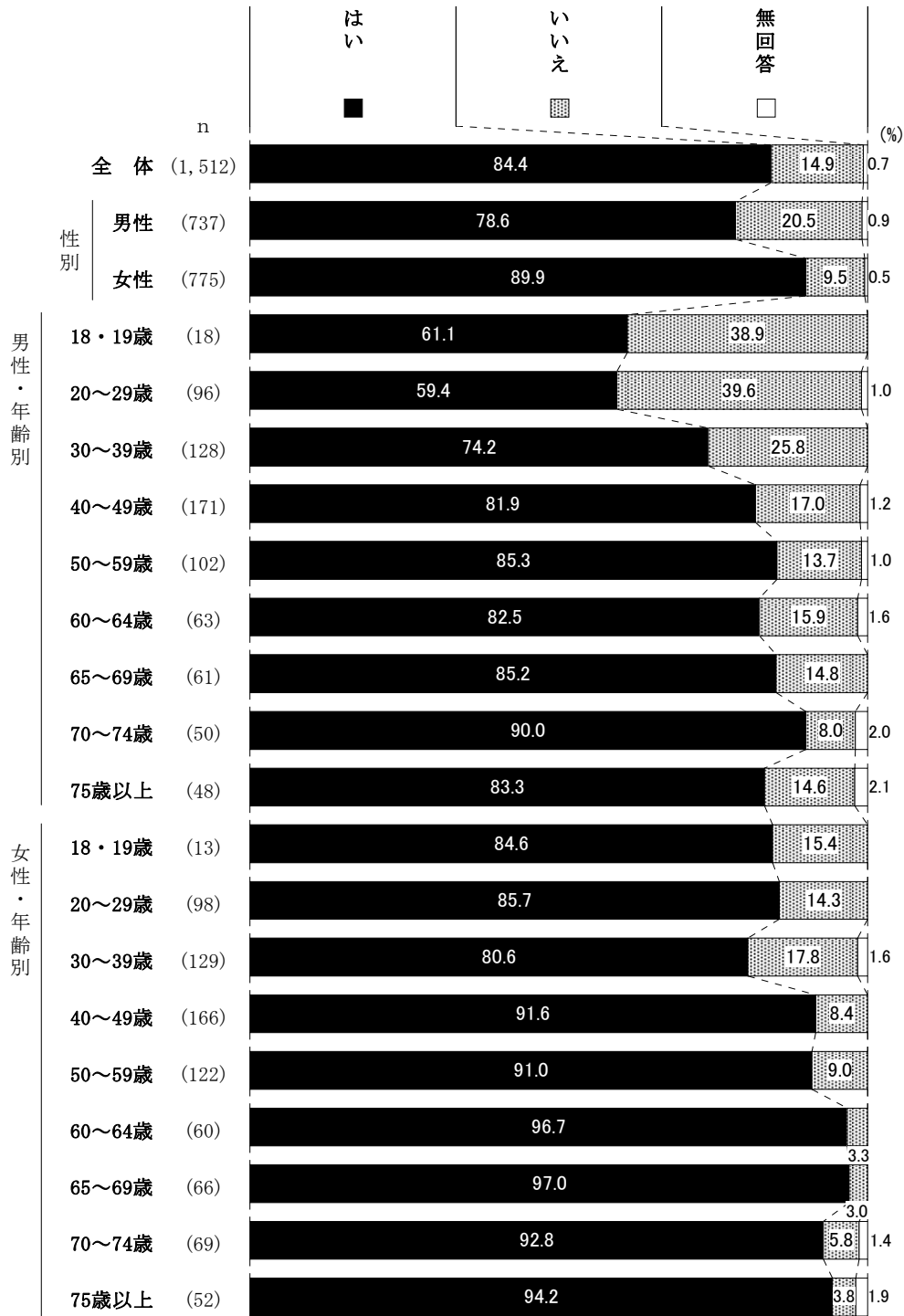
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【ク. 生ごみの水切りを行っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（89.9%）が男性（78.6%）よりも11.3ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性65～69歳（97.0%）と女性60～64歳（96.7%）で9割台後半と特に高くなっている。（図表6－9）

＜図表6－9＞ ク. 生ごみの水切りを行っている／性・年齢別



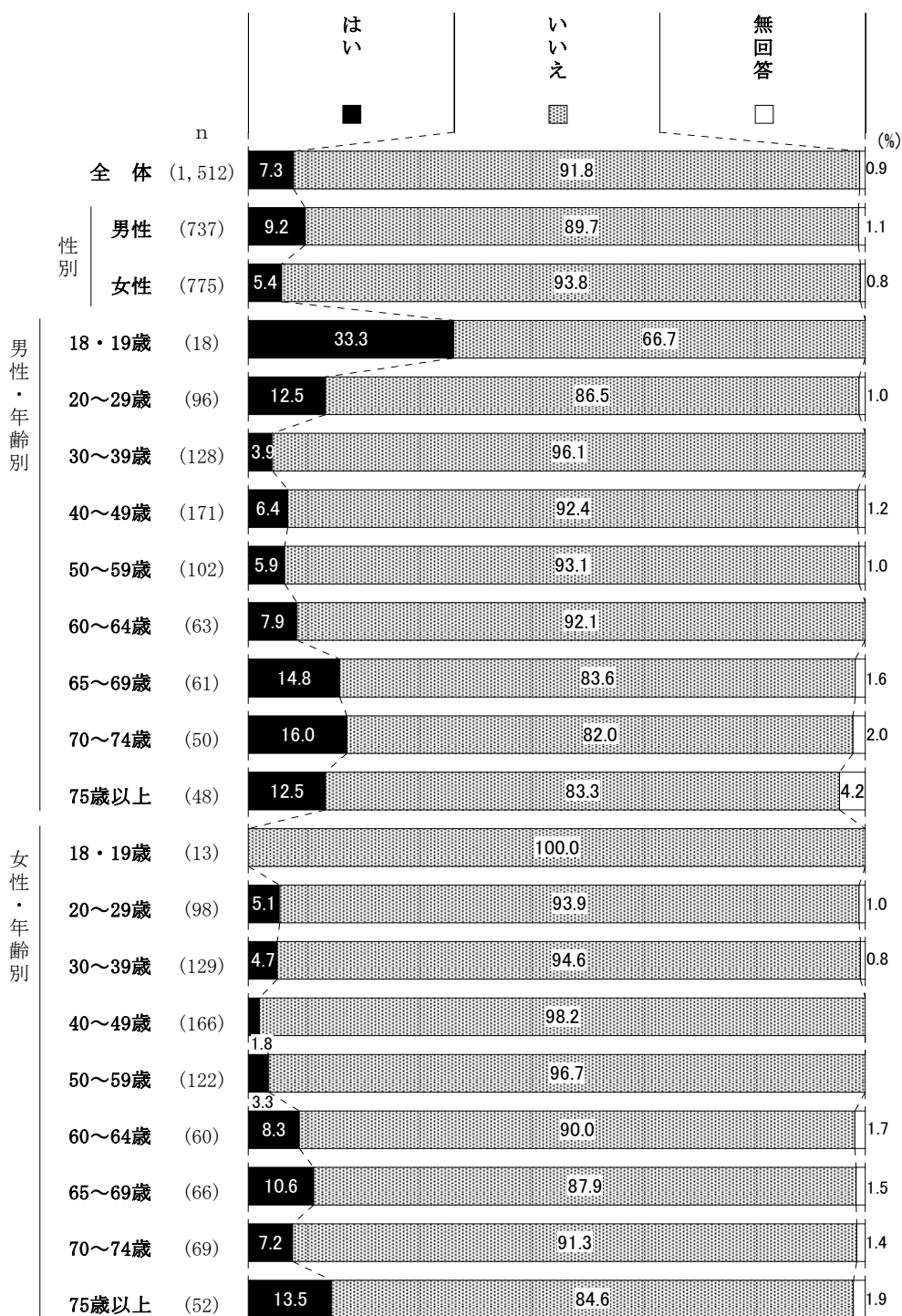
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【ケ. 堆肥化による生ごみのリサイクルを行っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は男性（9.2%）が女性（5.4%）よりも3.8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性70～74歳（16.0%）で最も高くなっている。（図表6－10）

＜図表6－10＞ ケ. 堆肥化による生ごみのリサイクルを行っている／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

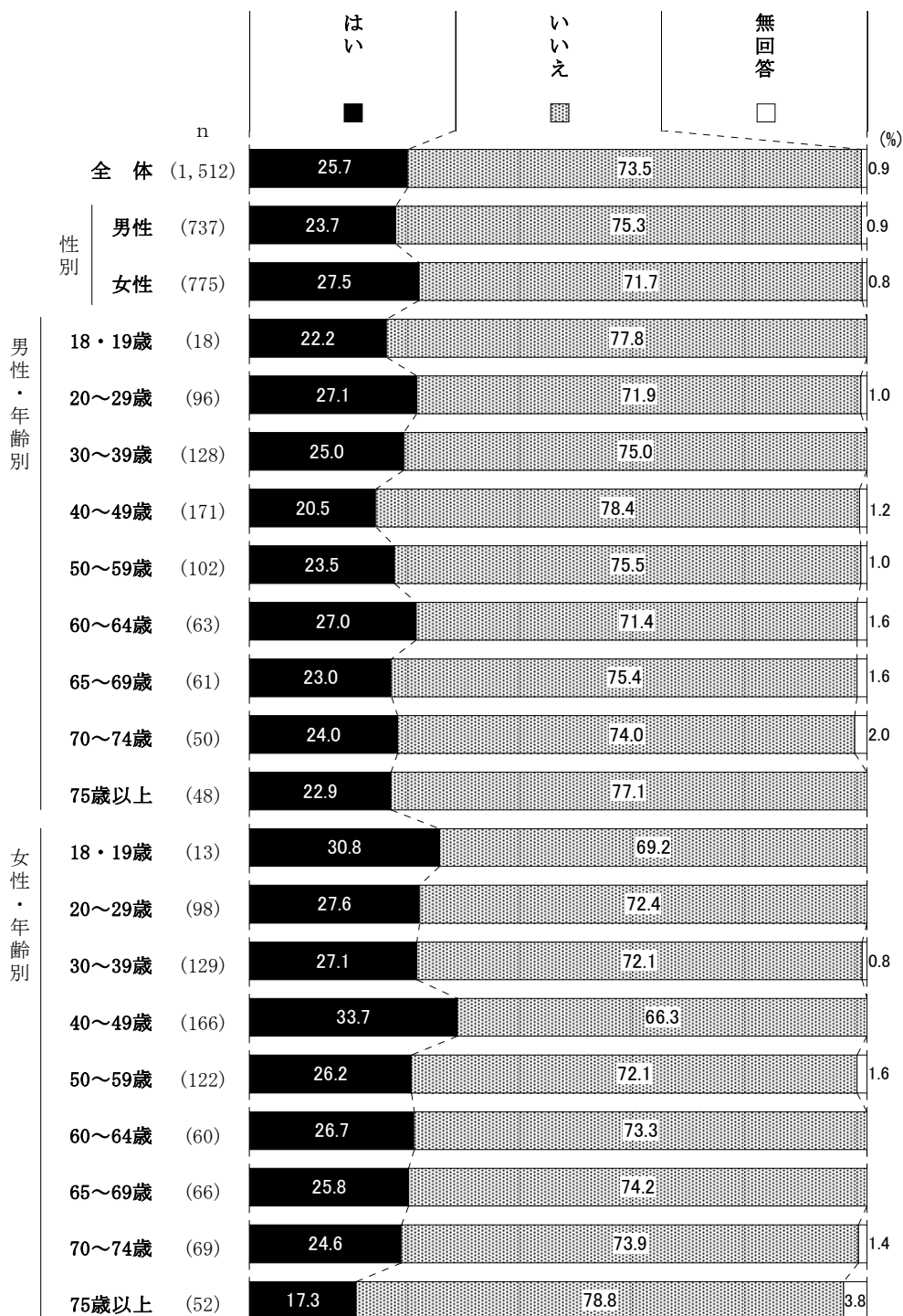
【コ. リサイクルショップを利用している／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（27.5%）が男性（23.7%）よりも3.8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性40～49歳（33.7%）で3割台半ばと高くなっている。

（図表6-11）

＜図表6-11＞ コ. リサイクルショップを利用している／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

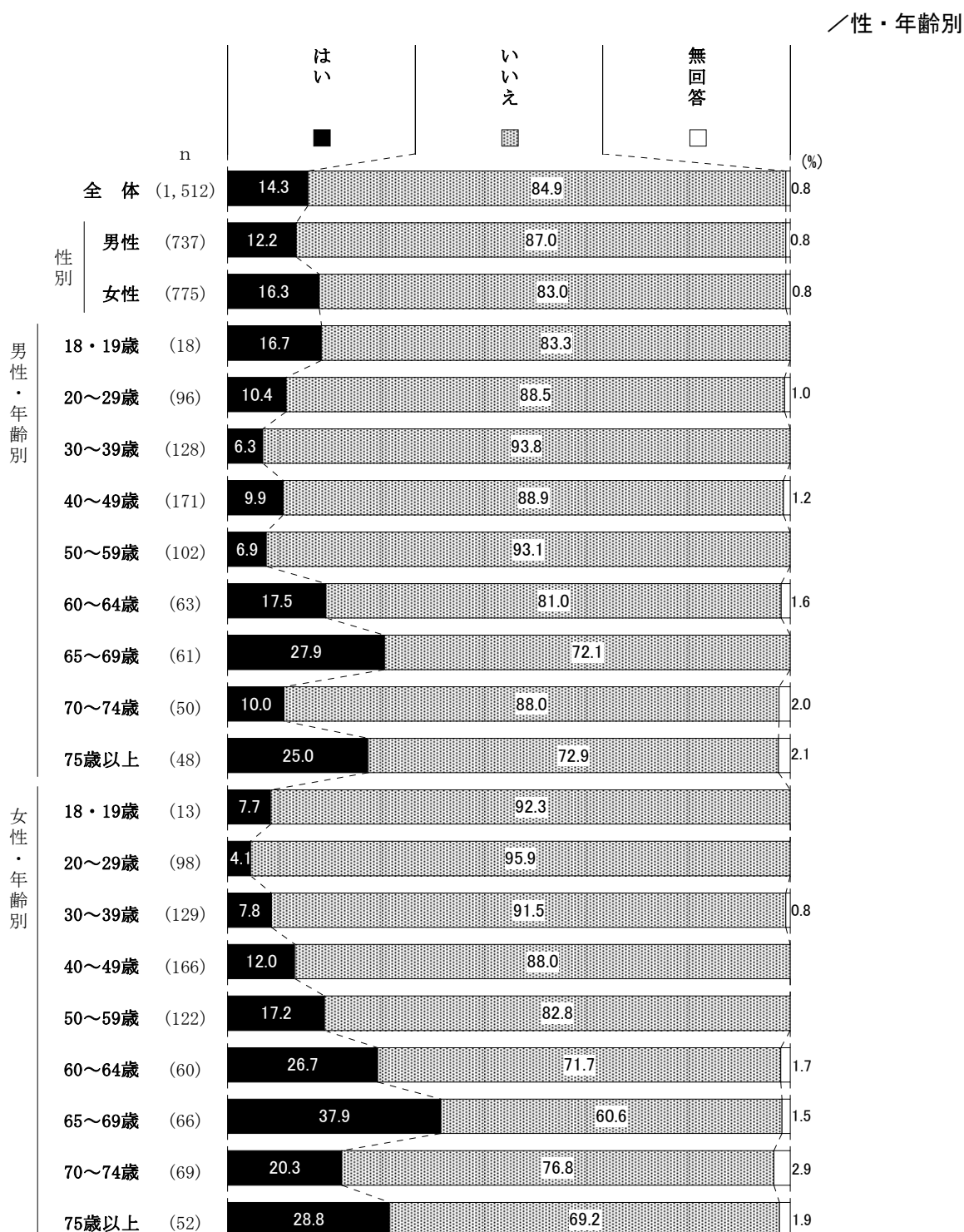
【サ. 不用品の無償譲渡の情報登録制度「リサイクルバンク」を知っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（16.3%）が男性（12.2%）よりも4.1ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性65～69歳（37.9%）で3割台後半と最も高くなっている。

（図表6-12）

＜図表6-12＞ サ. 不用品の無償譲渡の情報登録制度「リサイクルバンク」を知っている



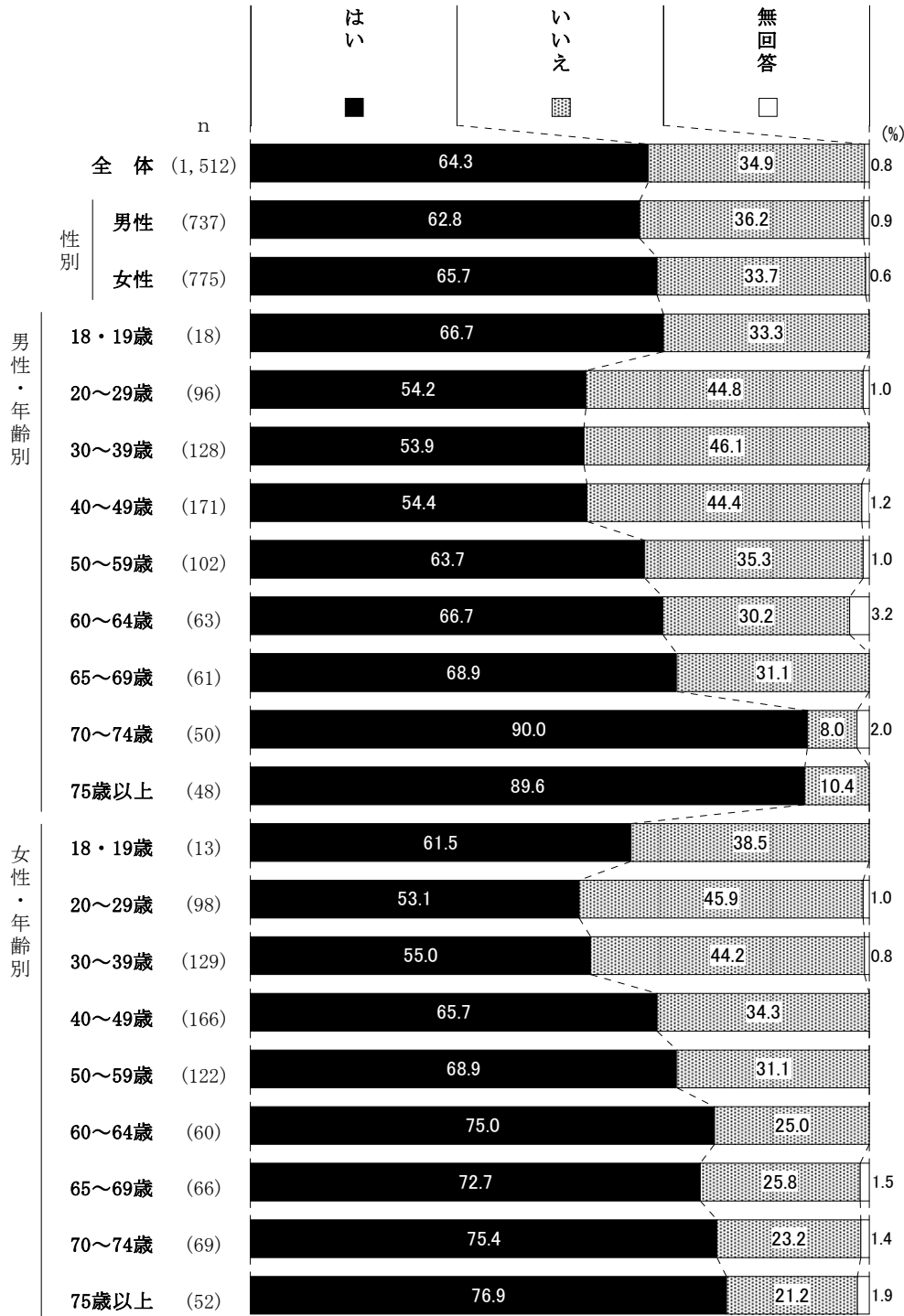
※男性及び女性の「18・19歳」については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【シ. 古紙などの資源は、町会・自治会などで行う集団回収に出すようにしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（65.7％）が男性（62.8％）よりも2.9ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性70～74歳（90.0％）と男性75歳以上（89.6％）で約9割と特に高くなっている。（図表6-13）

＜図表6-13＞ シ. 古紙などの資源は、町会・自治会などで行う集団回収に出すようにしている／性・年齢別



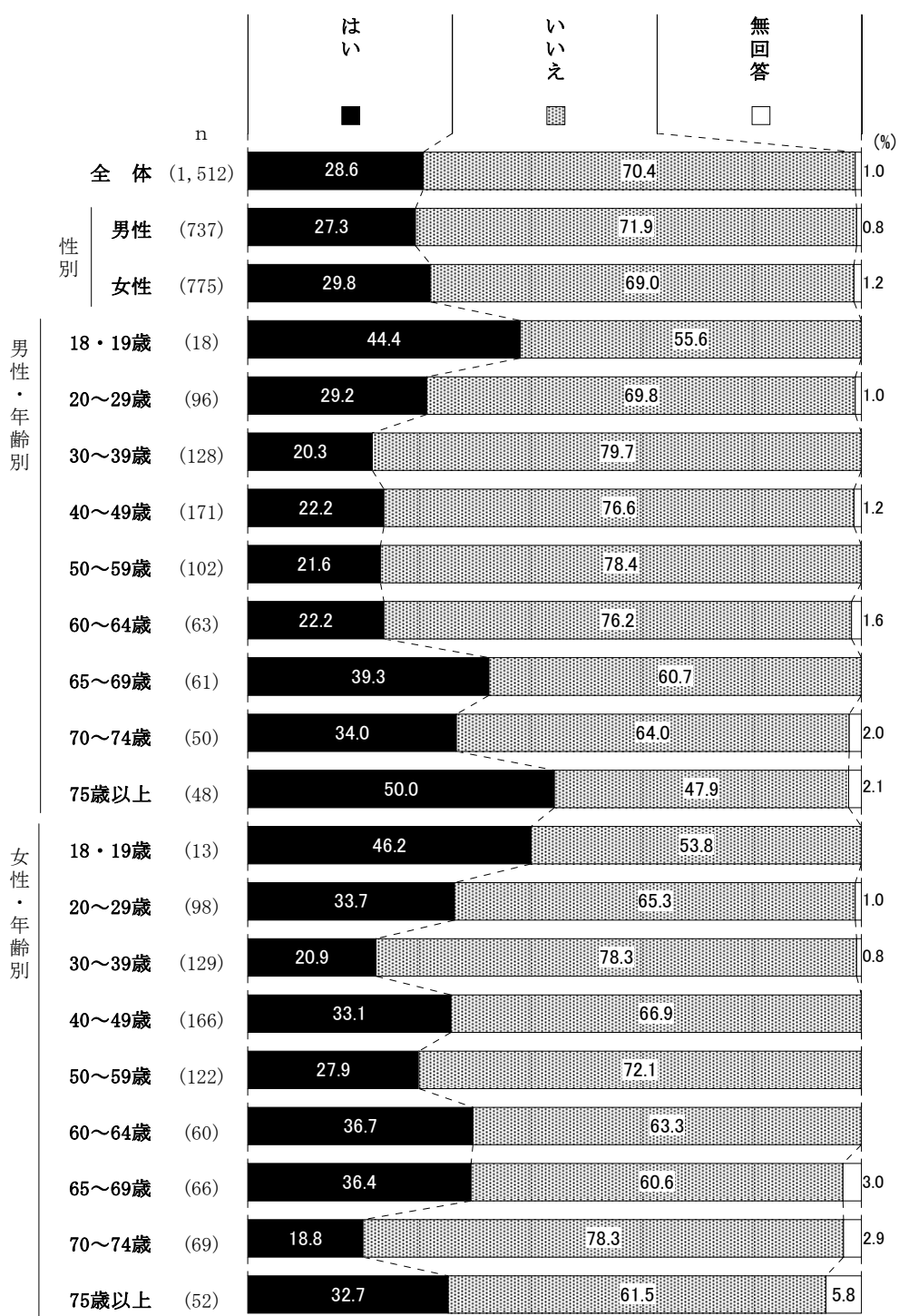
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【ス. ペットボトルは、スーパーや店舗での回収を利用している／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（29.8％）が男性（27.3％）よりも2.5ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性75歳以上（50.0％）で最も高くなっている。（図表6-14）

＜図表6-14＞ ス. ペットボトルは、スーパーや店舗での回収を利用している／性・年齢別



※男性及び女性の「18・19歳」については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

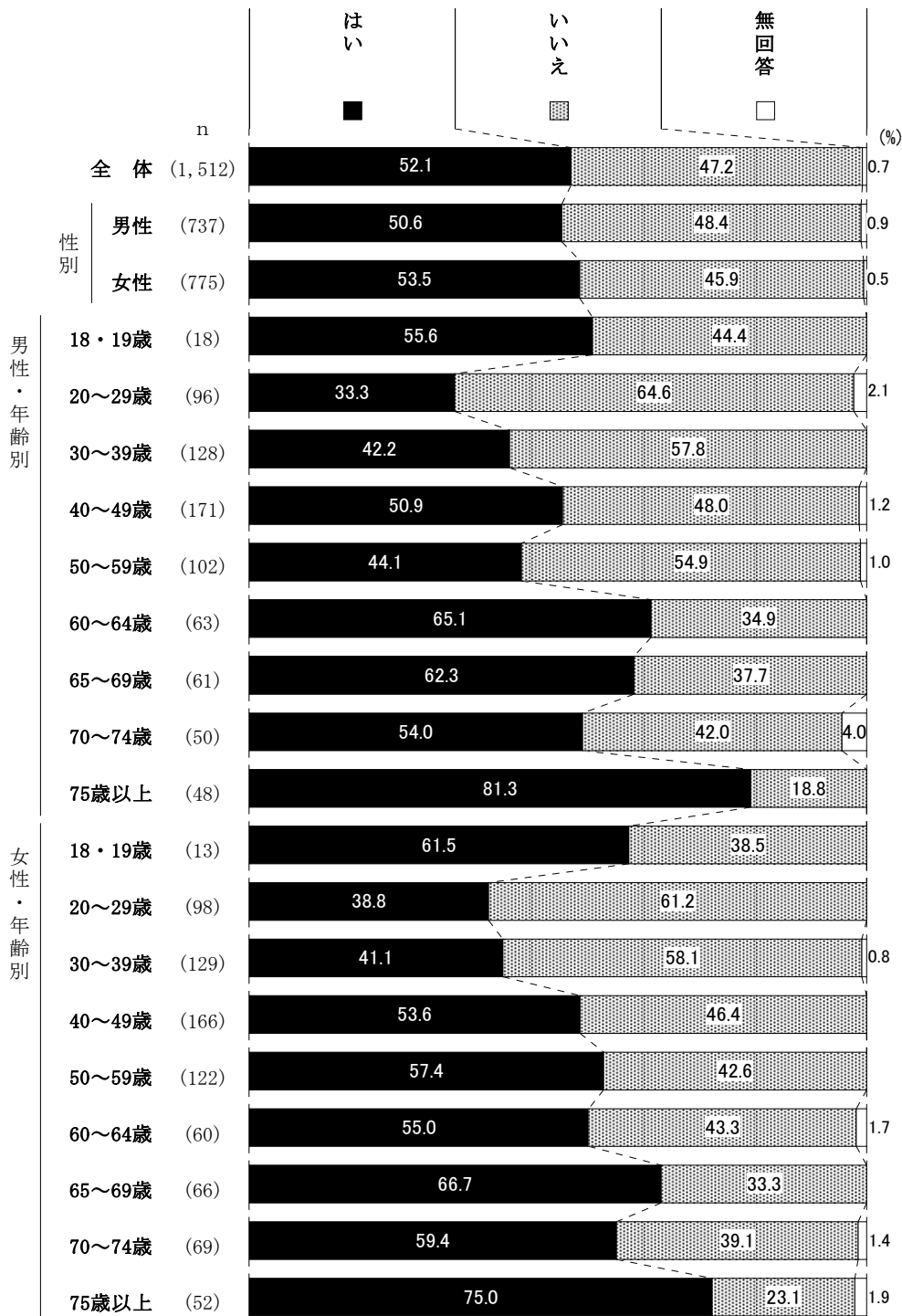
【セ. お菓子やティッシュの紙箱などの雑紙を資源として分別している／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（53.5%）が男性（50.6%）よりも2.9ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性75歳以上（81.3%）で8割を超えて最も高くなっている。

（図表6-15）

＜図表6-15＞ セ. お菓子やティッシュの紙箱などの雑紙を資源として分別している／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

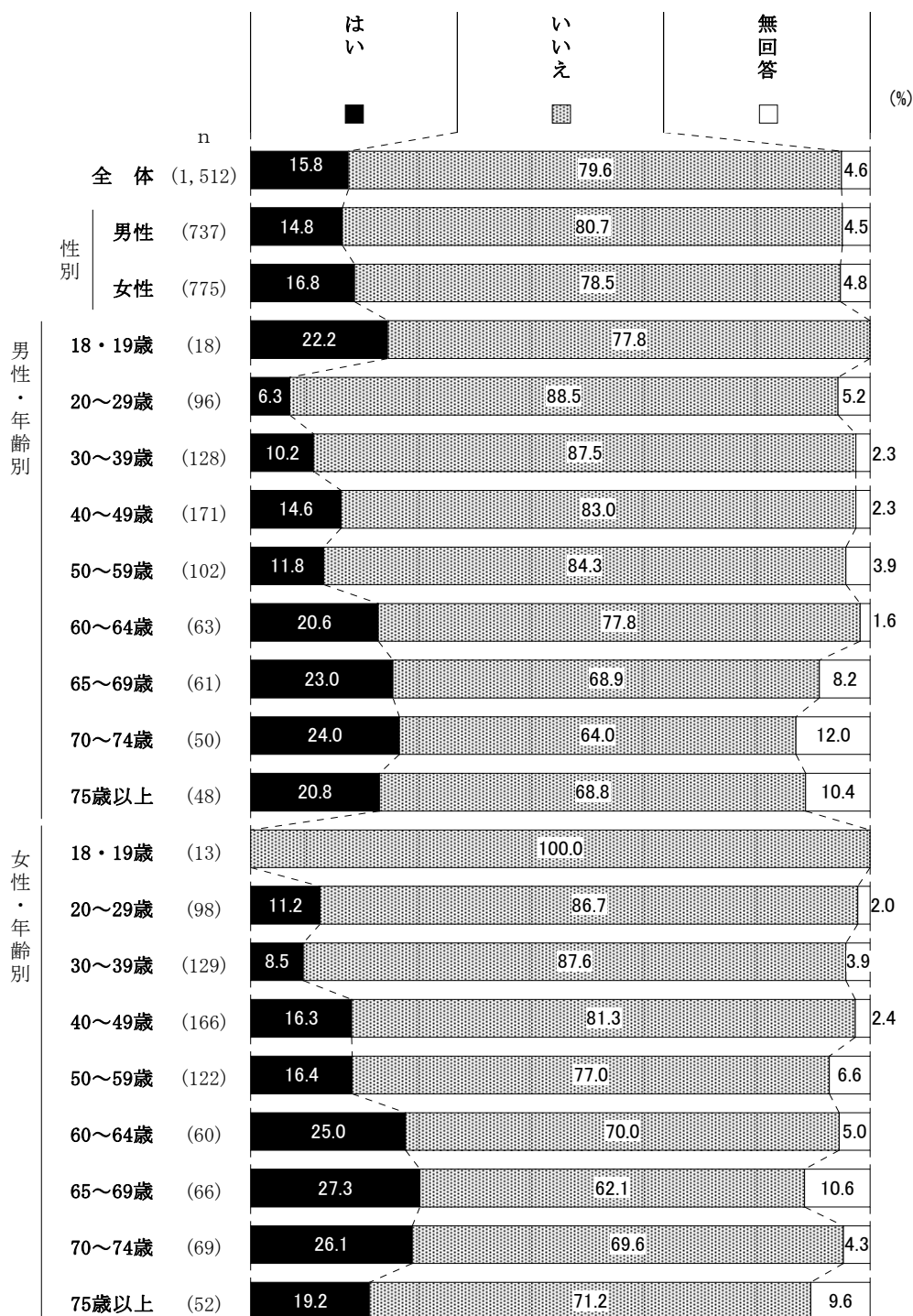
【ソ. ア～セのほかに省エネ・省資源やごみ減量・リサイクルなどにつながる、環境に配慮した取り組みを行っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（16.8％）が男性（14.8％）よりも2.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性65～69歳（27.3％）で2割台後半と最も高くなっている。

（図表6-16）

＜図表6-16＞ ソ. ア～セのほかに省エネ・省資源やごみ減量・リサイクルなどにつながる、環境に配慮した取り組みを行っている／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

7. 災害対策について

(1) 地震発生時のための備え

◇家庭での備えでは【家具を固定したり、配置に工夫をしている】が約5割

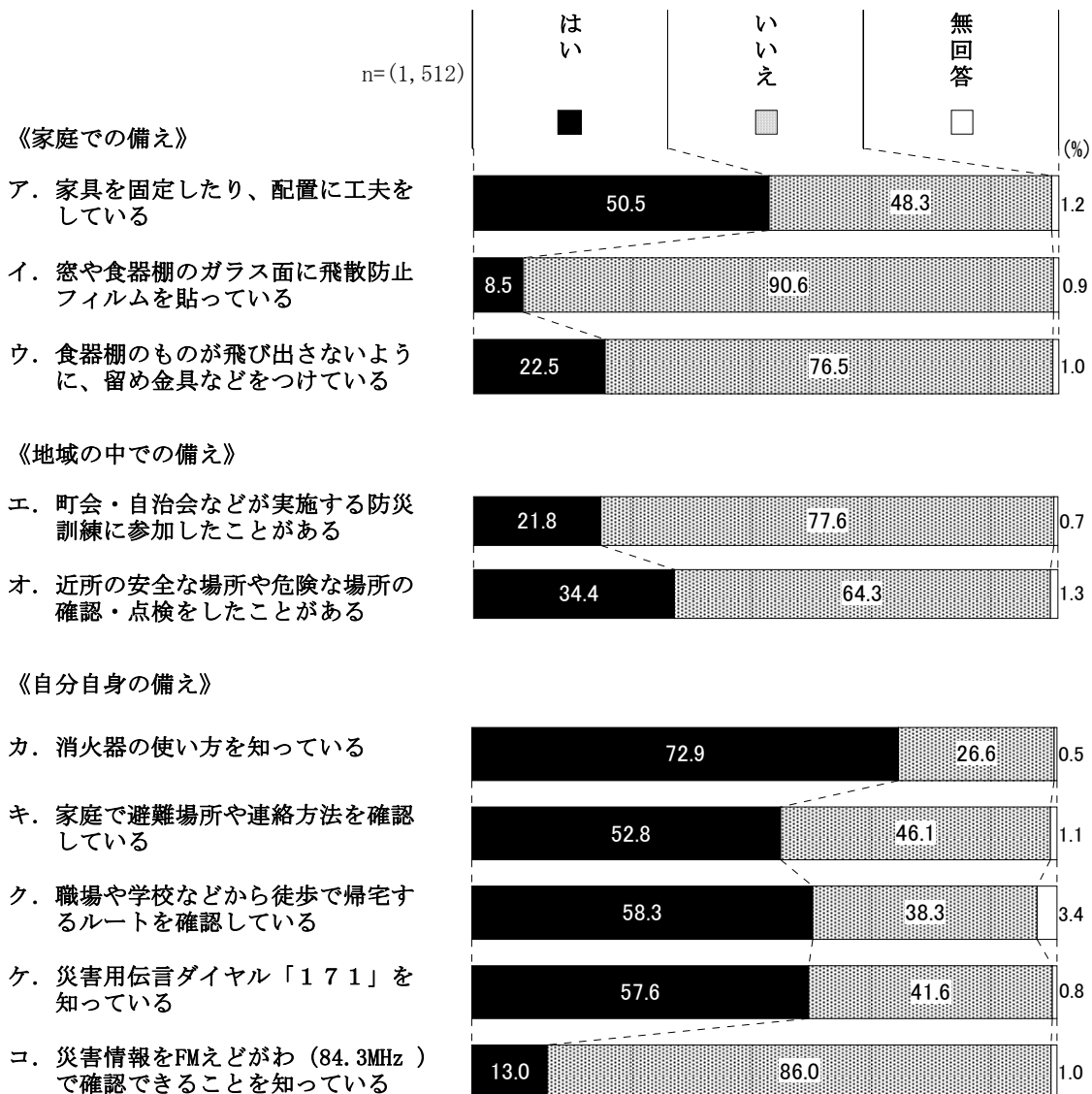
地域の中での備えでは【近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある】が3割台半ば

自分自身の備えでは【消火器の使い方を知っている】が7割を超える

国の中央防災会議が発表した首都直下地震の被害想定によると、マグニチュード7クラスの地震は、今後30年以内に70%の確率で発生するとされています。

問12 あなたは、地震が起こったときのために、日頃からア～コのような備えをしていますか。
(それぞれ○は1つつ)

<図表7-1> 地震発生時のための備え



地震発生時のための備えについて尋ねたところ、「はい」は、家庭での備えでは【家具を固定したり、配置に工夫をしている】(50.5%)が約5割と最も高くなっている。

地域の中での備えでは【近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある】(34.4%)が3割台半ばとなっている。

自分自身の備えでは【消火器の使い方を知っている】(72.9%)が7割を超えている。(図表7-1)

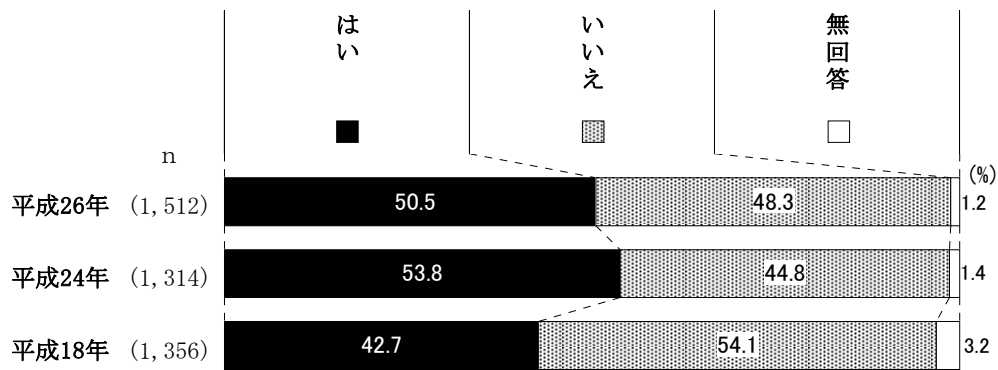
【ア. 家具を固定したり、配置に工夫をしている】

【時系列比較】

平成18年からの調査結果と比較すると、「はい」は平成24年（53.8%）から3.3ポイント減少している。

（図表7-2）

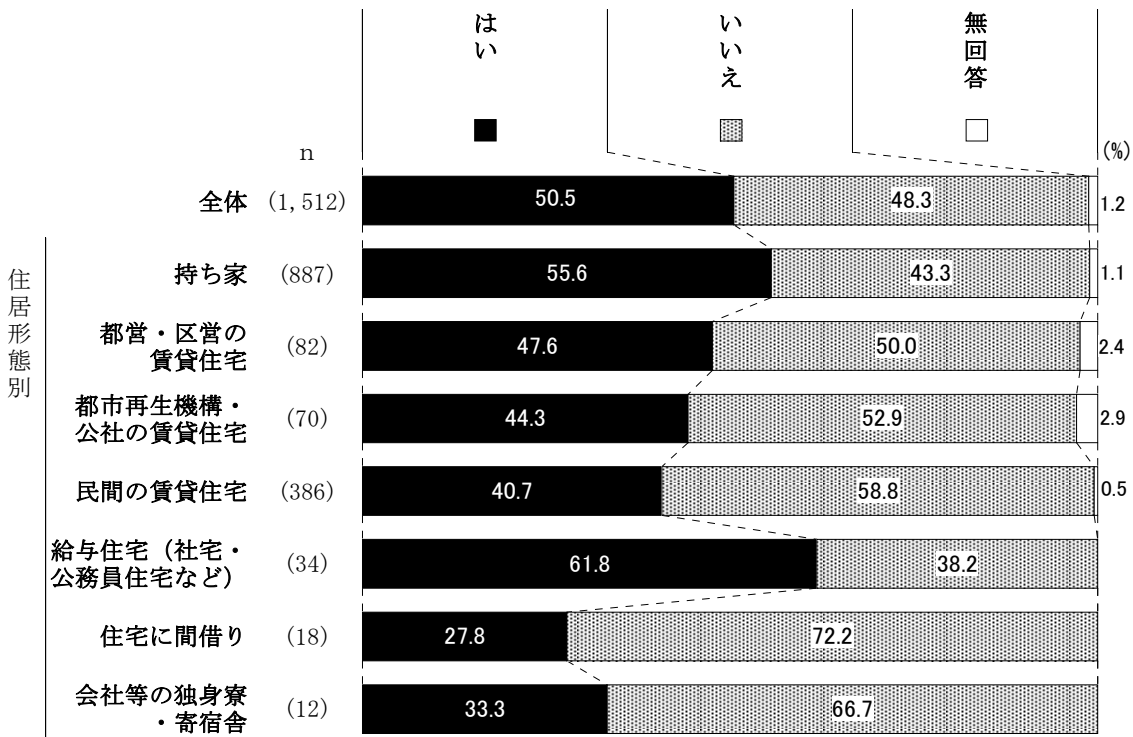
＜図表7-2＞ ア. 家具を固定したり、配置に工夫をしている／時系列比較



【住居形態別】

住居形態別でみると、「はい」は給与住宅（社宅・公務員住宅など）（61.8%）で最も高くなっている。一方、民間の賃貸住宅（40.7%）では低くなっている。（図表7-3）

＜図表7-3＞ ア. 家具を固定したり、配置に工夫をしている／住居形態別



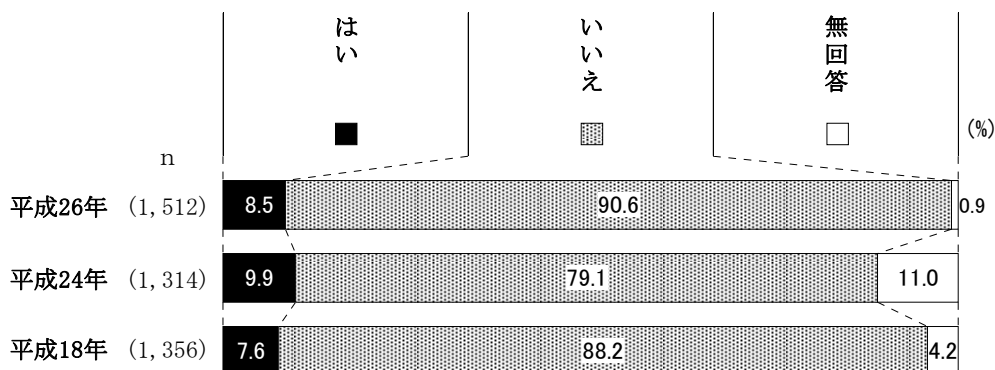
※ “住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【イ. 窓や食器棚のガラス面に飛散防止フィルムを貼っている】

【時系列比較】

平成18年からの調査結果と比較すると、「はい」はあまり大きな違いはみられない。(図表7-4)

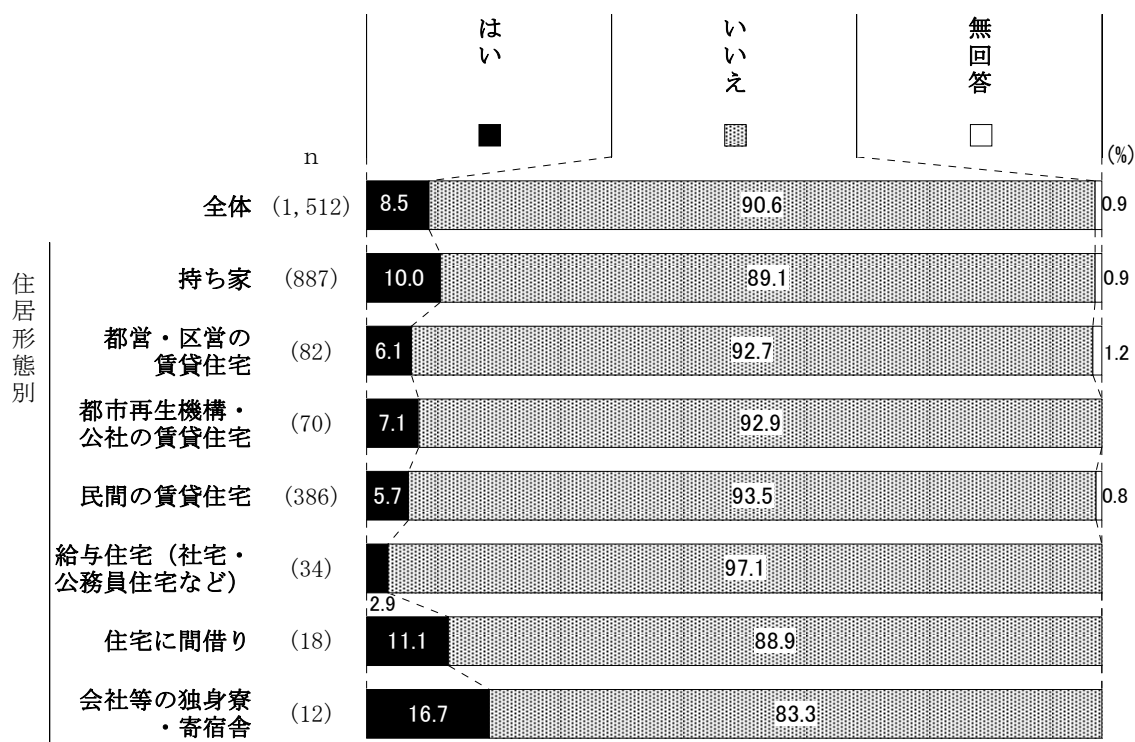
＜図表7-4＞ イ. 窓や食器棚のガラス面に飛散防止フィルムを貼っている／時系列比較



【住居形態別】

住居形態別でみると、「はい」は持ち家(10.0%)で最も高くなっている。一方、給与住宅(社宅・公務員住宅など)(2.9%)で最も低くなっている。(図表7-5)

＜図表7-5＞ イ. 窓や食器棚のガラス面に飛散防止フィルムを貼っている／住居形態別



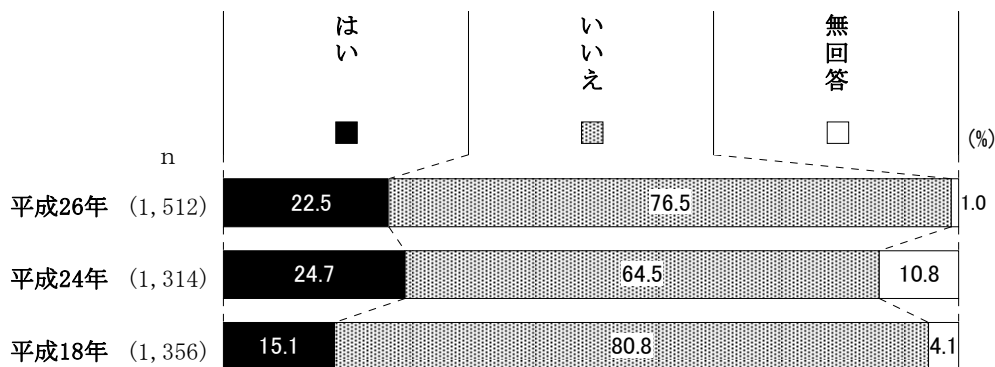
※ “住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【ウ. 食器棚のものが飛び出さないように、止め金具などをつけている】

【時系列比較】

平成18年からの調査結果と比較すると、「はい」は平成24年（24.7%）とあまり大きな違いはみられない。（図表7-6）

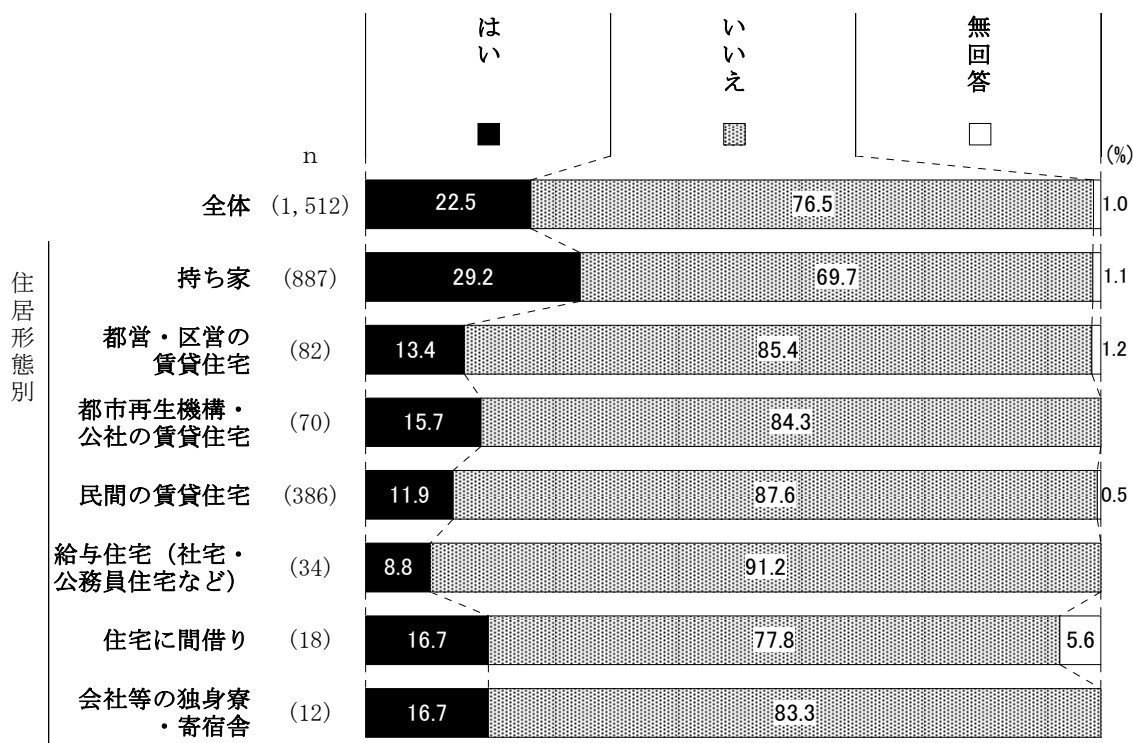
＜図表7-6＞ ウ. 食器棚のものが飛び出さないように、止め金具などをつけている／時系列比較



【住居形態別】

住居形態別でみると、「はい」は持ち家（29.2%）で約3割と最も高くなっている。一方、給与住宅（社宅・公務員住宅など）（8.8%）では低くなっている。（図表7-7）

＜図表7-7＞ ウ. 食器棚のものが飛び出さないように、止め金具などをつけている／住居形態別



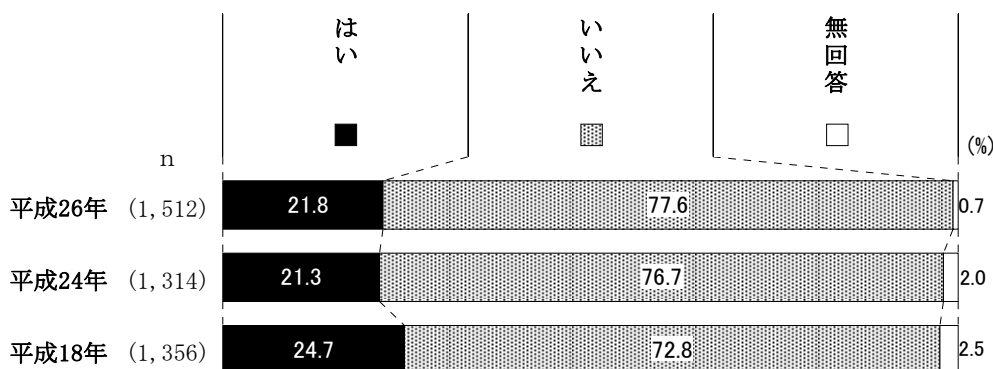
※ “住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【エ. 町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある】

【時系列比較】

平成18年からの調査結果と比較すると、「はい」は平成24年（21.3%）とあまり大きな違いはみられない。（図表7-8）

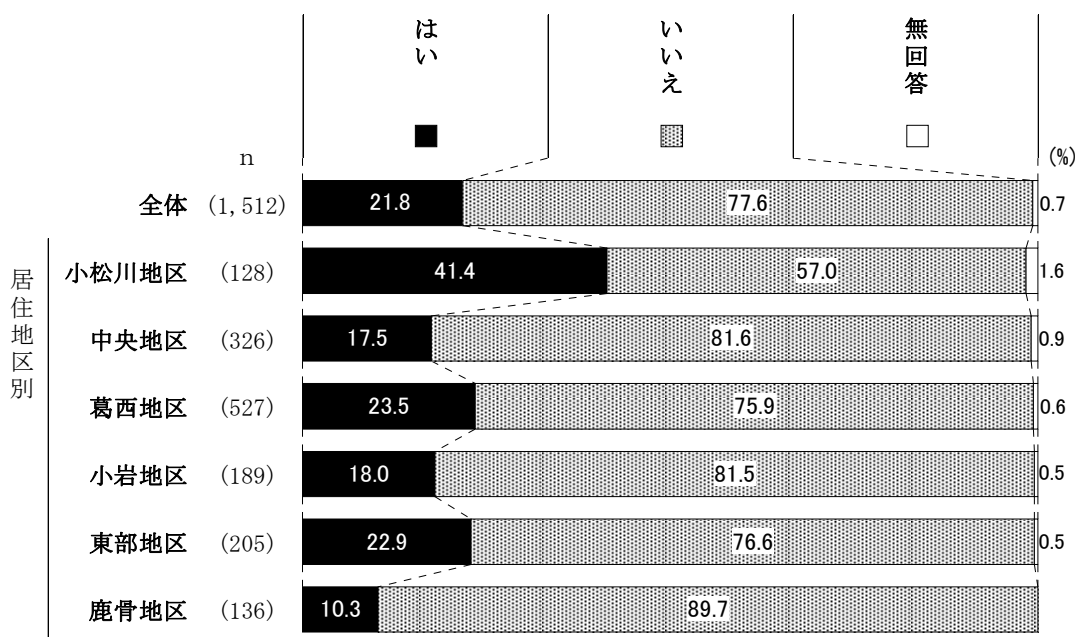
＜図表7-8＞ エ. 町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある／時系列比較



【居住地区別】

居住地区別でみると、「はい」は小松川地区（41.4%）で4割を超えて最も高くなっている。一方、鹿骨地区（10.3%）では低くなっている。（図表7-9）

＜図表7-9＞ エ. 町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある／居住地区別

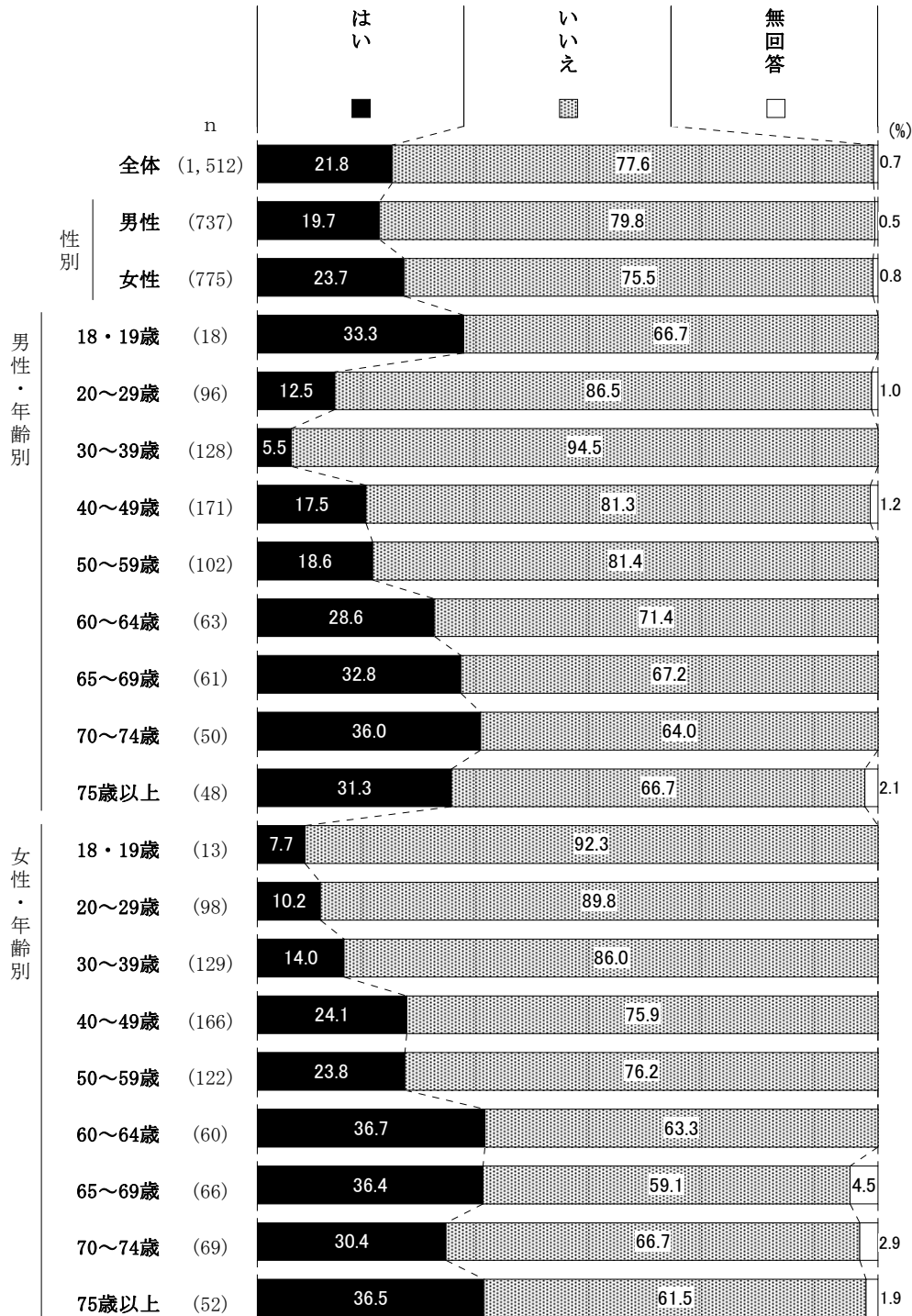


【エ. 町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある／性・年齢別】

性別では、女性（23.7％）が男性（19.7％）より4.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性60～64歳（36.7％）、女性75歳以上（36.5％）、女性65～69歳（36.4％）、男性70～74歳（36.0％）で3割台半ばと高くなっている。（図表7-10）

＜図表7-10＞ エ. 町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある／性・年齢別



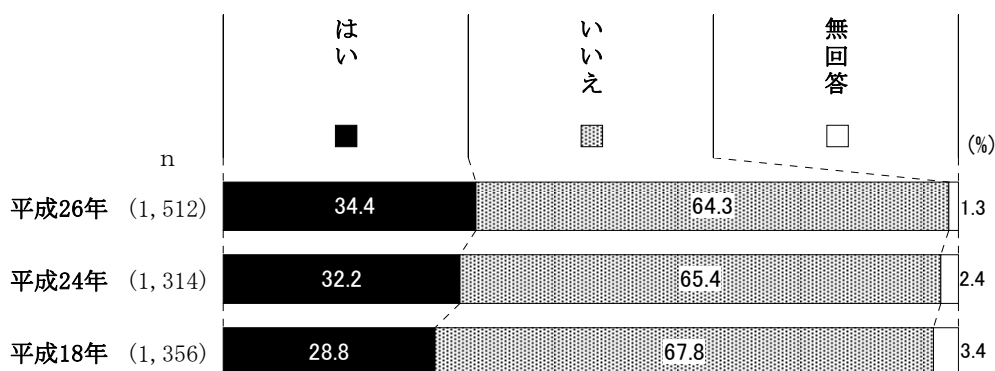
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【オ. 近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある】

【時系列比較】

平成18年からの調査結果と比較すると、「はい」は増加傾向にあり、平成26年（34.4%）は、平成18年（28.8%）から5.6ポイント増加している。（図表7-11）

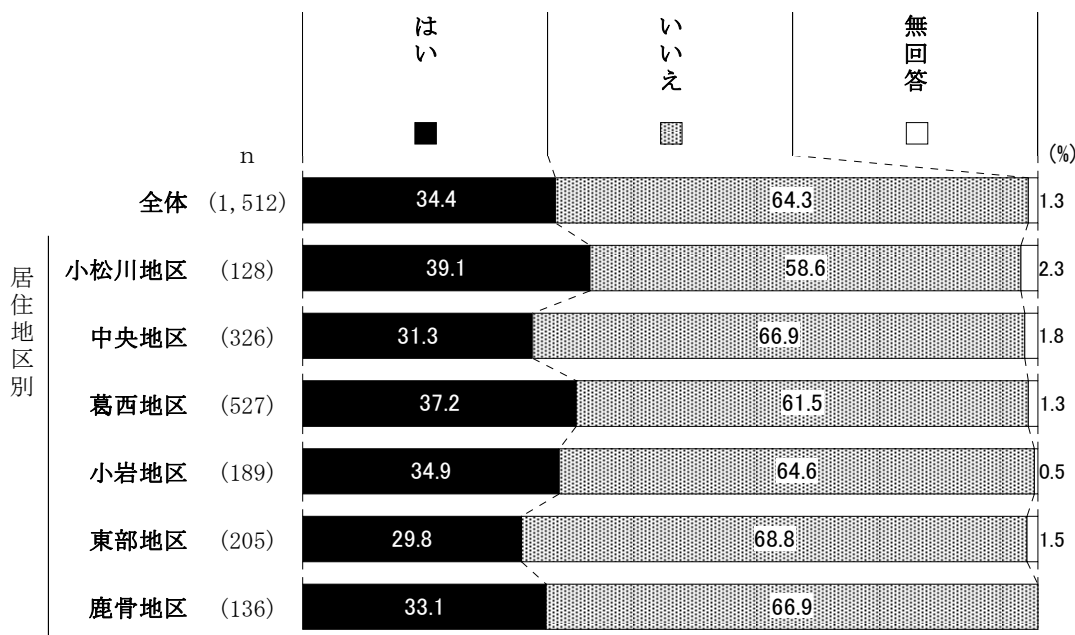
＜図表7-11＞ オ. 近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある／時系列比較



【居住地区別】

居住地区別でみると、「はい」は小松川地区（39.1%）で約4割と最も高くなっている。一方、東部地区（29.8%）では低くなっている。（図表7-12）

＜図表7-12＞ オ. 近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある／居住地区別



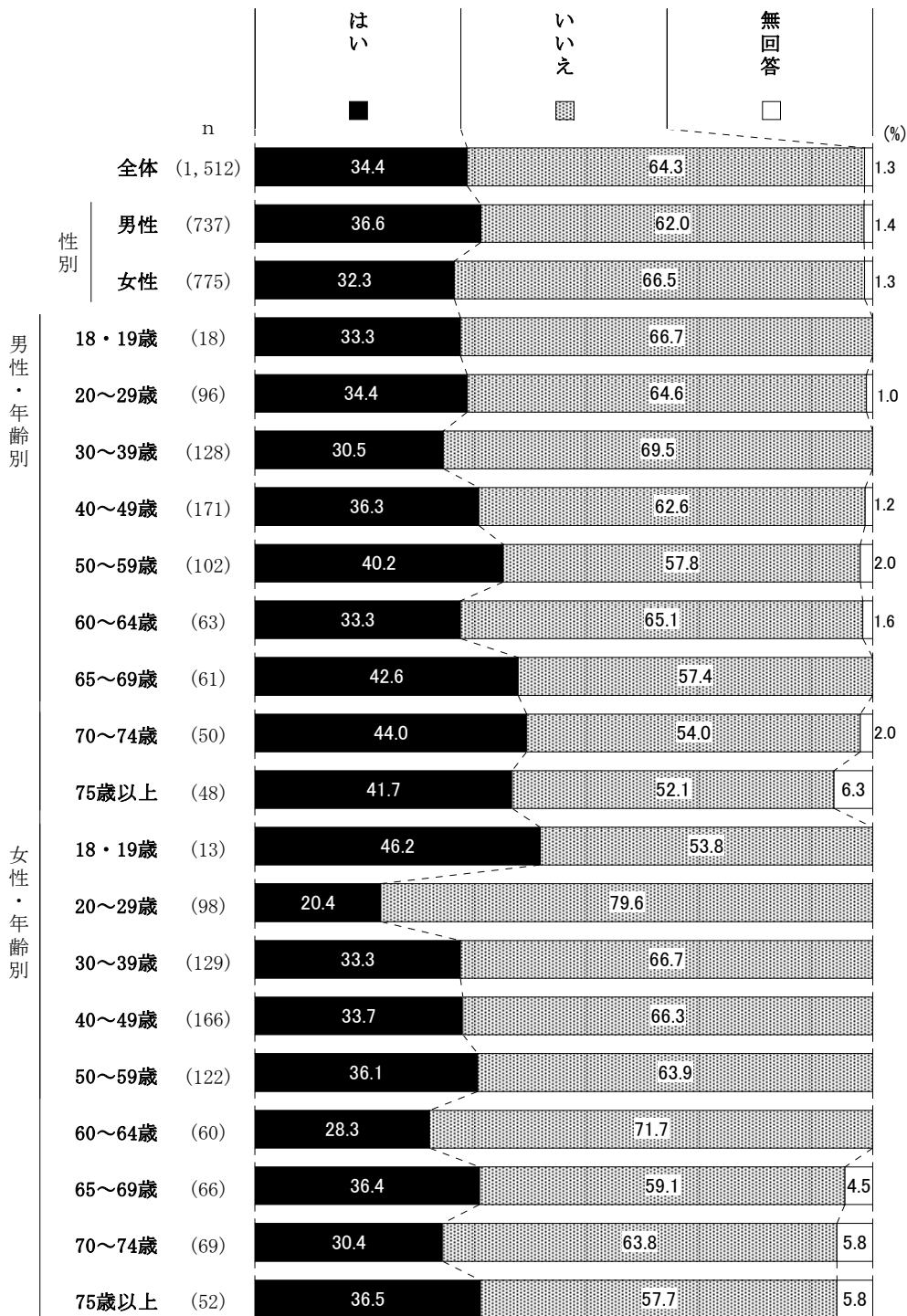
【オ. 近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある／性・年齢別】

性別では、「はい」は男性（36.6%）が女性（32.3%）よりも4.3ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性70～74歳（44.0%）で4割台半ばと最も高くなっている。

（図表7-13）

＜図表7-13＞ オ. 近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある／性・年齢別



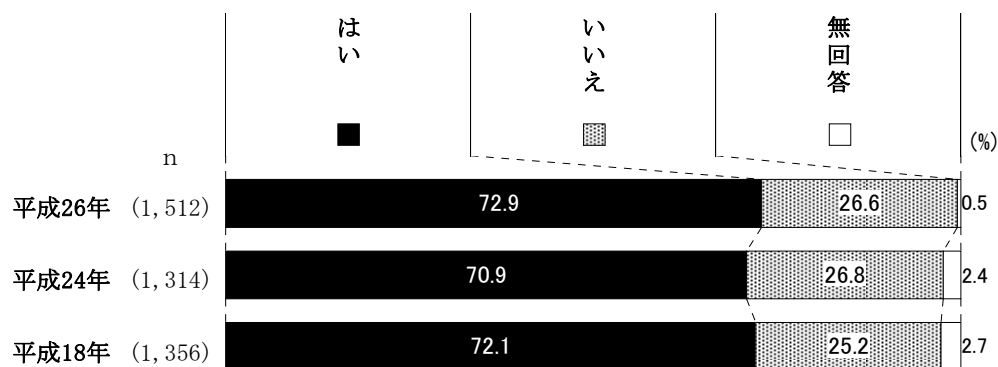
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【カ. 消火器の使い方を知っている】

【時系列比較】

平成18年からの調査結果と比較すると、あまり大きな違いはみられない。(図表7-14)

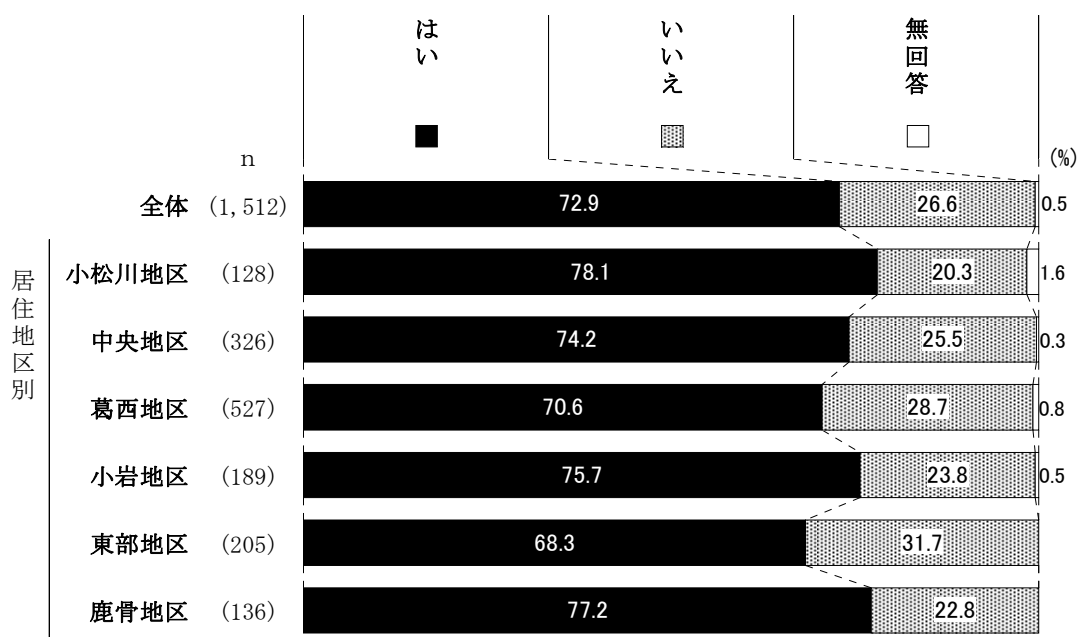
＜図表7-14＞ カ. 消火器の使い方を知っている／時系列比較



【居住地区別】

居住地区別でみると、「はい」は小松川地区(78.1%)、鹿骨地区(77.2%)では7割台後半と高くなっている。(図表7-15)

＜図表7-15＞ カ. 消火器の使い方を知っている／居住地区別

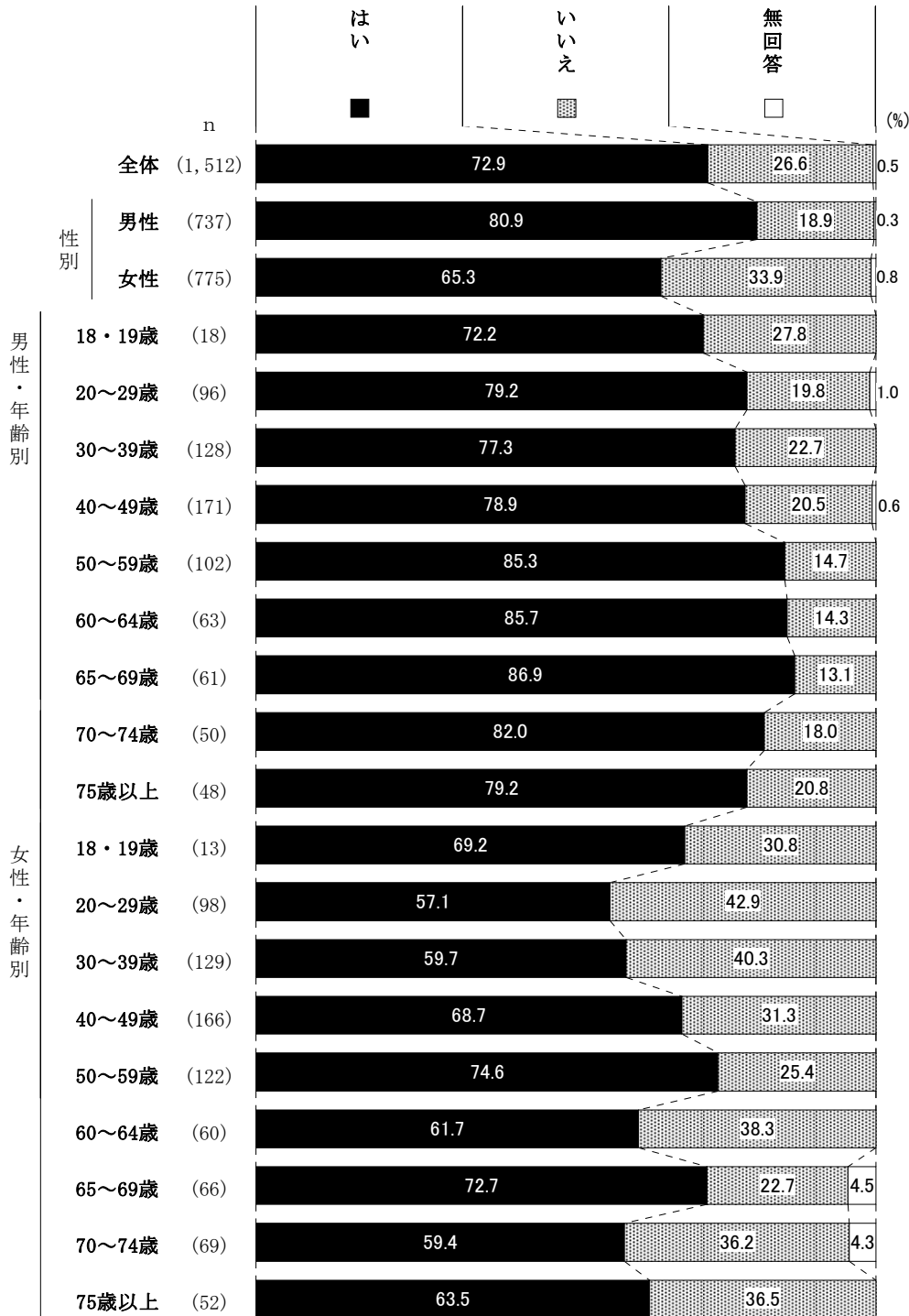


【カ. 消火器の使い方を知っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は男性（80.9%）が女性（65.3%）よりも15.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性65～69歳（86.9%）、男性60～64歳（85.7%）、男性50～59歳（85.3%）で8割台半ばと高くなっている。（図表7-16）

＜図表7-16＞ カ. 消火器の使い方を知っている／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

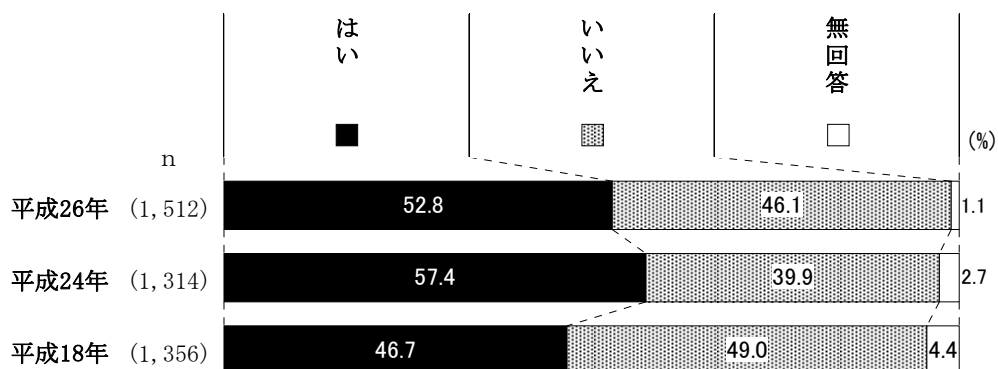
【キ. 家庭で避難場所や連絡方法を確認している】

【時系列比較】

平成18年からの調査結果と比較すると、「はい」は平成24年（57.4%）から4.6ポイント減少している。

（図表7-17）

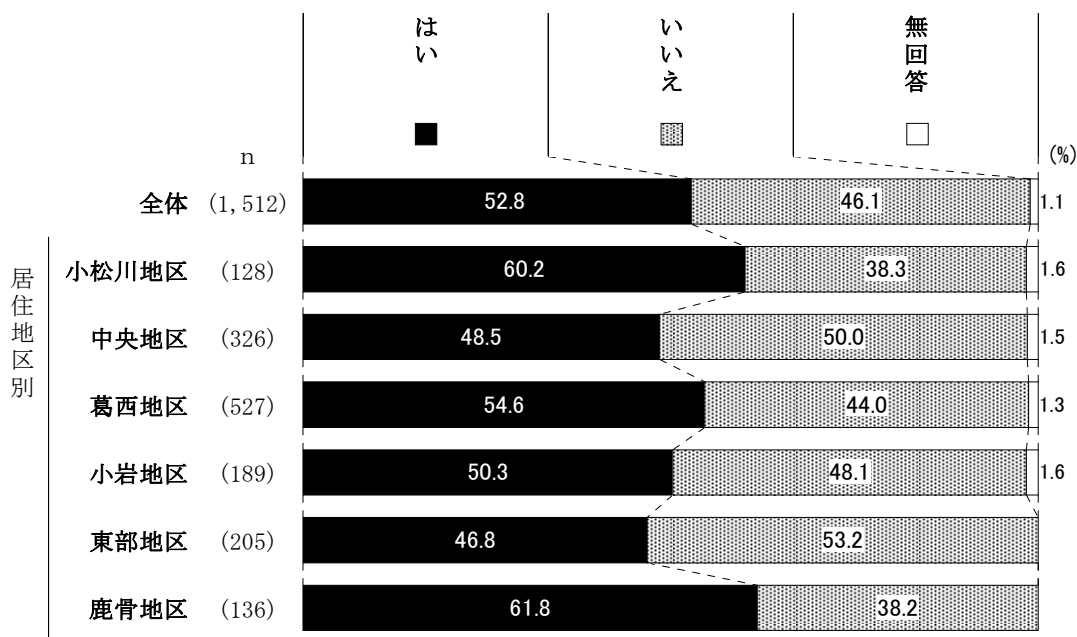
＜図表7-17＞ キ. 家庭で避難場所や連絡方法を確認している／時系列比較



【居住地区別】

居住地区別でみると、「はい」は鹿骨地区（61.8%）、小松川地区（60.2%）で6割を超えて高くなっている。一方、東部地区（46.8%）では低くなっている。（図表7-18）

＜図表7-18＞ キ. 家庭で避難場所や連絡方法を確認している／居住地区別



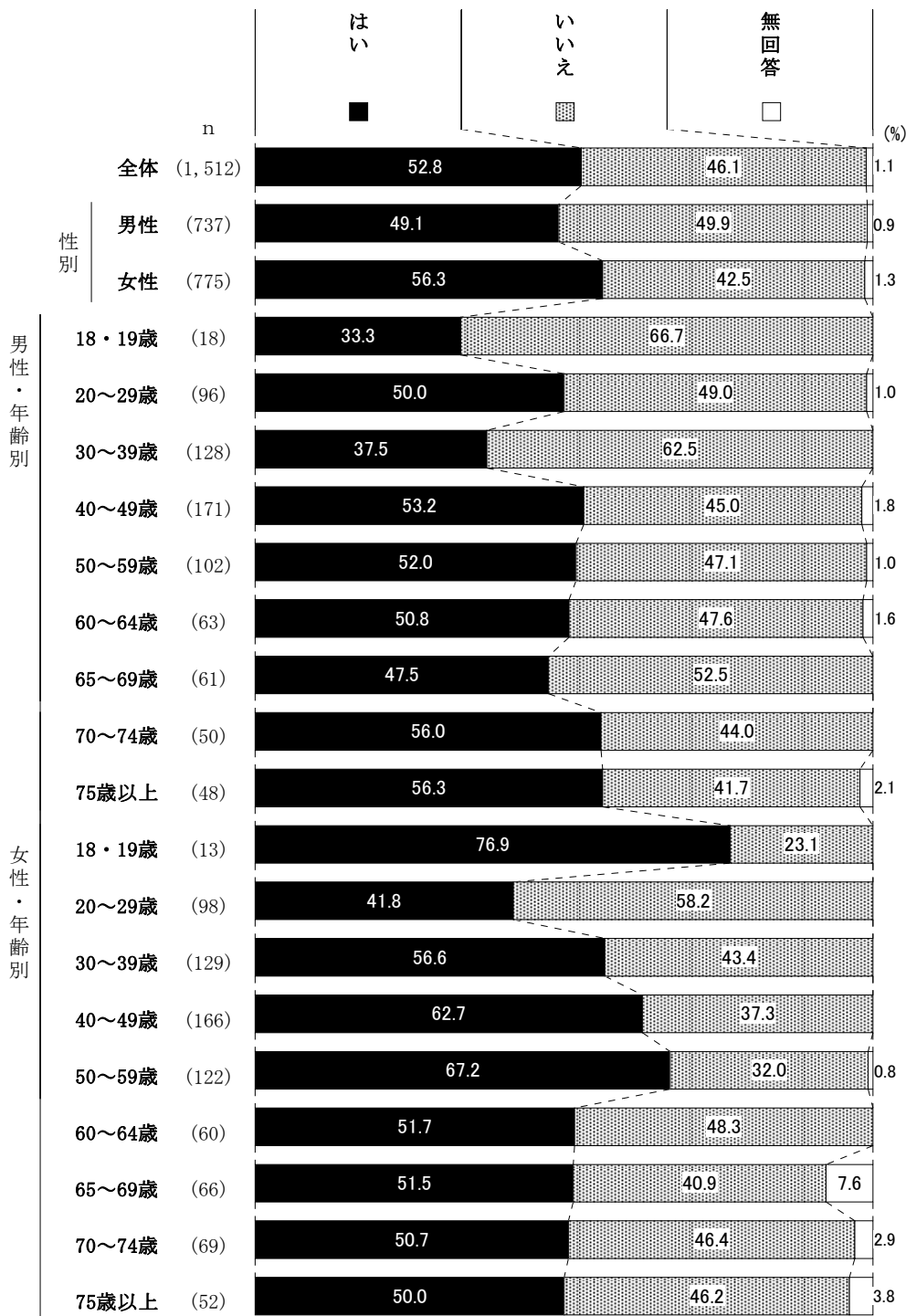
【キ. 家庭で避難場所や連絡方法を確認している／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（56.3%）が男性（49.1%）よりも7.2ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性50～59歳（67.2%）で6割台後半と最も高くなっている。

（図表7-19）

＜図表7-19＞ キ. 家庭で避難場所や連絡方法を確認している／性・年齢別



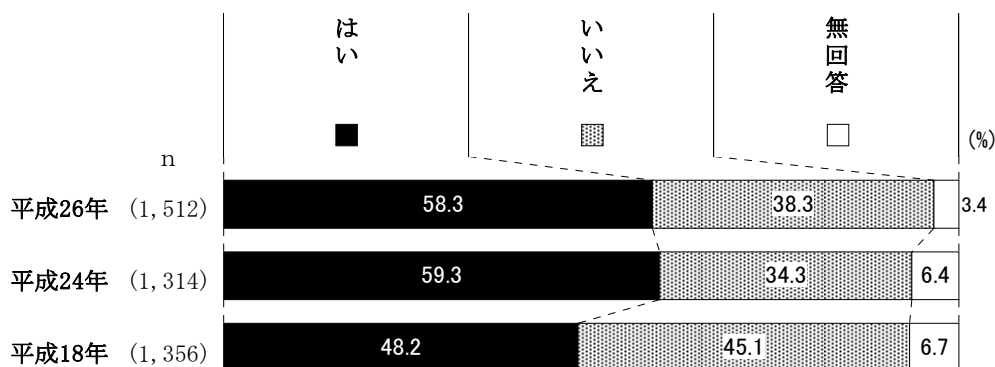
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【ク. 職場や学校などから徒歩で帰宅するルートを確認している】

【時系列比較】

平成18年からの調査結果と比較すると、「はい」は平成24年（59.3%）とあまり大きな違いはみられない。（図表7-20）

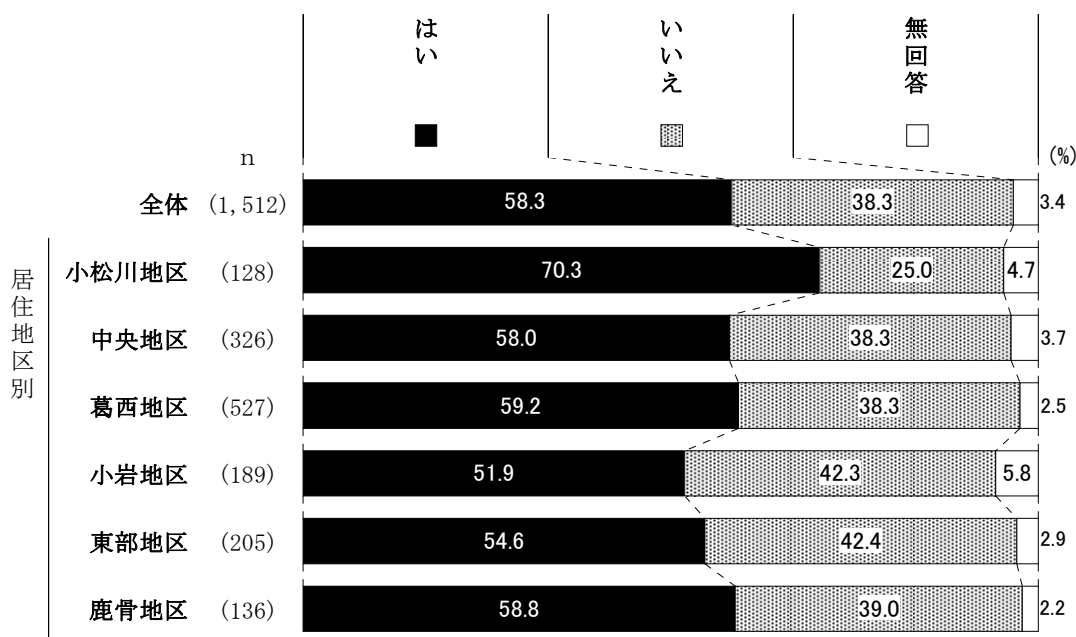
＜図表7-20＞ ク. 職場や学校などから徒歩で帰宅するルートを確認している／時系列比較



【居住地区別】

居住地区別でみると、「はい」は小松川地区（70.3%）で7割を超えて最も高くなっている。一方、小岩地区（51.9%）では低くなっている。（図表7-21）

＜図表7-21＞ ク. 職場や学校などから徒歩で帰宅するルートを確認している／居住地区別



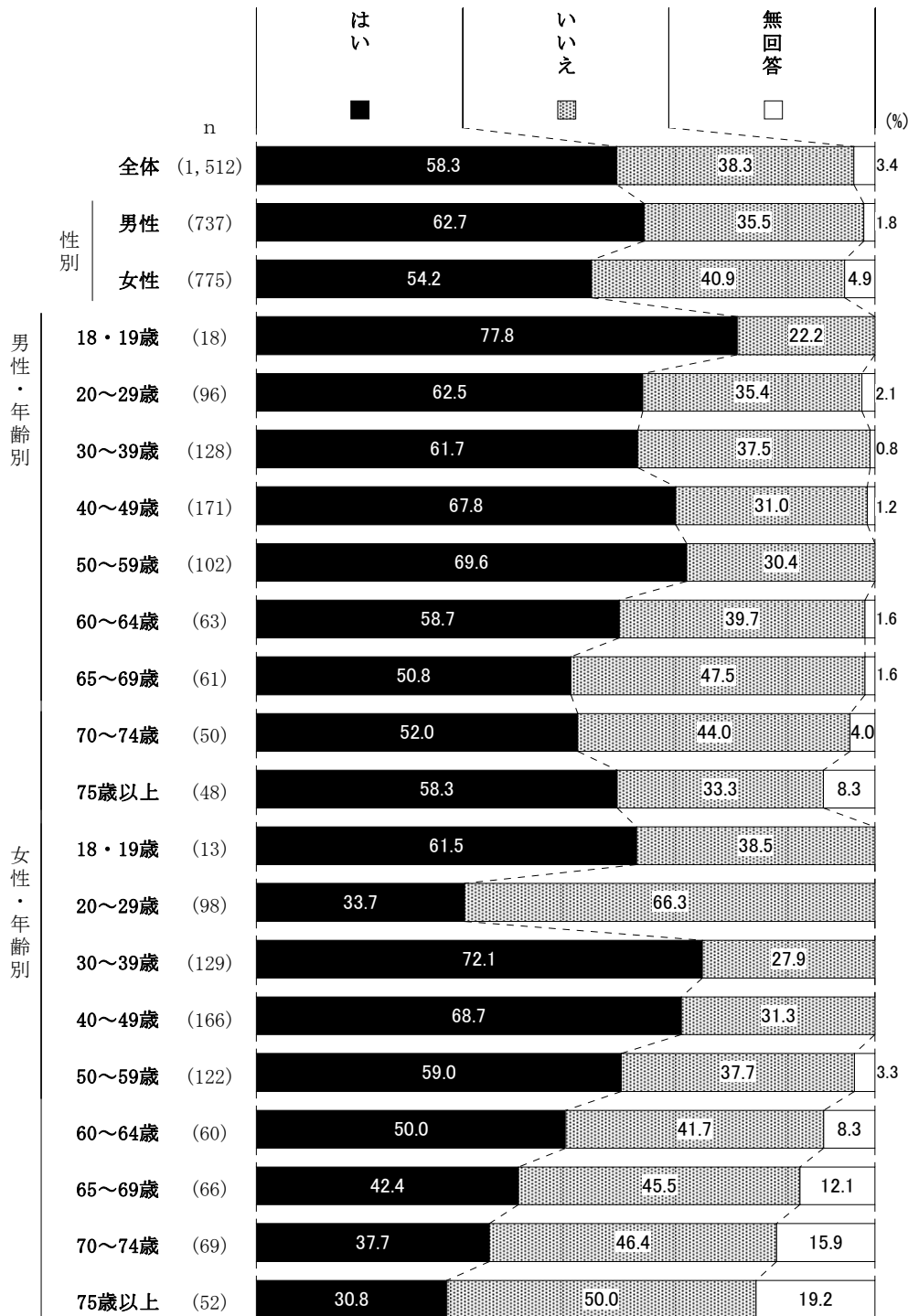
【ク. 職場や学校などから徒歩で帰宅するルートを確認している／性・年齢別】

性別では、「はい」は男性（62.7%）が女性（54.2%）よりも8.5ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性30～39歳（72.1%）で7割を超えて最も高くなっている。

（図表7-22）

＜図表7-22＞ ク. 職場や学校などから徒歩で帰宅するルートを確認している／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

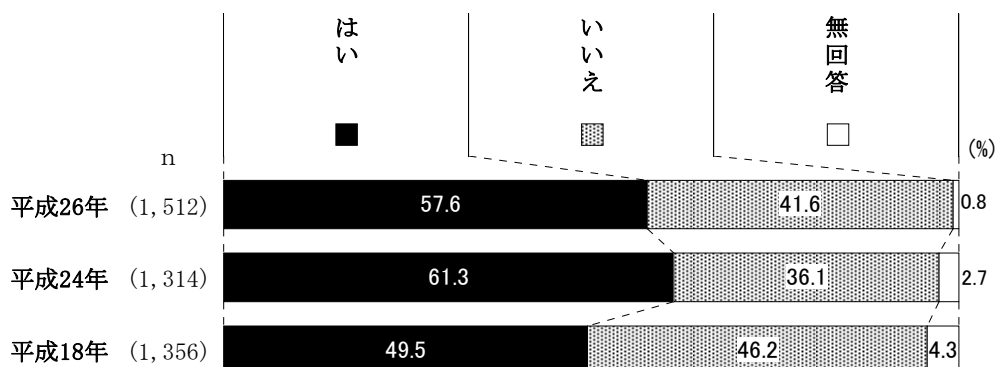
【ケ. 災害用伝言ダイヤル「171」を知っている】

【時系列比較】

平成18年からの調査結果と比較すると、「はい」は平成24年（61.3%）から3.7ポイント減少している。

（図表7-23）

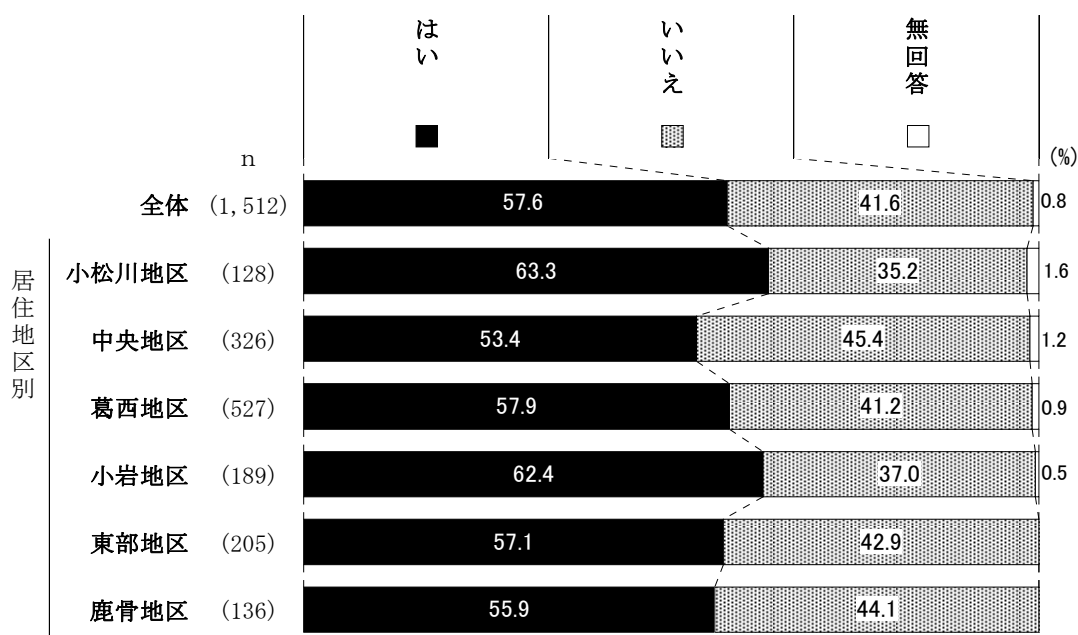
＜図表7-23＞ ケ. 災害用伝言ダイヤル「171」を知っている／時系列比較



【居住地区別】

居住地区別でみると、「はい」は小松川地区（63.3%）と小岩地区（62.4%）で6割を超えて高くなっている。一方、中央地区（53.4%）では低くなっている。（図表7-24）

＜図表7-24＞ ケ. 災害用伝言ダイヤル「171」を知っている／居住地区別

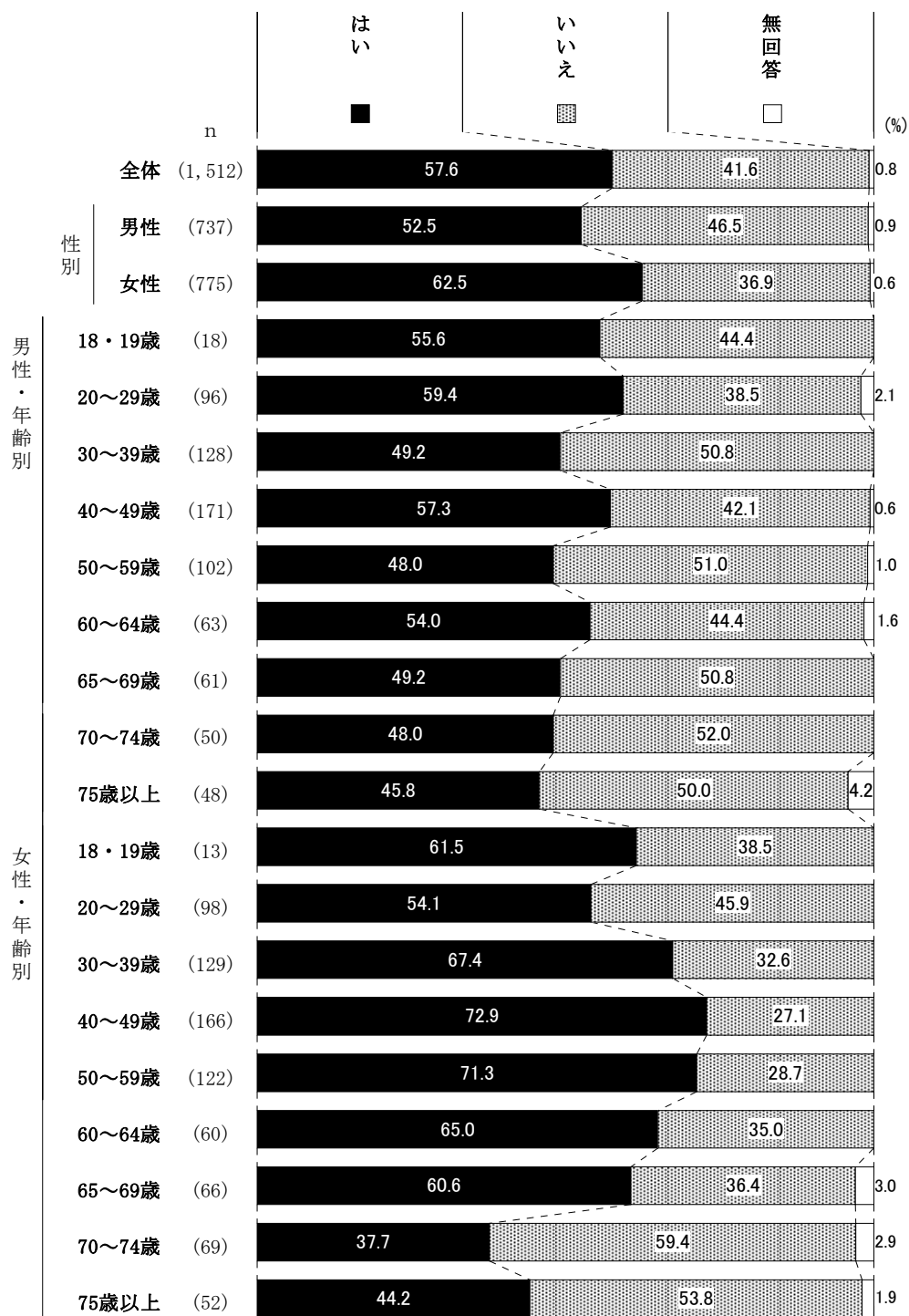


【ケ. 災害用伝言ダイヤル「171」を知っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（62.5%）が男性（52.5%）よりも10.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性40～49歳（72.9%）、50～59歳（71.3%）で7割を超えて高くなっている。（図表7-25）

＜図表7-25＞ ケ. 災害用伝言ダイヤル「171」を知っている／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【コ. 災害情報をFMえどがわ（84.3MHz）で確認できることを知っている】

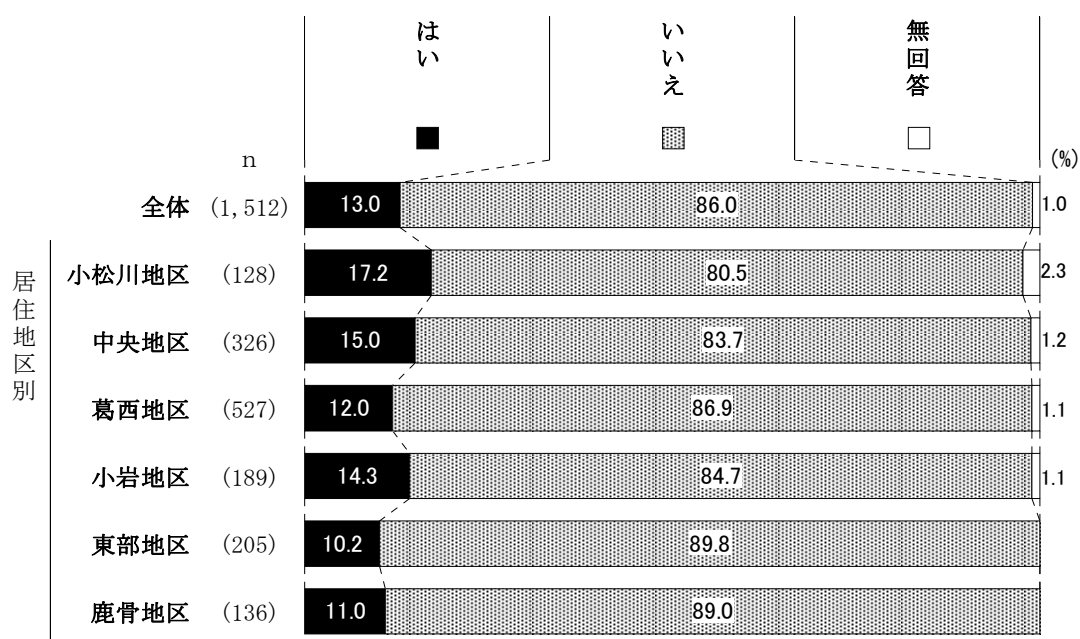
【時系列比較】

「コ. 災害情報をFMえどがわ（84.3MHz）で確認できることを知っている」は新設の項目であるため、時系列比較は行えない。

【居住地区別】

居住地区別でみると、「はい」は小松川地区（17.2％）で1割台後半と最も高くなっている。一方、東部地区（10.2％）では低くなっている。（図表7-26）

＜図表7-26＞ コ. 災害情報をFMえどがわ（84.3MHz）で確認できることを知っている
／居住地区別



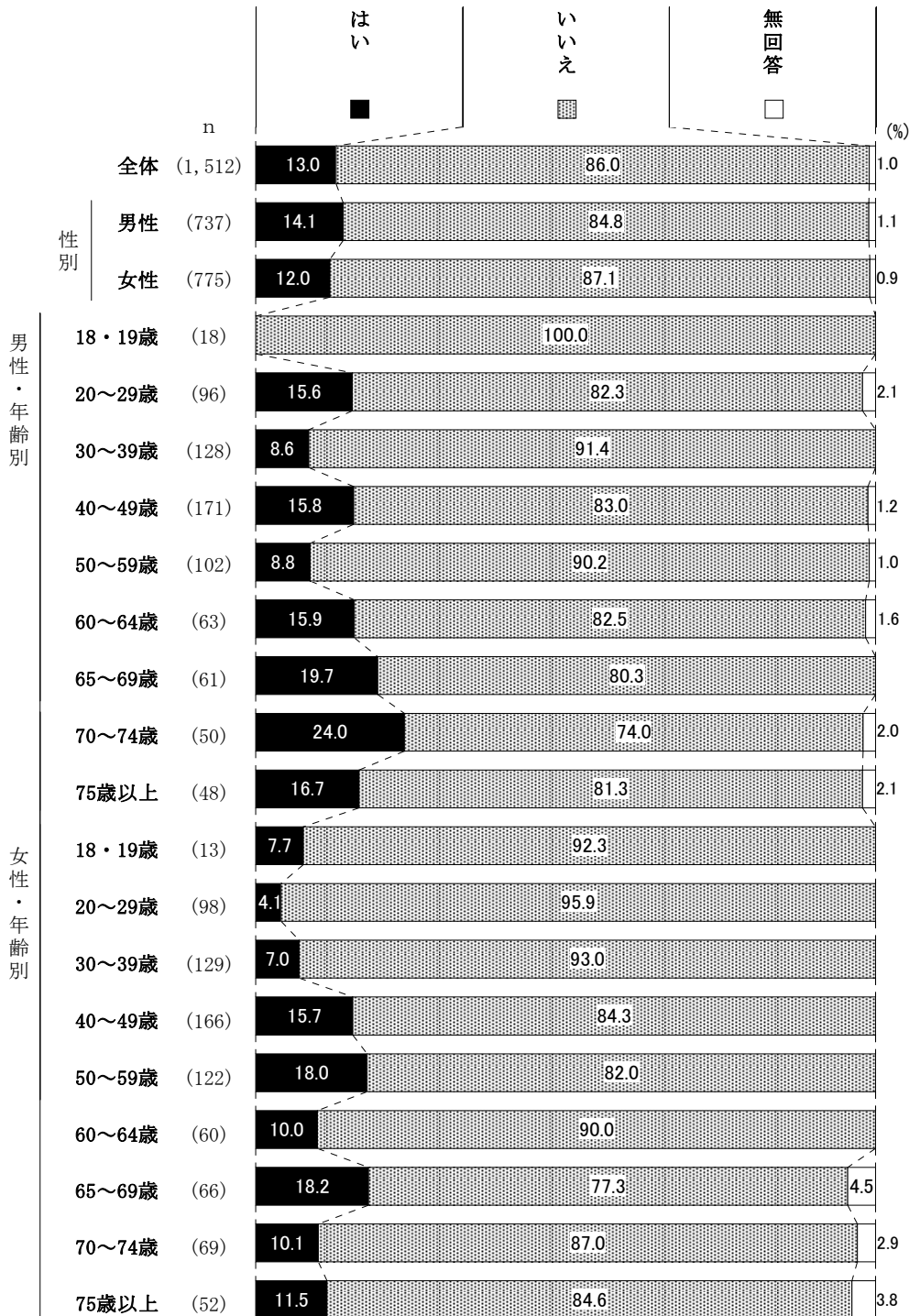
【コ. 災害情報をFMえどがわ（84.3MHz）で確認できることを知っている／性・年齢別】

性別では、あまり大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「はい」は男性70～74歳（24.0%）で2割台半ばと最も高くなっている。

（図表7-27）

＜図表7-27＞ コ. 災害情報をFMえどがわ（84.3MHz）で確認できることを知っている／性・年齢別



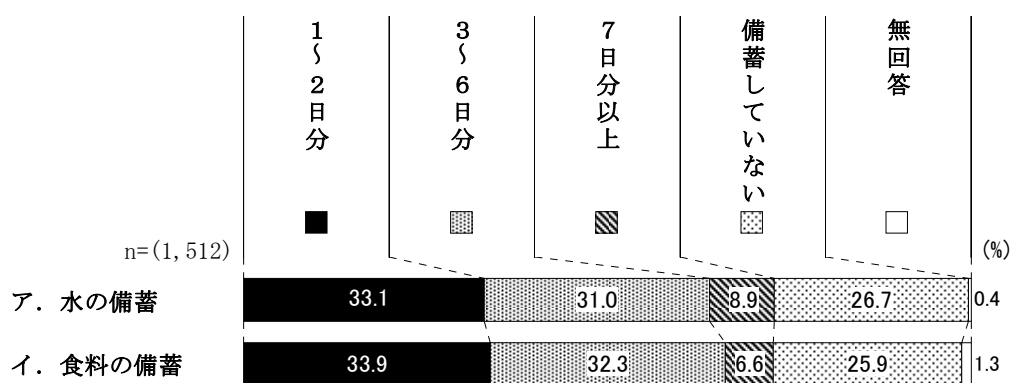
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(2) 災害時のための備蓄

◇ 災害時のための備蓄では<3日分以上>が、【水の備蓄】、【食料の備蓄】でともに約4割

問13 災害時の備えとして、家庭での備蓄が呼びかけられています。目安として、最低3日間、推奨7日間以上の備蓄が必要とされていますが、あなたのご家庭では、どの程度の備蓄を用意していますか。(水は一人1日分を3リットルとして計算してください)
(それぞれ〇は1つずつ)

<図表7-28> 災害時のための備蓄



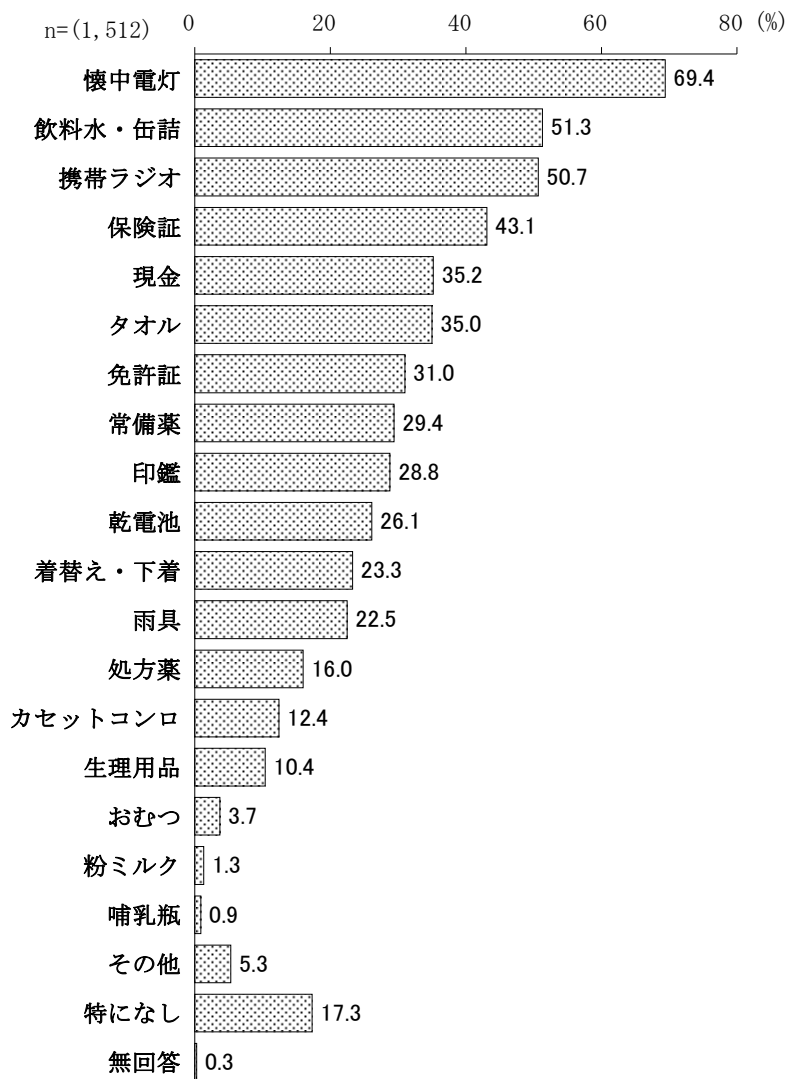
災害時のための備えとして<3日分以上>備蓄している割合は、【水の備蓄】(39.9%)、【食料の備蓄】(38.9%)でともに約4割となっている。(図表7-28)

(3) 用意している災害時の持ち出し品

◇「懐中電灯」が約7割

問14 あなたのご家庭では、災害時の備えとして、いつでも持ち出しできるように、用意している物がありますか。(あてはまる番号すべてに○)

<図表7-29> 用意している災害時の持ち出し品 (複数回答)



災害時にいつでも持ち出せるよう用意している物を尋ねたところ、「懐中電灯」(69.4%)が約7割で最も高く、続いて「飲料水・缶詰」(51.3%)、「携帯ラジオ」(50.7%)、「保険証」(43.1%)などとなっている。(図表7-29)

8. 消費者センターについて

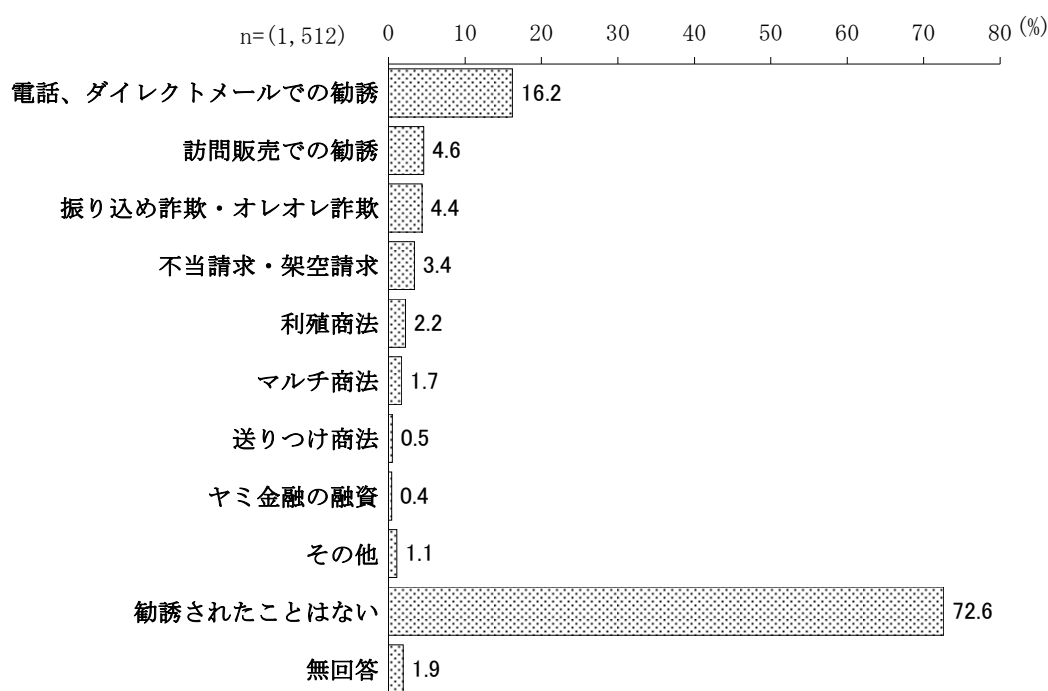
(1) 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘などの経験

◇「電話、ダイレクトメールでの勧誘」が1割台半ば

昨今、悪質商法や特殊詐欺による被害が急増しています。

問15 あなたは、この1年間に、次のような問題のある商法の提示を受けたり、悪質業者の勧誘を受けたりしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

<図表8-1> 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘などの経験(複数回答)



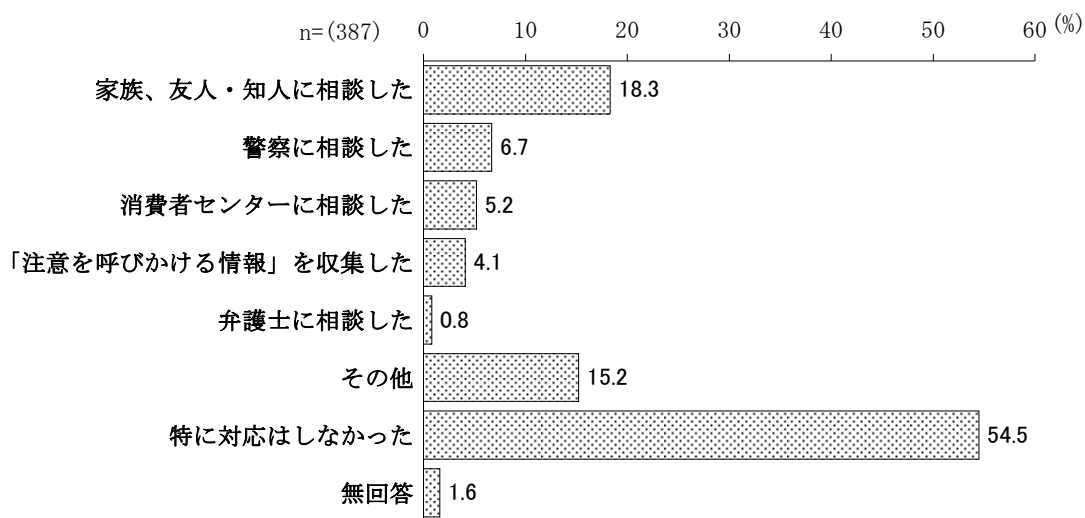
問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘などの経験について尋ねたところ、「電話、ダイレクトメールでの勧誘」(16.2%)が1割台半ばとなっている。一方、「勧誘されたことはない」(72.6%)は7割を超えている。(図表8-1)

(1-1) 対処方法

◇「家族、友人・知人に相談した」が約2割

＜問15で「1～9（※問題のある商法の提示や悪質業者の勧誘経験あり）」にお答えの方に＞
 問15-1 勧誘され困ったことや、いやな経験をしたとき、どのように対処しましたか。
 （あてはまる番号すべてに○）

＜図表8-2＞ 対処方法（複数回答）



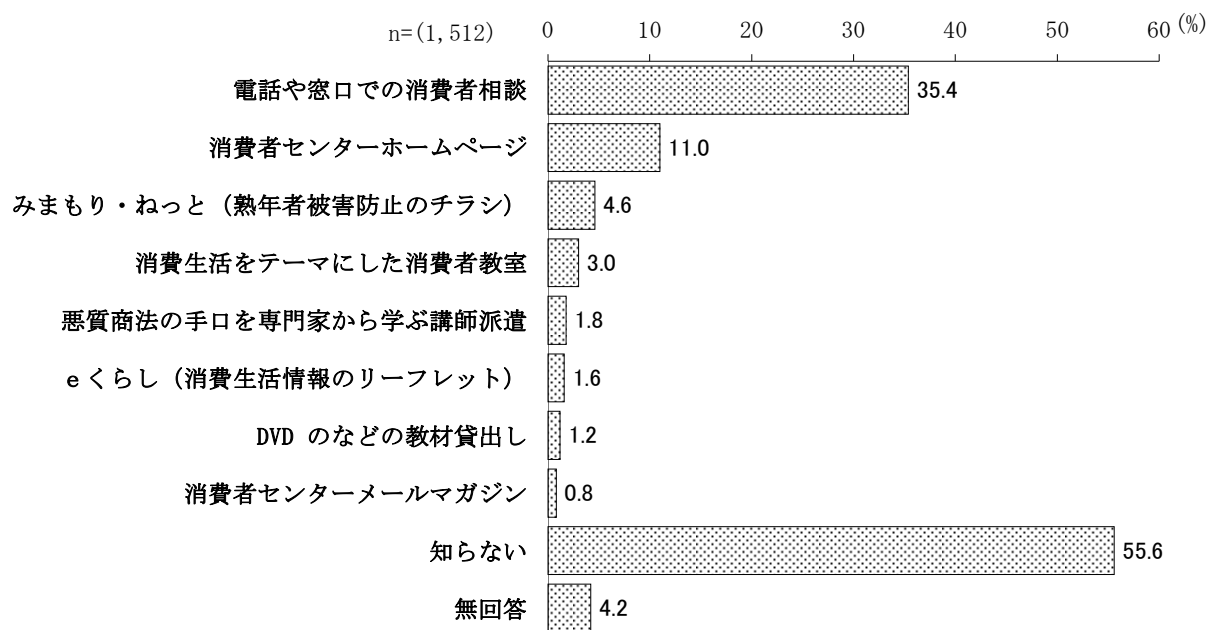
勧誘され困ったことや、いやな経験をしたことがある人に、その際の対処方法を尋ねたところ、「家族、友人・知人に相談した」(18.3%) が約2割となっている。一方、「特に対応はしなかった」(54.5%) は5割台半ばとなっている。(図表8-2)

(2) 消費者センターの事業の認知度

◇ 「電話や窓口での消費者相談」が3割台半ば

問16 あなたは、消費者センターの行っている事業や発行・発信している情報（紙）を知っていますか。（あてはまる番号すべてに○）

<図表 8-3> 消費者センターの事業の認知度（複数回答）



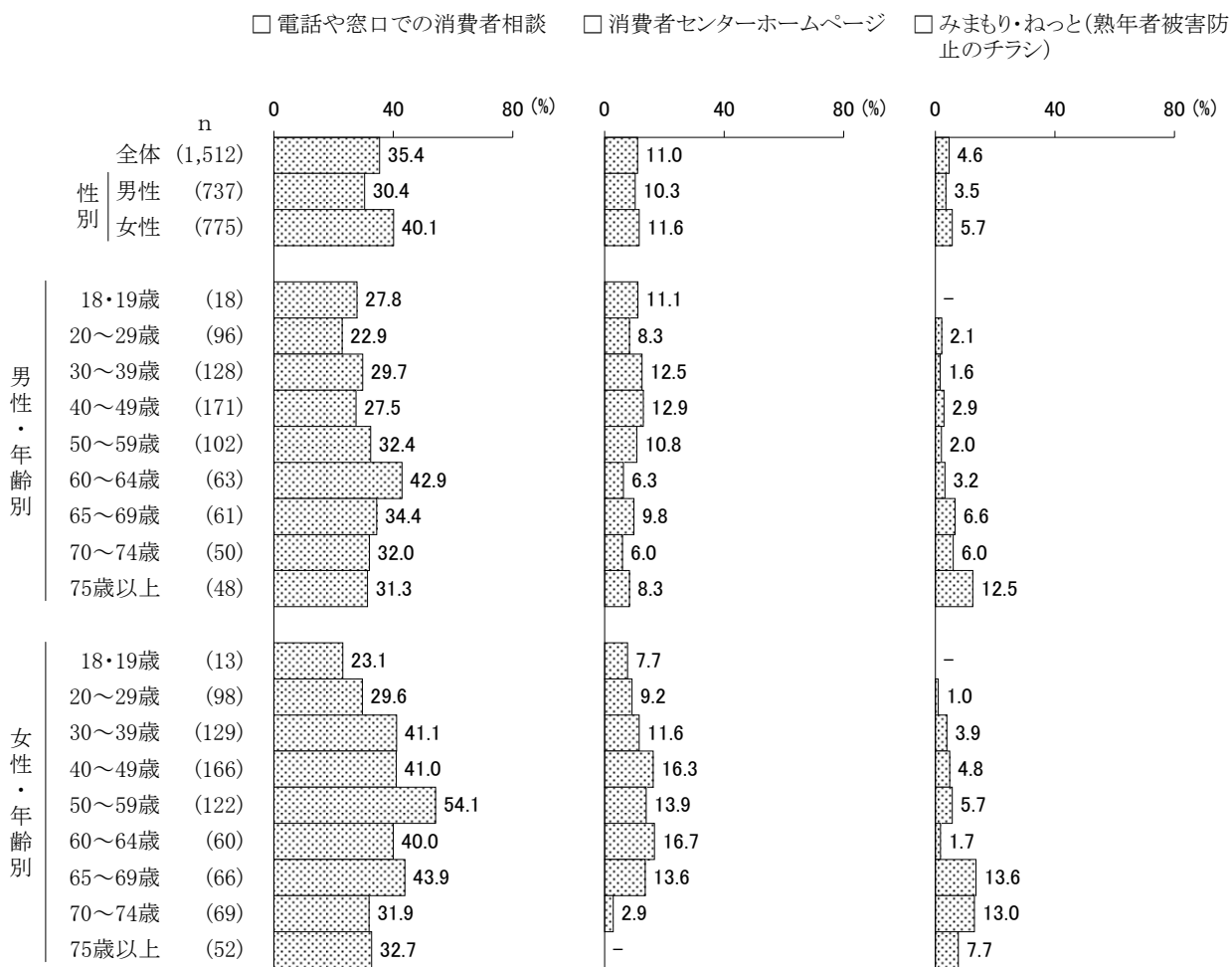
消費者センターの事業についての認知度は、「電話や窓口での消費者相談」（35.4%）が3割台半ば、「消費者センターホームページ」（11.0%）が1割を超えている。一方、「知らない」（55.6%）は5割台半ばとなっている。（図表 8-3）

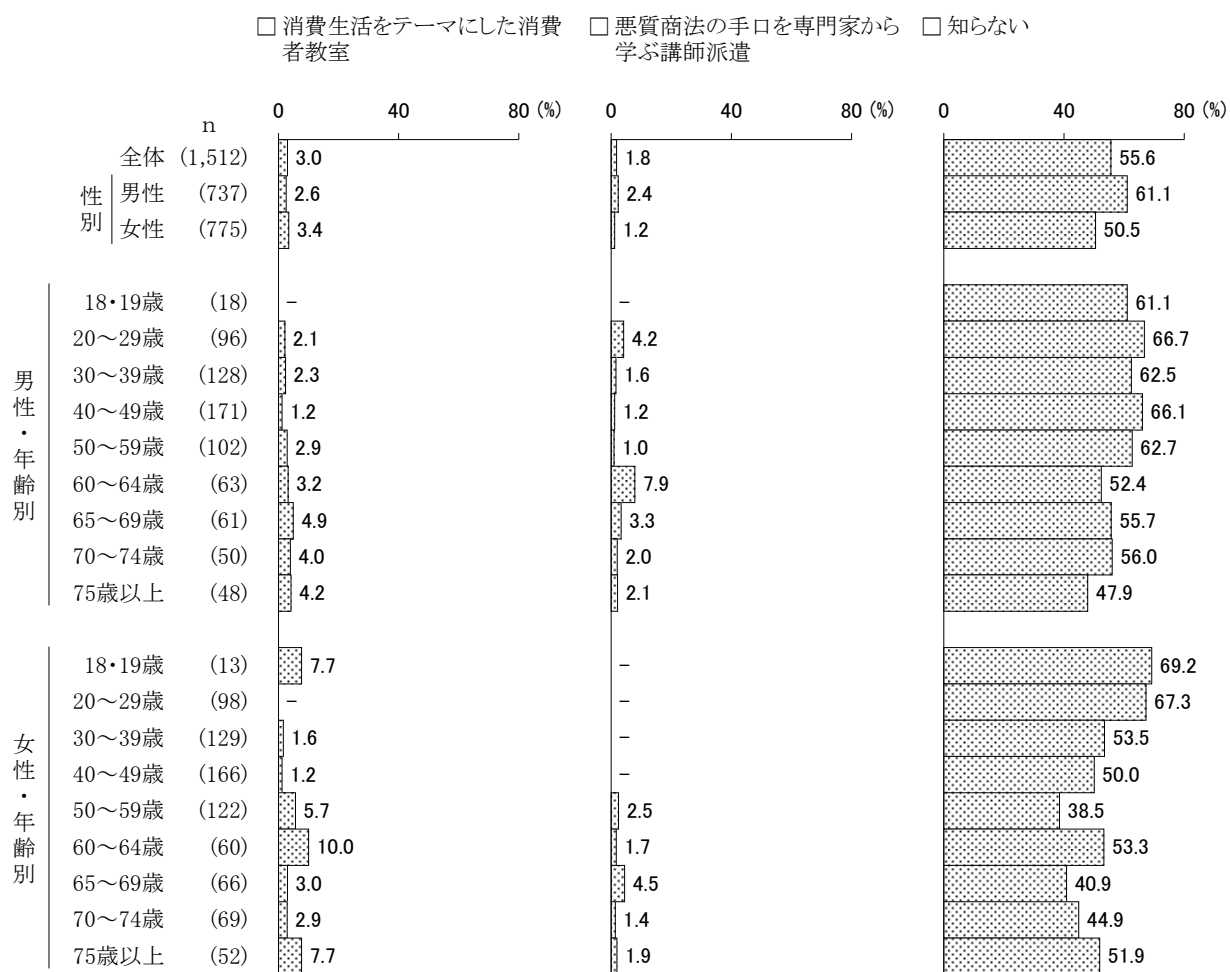
【性・年齢別】

性別では、上位4項目で女性が男性よりも高く、特に「電話や窓口での消費者相談」は9.7ポイント差となっている。

性・年齢別で見ると、「電話や窓口での消費者相談」は女性50～59歳（54.1%）で5割台半ばと最も高く、「みまもり・ねっと（熟年者被害防止のチラシ）」は女性65～69歳（13.6%）、女性70～74歳（13.0%）、男性75歳以上（12.5%）で1割を超えている。（図表8－4）

＜図表8－4＞ 消費者センターの事業の認知度／性・年齢別（上位5項目＋「知らない」）





※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

9. 選挙について

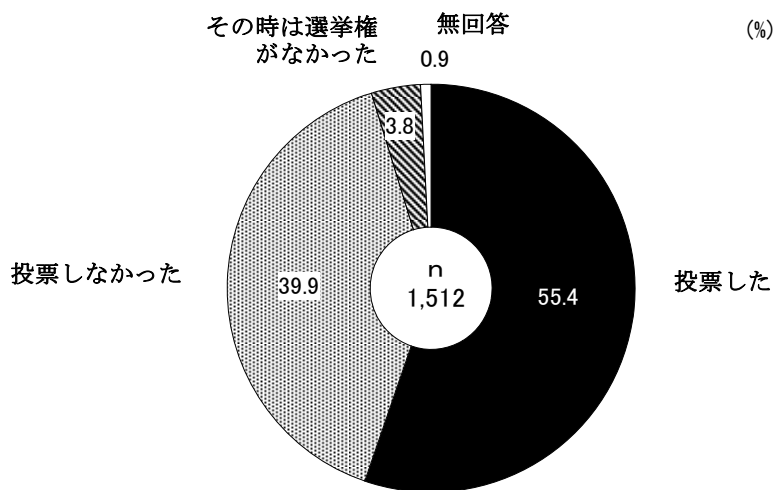
(1) 平成26年2月9日の東京都知事選挙の投票状況

◇「投票した」が5割台半ば

平成26年2月9日に実施された東京都知事選挙において江戸川区の投票率は39.35%と残念ながら23区中最も低い投票率でした。

問17 あなたは、平成26年2月9日の東京都知事選挙で投票しましたか。(○は1つだけ)

<図表9-1> 平成26年2月9日の東京都知事選挙の投票状況

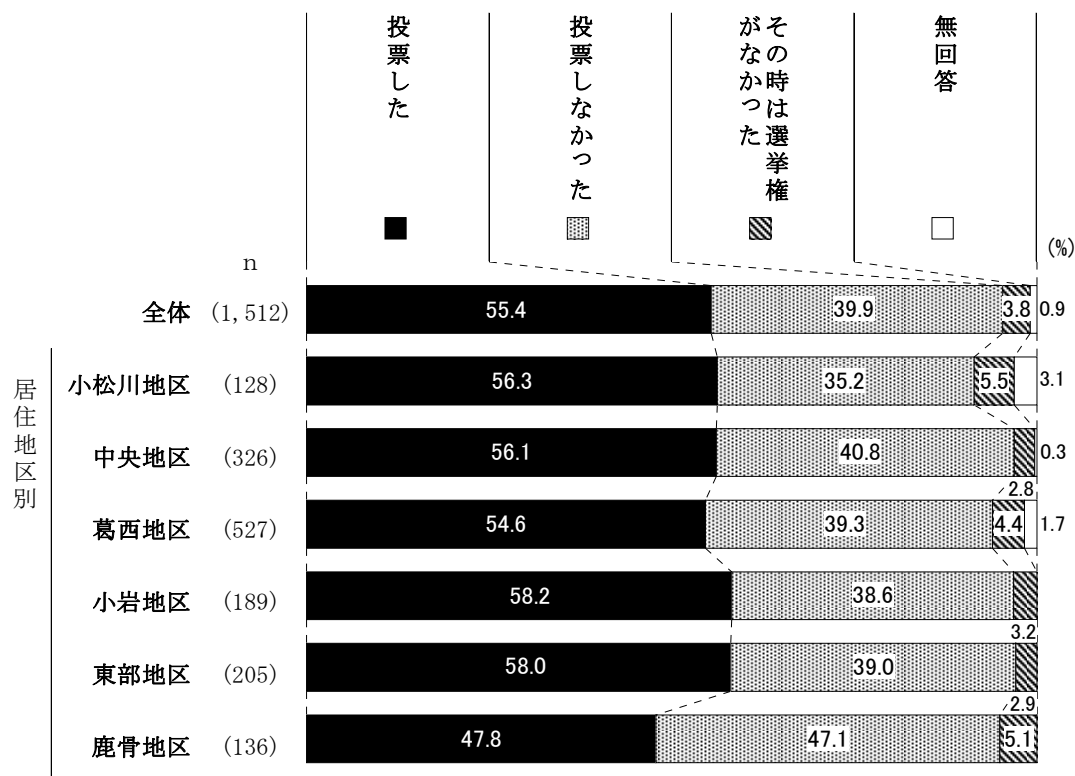


平成26年2月9日の東京都知事選挙で投票したか尋ねたところ、「投票した」(55.4%)が5割台半ば、「投票しなかった」(39.9%)が約4割となっている。(図表9-1)

【居住地区別】

居住地区別で見ると、「投票した」は“鹿骨地区”（47.8%）で最も低くなっている。（図表9－2）

＜図表9－2＞ 平成26年2月9日の東京都知事選挙の投票状況／居住地区別

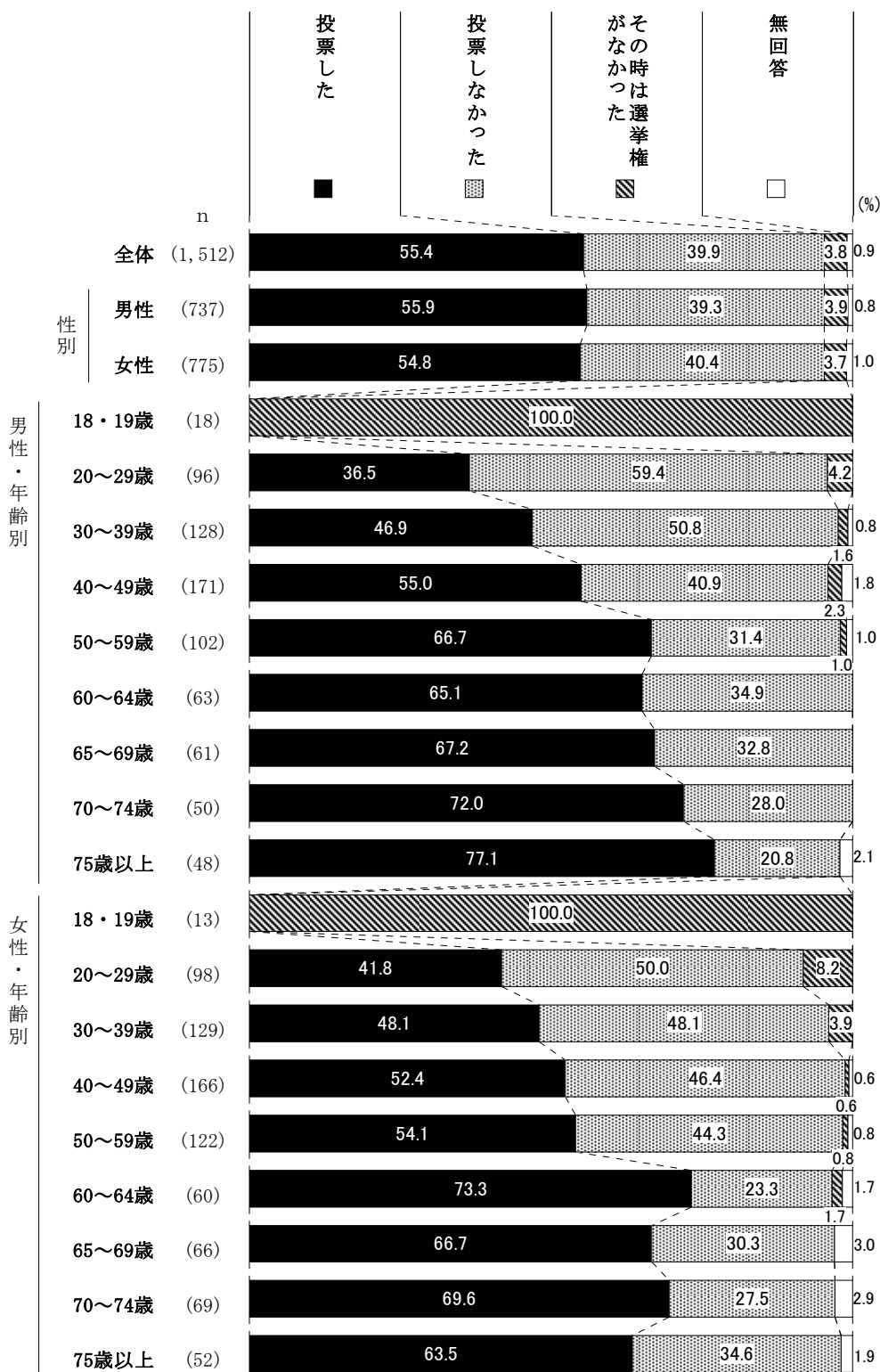


【性・年齢別】

性別では、あまり大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「投票した」は男性で年齢が高いほど割合が高くなる傾向にあり、男性75歳以上（77.1%）で7割台後半と最も高くなっている。（図表9-3）

＜図表9-3＞ 平成26年2月9日の東京都知事選挙の投票状況／性・年齢別



※男性及び女性の「18・19歳」については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

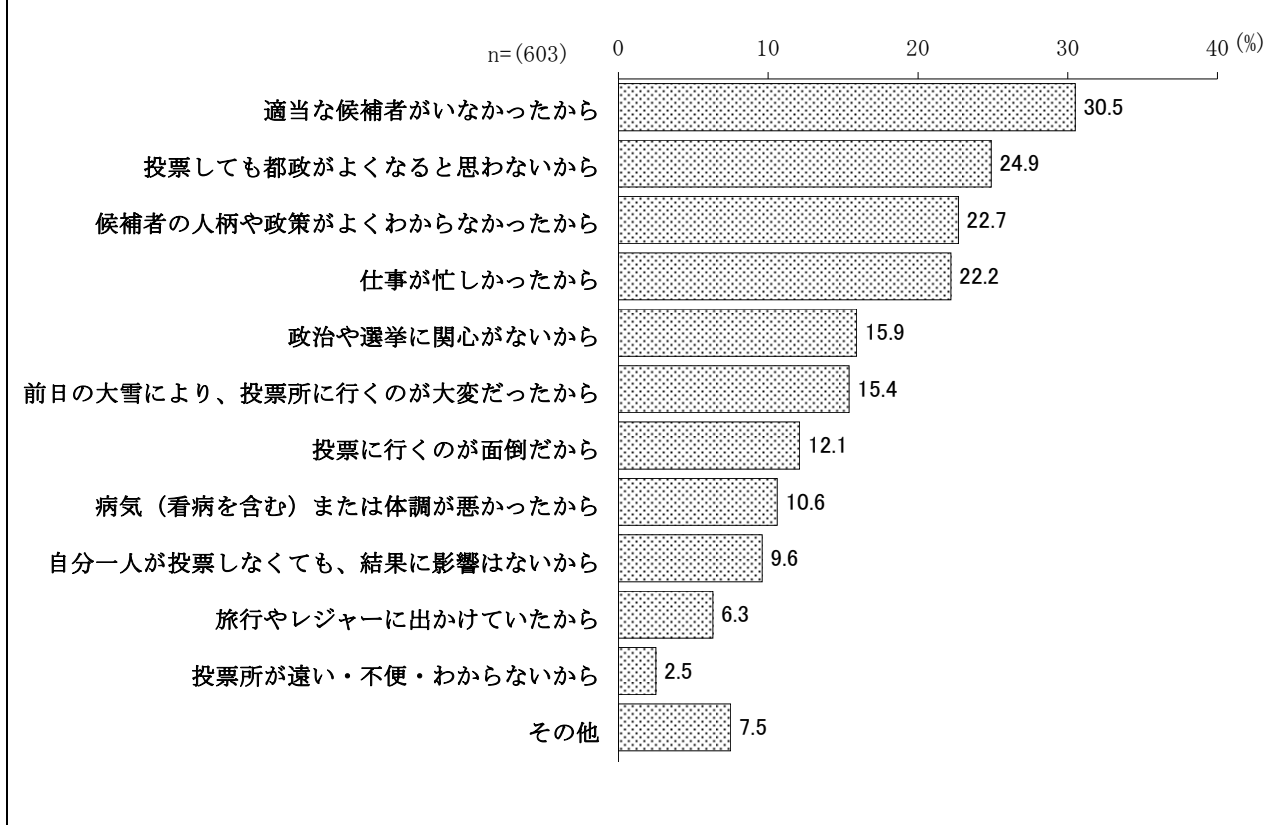
(1-1) 投票しなかった理由

◇「適当な候補者がいなかったから」が約3割

<問17で「2 投票しなかった」とお答えの方に>

問17-1 あなたが投票しなかったのはどうしてですか。(あてはまる番号すべてに○)

<図表9-4> 投票しなかった理由(複数回答)



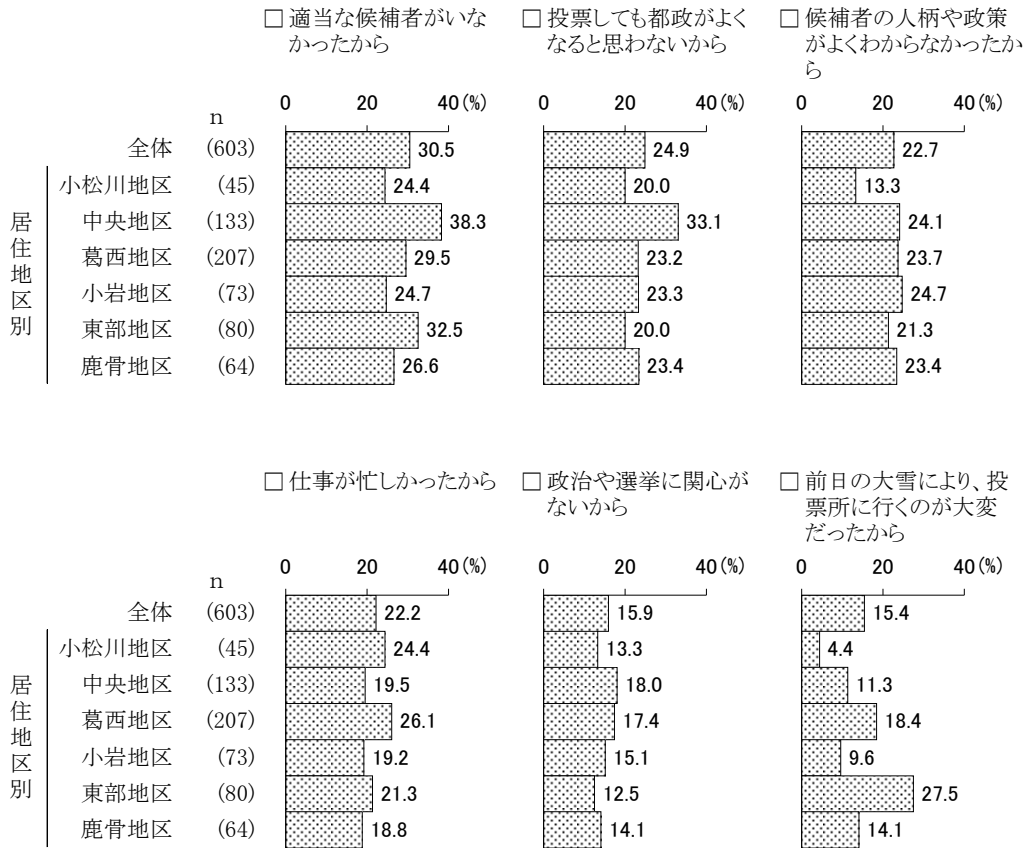
投票しなかった人に、その理由を尋ねたところ、「適当な候補者がいなかったから」(30.5%)が約3割で最も高く、続いて「投票しても都政がよくなると思わないから」(24.9%)、「候補者の人柄や政策がよくわからなかったから」(22.7%)、「仕事が忙しかったから」(22.2%)などとなっている。

(図表9-4)

【居住地区別】

居住地区別でみると、「適当な候補者がいなかったから」は“中央地区”（38.3%）で3割台後半と最も高く、「投票しても都政がよくなると思わないから」も“中央地区”（33.1%）が3割台半ばと最も高くなっている。「前日の大雪により、投票所に行くのが大変だったから」では“東部地区”（27.5%）が2割台後半と最も高くなっている。（図表9－5）

＜図表9－5＞ 投票しなかった理由／居住地区別（上位6項目）

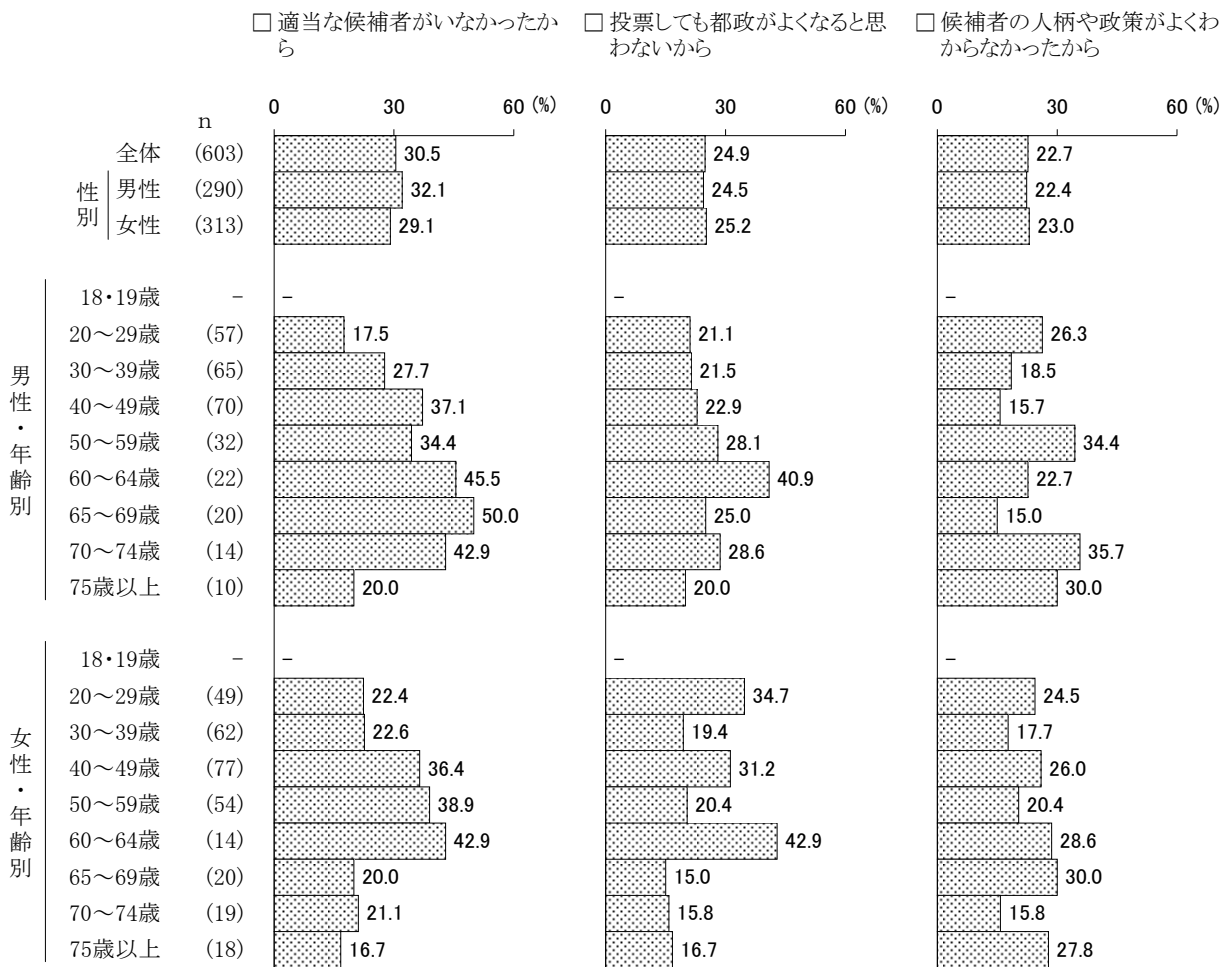


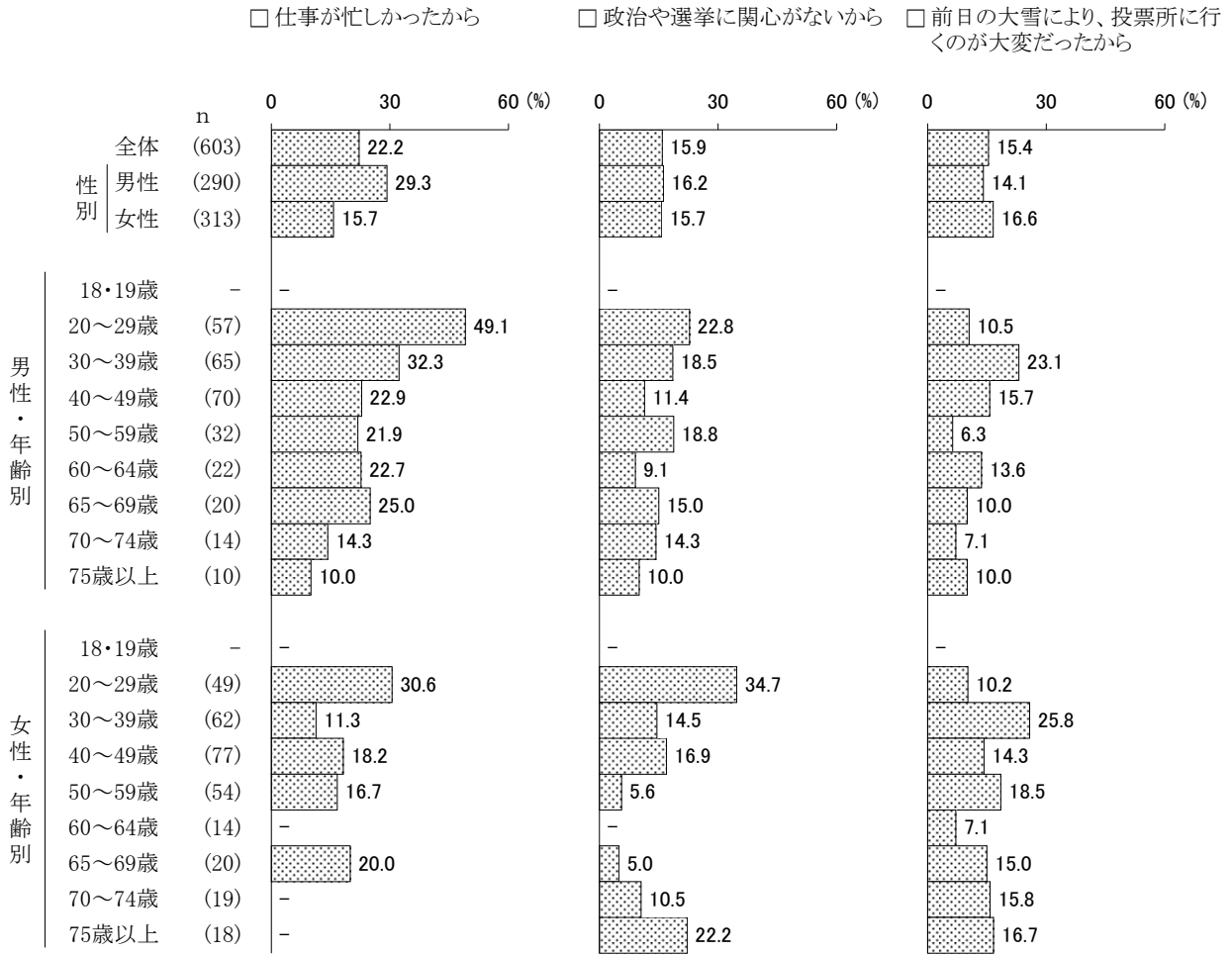
【性・年齢別】

性別では、「仕事が忙しかったから」は男性（29.3%）が女性（15.7%）より13.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「仕事が忙しかったから」は男性20～29歳（49.1%）で約5割と高く、「政治や選挙に関心がないから」は女性20～29歳（34.7%）で3割台半ばと高くなっている。（図表9－6）

＜図表9－6＞ 投票しなかった理由／性・年齢別（上位6項目）





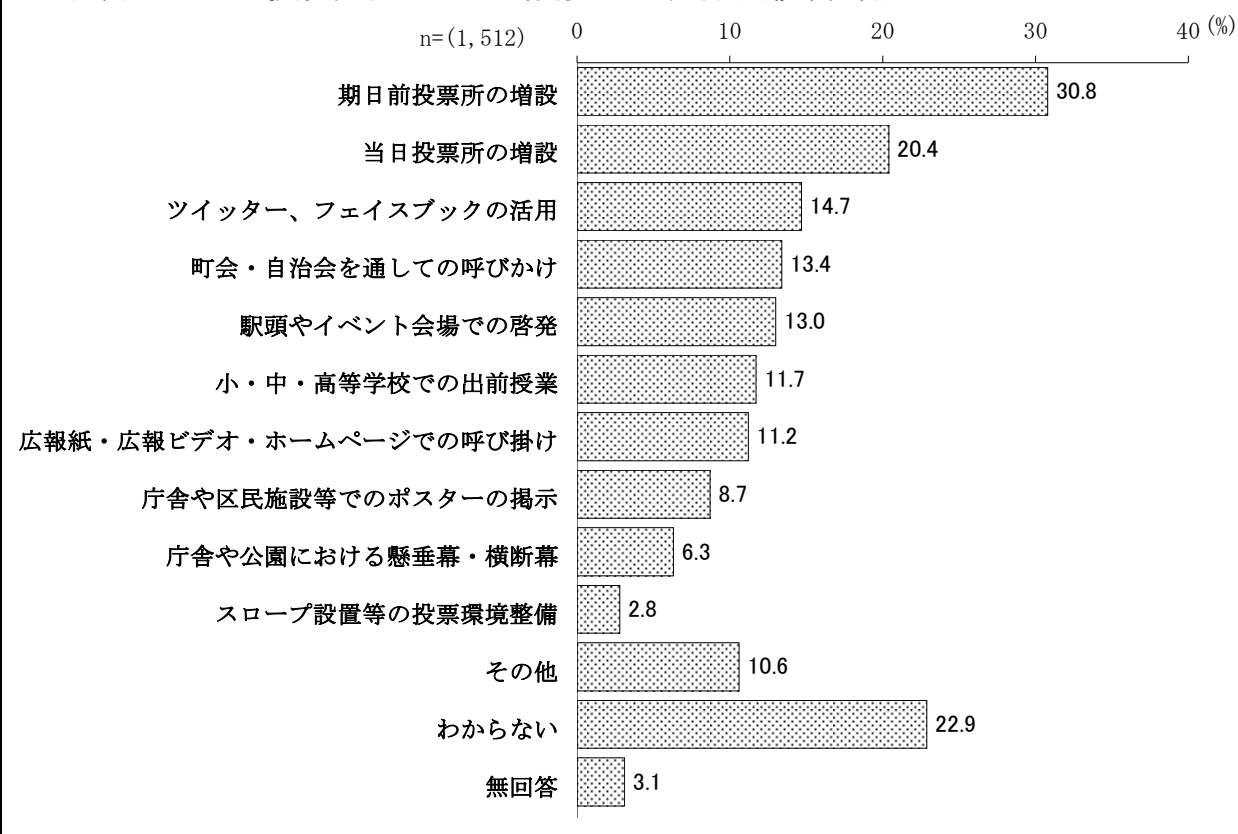
※男性及び女性の“18・19歳”、“60歳以上”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(2) 投票率向上のために有効だと思う方法

◇ 「期日前投票所の増設」が約3割

問18 投票率を向上させるために有効な方法と思われるものを、次の中から選んでください。
(〇は3つまで)

＜図表9-7＞ 投票率向上のために有効だと思う方法（複数回答）

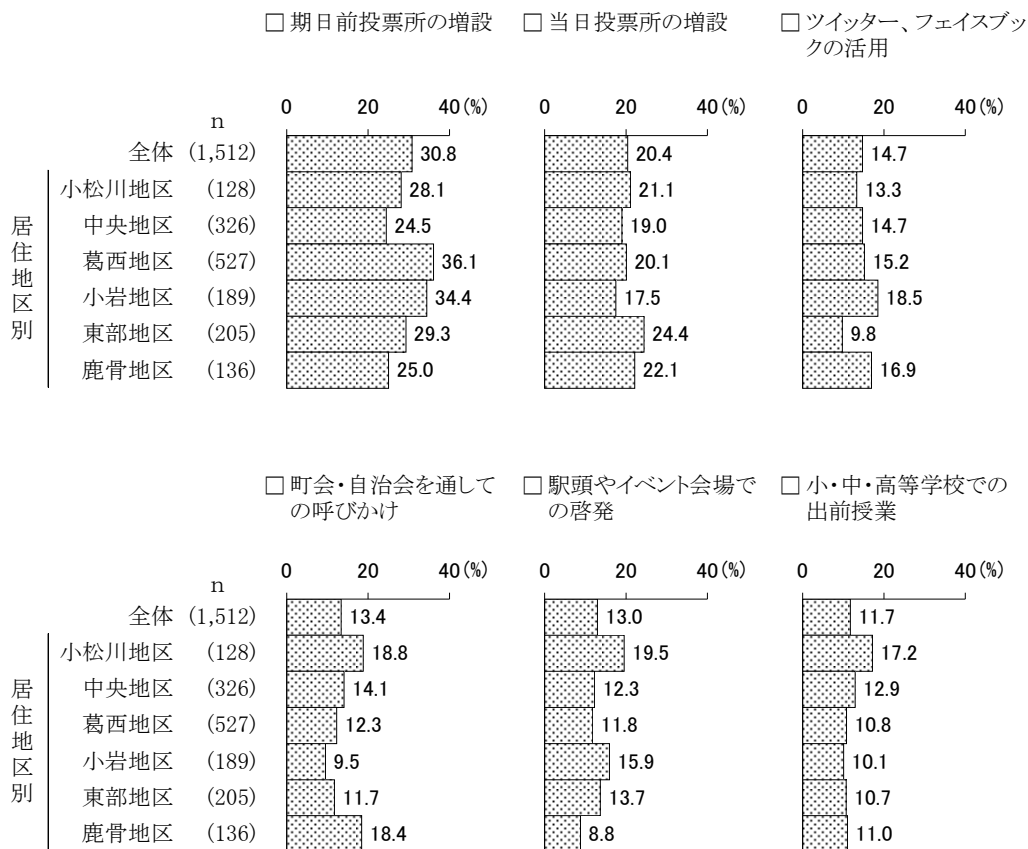


投票率向上のために有効だと思う方法を尋ねたところ、「期日前投票所の増設」(30.8%)が約3割で最も高く、「当日投票所の増設」(20.4%)が約2割、「ツイッター、フェイスブックの活用」(14.7%)、「町会・自治会を通しての呼びかけ」(13.4%)、「駅頭やイベント会場での啓発」(13.0%)が1割台半ばとなっている。(図表9-7)

【居住地区別】

居住地区別でみると、「期日前投票所の増設」は“葛西地区”（36.1%）と“小岩地区”（34.4%）で3割台半ばと高くなっている。（図表9－8）

＜図表9－8＞ 投票率向上のために有効だと思う方法／居住地区別（上位6項目）

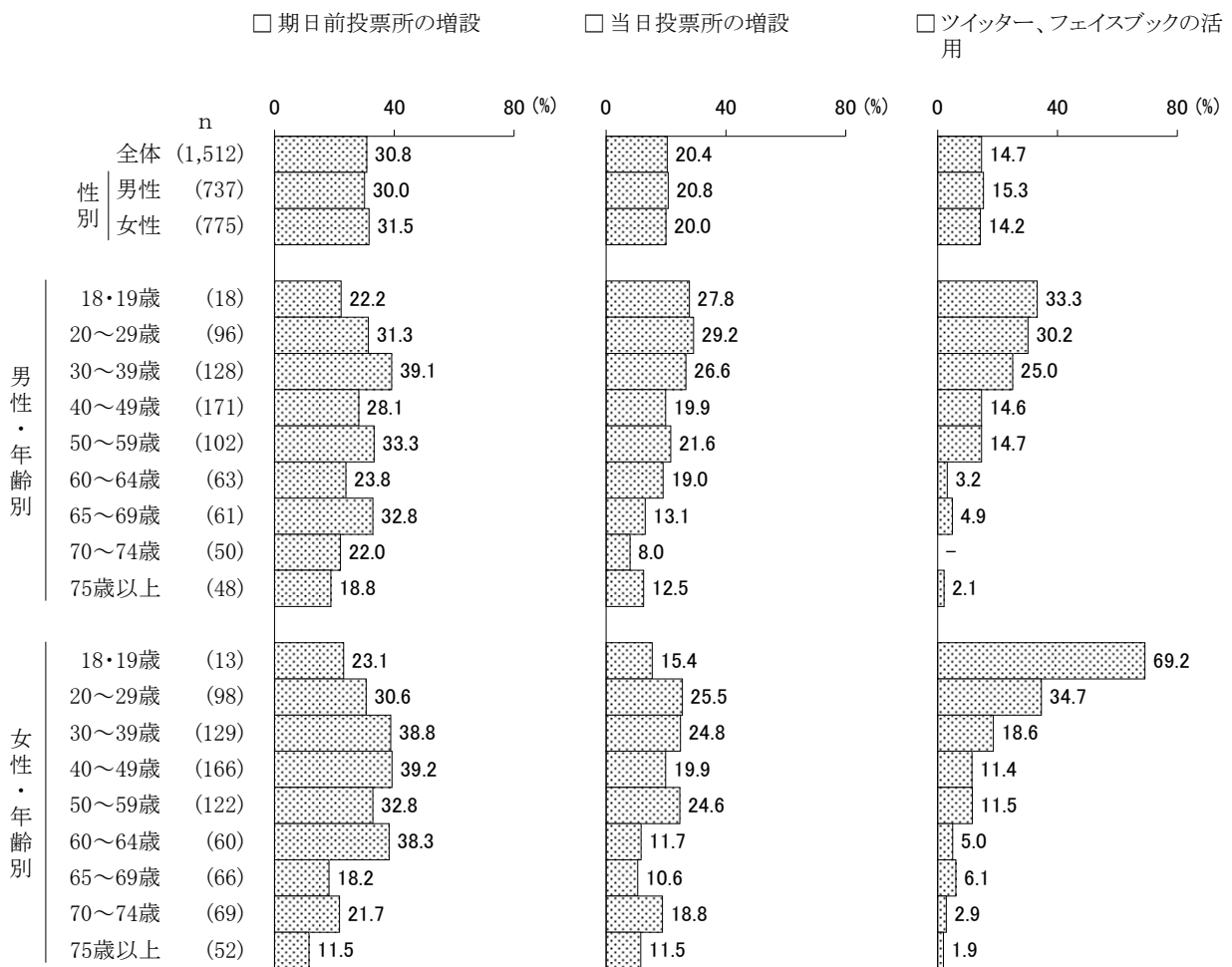


【性・年齢別】

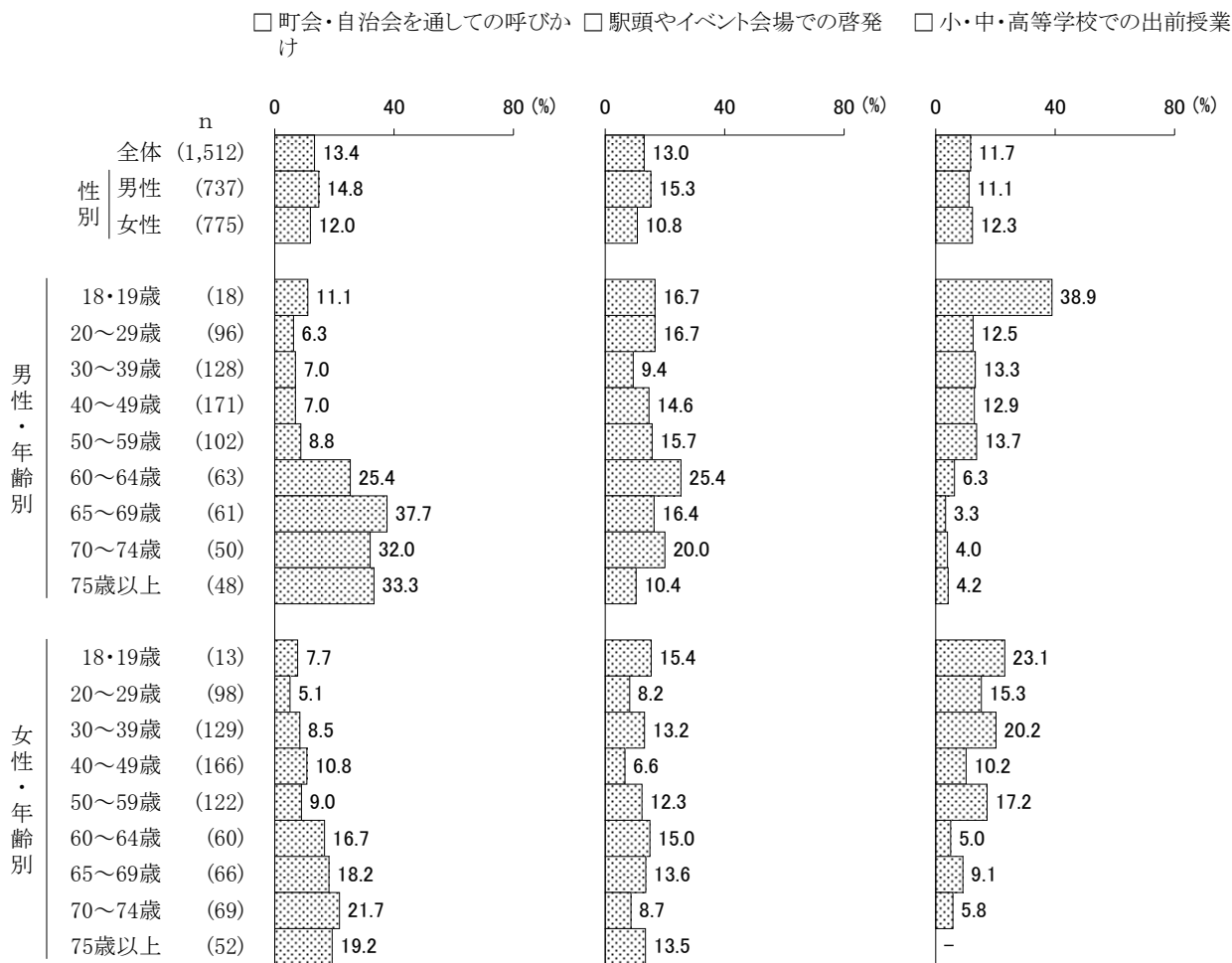
性別では、あまり大きな違いはみられない。

性・年齢別で見ると、「ツイッター、フェイスブックの活用」は年齢が低いほど割合が高い傾向にあり、「町会・自治会を通しての呼びかけ」は60歳以上の熟年者層で割合が高く、特に男性65～69歳(37.7%)で3割台後半と最も高くなっている。(図表9-9)

＜図表9-9＞ 投票率向上のために有効だと思う方法／性・年齢別（上位6項目）



Ⅲ 結果と分析 9. 選挙について



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

10. 広報と情報化について

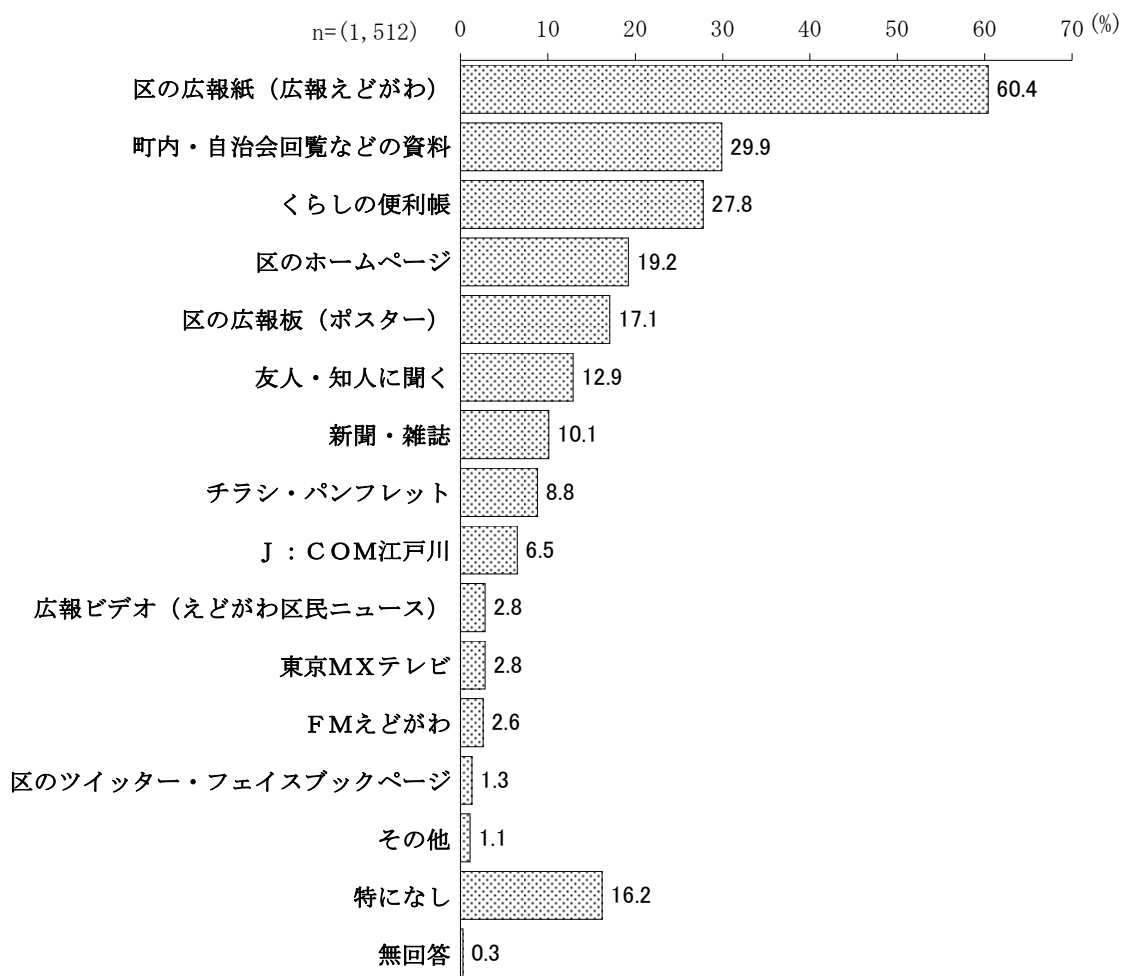
(1) 区の情報入手手段

◇「区の広報紙（広報えどがわ）」が約6割

問19 あなたは、現在、江戸川区からの情報をどのような手段（媒体）で入手していますか。

（あてはまる番号すべてに○）

<図表10-1> 区の情報入手手段（複数回答）



区の情報入手手段を聞いたところ、「区の広報紙（広報えどがわ）」（60.4%）が約6割と最も高く、続いて「町内・自治会回覧などの資料」（29.9%）、「くらしの便利帳」（27.8%）などとなっている。

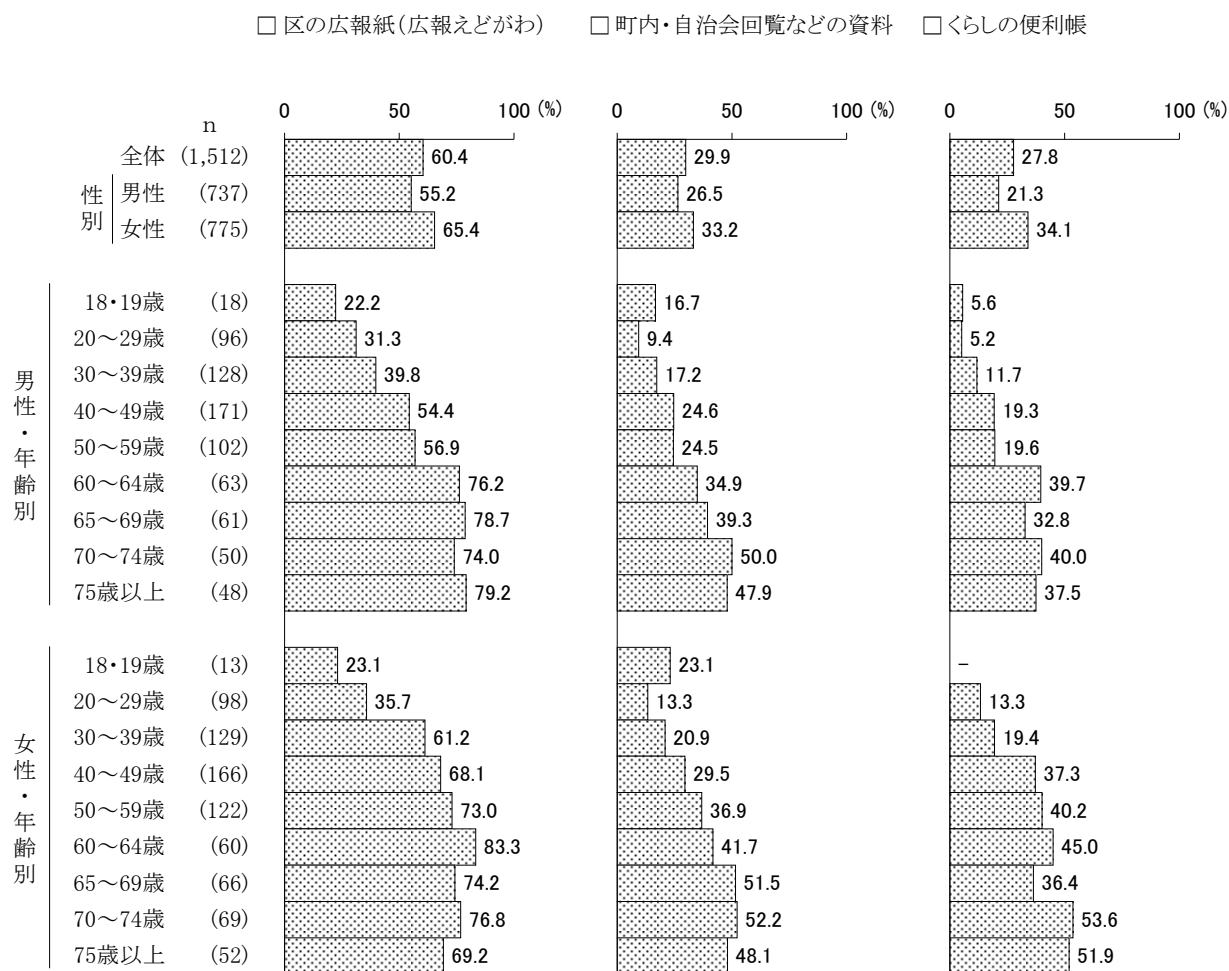
（図表10-1）

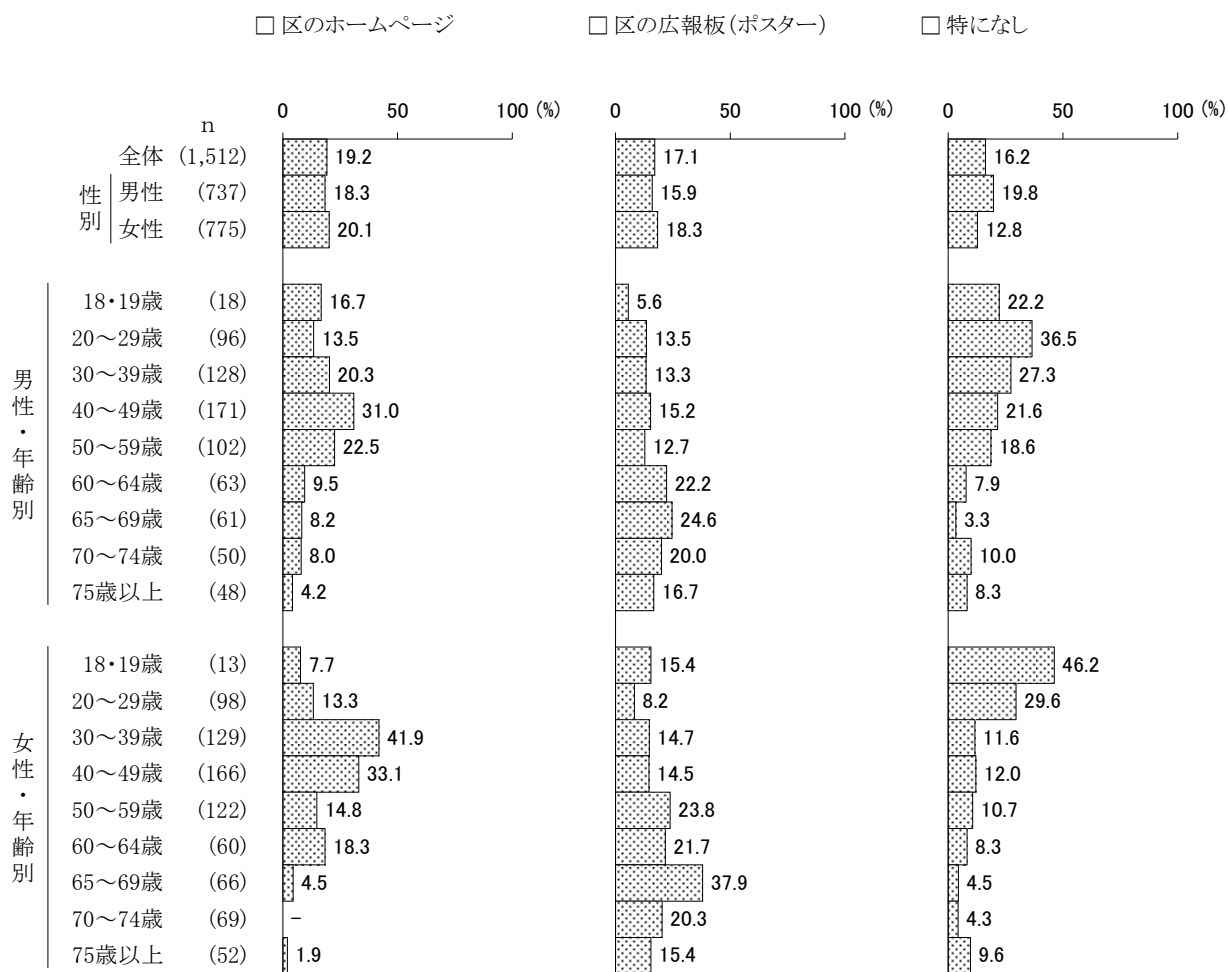
【性・年齢別】

性別では、上位5項目はいずれも女性が男性よりも高く、特に「くらしの便利帳」は12.8ポイント差となっている。

性・年齢別でみると、「区の広報紙（広報えどがわ）」、「町内・自治会回覧などの資料」は男女ともに年齢が高いほど割合が高くなる傾向にある。（図表10－2）

＜図表10－2＞ 区の情報の入手手段／性・年齢別（上位5項目＋「特になし」）





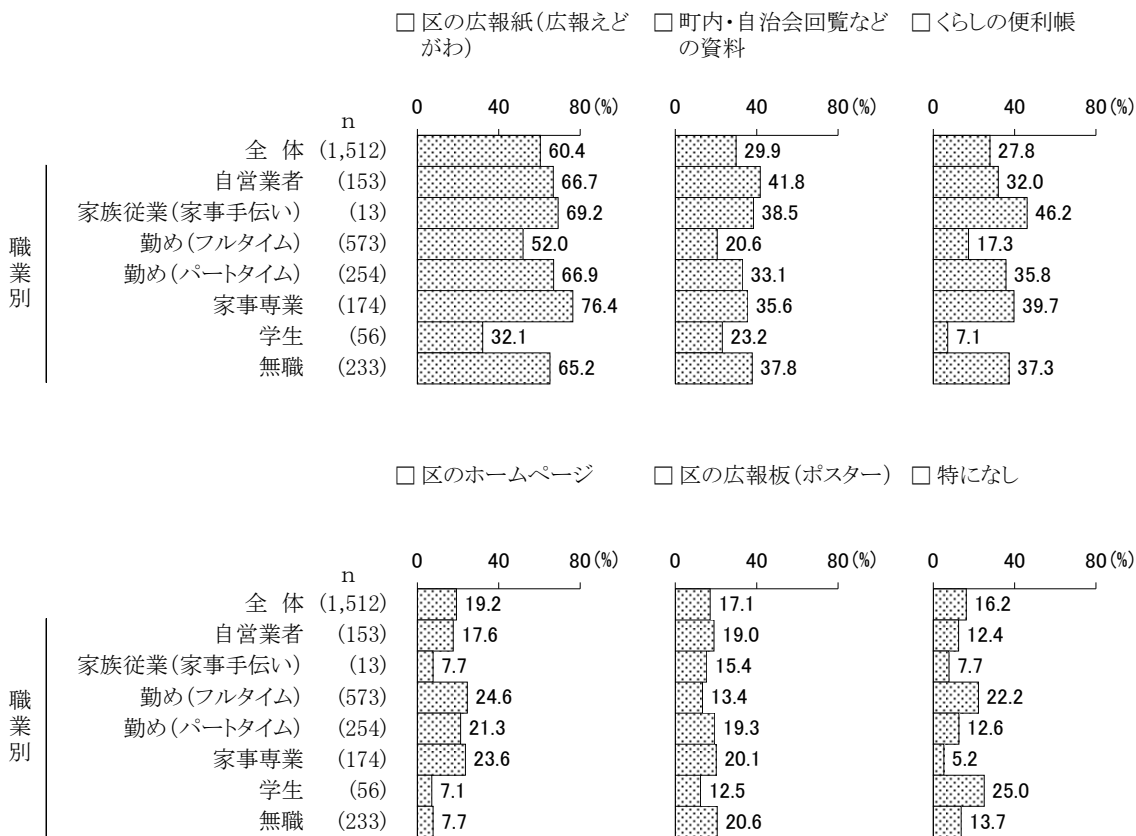
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【職業別】

職業別でみると、「区の広報紙（広報えどがわ）」は“家事専業”（76.4%）で7割台半ばと最も高くなっており、「町内・自治会回覧などの資料」は“自営業者”（41.8%）で4割を超えて高くなっている。

（図表10-3）

＜図表10-3＞ 区の情報の入手手段／職業別（上位5項目＋「特になし」）



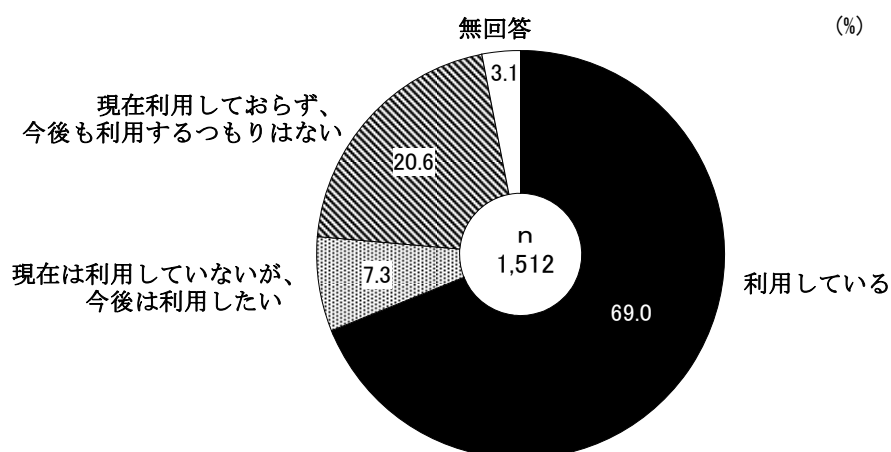
※ “家族従業（家事手伝い）”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(2) インターネットの利用状況

◇「利用している」が約7割

問20 あなたは現在、ご自宅でインターネット（携帯電話・スマートフォン・PHSによるEメールを含む）を利用していますか。（○は1つだけ）

<図表10-4> インターネットの利用状況

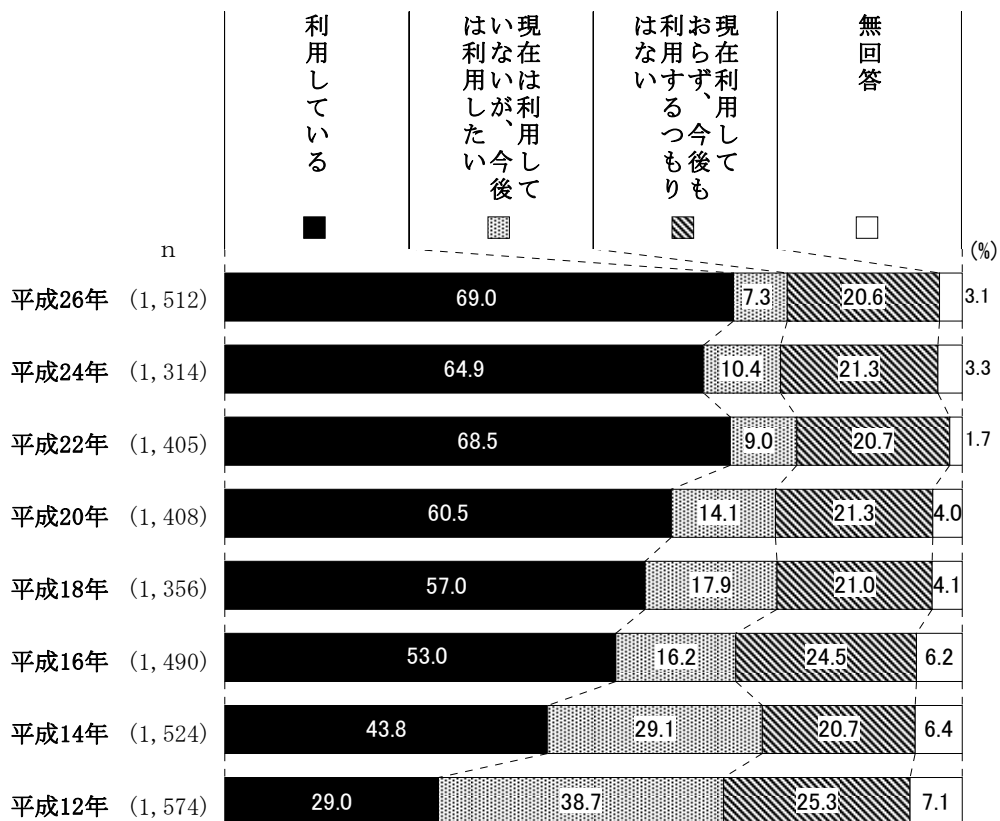


インターネットの利用状況は、「利用している」(69.0%)が約7割を占め、「現在は利用していないが、今後は利用したい」(7.3%)が約1割となっている。一方、「現在利用しておらず、今後も利用するつもりはない」(20.6%)は2割を超えている。(図表10-4)

【時系列比較】

平成12年からの調査結果を時系列で見ると、「利用している」は平成24年で一度落ち込んでいるが、概ね増加傾向となっている。(図表10-5)

＜図表10-5＞ インターネットの利用状況／時系列比較



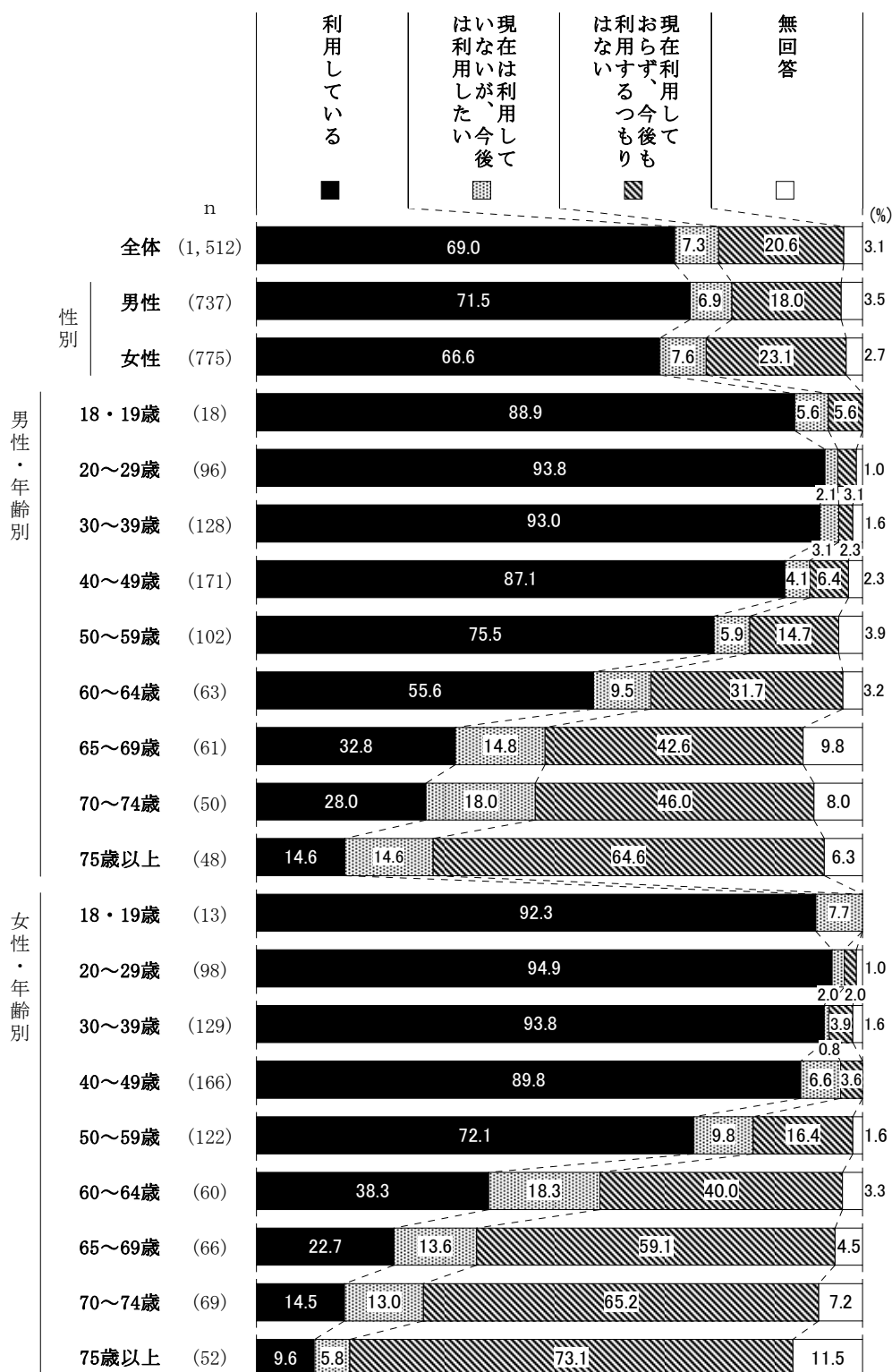
【性・年齢別】

性別では、「利用している」は男性（71.5%）が女性（66.6%）よりも4.9ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、「利用している」は男女ともに年齢が低いほど割合が高くなる傾向がみられる。

（図表10－6）

＜図表10－6＞ インターネットの利用状況／性・年齢別

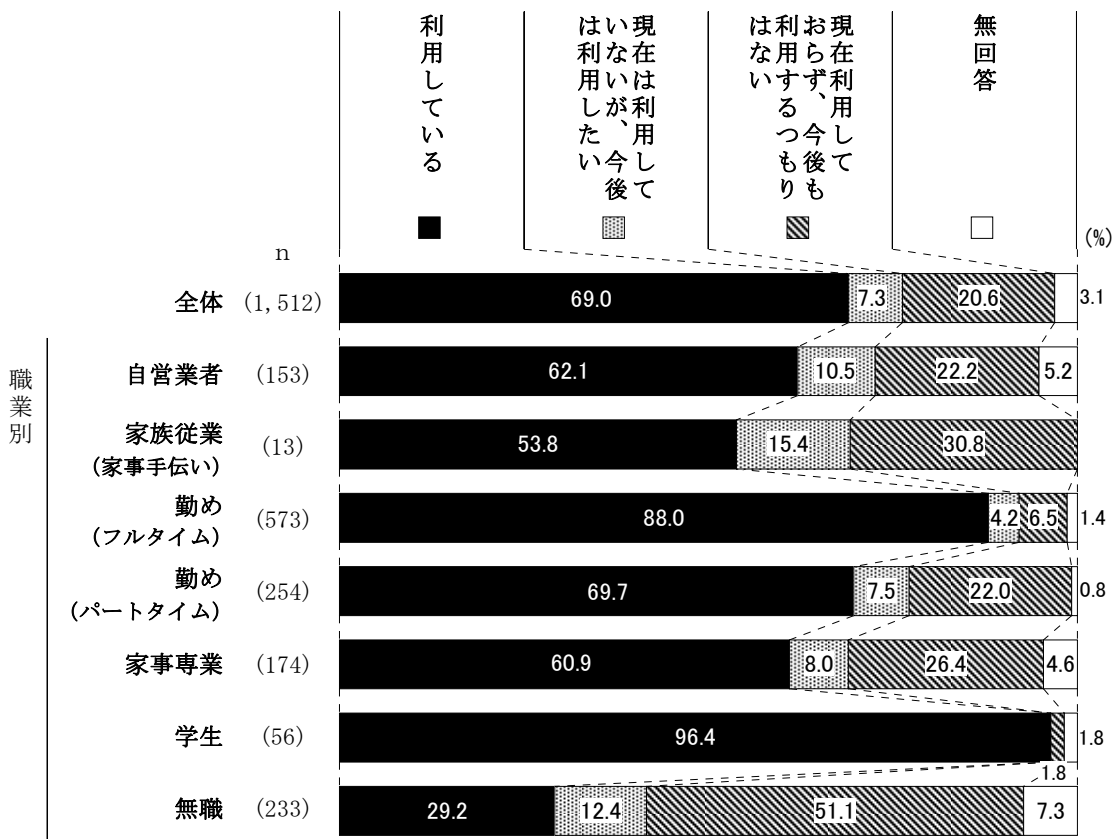


※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【職業別】

職業別でみると、「利用している」は“勤め（フルタイム）”（88.0%）で8割台後半と高くなっている。一方、「現在利用しておらず、今後も利用するつもりはない」は“無職”（51.1%）で5割を超えて高くなっている。（図表10-7）

＜図表10-7＞ インターネットの利用状況／職業別



※ “家族従業（家事手伝い）”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

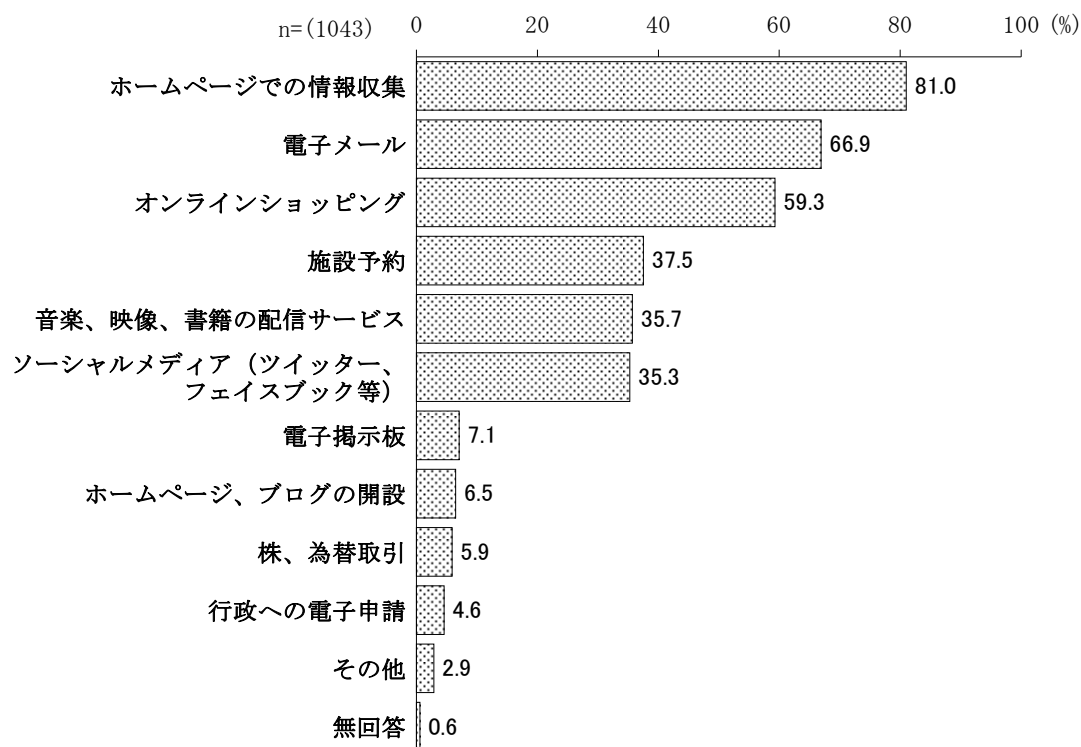
(2-1) インターネットで利用しているサービス

◇「ホームページでの情報収集」が8割を超える

<問20で「1 利用している」とお答えの方に>

問20-1 インターネットで利用しているサービスは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

<図表10-8> インターネットで利用しているサービス(複数回答)

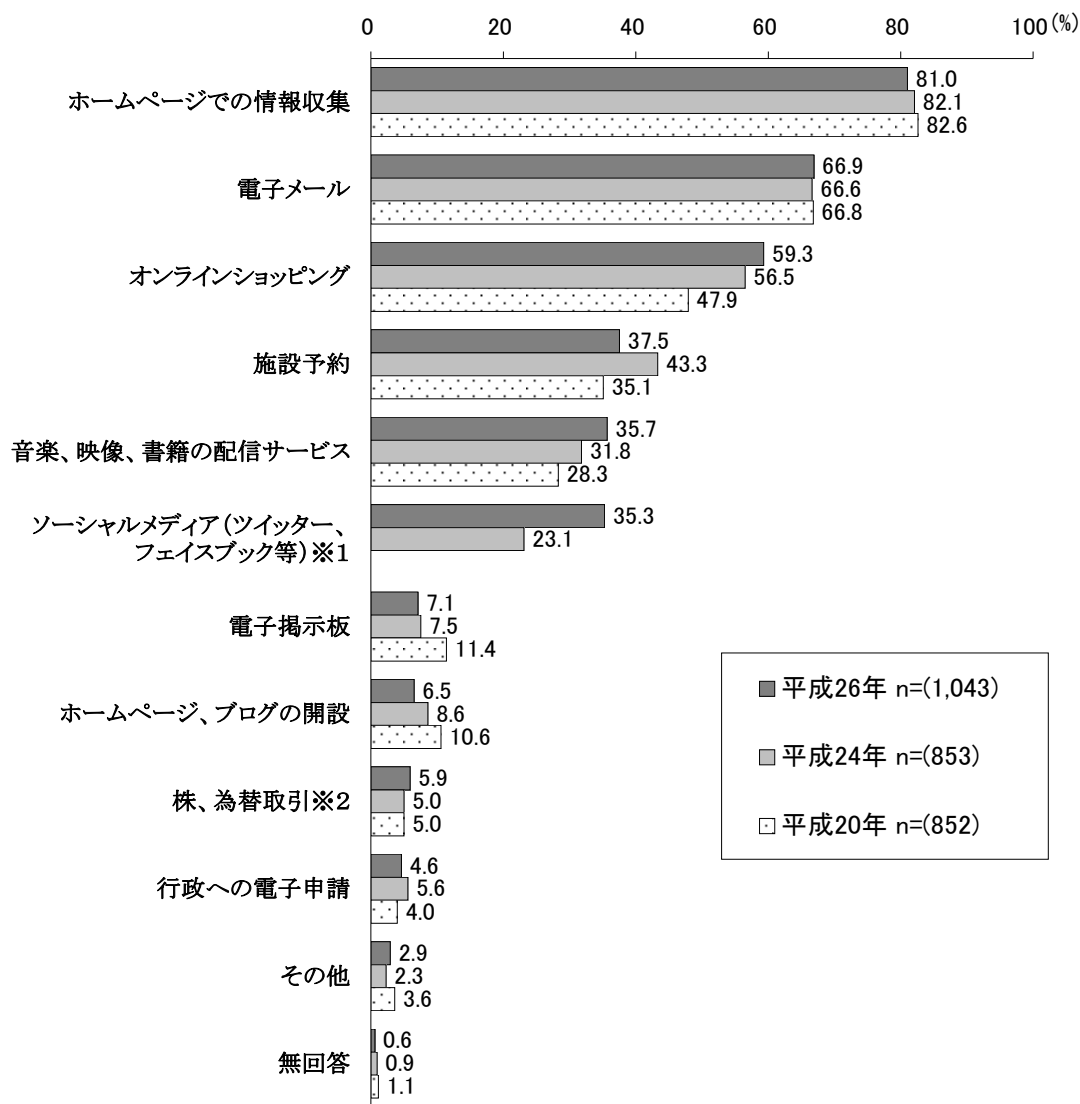


インターネットを利用している人に、利用しているサービスを尋ねたところ、「ホームページでの情報収集」(81.0%)が8割を超え最も高く、続いて「電子メール」(66.9%)が6割台半ば、「オンラインショッピング」(59.3%)、「施設予約」(37.5%)、「音楽、映像、書籍の配信サービス」(35.7%)、「ソーシャルメディア(ツイッター、フェイスブック等)」(35.3%)などとなっている。(図表10-8)

【時系列比較】

平成20年からの調査結果と比較すると、「オンラインショッピング」は11.4ポイント、「音楽、映像、書籍の配信サービス」は7.4ポイント増加している。また、「ソーシャルメディア（ツイッター、フェイスブック等）」は平成24年より12.2ポイント増加している。（図表10－9）

＜図表10－9＞ インターネットで利用しているサービス／時系列比較



※1 平成24年からの調査

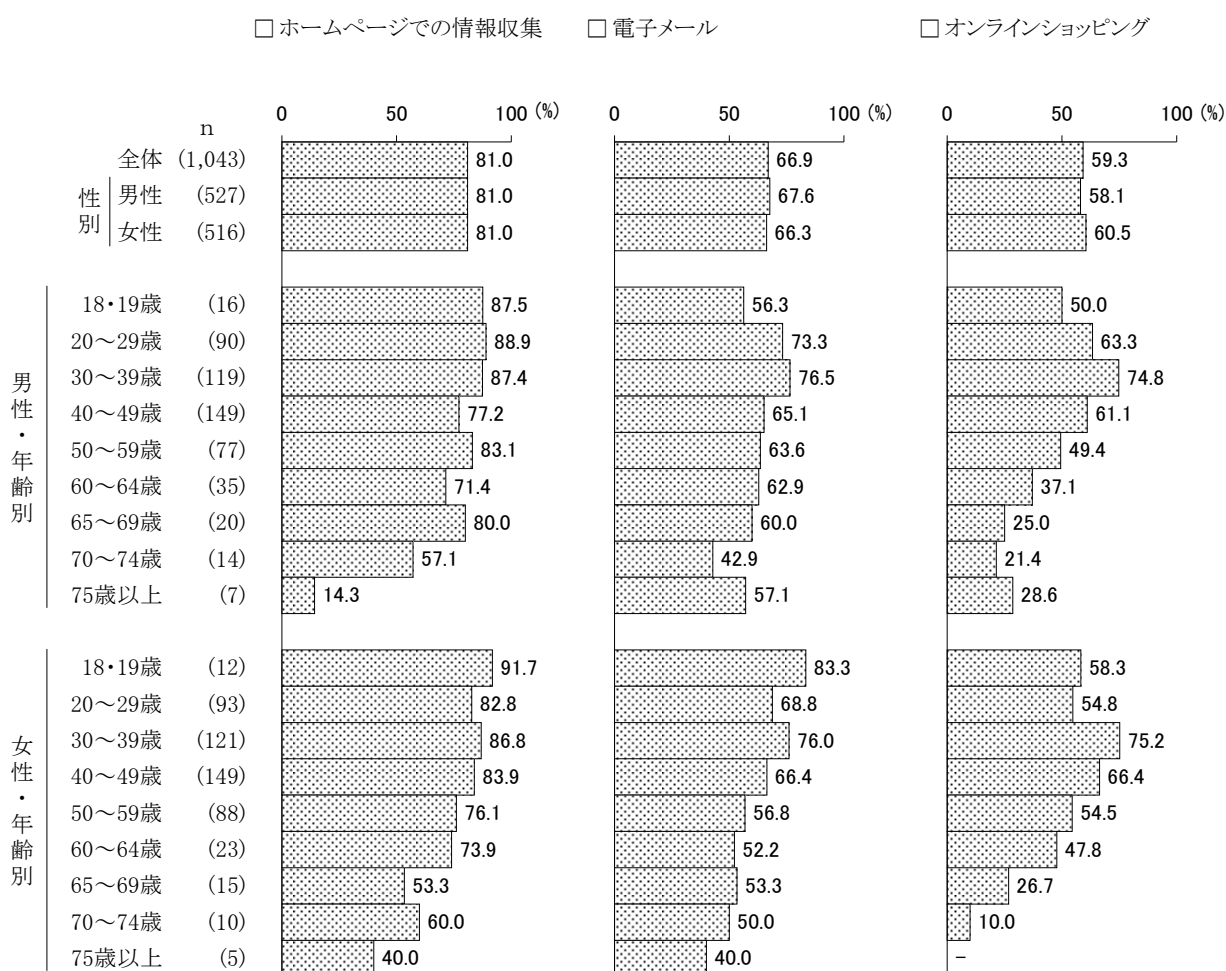
※2 平成20年は「インターネットによる株取引」

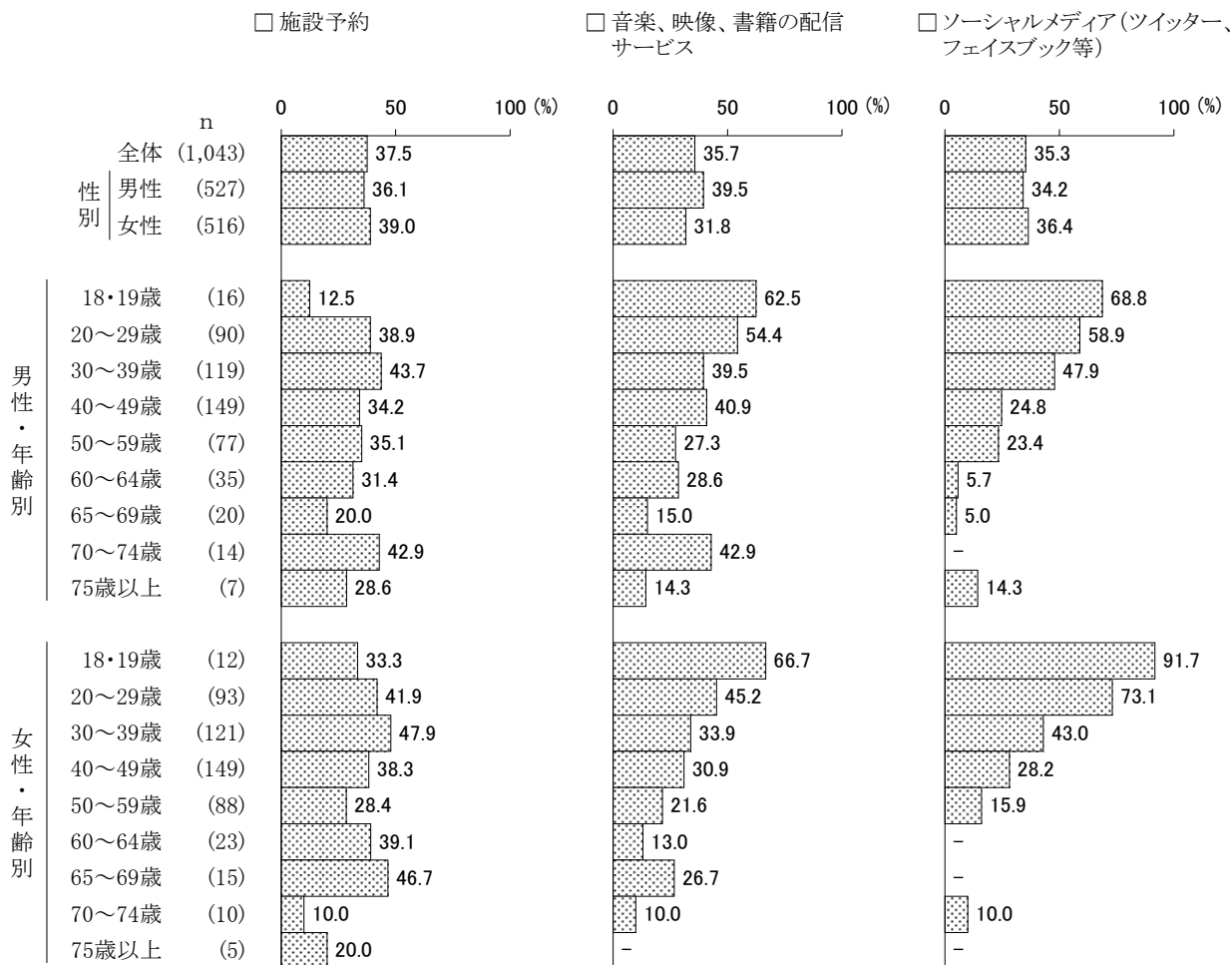
【性・年齢別】

性別では、「音楽、映像、書籍の配信サービス」は男性（39.5%）が女性（31.8%）よりも7.7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「ホームページでの情報収集」、「電子メール」、「オンラインショッピング」、「音楽、映像、書籍の配信サービス」、「ソーシャルメディア（ツイッター、フェイスブック等）」は男女とも年齢が低いほど割合が高くなる傾向がみられる。（図表10-10）

＜図表10-10＞ インターネットで利用しているサービス／性・年齢別（上位6項目）





※女性の60～64歳、男性及び女性の“18・19歳”、“65～69歳”、“70～74歳”、“75歳以上”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

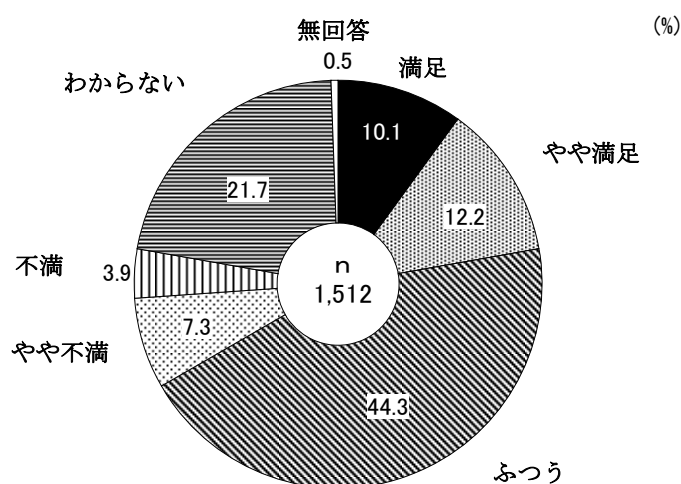
11. 江戸川区職員の接遇について

(1) 江戸川区職員の接遇に対する満足度

◇ <満足(計)>は2割を超える

問21 江戸川区職員の接遇について、どの程度満足していますか。(○は1つだけ)

<図表11-1> 江戸川区職員の接遇に対する満足度



(注) <満足(計)> = 「満足」 + 「やや満足」・・・22.3%

<不満(計)> = 「不満」 + 「やや不満」・・・11.2%

江戸川区職員の接遇に対する満足度は、「満足」(10.1%)と「やや満足」(12.2%)を合わせた<満足(計)>(22.3%)は2割を超えている。一方、「不満」(3.9%)と「やや不満」(7.3%)を合わせた<不満(計)>(11.2%)は1割を超えている。(図表11-1)

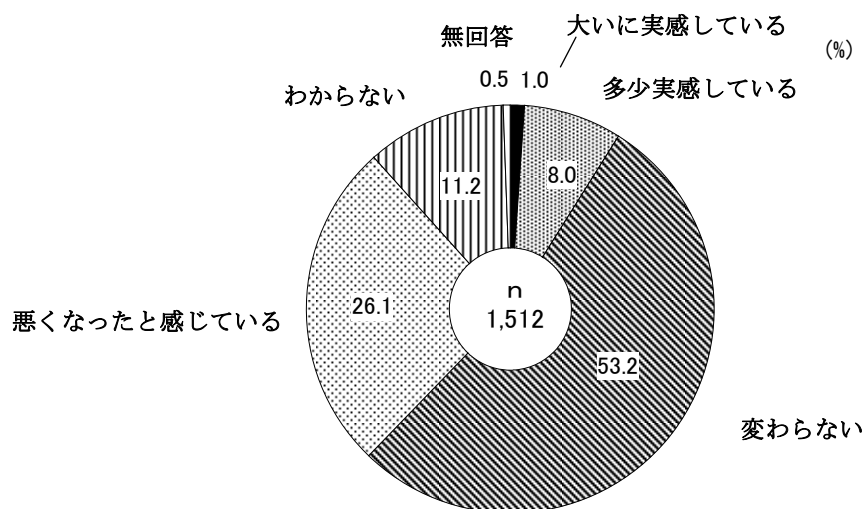
12. 景気・消費税について

(1) 景気の回復感

◇ 「変わらない」が5割台半ば

問22 政府の「財政政策」「成長戦略」「金融政策」といった政策により、景気が回復し始めていると言われていますが、あなたは景気の回復について、ご自身の生活にあてはめて、どのように感じていますか。(○は1つだけ)

<図表12-1> 景気の回復感

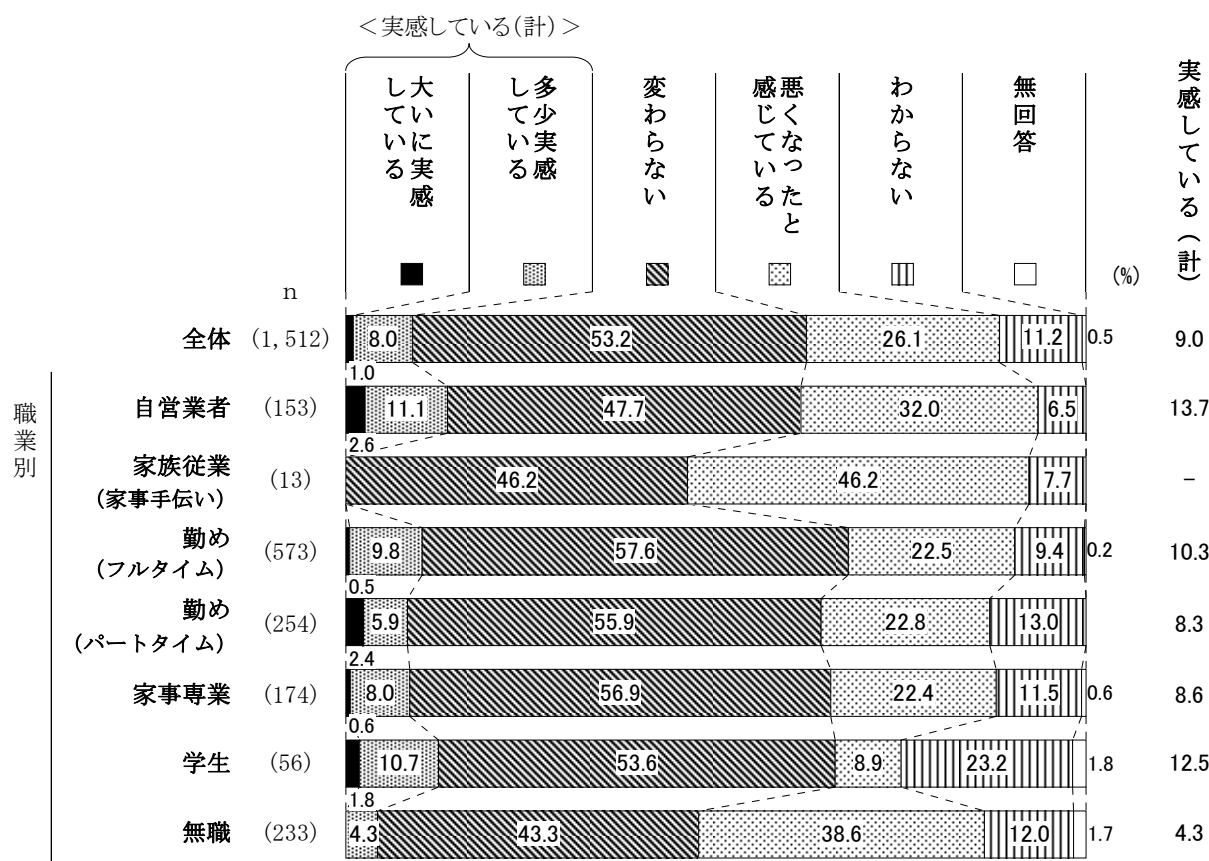


景気の回復感について尋ねたところ、「変わらない」(53.2%)が5割台半ばで最も高く、続いて「悪くなったと感じている」(26.1%)が2割台半ばとなっている。(図表12-1)

【職業別】

職業別でみると、＜実感している（計）＞は“自営業者”（13.7%）で最も高くなっている。一方、「悪くなったと感じている」は“無職”（38.6%）で約4割と高くなっている。（図表12-2）

＜図表12-2＞ 景気の回復感／職業別



※ “家族従業（家事手伝い）”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

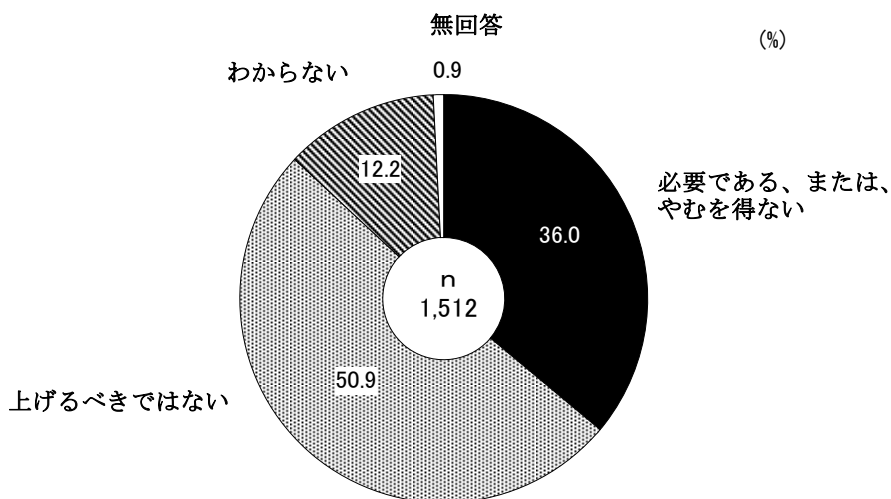
(2) 消費税率を10%に上げることについて

◇ 「上げるべきではない」が約5割

問23 平成26年4月から消費税が8%に上がりました。また、政府は、今後の経済成長次第で、平成27年秋以降、10%に上げることも検討しています。

このことについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つだけ)

<図表12-3> 消費税率を10%に上げることについて

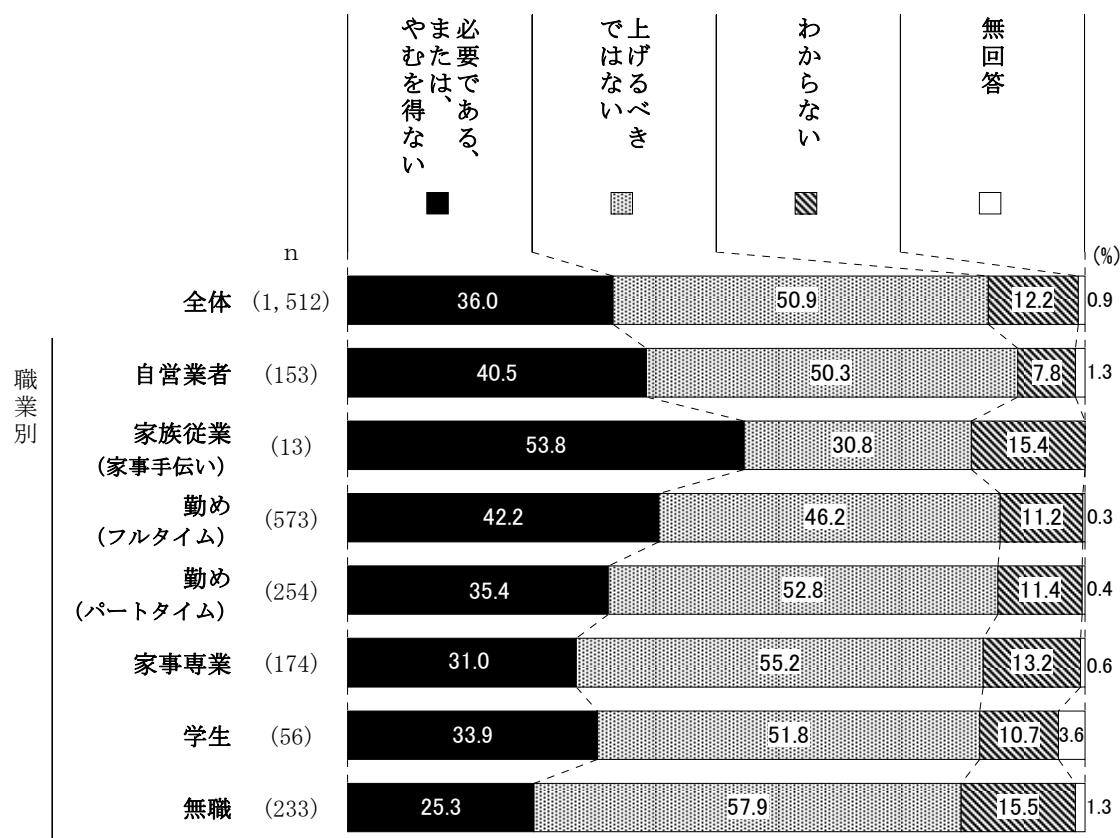


消費税率を10%に上げることについて尋ねたところ、「上げるべきではない」(50.9%)が約5割、「必要である、または、やむを得ない」(36.0%)が3割台半ばとなっている。(図表12-3)

【職業別】

職業別で見ると、「必要である、または、やむを得ない」は“勤め（フルタイム）”（42.2%）で4割を超えて高くなっている。一方、「上げるべきではない」は“無職”（57.9%）で5割台後半と高くなっている。（図表12-4）

＜図表12-4＞ 消費税率を10%に上げることに/職業別



※ “家族従業（家事手伝い）”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

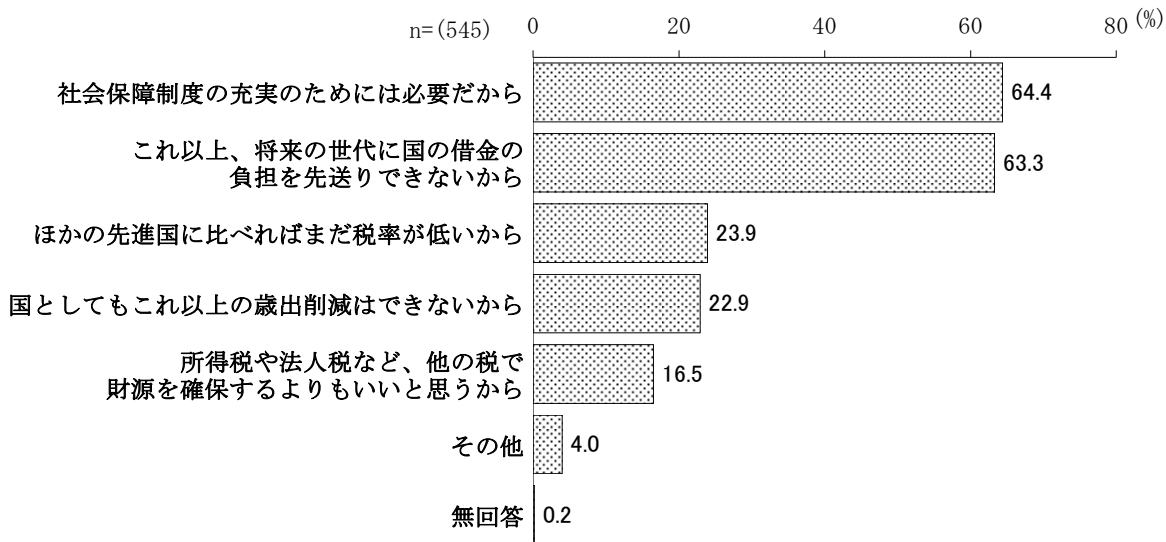
(2-1) 消費税増税を「必要である、または、やむを得ない」と思う理由

◇ 「社会保障制度の充実のためには必要だから」が6割台半ば

＜問23で「1 必要である、または、やむを得ない」とお答えの方に＞

問23-1 その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

＜図表12-5＞ 消費税増税を「必要である、または、やむを得ない」と思う理由（複数回答）

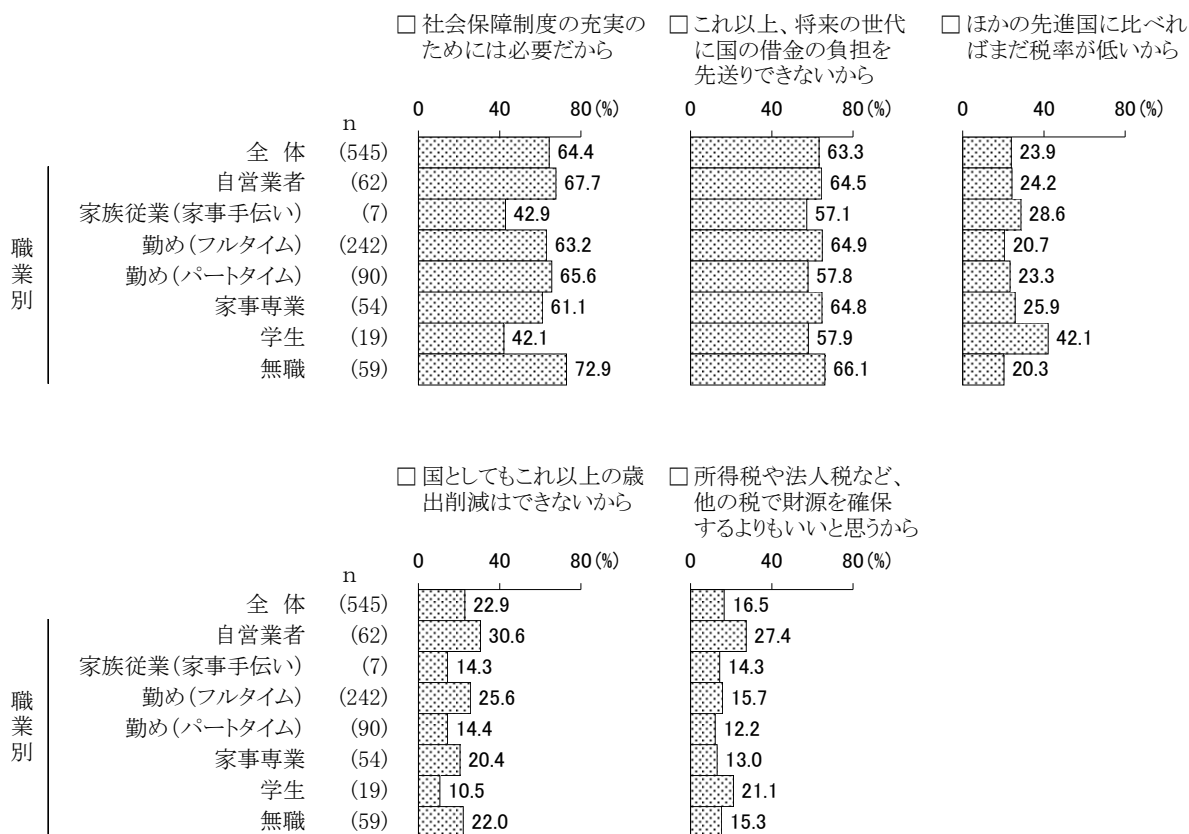


消費税増税を「必要である、または、やむを得ない」と答えた方に、その理由を尋ねたところ、「社会保障制度の充実のためには必要だから」(64.4%)、「これ以上、将来の世代に国の借金の負担を先送りできないから」(63.3%)が6割台半ばとなっている。(図表12-5)

【職業別】

職業別でみると、「社会保障制度の充実のためには必要だから」は“無職”（72.9%）で7割を超えて高くなっている。（図表12-6）

＜図表12-6＞ 消費税増税を「必要である、または、やむを得ない」と思う理由／職業別



※ “家族従業（家事手伝い）”、“学生”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

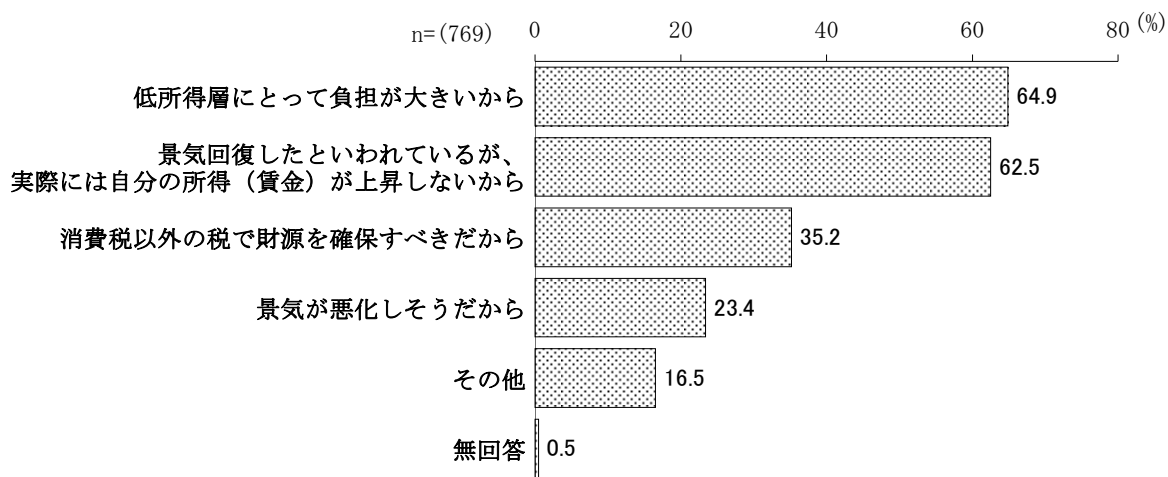
(2-2) 消費税率を「上げるべきではない」と思う理由

◇ 「低所得層にとって負担が大きいから」が6割台半ば

＜問23で「2 上げるべきではない」とお答えの方に＞

問23-2 その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

＜図表12-7＞ 消費税率を「上げるべきではない」と思う理由（複数回答）

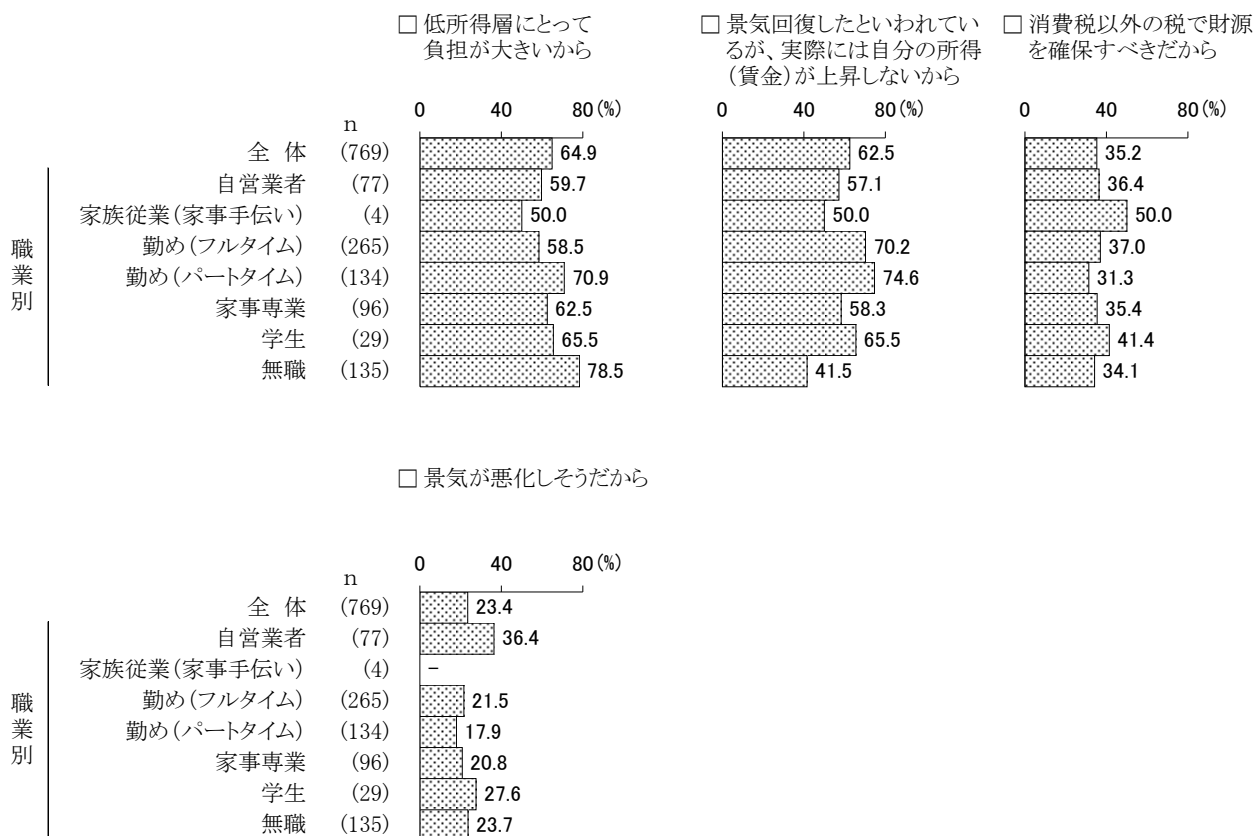


消費税率を「上げるべきではない」と答えた方に、その理由を尋ねたところ、「低所得層にとって負担が大きいから」(64.9%)が6割台半ばで最も高く、続いて「景気回復したといわれているが、実際には自分の所得（賃金）が上昇しないから」(62.5%)が6割を超えている。(図表12-7)

【職業別】

職業別でみると、「低所得層にとって負担が大きいから」は“無職”（78.5%）で7割台後半と高く、「景気回復したといわれているが、実際には自分の所得（賃金）が上昇しないから」は“勤め（パートタイム）”（74.6%）で7割台半ばと高くなっている。（図表12-8）

＜図表12-8＞ 消費税率を「上げるべきではない」と思う理由／職業別



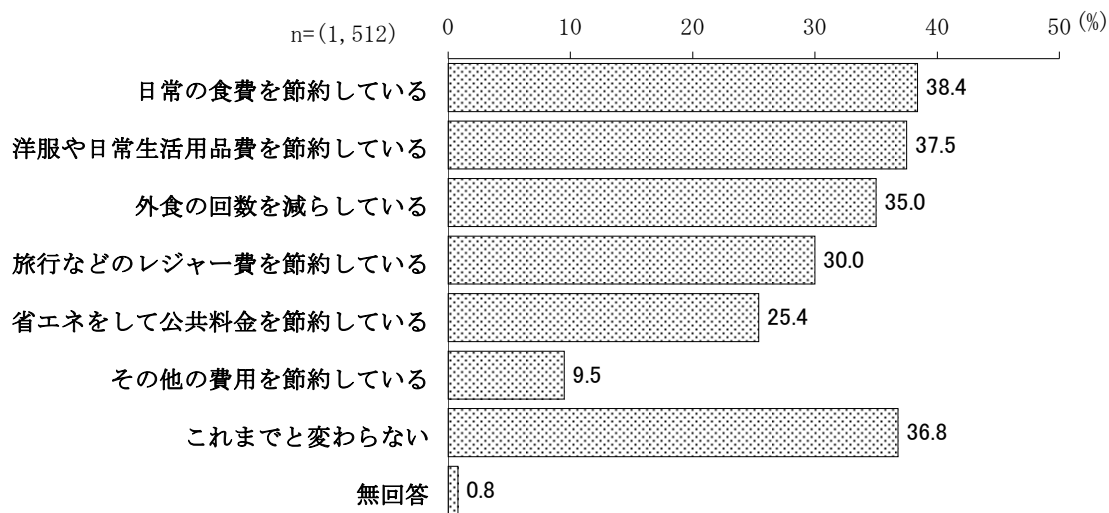
※ “家族従業（家事手伝い）”、“学生”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(3) 消費税増税後の消費行動

◇ 「日常の食費を節約している」が約4割

問24 社会保障の財源確保として、平成26年4月より消費税が8%に上がりました。あなたは、増税後どのような消費行動をとっていますか。(あてはまる番号すべてに○)

<図表12-9> 消費税増税後の消費行動(複数回答)



消費税増税後の消費行動について尋ねたところ、「日常の食費を節約している」(38.4%)が約4割で最も高く、「洋服や日常生活用品費を節約している」(37.5%)、「外食の回数を減らしている」(35.0%)などとなっている。一方、「これまでと変わらない」(36.8%)は3割台半ばとなっている。

(図表12-9)

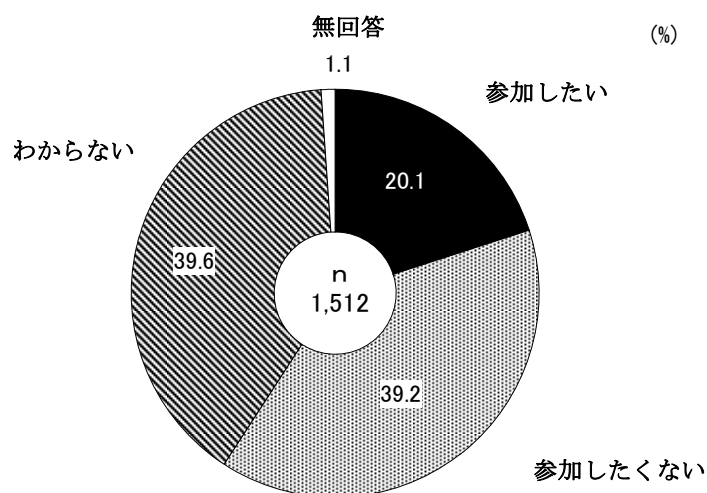
13. 東京オリンピック・パラリンピックについて

(1) 東京オリンピック・パラリンピックへのボランティア参加希望度

◇ 「参加したい」が約2割

問25 あなたは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックが開催される際に、ボランティアとして大会に参加しようと思いますか。(○は1つだけ)

<図表13-1> 東京オリンピック・パラリンピックへのボランティア参加希望度



東京オリンピック・パラリンピックへのボランティア参加希望度について尋ねたところ、「参加したい」(20.1%)が約2割、「参加したくない」(39.2%)、「わからない」(39.6%)が約4割となっている。

(図表13-1)

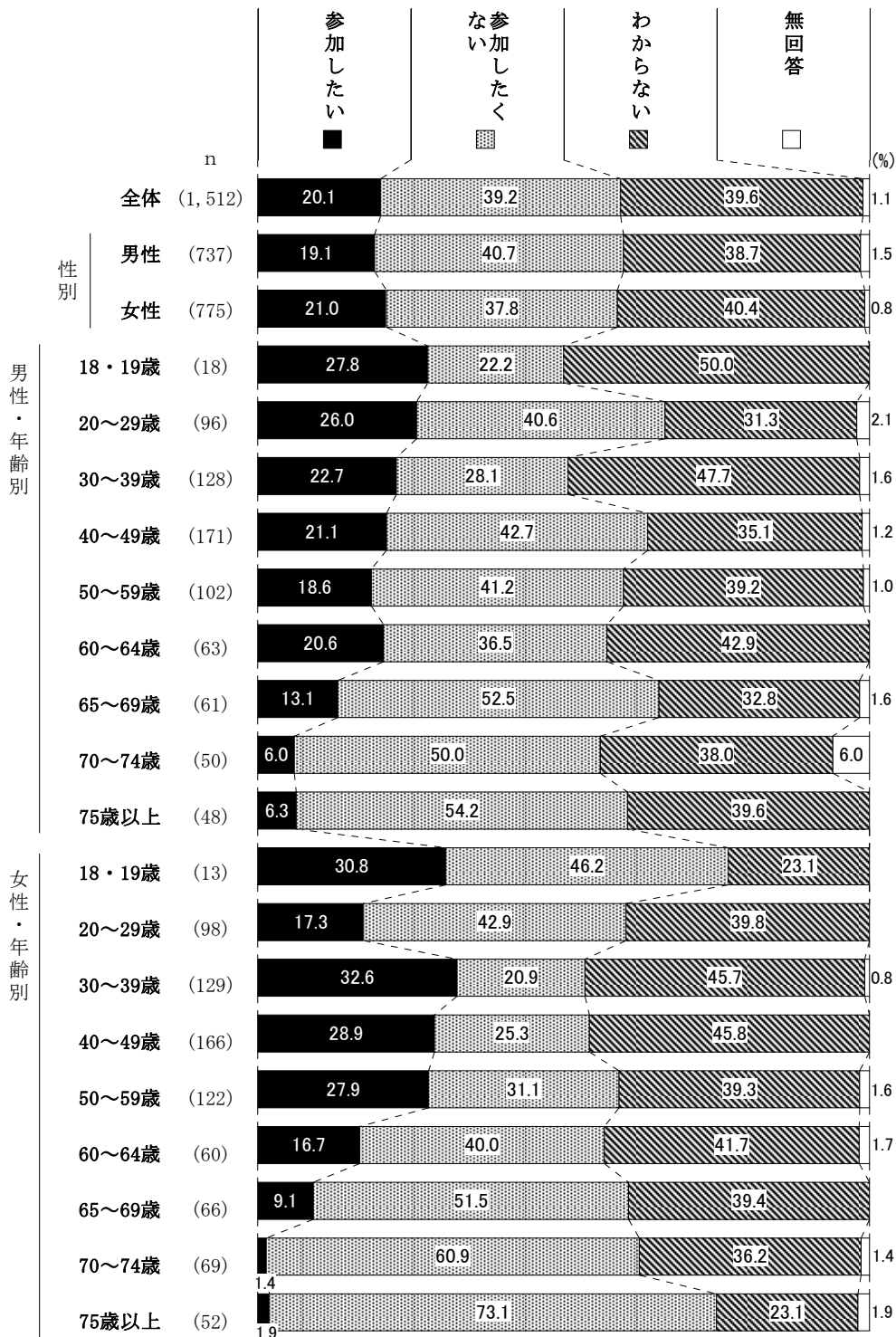
【性・年齢別】

性別では、あまり大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「参加したい」は男女とも年齢が低いほど割合が高くなる傾向がみられる。

(図表13-2)

＜図表13-2＞ 東京オリンピック・パラリンピックへのボランティア参加希望度／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(1-1) 参加したいと思うボランティア活動

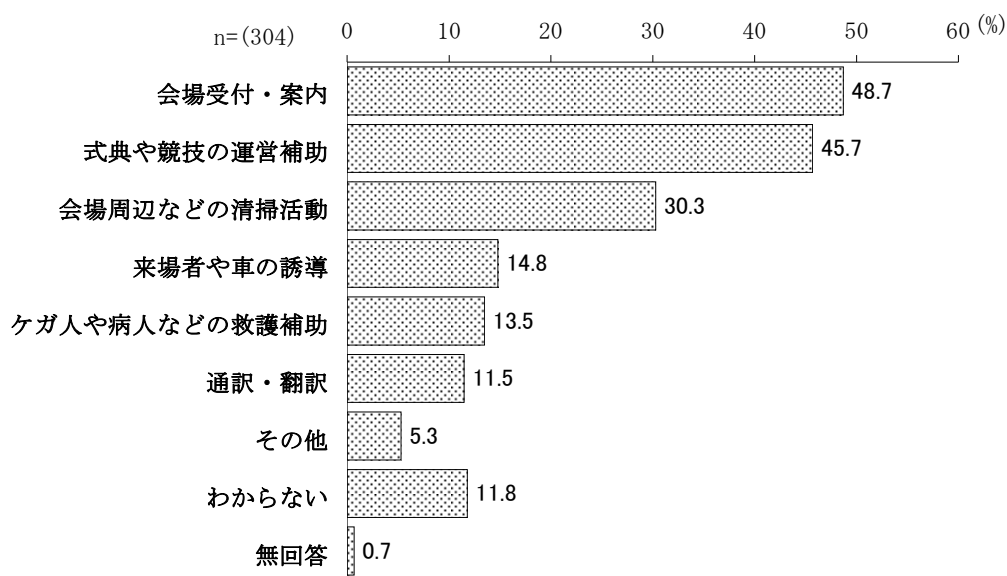
◇ 「会場受付・案内」が約5割

<問25で「1 参加したい」とお答えの方に>

問25-1 どのようなボランティア活動に参加したいと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

<図表13-3> 参加したいと思うボランティア活動（複数回答）



ボランティアに参加したいと答えた方に、どのような活動に参加したいか尋ねたところ、「会場受付・案内」(48.7%)が約5割で最も高く、続いて「式典や競技の運営補助」(45.7%)が4割台半ばなどとなっている。(図表13-3)

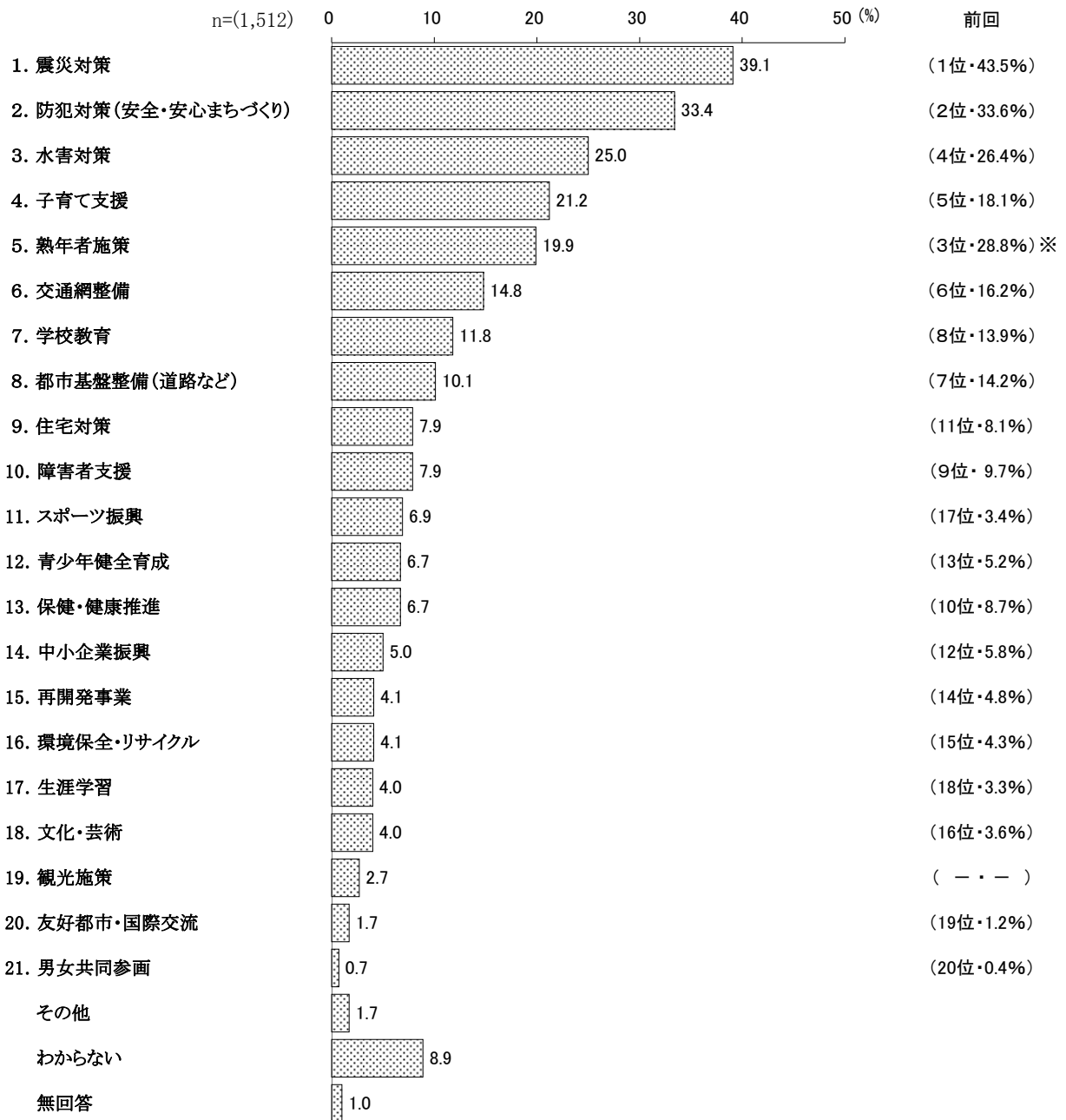
14. 区政への要望について

(1) 今後推進してほしい施策

◇「震災対策」が約4割

問26 江戸川区は、今後どのような施策を推進していけば良いと思いますか。(〇は3つまで)

<図表14-1> 今後推進してほしい施策（複数回答）



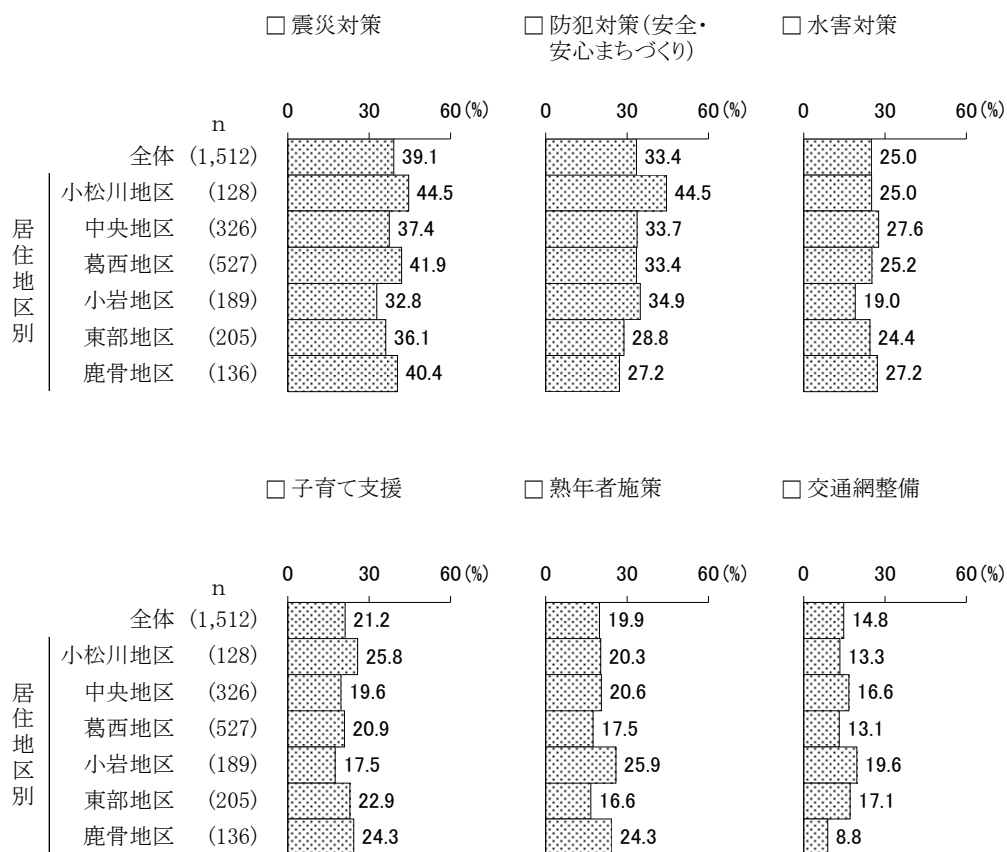
※前回は高齢者福祉

今後推進してほしい施策については、「震災対策」(39.1%)が約4割と最も高く、続いて「防犯対策(安全・安心まちづくり)」(33.4%)、「水害対策」(25.0%)、「子育て支援」(21.2%)、「熟年者施策」(19.9%)などとなっている。(図表14-1)

【居住地区別】

居住地区別で見ると、「震災対策」は“小松川地区”(44.5%)、“葛西地区”(41.9%)、“鹿骨地区”(40.4%)で4割台と高くなっている。また、「防犯対策(安全・安心まちづくり)」は“小松川地区”(44.5%)で、「熟年者施策」は“小岩地区”(25.9%)で高くなっている。(図表14-2)

<図表14-2> 今後推進してほしい施策／居住地区別(上位6項目)

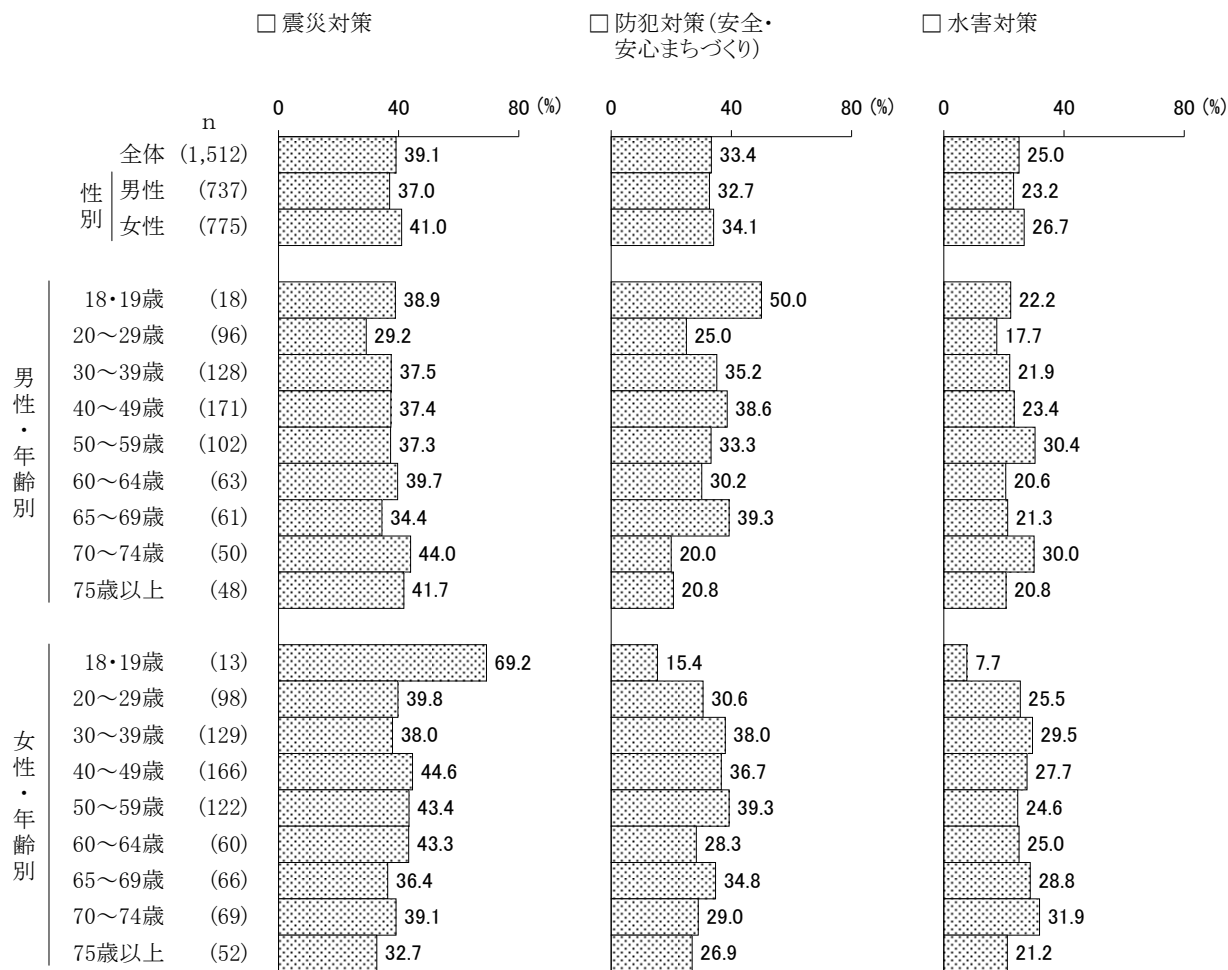


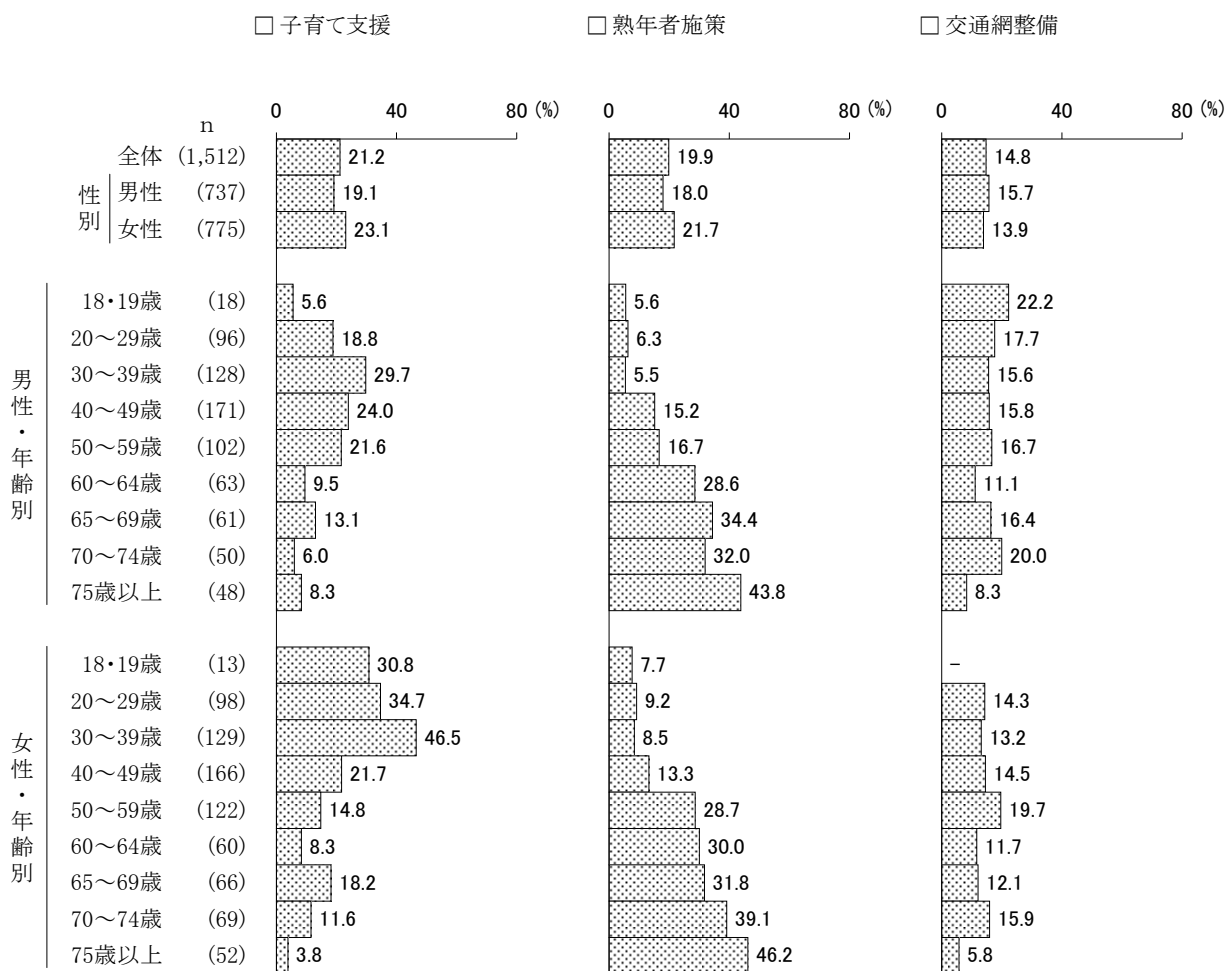
【性・年齢別】

性別では、あまり大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「熟年者施策」は男女とも75歳以上、「子育て支援」は男女とも30歳代でそれぞれ最も高くなっている。(図表14-3)

<図表14-3> 今後推進してほしい施策／性・年齢別（上位6項目）





※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

今回を含めた過去7回の上位5項目をみると、平成16年以降は「防犯対策（安全・安心まちづくり）」が第1位となっていたが、今回は前回に引き続き「震災対策」が上回っている。さらに「水害対策」が第3位にランクされ、防災対策に対する要望が高まった結果となっている。（図表14-4）

＜図表14-4＞過去5回の上位5項目の推移

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
平成26年	震災対策 39.1%	防犯対策（安全・安心まちづくり） 33.4%	水害対策 25.0%	子育て支援 21.2%	熟年者施策 19.9%
平成24年	震災対策 43.5%	防犯対策（安全・安心まちづくり） 33.6%	高齢者福祉 28.8%	水害対策 26.4%	子育て支援 18.1%
平成22年	防犯対策（安全・安心まちづくり） 39.2%	高齢者福祉 34.9%	子育て支援 22.7%	震災対策 22.6%	学校教育 20.3%
平成20年	防犯対策（安全・安心まちづくり） 47.2%	災害対策 36.1%	高齢者対策 35.3%	子育て対策 20.2%	交通網整備 17.0%
平成18年	防犯対策（安全・安心まちづくり） 48.0%	高齢者対策 31.3%	防災対策 21.4%	子育て対策 21.0%	交通網整備 19.4%
平成16年	防犯などの安全・安心まちづくり 51.3%	高齢者対策 31.9%	学校教育の充実 15.0%	子育て対策 14.4%	保健・健康づくり 13.8%
平成14年	高齢者対策 42.0%	保健・健康づくり 23.6%	景気・物価対策 20.7%	交通網の整備 19.4%	環境保全・公害対策 17.8%

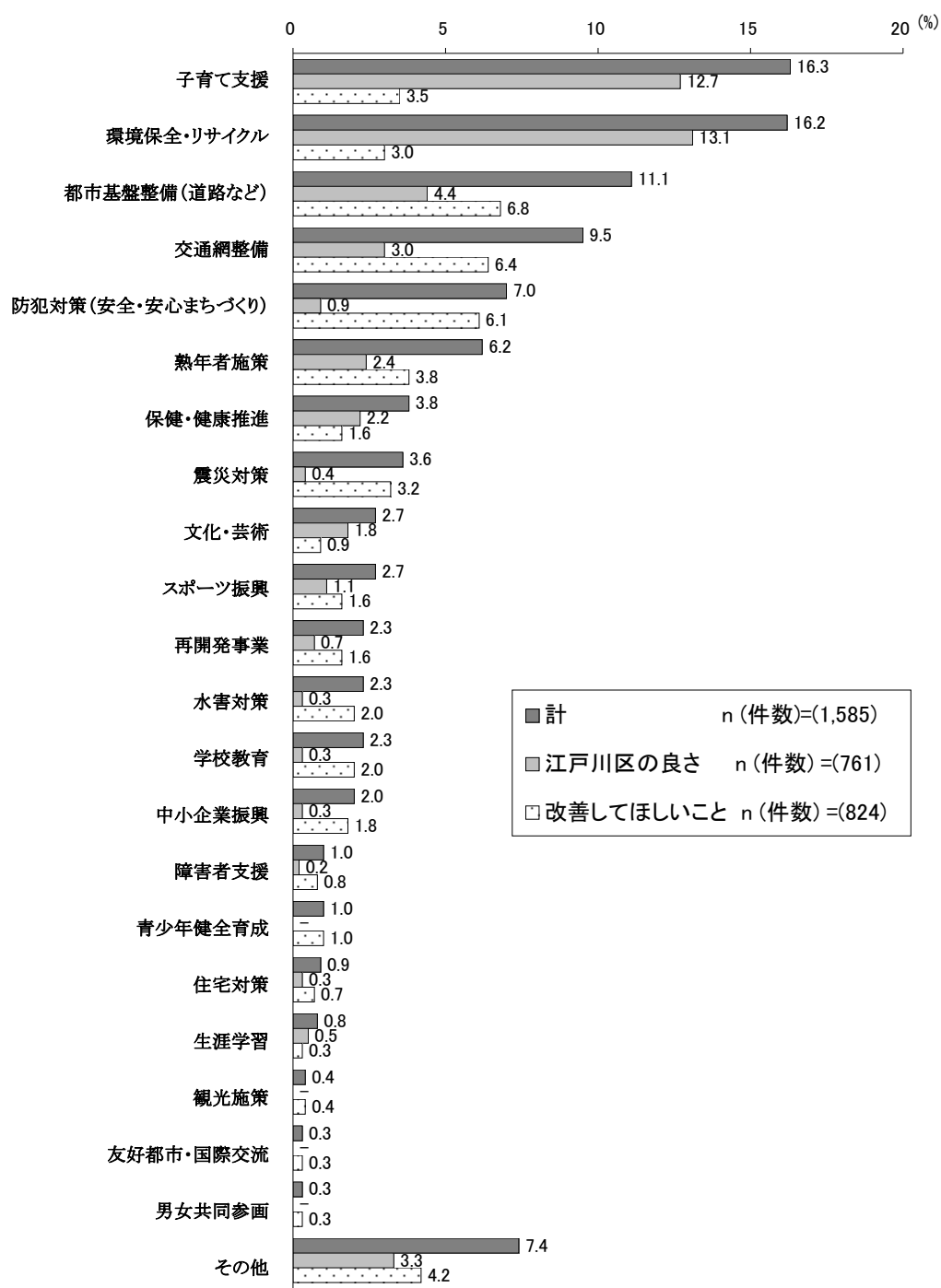
※平成18年「防災対策」（3位）→平成20年「災害対策」（2位）→平成22年から「震災対策」と「水害対策」に分割。

15. 自由記述

(1) 江戸川区ならではの良さ、改善してほしいこと

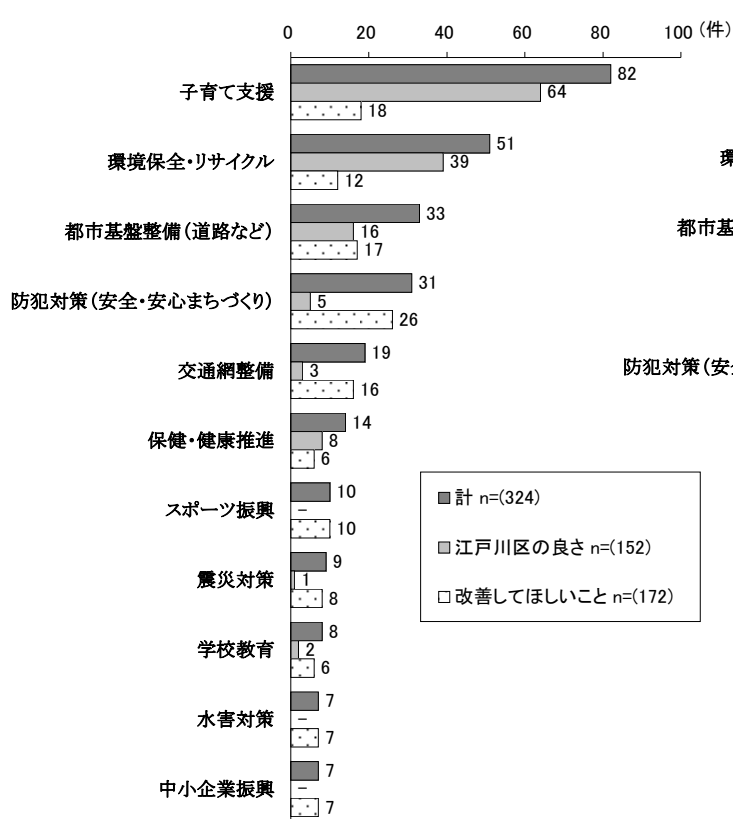
問27 あなたが、江戸川区で暮らしているなかで、江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じるのは、どのようなことですか。子育て支援、熟年者施策、生活環境、産業振興、災害対策、まちづくりなど、どのような分野でもかまいません。できるだけ具体的にお書きください。

<図表15-1> 江戸川区の良さ、改善してほしいこと

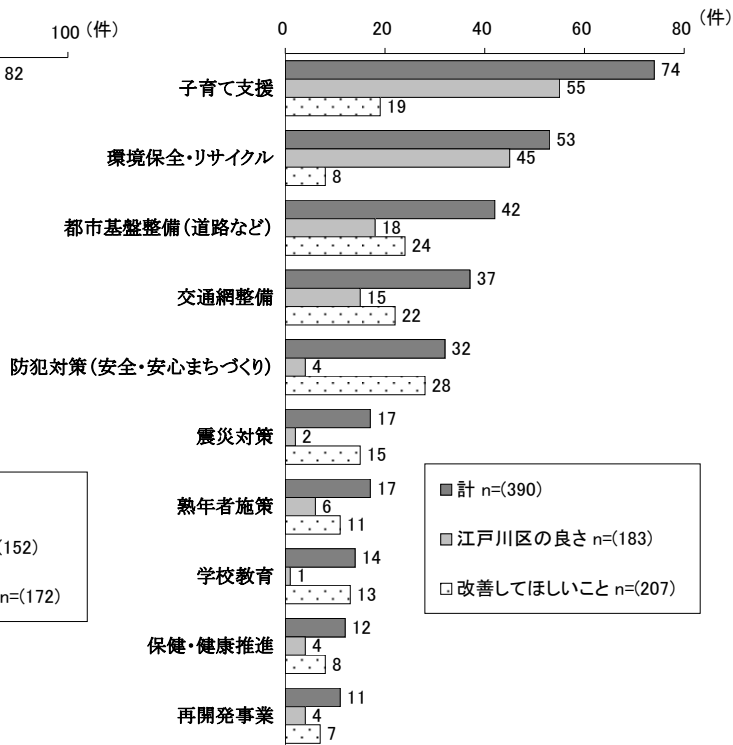


※構成比は総件数に対する比率。

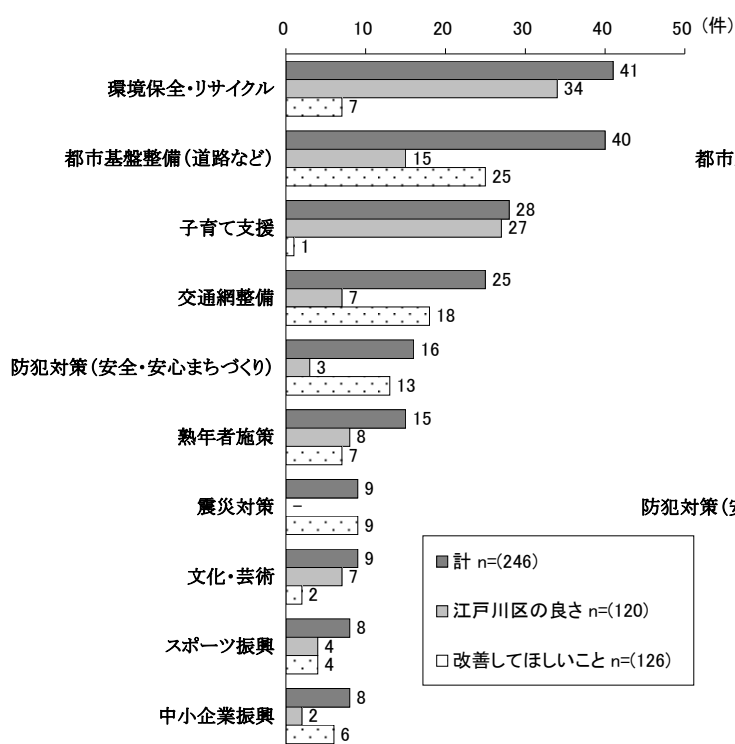
【30歳代】



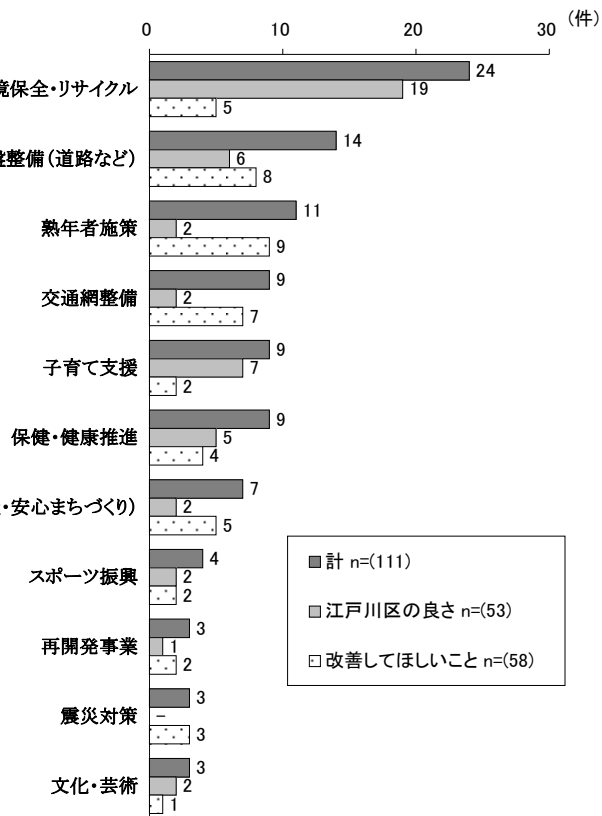
【40歳代】

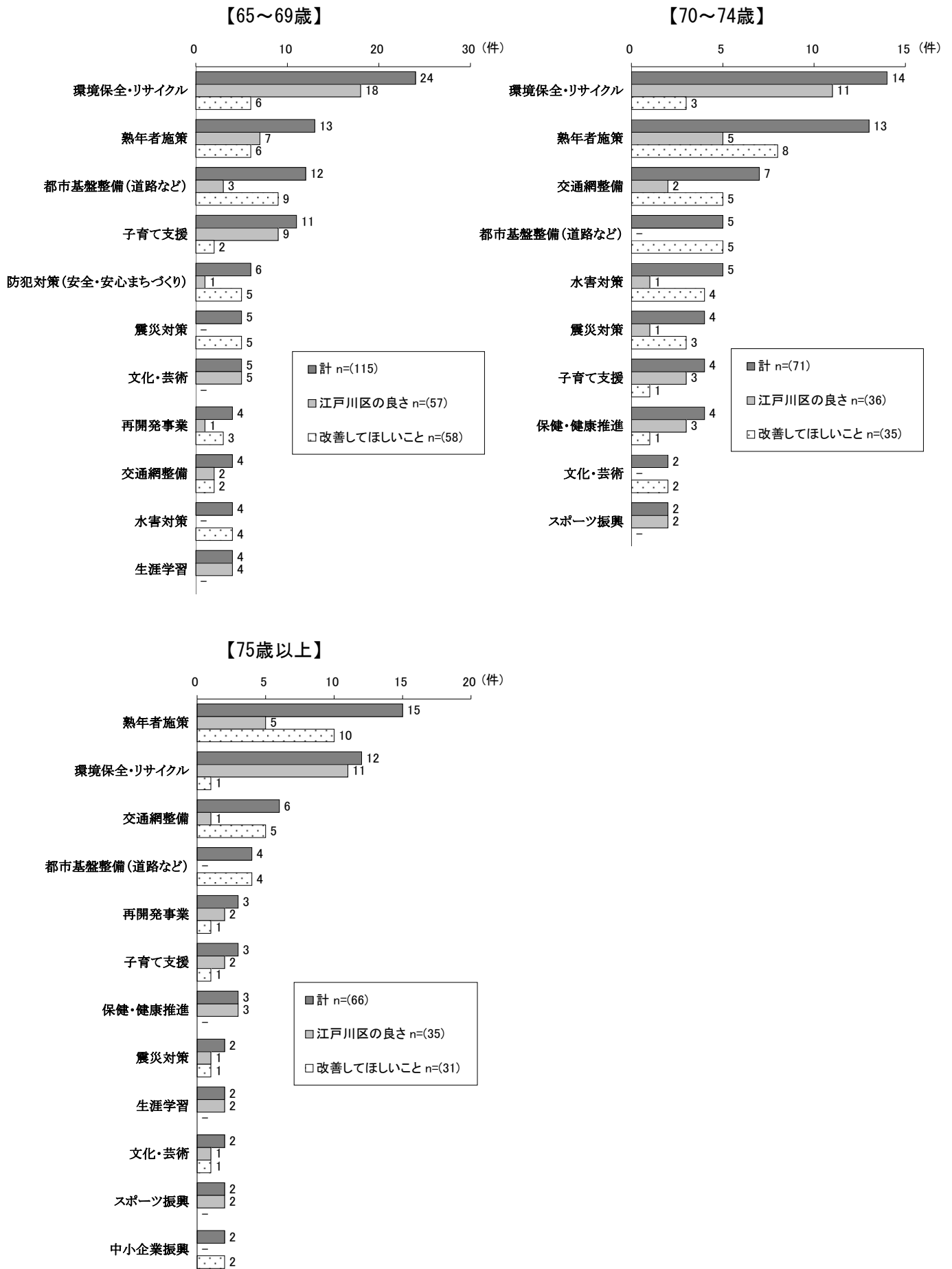


【50歳代】



【60～64歳】





具体的な意見について、各項目ごとに代表的なものを抜粋して掲載する。

子育て支援

【江戸川区の良さ】

- ・保育ママさんの数が多く充実している。(女性30歳代、葛西地区)
- ・子どもが多い。(男性30歳代、鹿骨地区)
- ・幼稚園就園補助金、乳児手当、子ども医療費無料などしっかりしていること。
(女性30歳代、中央地区)
- ・無料で遊べる大きい公園が沢山あるのは良いと思う。(女性30歳代、葛西地区)
- ・小児科の他、歯科へも通いやすい。(男性40歳代、小岩地区)
- ・子どもの為のプレイスポットの充実。(女性20歳代、鹿骨地区)
- ・コミュニティセンター等の施設で幼児が遊べるのが良い。(男性40歳代、東部地区)
- ・保育所の多さ。(男性30歳代、中央地区)

【改善してほしいこと】

- ・子育てしやすいと言われているが保育園の確保が確実ではないので数を増やすとかしてほしい。共働きをしなくてはいけない家庭が増えているので考えた方がいいと思う。(女性20歳代、小岩地区)
- ・幼稚園を増やしてほしい。また、保育料についても、改善いただけると助かります。
(男性30歳代、葛西地区)
- ・子育て支援（保育園）は全然ダメだと思います。フルタイムの人しか認可保育園に入れない現状。パートは賃金が安いのに高い他の保育園に入れ、保育園代の為のパートとなっています。女性の社会復帰をもっと支援していくべきではないでしょうか。(女性30歳代、東部地区)
- ・待機児童の対策。保育園を増やし、働くお母さんが安心して預けられるようにしてほしい。保育士のマンパワーの確保とか。(女性40歳代、中央地区)
- ・子育て支援は良い所ですが、お金がかかるのは中学生からだだと思います。お金のかかる学年に支援してもらおうと親は助かると思います。(男性20歳代、東部地区)
- ・子ども医療手当を満年齢にしてほしい。3月生まれの子と4月生まれの子で補助金に差があるのはおかしいと思っています。(女性40歳代、東部地区)
- ・保育園の0歳児保育と低年齢児の枠の拡大。(女性40歳代、葛西地区)

環境保全・リサイクル

【江戸川区の良さ】

- ・緑が多く四季おりおりの花も多くみられる。(男性60～64歳、葛西地区)
- ・親水公園や緑道など整備されている。(女性60～64歳、中央地区)
- ・衣料品のリサイクル、助かっている。(男性70～74歳、鹿骨地区)
- ・ゴミの分別やゴミ出し日がちゃんと守られている。道端や公園にゴミが落ちてなくとても綺麗。
(男性30歳代、葛西地区)

- ・街路樹が多く整備されている。いつも掃除や剪定作業できれいになっている。
(女性40歳代、葛西地区)
- ・緑豊かな散策コースがあること。(男性65～69歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- ・ゴミの収集日を改善してほしい。(女性30歳代、小岩地区)
- ・もっと、けやきみたいな高く日陰になる物がほしい。(女性70～74歳、葛西地区)
- ・環境事業で、太陽光パネルに補助金を出す等の方が木造家屋の建て替えも進み、防災面でも環境面でも、良い街になるのではないか。(男性20歳代、中央地区)
- ・ごみ集積所の管理・運営を住民任せにしないで、町の環境整備の一環として設置・管理できると良い。回収方法も検討・改善できるなら良い。(男性60～64歳、小岩地区)
- ・カラスを駆除してもらえませんか。ごみ袋を破り、ごみを散乱させる上、バルコニーのみどりを荒らします。ごみを持ってくることすらあります。(男性50歳代、葛西地区)
- ・歩道に犬のふんが毎日のように落ちていて汚いです。防犯カメラをつけるとか、動物を飼う時に税金を取るなどして清掃を定期的にするとか対策を考えてほしい。(男性40歳代、葛西地区)
- ・苗木から植えた木が育ち、落葉そうじしますが、公園の葉も多く今は公園のゴミ、紙くずの方が多く、そうじが大変。(女性65～69歳、小松川地区)

都市基盤整備（道路など）

【江戸川区の良さ】

- ・道路環境（車道、歩道の歩行者、自転車通行帯の区分け等）は充実している。(男性40歳代、葛西地区)
- ・過度に過密化していないところ。(男性30歳代、小松川地区)
- ・道路が整備されている。(女性50歳代、東部地区)
- ・坂道が少ないので、自転車の移動が便利。(女性40歳代、鹿骨地区)
- ・歩道が整備されているので歩きやすい所が良い。(男性40歳代、葛西地区)
- ・新川沿いの歩道はきれいに整えられて、安全で安心。(女性50歳代、葛西地区)
- ・公園が多い。(男性30歳代、中央地区)
- ・道幅が広く、街が狭苦しくない。(男性40歳代、葛西地区)
- ・アップダウン（高低差）が少なく、車イスでも住みやすい環境である。(女性40歳代、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- ・自転車専用車線（西葛西周辺）は使いにくい。駐車車両が多くかえって危険。やるなら駐車禁止にしないと意味がない。(男性30歳代、葛西地区)
- ・駅周辺の道路が狭く、自転車が歩道を走り危ない。歩道の整備をしてほしい。自転車が多いので整備してほしい。(男性50歳代、葛西地区)
- ・駅前の自転車の駐輪場の拡大。(女性50歳代、葛西地区)
- ・歩道の整備とバリアフリー化。(男性70～74歳、中央地区)

- ・3年以上続いている東瑞江2丁目の道路工事を1秒でも早く終わらせてください。はっきり言って迷惑です。(男性30歳代、東部地区)
- ・自転車が多いのでミラーの設置を増やしたり、自転車と歩いている子どもや子ども連れの親子さんとぶつからないような対策。(男性30歳代、葛西地区)
- ・歩道が狭く危険な場所が多くみられます。歩道、自転車道、車道の区分け整備を改善してほしいです。
(男性40歳代、葛西地区)

交通網整備

【江戸川区の良さ】

- ・東西線は、日本橋・大手町が通っているが都心に出るにも交通の便はとても良いと感じる。
(女性20歳代、葛西地区)
- ・バスが多く出ている。(男性20歳代、葛西地区)
- ・バス、電車が色々な所にあって便利。(男性18・19歳、中央地区)
- ・東京駅、羽田、成田などに行きやすい。(女性20歳代、小松川地区)
- ・都心への通勤時間が便利。(男性50歳代、葛西地区)
- ・JR総武線があるので東京に行きやすい。(女性50歳代、小岩地区)
- ・都心までのアクセスがよい。(女性50歳代、東部地区)
- ・東西の交通(鉄道)アクセスは比較的好い。(男性40歳代、中央地区)

【改善してほしいこと】

- ・北小岩地区は、区役所に行くのに、交通が不便。文化センター等へも不便なので、バスの運行も考えて欲しい。(女性60~64歳、小岩地区)
- ・縦の交通網がなく、たいへん不便です。(女性50歳代、葛西地区)
- ・道路の開発が進んでいるようですが交通網も整備してもらいたい。特にバス利用者には今までの停留所は残せる所をお願いします。(女性70~74歳、中央地区)
- ・交通の便が不便。小岩と新小岩の間が長い。駅を作って欲しい。バスももう少し路線を増やして欲しい。(女性20歳代、中央地区)
- ・葛西駅を使用して都内へ通勤しているが東西線のみしかなく、混雑がひどい上、江戸川を境とした暴風雨時等の停止、他の交通への影響が大き過ぎる。(男性40歳代、葛西地区)
- ・交通網 メトロセブンの実施、たてのラインを作る。(男性40歳代、東部地区)
- ・以前から言われている環七の交通。電車が無理ならバスの本数を増やしてほしい。
(女性30歳代、小岩地区)

防犯対策(安全・安心まちづくり)

【江戸川区の良さ】

- ・街灯が多めで夜間も人が安心出来る。(男性40歳代、葛西地区)

- ・町内会等がしっかりしていて、地域が安心、安全です。(男性50歳代、小岩地区)
- ・目立った事件がここ10年ない所。(男性30歳代、葛西地区)
- ・駅からの帰り道、暗くなっても安心して帰れる治安の良さ。(女性50歳代、葛西地区)
- ・あまり事件がなく穏やかな暮らしが出来るところ。(男性60～64歳、東部地区)

【改善してほしいこと】

- ・夜になると、パブなどの黒服の人たちが目立ち、怖い印象を受ける。また、駅近くにお店が集中しているので、駅周り以外は夜になると、人が少なく変質者に出会うことも多々あった。パトロールなどの見回りがもっと増えると良いと思う。(女性20歳代、葛西地区)
- ・自宅に1度、近所に2度空き巣被害がありました。もっと安心して暮らせるように改善してほしいです。(男性30歳代、小松川地区)
- ・駅前とか深夜は犯罪が多いと感じるため、駅周辺の見回りなど防犯ビデオの設置とか含めて検討してほしい。(男性40歳代、葛西地区)
- ・清新町は街灯が少なく、夜怖い。(男性50歳代、葛西地区)
- ・軽犯罪が多いので、何とかならないかなと思います。また、街中のいろいろな所に違法看板や広告も目立ちます。見つけたらすぐ取り除くようにしたり、パトロールの強化をお願いしたいです。
(女性40歳代、葛西地区)
- ・小岩駅周辺の風紀の悪さ、外国人の呼び込みは取り締まってほしい。(女性40歳代、小岩地区)
- ・防犯対策(細い道の街灯、パトロール強化、防犯カメラ等)、振り込め詐欺グループ逮捕者の厳罰化。逮捕されても刑が軽すぎるからいつこうになくならない。(男性40歳代、小松川地区)

熟年者施策

【江戸川区の良さ】

- ・介護タクシー券、オムツ配達、訪問美容券などとても助かっています。(女性50歳代、葛西地区)
- ・シルバーパス等、とても助かっています。(女性75歳以上、鹿骨地区)
- ・くすのきカルチャーや運動(リズム)にも充実した施設があり、とても感謝しております。
(女性70～74歳、葛西地区)
- ・高齢者に対してのいろいろな制度など相談窓口がはっきりしていて利用しやすかったです。
(女性40歳代、葛西地区)
- ・熟年者にとって暮らしやすい。福祉に力を入れている。(無料バスや電車)(女性65～69歳、鹿骨地区)

【改善してほしいこと】

- ・老人ホームを少しでも多く誰でも入れるようにしてほしいです。(女性70～74歳、小岩地区)
- ・これからますます一人で生活できなくなる高齢者、障がい者が増えると思います。区は何か対策を考えていますか。特別養護老人ホームとかグループホームとか、1つ2つ作ってもどうにもならないのではないのでしょうか。どんと大きな施設を考えてほしいと思います。(女性70～74歳、葛西地区)
- ・他の区より熟年者には良くない。子育ての人たちばかりよいことばかり。子どものいない人には特に江戸川区は悪い。(男性60～64歳、葛西地区)

- ・敬老の日に商品券や結婚50年の食事券がなくなってしまうたり、どんどん悪い方向にいついて、このままでは江戸川区に住んでいたいと思いません。(女性18・19歳、中央地区)
- ・都営住宅が多く生活保護を受けている人達に手厚く、高齢化社会といわれている割には特別養護老人ホームなど、動けなくなっても預かってもらえる所が少なく、入居待ちしている間に死んでしまいそう。(女性65～69歳、中央地区)
- ・高齢化に対応した区営の安い入居介護施設の建設が急務と考えます。民間の介護施設は高すぎ、入居出来る人は限られている。(女性65～69歳、小松川地区)
- ・熟年者が多くなった時の(現在でも可)相互扶助が十分に機能するようなシステムづくりをして欲しい。他の行政の模範となるようなモデルを構築していただきたい。(男性75歳以上、中央地区)

保健・健康推進

【江戸川区の良さ】

- ・臨海病院が出来たことです。(女性75歳以上、葛西地区)
- ・無料の健康診断や大腸ガン、子宮ガンなどの検査が受けられるところ。(女性30歳代、東部地区)
- ・病院が多い、特に小児科が多い。(女性70～74歳、東部地区)
- ・福利厚生が充実している。(男性60～64歳、葛西地区)
- ・風疹の注射を無料で受けられたこと。(女性30歳代、小岩地区)
- ・区民健診が充実している。(女性30歳代、葛西地区)
- ・無料や補助ありの健診、検査がある。(風しん抗体検査はありがたかったです。)
(女性30歳代、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- ・船掘でのガン検診は毎年利用させて頂いていますが40才以上も一般健診に参加させてほしいです。主人の健保では場所が遠く受診していません。(女性40歳代、小岩地区)
- ・江戸川区は他区にくらべ病院が少ないように思う。(男性65～69歳、中央地区)
- ・検診を平日以外にも行けるようにしてほしい。(フルタイムで働いている人は行けないから。)
(女性40歳代、東部地区)
- ・総合病院がない様感じる。結局、都市の病院に行っている。(男性65～69歳、東部地区)
- ・高校生まで医療費を無償にしてもらいたい。(男性18・19歳、中央地区)
- ・区民全員が区民健診を受けられる様にしてほしい。(女性60～64歳、葛西地区)
- ・医療費(子ども)はただじゃなくていいと思う。病院が保育園やママ達のカフェのようです。
(女性20歳代、葛西地区)

震災対策

【江戸川区の良さ】

- ・かなりの住宅が耐震、耐火となり周囲に良い影響を与えていると思います。
(女性75歳以上、東部地区)

- ・震災後、道路等の復旧工事も早かったし、細かい所も時間はかかったが、ゆき届いていると思いました。(女性20歳代、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- ・住民に防災意識をしっかりとつけるように対策をしてほしい。(女性30歳代、葛西地区)
- ・災害の時避難する場所が遠く、避難途中に災難にあいそうで避難する気持ちになれない。
(女性65～69歳、中央地区)
- ・地震で津波が来た時のことを思うと少し不安なので震災対策に力を入れて欲しいです。
(女性30歳代、東部地区)
- ・災害に強いまちづくりをしてほしい。(女性40歳代、葛西地区)
- ・防災無線が家の中に入ると聞こえない。戸外にいても反響や車の音で聞き取れないことがある。
(男性30歳代、小松川地区)
- ・防災訓練の実施など、防災用品、備蓄品などの安価での提供をして欲しい。
(女性50歳代、鹿骨地区)
- ・震災対策（水害含む）はまだまだ不安なことばかりです。自分自身、避難所の確認や備蓄品なども用意していないので、意識を高めなければいけないと思います。「江戸川区は地震に強い！」そういう区になってくれれば非常に心強いです。(男性40歳代、鹿骨地区)

文化・芸術

【江戸川区の良さ】

- ・区民まつりと花火大会。(男性40歳代、鹿骨地区)
- ・レジャースポットの充実さ。すてきな公園が沢山有る。(女性18・19歳、鹿骨地区)
- ・無料動物園がありとても良い。(男性50歳代、葛西地区)
- ・新・旧の地域特性と風土が適度に混在している。(男性65～69歳、葛西地区)
- ・イベント（お祭りなど）が多く地域の交流が盛んであること。(女性40歳代、葛西地区)
- ・催事も多く地域が活性している。(男性40歳代、葛西地区)
- ・区主催の催しが充実している。(男性20歳代、小岩地区)

【改善してほしいこと】

- ・文化、芸術、振興のためのホール（小ホールでも）をもっとたくさん身近に欲しい。スポーツ施設は十分と感じるが、音楽、演劇、民族歌舞などもっと身近に施設が欲しい。
(女性70～74歳、葛西地区)
- ・娯楽施設が少ない。区としての派手さが無い所が良い所でもあるが、活気という点でおくれをとっている。(男性40歳代、中央地区)
- ・文化的にレベルが低い。学習意欲が低い。文化、芸術に関心が少ないように思える。小さい頃から積極的に関心を持てるように大人が働きかけるべきだと思う。(女性40歳代、小岩地区)
- ・図書館が一之江・端江にない。東部、鹿骨の間に1つもなくて子どもが通える環境にない。予約の貸出専用カウンターでもいいので作って欲しいです。(女性30歳代、東部地区)

- ・区のイベントや集まりをもっと皆に知ってもらい、そして気軽に参加できるようにしてほしいです。
(男性18・19歳、葛西地区)

スポーツ振興

【江戸川区の良さ】

- ・江戸川河川敷の無料利用などの環境を大変有り難く思っています。(女性40歳代、小岩地区)
- ・区内にプールが2ヶ所あること(アーバンとスポーツランド)。(女性40歳代、小岩地区)
- ・リズム運動(体力作り)が有り良いと思います。(女性70～74歳、小松川地区)
- ・スポーツ会場が多く有り、有意義に使用できる。(男性50歳代、葛西地区)
- ・コミュニティ会館を60才以上は無料で利用し、スポーツができ大変感謝しております。
(男性75歳以上、東部地区)
- ・一年中泳げるプール施設もあり毎週4回は通っています。(小松川さくらホール)
(女性75歳以上、中央地区)
- ・さくらホール等、屋内スポーツ施設が各地に設けられて良い。熟年者のスポーツ参加がしやすくなっていることは珍しい。(男性70～74歳、小松川地区)

【改善してほしいこと】

- ・子ども達が思いっきり遊べる公園が少ない。危険とされる道具はどんどん撤去されボール禁止の場所ばかり。小学生の運動能力が低下していく一方ではないでしょうか？(女性30歳代、中央地区)
- ・子どもと共に使えるスポーツ施設がもっともっとほしいです。時にプールも。なくなってしまう残念です。(女性30歳代、葛西地区)
- ・ジム等のスポーツ施設が不十分と思われ改善して欲しい。(男性30歳代、小松川地区)
- ・もっと、マイナーなスポーツなど江戸川区で活動しているのをみんなに広げてほしい。ネオホッケーなど。もっとたくさんレクリエーションなどの交流を増やしてほしい。(女性30歳代、東部地区)
- ・公園などは多いが区立のスポーツセンターが西葛西にしかないのはスポーツ振興として競技場が多い割には不手際であると思う。江東区にはエリア毎にあり、施設も充実していたので通いやすかった。
(女性50歳代、葛西地区)
- ・江戸川区は体育館が人口に対し少ないと思います。体操、バレー、卓球、バトミントン、子ども達のミニ運動会等、多くの区民が利用場所確保に困っています。財源の確保の問題もあるでしょうが利用者の多い施設、希望の多い施設に重点を置いて頂きたいと思います。大多数の意見を重視して頂きたいです。(女性50歳代、鹿骨地区)

再開発事業

【江戸川区の良さ】

- ・新川沿いが整備され（桜や緑化など）よい散歩道となりとってもうれしいです。
(女性50歳代、葛西地区)
- ・こんな所を少し改善してほしいなと思ひ区の方に言ってみると実行してもらえ、小さな声も聞いてもらえるのだなとうれしく思っています。(女性60～64歳、中央地区)
- ・最近、駅周辺が整理され、放置自転車などが少なくなった。(女性40歳代、鹿骨地区)
- ・区画整理後、まちがとてもきれいになり、住みやすくなり、これからもずっと住み続けたいです。
(女性40歳代、東部地区)
- ・駅のバリアフリー化が進んでいる事。(女性40歳代、東部地区)
- ・各公園のトイレが清潔になった。自転車置場が整備された。区民館等の公共施設が利用しやすくなった。(女性65～69歳、小松川地区)
- ・高層マンションが駅前に建ち、ファミリー層が住みやすくなった。駅周辺が活気付いてきた。
(女性30歳代、小岩地区)

【改善してほしいこと】

- ・街なみはごちゃごちゃしていて（新小岩から松本のバス通り）また、歩道の無い道路も多く、再開発をもっと多く行ってもらいたいです。(男性40歳代、鹿骨地区)
- ・中央のあたりばかり開発され、施設等も集中し見捨てられているような気がします。
(女性50歳代、小岩地区)
- ・区画整理は大事ですが道路など掘ったり、埋めたり何度となく行われている。最低限の回数でやってほしい。(女性50歳代、東部地区)
- ・区画整理後、近所で交通事故が多発して臨時でも良いので、標識など整備して頂きたい。
(女性40歳代、東部地区)
- ・オリンピックによって、葛西臨海公園の野鳥園が小さくされるという話があるが、それはするべきではないと思う。今までの区の方針と異なった政策のように感じる。(男性20歳代、葛西地区)
- ・人があまりいない、利用していない公園があります。ほかの利用方法がないのかなと思う。
(男性60～64歳、小岩地区)
- ・ベッドタウンなので多少は仕方ありませんが、できる所は再開発を進めるべきだと思います。そうすることで、もう少し江戸川区全体が盛り上がっていくのではないかと思います。
(女性20歳代、葛西地区)

水害対策

【江戸川区の良さ】

- ・騒音等が少ないので住みやすい。(男性20歳代、葛西地区)
- ・畑が多く残っているのも防災面からも良いと思います。(男性40歳代、中央地区)
- ・江戸川区の下水道整備のおかげだと思います。(女性50歳代、小岩地区)

【改善してほしいこと】

- ・私の住んでいる地域は中川の土手のすぐそばですので、水害による災害が一番の心配です。
(女性50歳代、中央地区)
- ・高潮対策等の沖波対策。(男性40歳代、中央地区)
- ・水害の時に避難する場所がない。マンションはオートロックで居住者以外は入れない。最近の雨は降り方がすごい。(女性70～74歳、葛西地区)
- ・水害時に利用出来る防災ビルを増やして、皆が分かるように知らせて欲しい。避難施設を増やし、普段も活用すると良いと思います。(女性65～69歳、小岩地区)
- ・川と海に囲まれているので地震が起きた際の水害対策にもっと力を入れてほしいです。
(女性30歳代、中央地区)

学校教育**【江戸川区の良さ】**

- ・幼・小・中・高など学業に必要な所は揃っているので良いと思う。(男性18・19歳、中央地区)
- ・小学校入学の時に頂く防犯ベルありがとうございます。食育のマスコットを使っでの取り組みも良いと思う。(女性30歳代、葛西地区)
- ・学校のすくすくスクールなどととても良いと思います。熟年のリズム運動なども年を取るとあまり動かなくなるので良いと思います。(女性70～74歳、鹿骨地区)

【改善してほしいこと】

- ・学習面については、他の区と大きく差があるように思います。もう少し学力が上がるように、学校教育のレベルを上げて欲しいです。(特に学力アップ) (女性30歳代、東部地区)
- ・小・中学校の土曜日授業を戻してほしい。(男性40歳代、鹿骨地区)
- ・学校での教育(小・中)での礼儀、作法、知り合いでも小学校から挨拶ができない子どもが多い。教育者、先生方の教育も更に高度にしてもらいたい。(女性65～69歳、小松川地区)
- ・大学を誘致して、文化、教育レベルアップを地道にはかるべき。専門学校ばかり目について、長いスパンも考慮してほしいと思う。(女性60～64歳、葛西地区)
- ・江戸川区には限りませんが、子ども達の道德教育。親も含め、子ども達のマナー、ルール。
(男性50歳代、葛西地区)
- ・学校教育も選択制が、あまり良い方向にはないと思います。地域差がでていのではないのでしょうか。教育レベルを上げてほしいです。(女性40歳代、葛西地区)
- ・義務教育での落ちこぼれがなくなるとよい。(女性65～69歳、鹿骨地区)

中小企業振興

【江戸川区の良さ】

- ・中小企業融資制度が良い。(男性65～69歳、葛西地区)
- ・町工場などが多く技術者(職人)が多い。(女性40歳代、中央地区)

【改善してほしいこと】

- ・魅力的な商店街がない。(男性30歳代、葛西地区)
- ・中小企業への指導、大雪の時など除雪、自分の工場の前の道路もほったらかし。歩行者は道路の真ん中を歩かねばならず危険でした。(女性50歳代、中央地区)
- ・昔ながらの商店街の専門店が少なくなった。大きなショッピングモールや箱ものではなく、川越や谷中のようななつかしい、昭和の香りのする商店街に八百屋、魚屋、肉屋があり、平成育ちの若者も昭和1ケタの高齢者も一緒に歩ける商店街で町おこしをしてほしい。ここは下町小岩なのだから。
(女性50歳代、小岩地区)
- ・産業振興。とくに小岩地区はシャッター商店街が多く寂しい思いです。自治会や商店街の方も頑張っていると思いますが、区の方でも江戸川区の良さを全国に向けてアピールできれば良いと思います。江戸川区の産業をTVコマーシャルで放映するとかどうでしょうか？(女性50歳代、小岩地区)
- ・商店街の活性化の為、有名店を誘致したり、コンセプトを持たせた店舗配置をするなど、魅力ある街づくりを推進して、住みたい街と言われる様にして欲しい。(男性40歳代、小岩地区)
- ・大企業の本社誘致。中小企業振興より高付加価値のある企業本社を誘致し、企業城下町になるように自治体が動いて欲しい。江戸川区地域の経済特区を目指して欲しい。(男性40歳代、葛西地区)

障害者支援

【江戸川区の良さ】

- ・障害者支援には満足しています。(男性30歳代、中央地区)

【改善してほしいこと】

- ・障害者対策について、手当がいくつ減らされてしまいました。本当にそこしか削る所がなかったのか、何の説明もなくの決定で納得できません。障害児の母親は働く事も難しいです。重度の障害をもった子どもを受け入れてくれる保育園などの施設をもうけてほしいと思います。
(女性30歳代、葛西地区)
- ・ヘルパーさんが出来る作業の範囲が狭い。障害者当人のケア以外にも家族の負担が軽くなる様な支援をして欲しい。現況のままではヘルパーさんを使いたくても使えない。(女性40歳代、小岩地区)
- ・障がい者支援をもっと真剣に考えてほしい。本当に苦しんでいる人がたくさんいることを理解してほしいです。(男性30歳代、東部地区)

青少年健全育成

【改善してほしいこと】

- ・公園の清掃ボランティアの方がきれいにしてくれているのですが、それが追いつかないくらいゴミの放置（食べちらかしたようなもの）の度合いがひどいです。おそらく夜の中に、中・高生等がゴミを置きっぱなしにしていると思われるので、学校で呼びかけたり、区でパトロールしたりしてもらえたらと思います。（女性30歳代、東部地区）
- ・小・中学校内の治安が悪いと聞いています。江戸川区外、私学への教育と考えたりする方が多い様です。（女性50歳代、葛西地区）
- ・小・中・高生が夜間、公園などに集まったりしていないか…。防犯パトロール、地域で子ども達を育てていける活動。（女性40歳代、中央地区）
- ・タバコを吸う中・高生をよく見かけます。（小学生までも見た事あり）今は未成年では購入が難しいと思うのですが、どのようなルートで手に入れているのか。（男性30歳代、葛西地区）
- ・昔と比べて比較的、治安は良くなりつつあると思います。しかしまだ、目立つことがあります。この時代、大人と呼べるような大人も少なく、子どももその親を見て子どもは悪くないのにといつも思います。なので、将来的に彼らが健全に育つよう、青少年健全育成に今一度、力を入れていただきたいと思います。（男性20歳代、鹿骨地区）

住宅対策

【改善してほしいこと】

- ・もっと安く入れる公共住宅を増やしてほしい。（女性40歳代、葛西地区）
- ・公的住宅を若い世代から貸して欲しい。（女性40歳代、中央地区）
- ・マンションの建設は中止すべきです。今後、空き家増加により治安が悪化するのとは避けることが出来ないからです。真剣に検討願います。（男性70～74歳、葛西地区）

生涯学習

【江戸川区の良さ】

- ・「くすのきカルチャー教室」熟年者が生き生きと活動出来て張り合いがあります。
（女性65～69歳、小岩地区）
- ・区民向けの講義や収穫体験、お祭り等もたくさんあるので楽しみがいろいろあって有難く思います。
（女性40歳代、葛西地区）
- ・公園が多く、スポーツ施設が安く利用できる。（女性65～69歳、鹿骨地区）

【改善してほしいこと】

- ・子育て支援は大事ですが、私達のようにまじめに頑張ってきた熟年になった人が安心して生きていけるような施策にも力を入れて欲しいです。生涯学習や地域との交流などを通して、最後まで生き生きと生きて行けるようでありたいです。（女性60～64歳、小松川地区）

- ・図書館などの増設をしてほしい。若者しか開放していない所などが多い。勉強が出来る場所がほしいです。(男性30歳代、東部地区)

観光施策

【改善してほしいこと】

- ・江戸川区のイメージがない。認知度が低い。オリンピックに向けても江戸川区をアピールして欲しい。(女性30歳代、葛西地区)
- ・観光客が来るような“何か”があれば、地域が活気づくと思います。カラスを駆除してもらえませんか。(男性50歳代、葛西地区)
- ・他府県及び都内の中で、江戸川区は実におもしろいと思われるような街づくり、シンボルづくり、観光施設を設けて外からの財源を確保できるようにしてください。(男性60～64歳、葛西地区)

友好都市・国際交流

【改善してほしいこと】

- ・外国人に対して色々な施設の利用の方法等を翻訳した冊子等の配布をしていただけたら嬉しいです。(男性40歳代、中央地区)
- ・外国人が多い(学校、お店、近所)ので外国人への対応に困る。直接、本人(外国人)への働きかけも大事(すでに、色々あるかもしれないが)。周囲への協力を本人以外から発信できることがあったら良いと思う。(女性30歳代、小松川地区)
- ・学校教育の中で、日本の伝統文化(歌舞伎、能など)に触れ合う機会が増えるといいと思います。オリンピックで多くの外国の方が来られた時に知っているといいかと思います。(女性40歳代、中央地区)

男女共同参画

【改善してほしいこと】

- ・もう少し母親が働ける環境がほしいです。(男性30歳代、中央地区)
- ・安倍政権にならって、共働き世帯の保障を充実してほしい。(男性30歳代、小岩地区)
- ・保育園の件、仕事をしたくても小さい子どもがいる場合保育園に入れることが出来ない。なぜなら仕事をしていなければ入園できない。でも子どもがいるために仕事にも行かれない。何とか改善してほしいと思います。生活も大変なので、このような方はたくさんいると思います。(女性65～69歳、中央地区)

その他**【江戸川区ならではの良さ】**

- ・地域の人たちとのコミュニケーションの良さ。(男性40歳代、葛西地区)
- ・普段の買い物であれば十分事足りるので生活しやすいと思います。(女性40歳代、鹿骨地区)
- ・物価が安いので生活しやすい。(女性65～69歳、小岩地区)
- ・街がきれい。公園が多い。子どもから老人まで幅広い層が暮らしている。(女性40歳代、東部地区)
- ・庶民的な雰囲気があるところ。(男性30歳代、小岩地区)
- ・区の職員の方も地域の事によく取りくんでいる。(男性50歳代、小岩地区)
- ・住んでいて不満を感じる事がない！(女性60～64歳、葛西地区)
- ・みんな区歌を知っている(聞いた事がある)こと。(女性18・19歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- ・区役所・税務署など月に1回でもいいので土曜日もやってほしい。(女性60～64歳、小岩地区)
- ・動画サイトなどとの連携やチャンネル開設による情報発信があれば知りやすい。
(男性30歳代、東部地区)
- ・政治をもっと身近に感じられるような取組みを行ってほしい。区という単位でも多くの方は、江戸川区にいるということをそんなに実感していない。(男性20歳代、東部地区)
- ・区民税が高すぎるので改善してください。(女性50歳代、鹿骨地区)
- ・選挙への投票率が低い。若い人は無関心の考えの方が多い。(男性65～69歳、葛西地区)
- ・行政サービス(証明書発行、健康診断など)を受けられる施設を増やしてほしい。車がなく徒歩で移動する者にとっては遠く感じられるので。(女性30歳代、葛西地区)
- ・全年齢層に対する職業支援の発展。区役所窓口に、各種相談のための専門家(スペシャリスト)の設置。(女性50歳代、鹿骨地区)

IV 調査票

第31回 江戸川区民世論調査

調査へのご協力のお願い

区民の皆様には、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、江戸川区では、「第31回 江戸川区民世論調査」を実施することといたしました。この調査は、区民の皆様が日頃から感じていることやご要望をお聞きし、今後の区政運営に役立てるために隔年で実施しているものです。

調査の実施にあたり、区内にお住まいの満18歳以上の方2,000人を無作為に選ばせていただきました。

調査の実施は江戸川区が委託している株式会社サーベイリサーチセンターが行います。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成26年5月

江戸川区長 多田正見

－ ご記入にあたってのお願い －

《ご記入にあたって》

- 封筒のあて名のご本人様がお答えください。
- 回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
- 例えば、「(○は3つまで)」など回答の数が指定されている質問では、指定の数以内で選んでください。
- 質問によっては、一部の方にのみ回答していただく場合があります。矢印に従ってお答えください。
- 「その他」を選んだ場合は、() 内に具体的に記入してください。
- 調査結果はすべて統計的に処理しますので、個人の回答内容が公表されることは一切ございません。

《調査票の回収》

調査票の回収は、5月23日(金)から6月8日(日)の間に身分証を携帯した調査員がお宅にお伺いしますので、この調査票をお渡しくください。

【調査主体】

江戸川区役所 経営企画部広報課区政案内係
〒132-8501 東京都江戸川区中央1-4-1
電話:5662-6168(直通)
URL:<http://www.city.edogawa.tokyo.jp/>

【調査実施・お問合せ先】

調査実施 株式会社サーベイリサーチセンター
調査担当 全国ネットワーク部
〒116-8581 東京都荒川区西日暮里2-40-10
電話:0120-227-244(フリーコール)(受付時間 平日 10:00~17:00)
URL:<http://www.surece.co.jp/>

【居住年数・永住意向について】

問1 あなたは、江戸川区に住んで何年になりますか。(〇は1つだけ) <n=1,512>

1	1年未満	3.2%	3	6年～10年	10.7	5	21年～30年	18.4
2	1年～5年	10.4	4	11年～20年	19.0	6	31年以上	38.0
							(無回答)	0.2

問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(〇は1つだけ) <n=1,512>

1	住み続けたい	51.6%	4	区外へ移るつもり	1.9
2	できれば住み続けたい	22.8	5	わからない	20.4
3	できれば区外へ移りたい	2.7		(無回答)	0.6

【江戸川区の現況について】

問3 ア～ツの各項目の現況について、どの程度満足しているかお答えください。

(それぞれ〇は1つずつ)

<n=1,512> (%)

項目	評価							
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない	無回答	
ア. 買い物の便	30.1	24.4	31.7	9.6	3.4	0.3	0.5	
イ. 交通の便	25.9	23.5	29.0	14.1	6.3	0.4	0.8	
ウ. 道路・歩道の整備	17.8	24.1	40.7	11.6	4.4	0.9	0.5	
エ. 公園・水辺の整備	30.2	31.2	31.0	3.7	1.3	2.2	0.5	
オ. 緑化の推進	26.3	31.7	34.3	3.4	1.5	2.2	0.7	
カ. 街の景観	13.3	19.6	50.1	10.5	4.0	1.7	0.7	
キ. 街のバリアフリー	6.0	12.6	46.5	20.4	5.6	8.2	0.8	
ク. ごみの収集	21.1	23.5	45.2	6.7	1.9	1.3	0.3	
ケ. リサイクルの推進	12.5	16.5	54.7	5.3	1.6	8.8	0.6	
コ. 地域の治安・安全性	8.3	16.5	43.6	19.2	8.7	3.2	0.5	
サ. 災害への備え	4.0	9.8	49.7	15.3	6.3	14.4	0.5	
シ. 近所づきあい	6.9	14.1	61.8	6.8	2.3	7.5	0.6	
ス. 文化施設の充実度	9.1	20.1	48.5	9.3	2.4	9.8	0.9	
セ. スポーツ施設の充実度	9.1	19.8	44.8	11.0	3.8	10.7	0.8	
ソ. 熟年者の生活環境	5.6	13.2	46.3	8.7	3.7	21.6	0.8	
タ. 子育て環境	12.6	24.8	35.7	5.6	2.2	17.5	1.5	
チ. 健康相談・健康診査	12.1	20.7	48.1	5.0	1.4	12.1	0.6	
ツ. 病院・診療所の充実度	11.7	21.9	45.0	11.7	5.5	3.9	0.3	

問4 あなたは、江戸川区の現況を総合的にみた場合、どの程度満足していますか。(〇は1つだけ)

<n=1,512>

1	満足	13.4%	4	やや不満	10.3
2	やや満足	37.9	5	不満	1.1
3	ふつう	36.0		(無回答)	1.3

【健康診断について】

江戸川区では、区民の皆さんの健康を守るため、無料で受診できる各種健診を実施しています。

問5 あなたは、過去1年間に生活習慣病の健診（健康診断、健康診査、人間ドックなど）を受けましたか。ただし、がん検診、妊産婦健診、歯の健康診査、病院や診療所で行う診療としての検査は除きます。（〇は1つだけ） <n=1,512>

1 受けた	-----▶ 問5-1△	56.9%	2 受けていない	-----▶ 問5-2△	42.7
			(無回答)		0.4

問5-1 <問5で「1 受けた」とお答えの方に>

どのような機会に健診等を受けましたか。（あてはまる番号すべてに〇） <n=860>

1 勤務している会社や職場の健診	50.5%
2 国民健康保険以外の健康保険の扶養家族を対象とした健診	7.1
3 国保健診（国民健康保険加入者を対象とした区の健診）	26.5
4 長寿健診（後期高齢者医療制度加入者を対象とした区の健診）	6.7
5 40歳未満の区民健診（40歳未満の区民を対象とした区の健診）	4.1
6 学校の健診	2.7
7 人間ドックなどの自費による健診	6.4
8 その他（ ）	2.8
(無回答)	0.2

問5-2 <問5で「2 受けていない」とお答えの方に>

受診しなかった理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに〇） <n=646>

1 健康状態に自信があるから	11.5%
2 何かあればいつでも医療機関で受診できるから	24.8
3 健診のことを知らなかったから	17.8
4 費用がかかるから	9.9
5 手続きが面倒だから	14.4
6 結果が不安だから	5.0
7 忙しいから	33.1
8 健診の場所が遠いから	8.8
9 病気があり通院中だから	13.6
10 その他（ ）	14.6
(無回答)	0.6

【みどりについて】

江戸川区は、長年にわたり、みどり豊かなまちづくりを進めてきました。また、昨年4月には「江戸川区みどりの基本計画」を策定し、「みどりを守り、育て、創る」施策を区民の皆さんと共にすすめています。

問6 豊かなまちのみどりを、より身近で親しみやすくしていくためには、どのようなことに取り組んでいったらよいと思いますか。(〇は3つまで) <n=1,512>

1	公園や街路樹の樹木に樹名板を設置するなど、みどりの知識を身近に学べるようにする	41.1%
2	親水公園や水辺などに生息している、鳥や昆虫、魚などの名前を表示するなど、自然について学べる環境を整える	35.8
3	ウォークラリーや自然観察会などの参加型イベントを実施し、自然と触れ合いながら学べる機会を作る	20.0
4	緑道などに詩や俳句等を掲示し、散策しながら文学や芸術、歴史等に触れる機会をつくる	11.0
5	区内のみどりや生き物を、学校教育の教材として活用する	25.5
6	花苗づくりや農園体験など、土と触れ合える機会を増やす	30.6
7	実のなる木の果実を、収穫祭や料理教室などで活用する	14.4
8	みどりに関連したボランティア活動への参加機会を増やす	13.6
9	その他 ()	3.8
10	特になし (無回答)	14.0 0.6

問7 みどりのまちづくりを進めていくために、あなたが協力したいと思うことは何ですか。

(あてはまる番号すべてに〇)

<n=1,512>

1	家の窓辺や軒下に花や鉢植えを飾る	43.6%
2	道路沿いを生垣や花壇などで緑化する	26.2
3	ご近所の人と協力して地域ぐるみの緑化を進める	14.0
4	公園や道路、河川敷でゴミ拾いや落ち葉清掃などを行う	26.3
5	公園などの花壇の植え付けや水やり、手入れなどを行う	11.8
6	生き物調査や水質調査などに参加する	8.2
7	自然の大切さや魅力を人に伝える活動に参加する	8.4
8	その他 ()	2.1
9	特になし (無回答)	22.6 1.5

【駐輪場・レンタサイクルについて】

江戸川区では、「放置自転車ゼロ」のまちの実現を目指し、総合自転車対策を進めるとともに、快適な走行環境の実現を図っています。

問8 あなたは駅周辺の駐輪場（江戸川区が設置している使用料制駐輪場）を利用していますか。

（〇は1つだけ）

<n=1,512>

1	現在利用している	-----▶	問8-1へ	24.9%
2	以前は利用していたが、現在は利用していない	-----▶	問8-2へ	19.4
3	利用したことがない	-----▶	問8-2へ	54.9
	（無回答）			0.8

問8-1 <問8で「1 現在利用している」とお答えの方に>

今後どのような工夫をすれば更に使いやすい駐輪場になると思いますか。（〇は2つまで）

<n=377>

1	1日利用だけではなく、時間貸し利用の料金設定を設ける	31.8%
2	ラックに入らない自転車の料金を高くするなど、種類、大きさで料金設定を変える	4.5
3	半年定期・1年定期など定期利用の種類を増やす（現在は1か月・3か月）	24.4
4	駅から遠い駐輪場は料金を安くするなど、駅からの距離で料金を設定する	38.7
5	その他（ ）	17.0
6	わからない	14.9
	（無回答）	0.5

問8-2 <問8で「2 以前は利用していたが、現在は利用していない」「3 利用したことがない」とお答えの方に>

現在利用していない理由はなんですか。または、利用したことがない理由はなんですか。

（〇は2つまで）

<n=1,123>

1	自宅が駅に近いから	36.6%
2	希望する駐輪場を利用できないから	4.4
3	料金が安いから	6.9
4	スペースが狭いなど駐輪場が利用しにくいから	5.3
5	駅を利用しないから	16.7
6	自転車に乗らないから	32.1
7	その他（ ）	13.9
8	わからない	3.0
	（無回答）	1.5

江戸川区では、誰にでも気軽に便利に自転車をご利用いただけるよう、区内11駅でレンタサイクル事業を実施しています。

問9 あなたはレンタサイクルがあることをご存知でしたか。(○は1つだけ) <n=1,512>

1 知っていたし、利用したことがある	3.0%
2 知っているが、利用したことはない	40.4
3 知らなかった	56.1
(無回答)	0.5

問10 利用したことがある方にもない方にも伺います。今後、どのような工夫をすれば更に利用しやすいレンタサイクルになると思いますか。(○は2つまで) <n=1,512>

1 半日単位、2時間単位など、利用時間によって料金を変更する(現在は1日210円)	14.6%
2 子ども乗せタイプやサイクリングタイプなど、自転車の種類・大きさが選べる	20.4
3 半年定期・1年定期など定期利用の種類を増やす(現在は1か月・3か月)	3.0
4 貸し出し場所や返却の場所を増やす	50.6
5 利用したいとは思わない	19.0
6 その他()	5.7
7 わからない	15.1
(無回答)	4.0

【環境に配慮した行動について】

平成20年2月に「エコタウンえどがわ推進計画」が策定されました。この計画では、江戸川区とえどがわエコセンターが協力して省エネルギーの取り組みである「もったいない運動」を推進しています。この「もったいない運動」では、地球温暖化防止のため、省エネ・省資源を意識した行動やごみ減量・リサイクルなどを呼びかけています。

問11 あなたは次のア～ソの行動をしていますか。(それぞれ〇は1つずつ) <n=1,512>(%)

省エネ・省資源を意識した行動	はい	いいえ	無回答
ア. 部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている	86.5	12.6	0.9
イ. 夏は28℃、冬は20℃を冷暖房温度の目安としている	59.1	39.8	1.1
ウ. 冷蔵庫にもものを詰め込みすぎないようにしている	72.8	26.0	1.3
エ. 家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入するようにしている	80.5	18.3	1.2
オ. 自動車の利用を極力ひかえ、バスなどの公共交通や自転車などを利用するようにしている	67.9	30.8	1.3
カ. 買い物の際にはレジ袋削減のため買い物袋（マイバッグ）を持参している	59.5	39.7	0.8
キ. 買い物の際には過剰包装を断るようにしている	68.5	30.4	1.1
ク. 生ごみの水切りを行っている	84.4	14.9	0.7
ケ. 堆肥化による生ごみのリサイクルを行っている	7.3	91.8	0.9
コ. リサイクルショップを利用している	25.7	73.5	0.9
サ. 不用品の無償譲渡の情報登録制度「リサイクルバンク」を知っている	14.3	84.9	0.8
シ. 古紙などの資源は、町会・自治会などで行う集団回収に出すようにしている	64.3	34.9	0.8
ス. ペットボトルは、スーパーや店舗での回収を利用している	28.6	70.4	1.0
セ. お菓子やティッシュの紙箱などの雑紙を資源として分別している	52.1	47.2	0.7
ソ. 上記のほかに省エネ・省資源やごみ減量・リサイクルなどにつながる、環境に配慮した取り組みを行っている (具体的に：)	15.8	79.6	4.6

【災害対策について】

国の中央防災会議が発表した首都直下地震の被害想定によると、マグニチュード 7クラスの地震は、今後30年以内に70%の確率で発生するとされています。

問12 あなたは、地震が起こったときのために、日頃からア～コのような備えをしていますか。(それぞれ〇は1つずつ) <n=1,512> (%)

ご家庭での備え	はい	いいえ	無回答
ア. 家具を固定したり、配置に工夫をしている	50.5	48.3	1.2
イ. 窓や食器棚のガラス面に飛散防止フィルムを貼っている	8.5	90.6	0.9
ウ. 食器棚のものが飛び出さないように、留め金具などを付けている	22.5	76.5	1.0
地域の中での備え	はい	いいえ	無回答
エ. 町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある	21.8	77.6	0.7
オ. 近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある	34.4	64.3	1.3
自分自身の備え	はい	いいえ	無回答
カ. 消火器の使い方を知っている	72.9	26.6	0.5
キ. 家庭で避難場所や連絡方法を確認している	52.8	46.1	1.1
ク. 職場や学校などから徒歩で帰宅するルートを確認している	58.3	38.3	3.4
ケ. 災害用伝言ダイヤル「171」を知っている	57.6	41.6	0.8
コ. 災害情報をFMえどがわ(84.3MHz)で確認できることを知っている	13.0	86.0	1.0

問13 災害時の備えとして、家庭での備蓄が呼びかけられています。目安として、最低3日間、推奨7日間以上の備蓄が必要とされていますが、あなたのご家庭では、どの程度の備蓄を用意していますか。(水は一人1日分を3リットルとして計算してください)(それぞれ〇は1つずつ)

<n=1,512> (%)

	1～2日分	3～6日分	7日分以上	備蓄していない	無回答
ア. 水の備蓄	33.1	31.0	8.9	26.7	0.4
イ. 食料の備蓄	33.9	32.3	6.6	25.9	1.3

問14 あなたのご家庭では、災害時の備えとして、いつでも持ち出しできるように、用意している物がありますか。(あてはまる番号すべてに〇) <n=1,512>

1 携帯ラジオ	50.7%	8 雨具	22.5	15 生理用品	10.4
2 懐中電灯	69.4	9 現金	35.2	16 哺乳瓶	0.9
3 飲料水・缶詰	51.3	10 印鑑	28.8	17 粉ミルク	1.3
4 常備薬	29.4	11 乾電池	26.1	18 おむつ	3.7
5 処方薬	16.0	12 カセットコンロ	12.4	19 その他()	5.3
6 着替え・下着	23.3	13 保険証	43.1	20 特になし	17.3
7 タオル	35.0	14 免許証	31.0	(無回答)	0.3

【消費者センターについて】

昨今、悪質商法や特殊詐欺による被害が急増しています。

問15 あなたは、この1年間に、次のような問題のある商法の提示を受けたり、悪質業者の勧誘を受けたりしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○) <n=1,512>

1 マルチ商法(※1)	1.7%	6 ヤミ金融の融資	0.4
2 利殖商法(※2)	2.2	7 不当請求・架空請求	3.4
3 送りつけ商法	0.5	8 振り込め詐欺・オレオレ詐欺	4.4
4 訪問販売での勧誘	4.6	9 その他()	1.1
5 電話、ダイレクトメールでの勧誘	16.2	10 勧誘されたことはない	72.6
		(無回答)	1.9

※1 商品を販売しながら会員を勧誘すると利益が得られるとして、消費者を販売員にして、会員を増やしながらか商品を販売していく商法です。

※2 ウソの投資話を持ち込み、多額の出資金をだまし取る商法です。

問15-1 <問15で「1～9」にお答えの方に>

勧誘され困ったことや、いやな経験をしたとき、どのように対処しましたか。

(あてはまる番号すべてに○)

<n=387>

1 消費者センターに相談した	5.2%
2 警察に相談した	6.7
3 弁護士に相談した	0.8
4 家族、友人・知人に相談した	18.3
5 「注意を呼びかける情報」を収集した	4.1
6 その他()	15.2
7 特に対応はしなかった	54.5
(無回答)	1.6

問16 あなたは、消費者センターの行っている事業や発行・発信している情報(紙)を知っていますか。(あてはまる番号すべてに○) <n=1,512>

1 電話や窓口での消費者相談	35.4%
2 消費生活をテーマにした消費者教室	3.0
3 悪質商法の手口を専門家から学ぶ講師派遣	1.8
4 DVDなどの教材貸出し	1.2
5 消費者センターホームページ	11.0
6 消費者センターメールマガジン	0.8
7 みまもり・ねっと(熟年者被害防止のチラシ)	4.6
8 eくらし(消費生活情報のリーフレット)	1.6
9 知らない	55.6
(無回答)	4.2

【選挙について】

平成26年2月9日に実施された東京都知事選挙において江戸川区の投票率は39.35%と残念ながら23区中最も低い投票率でした。

問17 あなたは、平成26年2月9日の東京都知事選挙で投票しましたか。(○は1つだけ)

<n=1,512>

1 投票した	55.4%	3 その時は選挙権がなかった	3.8
2 投票しなかった	39.9	(無回答)	0.9

問17-1 <問17で「2 投票しなかった」とお答えの方に>

あなたが投票しなかったのはどうしてですか。(あてはまる番号すべてに○) <n=603>

1 政治や選挙に関心がないから	15.9%
2 投票しても都政がよくなると思わないから	24.9
3 候補者の人柄や政策がよくわからなかったから	22.7
4 適当な候補者がいなかったから	30.5
5 自分一人が投票しなくても、結果に影響はないから	9.6
6 仕事が忙しかったから	22.2
7 旅行やレジャーに出かけていたから	6.3
8 病気(看病を含む)または体調が悪かったから	10.6
9 投票に行くのが面倒だから	12.1
10 前日の大雪により、投票所に行くのが大変だったから	15.4
11 投票所が遠い・不便・わからないから	2.5
12 その他()	7.5
(無回答)	—

問18 投票率を向上させるために有効な方法と思われるものを、次の中から選んでください。

(○は3つまで)

<n=1,512>

1 庁舎や公園における懸垂幕・横断幕	6.3%
2 庁舎や区民施設等でのポスターの掲示	8.7
3 広報紙・広報ビデオ・ホームページでの呼び掛け	11.2
4 ツイッター、フェイスブックの活用	14.7
5 駅頭やイベント会場での啓発	13.0
6 町会・自治会を通しての呼びかけ	13.4
7 小・中・高等学校での出前授業	11.7
8 スロープ設置等の投票環境整備	2.8
9 当日投票所の増設	20.4
10 期日前投票所の増設	30.8
11 その他()	10.6
12 わからない	22.9
(無回答)	3.1

【広報と情報化について】

問19 あなたは、現在、江戸川区からの情報をどのような手段（媒体）で入手していますか。

（あてはまる番号すべてに○）

<n=1,512>

1 区の広報紙（広報えどがわ）	60.4%	9 区の広報板（ポスター）	17.1
2 暮らしの便利帳	27.8	10 町内・自治会回覧などの資料	29.9
3 区のホームページ	19.2	11 チラシ・パンフレット	8.8
4 区のツイッター・フェイスブックページ	1.3	12 新聞・雑誌	10.1
5 広報ビデオ（えどがわ区民ニュース）	2.8	13 友人・知人に聞く	12.9
6 J：COM江戸川	6.5	14 その他（ ）	1.1
7 東京MXテレビ	2.8	15 特になし	16.2
8 FMえどがわ	2.6	（無回答）	0.3

問20 あなたは現在、ご自宅でインターネット（携帯電話・スマートフォン・PHSによるEメールを含む）を利用していますか。（○は1つだけ）

<n=1,512>

1 利用している	69.0%	2 現在は利用していないが、今後は利用したい	7.3
		3 現在利用しておらず、今後も利用するつもりはない	20.6
		（無回答）	3.1

問20-1 <問20で「1 利用している」とお答えの方に>

インターネットで利用しているサービスは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

<n=1,043>

1 ホームページでの情報収集	81.0%	6 電子掲示板	7.1
2 電子メール	66.9	7 行政への電子申請	4.6
3 施設予約	37.5	8 ホームページ、ブログの開設	6.5
4 オンラインショッピング	59.3	9 音楽、映像、書籍の配信サービス	35.7
5 ソーシャルメディア		10 株、為替取引	5.9
（ツイッター、フェイスブック等）	35.3	11 その他（ ）	2.9
		（無回答）	0.6

【江戸川区職員の接遇について】

問21 江戸川区職員の接遇について、どの程度満足していますか。（○は1つだけ） <n=1,512>

1 満足	10.1%	4 やや不満	7.3
2 やや満足	12.2	5 不満	3.9
3 ふつう	44.3	6 わからない	21.7
		（無回答）	0.5

【景気・消費税について】

問22 政府の「財政政策」「成長戦略」「金融政策」といった政策により、景気が回復し始めていると言われていますが、あなたは景気の回復について、ご自身の生活にあてはめて、どのように感じていますか。(〇は1つだけ) <n=1,512>

1 大いに実感している	1.0%	4 悪くなったと感じている	26.1
2 多少実感している	8.0	5 わからない	11.2
3 変わらない	53.2	(無回答)	0.5

問23 平成26年4月から消費税が8%に上がりました。また、政府は、今後の経済成長次第で、平成27年秋以降、10%に上げることも検討しています。

このことについて、あなたはどのように思いますか。(〇は1つだけ) <n=1,512>

1 必要である、または、やむを得ない	----->	問23-1へ	36.0%
2 上げるべきではない	----->	問23-2へ	50.9
3 わからない			12.2
(無回答)			0.9

問23-1 <問23で「1 必要である、または、やむを得ない」とお答えの方に>

その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに〇) <n=545>

1 社会保障制度の充実のためには必要だから	64.4%
2 国としてもこれ以上の歳出削減はできないから	22.9
3 これ以上、将来の世代に国の借金の負担を先送りできないから	63.3
4 所得税や法人税など、他の税で財源を確保するよりもいいと思うから	16.5
5 ほかの先進国に比べればまだ税率が低いから	23.9
6 その他 ()	4.0
(無回答)	0.2

問23-2 <問23で「2 上げるべきではない」とお答えの方に>

その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに〇) <n=769>

1 低所得層にとって負担が大きいから	64.9%
2 景気回復したといわれているが、実際には自分の所得(賃金)が上昇しないから	62.5
3 景気が悪化しそうだから	23.4
4 消費税以外の税で財源を確保すべきだから	35.2
5 その他 ()	16.5
(無回答)	0.5

問24 社会保障の財源確保として、平成26年4月より消費税が8%に上がりました。あなたは、増税後どのような消費行動をとっていますか。(あてはまる番号すべてに○) <n=1,512>

1	日常の食費を節約している	38.4%
2	外食の回数を減らしている	35.0
3	旅行などのレジャー費を節約している	30.0
4	洋服や日常生活用品費を節約している	37.5
5	省エネをして公共料金を節約している	25.4
6	その他の費用を節約している()	9.5
7	これまでと変わらない (無回答)	36.8 0.8

【東京オリンピック・パラリンピックについて】

問25 あなたは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックが開催される際に、ボランティアとして大会に参加しようと思いますか。(○は1つだけ) <n=1,512>

1	参加したい	20.1%	3	わからない	39.6
2	参加したくない	39.2		(無回答)	1.1

問25-1 <問25で「1 参加したい」とお答えの方に>

どのようなボランティア活動に参加したいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

<n=304>

1	通訳・翻訳	11.5%	5	ケガ人や病人などの救護補助	13.5
2	会場受付・案内	48.7	6	会場周辺などの清掃活動	30.3
3	来場者や車の誘導	14.8	7	その他()	5.3
4	式典や競技の運営補助	45.7	8	わからない (無回答)	11.8 0.7

最後に、お答えいただいたことを統計的に処理するため、あなたご自身やご家族について、お知らせください。

F 1 あなたの性別。 <n=1,512>

1	男性	48.7%	2	女性	51.3
---	----	-------	---	----	------

F 2 あなたの年齢。 <n=1,512>

1	18・19歳	2.1%	4	40～49歳	22.3	7	65～69歳	8.4
2	20～29歳	12.8	5	50～59歳	14.8	8	70～74歳	7.9
3	30～39歳	17.0	6	60～64歳	8.1	9	75歳以上	6.6

F 3 同居者（本人以外）をお知らせください。（あてはまる番号すべてに○） <n=1,512>

1	小学校入学前のお子さん	12.7%	3	16～64歳の方	69.6
2	小・中学生	18.0	4	65歳以上の方	28.5
				（無回答）	12.6

F 4 あなたのご職業。（○は1つだけ） <n=1,512>

1	自営業者	10.1%	6	学生	3.7
2	家族従業（家事手伝い）	0.9	7	無職	15.4
3	勤め（フルタイム）	37.9	8	その他（ ）	2.7
4	勤め（パートタイム）	16.8		（無回答）	1.0
5	家事専業	11.5			

F 5 一緒に暮らしているご家族の人数（ご自身を含めて）をお知らせください。 <n=1,512>

1	1人	13.4%	3	3人	27.6	5	5人	8.7	7	7人以上	1.5
2	2人	23.2	4	4人	22.2	6	6人	2.8		（無回答）	0.7

F 6 現在のあなたの住居の種類。（○は1つだけ） <n=1,512>

1	持ち家	58.7%	5	給与住宅（社宅・公務員住宅など）	2.2
2	都営・区営の賃貸住宅	5.4	6	住宅に間借り	1.2
3	都市再生機構・公社の賃貸住宅	4.6	7	会社等の独身寮・寄宿舍	0.8
4	民間の賃貸住宅	25.5	8	その他（ ）	1.3
				（無回答）	0.2

F 7 あなたのお住まいの場所。

町 名

		丁目	
（例	瑞江	2	丁目）

平成26年9月発行

第31回江戸川区民世論調査

編集・発行 / 江戸川区経営企画部広報課

東京都江戸川区中央1丁目4番1号

電話 03(5662)6168〔直通〕

集計・分析 / 株式会社 サーベイリサーチセンター

東京都荒川区西日暮里2丁目40番10号

電話 03(3802)6724